令和5年9月10日発行（毎月1回10日発行）第46巻第9号　昭和53年12月21日第3種郵便物認可

アニメージュ Animage

Special Pin-up
「結婚予定日」松田元太（Travis Japan）
アイドルマスター ミリオンライブ！

ようこそ怪奇の世界へ
アンデッドガール・マーダーファルス
ダークギャザリング
闇芝居 十一期
YouTuber コヤッキースタジオ

原画／新井伸浩

9
2023 SEP.

巻頭特集

文豪ストレイドッグス

上村祐翔　小野賢章　小山力也✦朝霧カフカ　榎戸洋司　倉兼千晶
GRANRODEO　ラックライフ

応募者全員サービス
『文豪ストレイドッグス』フォンタブ

機動戦士ガンダム 水星の魔女
呪術廻戦 懐玉・玉折
ゾン100～ゾンビになるまでにしたい100のこと～
るろうに剣心 ―明治剣客浪漫譚―
ひろがるスカイ！プリキュア
死神坊ちゃんと黒メイド
特別編 響け！ユーフォニアム～アンサンブルコンテスト～
大奥

爆竜戦隊アバレンジャー20th 許されざるアバレ

ミュージカル『憂国のモリアーティ』Op.5 -最後の事件-
『ヒプノシスマイク-Division Rap Battle-』Rule the Stage
超人的シェアハウスストーリー『カリスマ』

付録 B2サイズ両面ポスター
✦文豪ストレイドッグス　✦夏目友人帳

Animage アニメージュ

電子書籍版

はじめにご確認ください

●紙の雑誌とはコンテンツが一部異なります。
●プレゼントや懸賞など紙の雑誌を購入いただかないと
　ご利用になれないコンテンツが含まれている場合があります。
●付録が含まれない場合があります。
●一部ページのサイズが紙の雑誌と異なる場合があります。

以上をご理解いただき、お楽しみください。

株式会社徳間書店
アニメージュ編集部

アニメージュ

Animage

©結婚予定日製作委員会・MBS

Hieva
Kadon
Style

アイドルマスター
ミリオンライブ！
©Bandai Namco Entertainment Inc.
Illustration : SHIROGUMI INC.
CG-Animation : Kazuki Tanaka
Finish-Work : Junichi Umezawa

アニメージュ

Animage

文豪ストレイドッグス フォンタブ

表紙を飾った敦と芥川のビジュアルがおしゃれなフォンタブに。
スマホとスマホケースの間に挟み込んでカッコよく飾ってね！

アニメージュ2023年9月号イラスト

1900円
送料・消費税・事務手数料込み

応募締切日 当日消印有効
2023年9月30日(土)
商品は2023年12月下旬発送予定

※発送予定は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※締切日を過ぎますと、処理の都合上応募を受け付けることができません。
その場合、お客様には事務手数料を差し引いた上、ご返金させていただきます。
※お客様都合によるご注文後のキャンセルは一切お受けしておりません。
※監修中のため、デザイン・仕様は変更になる可能性があります。

ストラップの金具（レバー付きナスカン）とDカンはシルバーカラー

外側は黒で、内側はダイヤ柄

使用方法

お手持ちのスマホケースとフォンタブを用意します

外側にデザインが来るように置き、充電用の穴からDカンを出します

上からスマホ本体をはめ込みます

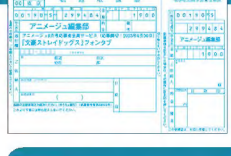
付属のストラップを取り付けて完成

サイズ
本体：約88mm×約55mm
ストラップ（二つ折り状態）：
約150mm×約20mm
※ストラップはポリエステル素材

© 朝霧カフカ・春河35/KADOKAWA/文豪ストレイドッグス製作委員会

応募方法

1. 134ページの左に付いている専用の「払込取扱票」（コピー不可）を切り取って、黒色のボールペンかサインペンで必要事項（住所、氏名、電話番号など）をていねいに記入してください。右側にある「振替払込請求書兼受領証」の※印がある「ご依頼人」の欄にも氏名を忘れずに記入してください。
2. 必要事項を全て記入した「払込取扱票」と代金を用意し、郵便局の窓口またはATMで手続きしてください。この際、払込手数料が別途かかりますのでご了承ください。
3. 受け付けが終わると、「振替払込請求書兼受領証」（用紙の右側）が渡されます。この用紙は、送金されたことの証明になります。商品がお手元に届くまで大切に保管してください。



- この商品は、郵便振替またはトクマショップでお申し込みされた方全員がお求めになれます。
- 郵便振替はお近くの郵便局で、窓口またはATMのお取り扱い時間をご確認の上、必ず締切日までに手続きしてください。
- 完全受注生産のため、お申し込み多数の場合、発送予定日より遅れることがあります。また、発送予定日より3ヶ月を過ぎても商品が届かない場合は、必ず問い合わせ先にご連絡ください。

注意 応募する前に必ず読んでね！

- 郵便振替は本誌綴じ込みの「払込取扱票」用紙でお申し込みください。用紙は折ったり点線部分を切り離したりしないでください。
- 「払込取扱票」の住所・氏名は記入欄からはみ出ないように、ハッキリとした字で記入してください。記入ミス、記入もれ、省略、略字、崩し字などは商品未着の原因になりますので、ご注意ください。
- ご注文商品番号の記入ミスや金額の過不足などご注文時の混乱防止および事務処理の都合上、「払込取扱票」1枚につき1種のご注文とさせていただきます。
- ご記入いただいた個人情報は、商品発送の目的以外での利用はいたしません。
- 締切日を過ぎますと、処理の都合上応募を受け付けることができません。その場合、お客様には事務手数料を差し引いた上、ご返金させていただきます。ご了承ください。
- 金額が不足していた場合や、必要以上の金額をお支払いいただいた場合、応募が無効となることがありますのでご注意ください。
- 為替・未使用切手・現金などによる応募は受け付けられません。
- 日本国内の発送に限らせていただきます。
- 発送予定までの間に転居される場合は、必ずアニメージュ編集部あてにハガキで、旧住所・新住所・新電話番号・申し込んだ商品名・数量・払い込み日を記入し、送ってください。
- 商品は業務を委託した業者より お届けいたします。
- 受け取り拒否、または長期不在などの場合はキャンセル扱いとさせていただきます（発送後6ヶ月以内）。
- キャンセル扱いとなった お客様には、事務手数料を差し引いた上、代金を返金させていただきます。
- 商品・特典のデザインは変更になる場合があります。
- 万一商品に破損など不良品がございましたら、アニメージュ編集部までお問い合わせください。
- 発送中のパッケージおよびケースの破損については、お取り替えできない場合があります。

トクマショップでも受付中

アニメージュやコミックリュウの
オリジナル商品の通販サイト「トクマショップ」
➡https://www.tokuma-shop.com/

アニメージュ公式HPからもアクセスできます。
➡https://animageplus.jp/
※携帯電話からはうまくアクセスできない場合があります。

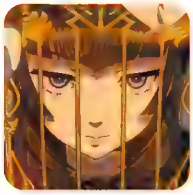
トクマショップ問い合わせフォームはこちら
https://www.tokuma-shop.com/hpgen/HPB/entries/1.html

問い合わせ先 株式会社徳間書店 アニメージュ編集部 〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア ☎03-5403-4341 電話受付時間：朝11時～夜6時（土日祝休）

アニメージュ

Animage

※一部の記事が掲載されていない場合があります。ご了承くださいますようお願いいたします。



アニメージュ Animage 2023 09 VOL.543

CONTENTS

Twitter @animage_tokuma
HP https://animageplus.jp/

定期購読お申込み受付中
詳細▼
fujisan.co.jp/product/85/

表紙デザイン
間中幸子（クウ）

デザイン
クウ
山川夏実
坂野弘美
谷口圭詩
山崎サチ子
フリーウェイ
柳川ユリ
東京カラーフォト・プロセス

12 文豪ストレイドッグス
哀れなる迷い犬たち
黒獣と白虎の歩み　インタビュー＝上村祐翔（中島 敦役）、小野賢章（芥川龍之介役）、小山力也（福沢諭吉役）、榎戸洋司（シリーズ構成・脚本）、倉兼千晶（プロデューサー）、朝霧カフカ（原作）、GRANRODEO（OPアーティスト）、ラックライフ（EDアーティスト）

26 呪術廻戦 懐玉・玉折
眠りから覚めて
インタビュー＝中村悠一（五条 悟役）、遠藤 綾（家入硝子役）、子安武人（伏黒甚爾役）、瀬古浩司（シリーズ構成・脚本）、山崎蒼志（EDアーティスト）／対談＝永瀬アンナ（天内理子役）×清水理沙（黒井美里役）

36 ホラーアニメ特集
鳥肌注意!? ようこそ怪奇の世界へ
01【アンデッドガール・マーダーファルス】　02【ダークギャザリング】
03【闇芝居 十一期】　04【コヤッキースタジオ】

表紙　文豪ストレイドッグス
原画　新井伸浩
仕上げ　岩沢れい子
特効　古市裕一（BOSABOSA）

付録
B2サイズ両面ポスター
「文豪ストレイドッグス」
「夏目友人帳」

3 Special Pin-up
A-side 結婚予定日 ……Will you marry me？
B-side アイドルマスター ミリオンライブ！ ……ライブを楽しめ！

7 応募者全員サービス
『文豪ストレイドッグス』フォンタブ

44 ゾン100 ～ゾンビになるまでにしたい100のこと～
やりたいこととすべきこと

48 るろうに剣心 ー明治剣客浪漫譚ー
維新はまだ終わらない

50 大奥
惹かれ合う魂

56 死神坊ちゃんと黒メイド
二人でつかむ幸せ

58 夏目友人帳
優しい世界がそこにある

62 特別編 響け！ユーフォニアム ～アンサンブルコンテスト～
次の曲が始まる

64 アイドルマスター ミリオンライブ！
765プロライブシアターの幕が上がる

66 機動戦士ガンダム 水星の魔女
それでも、できることを

75 ひろがるスカイ！プリキュア
未来への架け橋

80 『ヒプノシスマイク-Division Rap Battle-』Rule the Stage
Battle of Pride

84 カリスマ
天彦 IN YOUR AREA

86 ウマ娘 プリティーダービー 5th EVENT ARENA TOUR GO BEYOND -WISH-
希望から始まる物語

95 結婚予定日
秘密の約束

108 爆竜戦隊アバレンジャー20th 許されざるアバレ
アバレ続けて20年

11 今月のプレゼント
87 富野に訊け!! ◆富野由悠季
88 AM☆CRUISE　MUSIC CINEMA GAME&GOODS
91 アニメイト店員雑記・今日もアニメ日和
92 大塚隆史&小松田大全のハッピーアニメライフ！ ～“好き”を進路にしてみたら～
101 IRIAM×アニメージュ
113 タスクのつぶやき◆畠中 祐
114 文化放送『超！A&G＋』のススメ File.83『伊福部崇のラジオのラジオ』
115 マイ・アニメージュ
126 ANIMATION WORLD
130 パリウタの愛を知りたい!! ◆荒木哲郎×平尾隆之
133 本棚の奥から◆新房昭之
135 Animage Next Recommend 『ゴールデンカムイ』ほか
143 Actors Animage＋ ミュージカル『憂国のモリアーティ』Op.5 - 最後の事件 - 鈴木勝吾×平野 良、西森英行
148 キャラクターベスト10

▶今月の「この人に話を聞きたい」「設定資料 FILE」はお休みです。

アニメージュ

Animage

PRESENT

応募方法

✦プレゼントをご希望の人は、本誌とじこみアンケートはがきオモテの応募欄に欲しい賞品番号を一つ記入して2023年9月7日（当日消印有効）までにお送りください。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。応募者多数の場合は抽選いたします。アンケートはがきに記入された個人情報は、今後の企画の参考と賞品の発送に利用いたします。

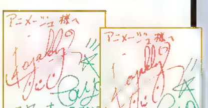
✦プレゼントの賞品について、第三者への譲渡または譲渡申請（オークション出品等）を行うことを固く禁止いたします。万が一違反された場合には、当選を取り消し、プレゼントの返還や価格賠償等を請求することがございますので、ご了承ください。

1（2名）『特別編 響け！ユーフォニアム～アンサンブルコンテスト～』黒沢ともよ（黄前久美子役）直筆サイン色紙

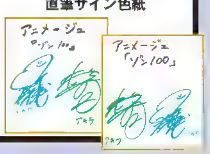
2（2名）『アンデッドガール・マーダーファルス』黒沢ともよ（輪堂鴉夜役）直筆サイン色紙

3（1名）『ダークギャザリング』篠原 侑（寶月夜宵役）直筆サイン色紙

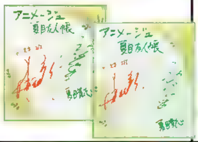
4（2名）『コヤッキースタジオ』コヤッキー・とーや 直筆サイン色紙



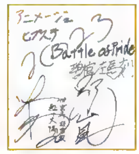
5（2名）『ゾン100～ゾンビになるまでにしたい100のこと～』梅田修一朗（アキラ役）・楠木ともり（シズカ役）直筆サイン色紙



6（2名）『夏目友人帳』神谷浩史（夏目貴志役）・井上和彦（ニャンコ先生／斑役）直筆サイン色紙

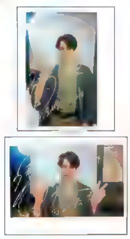


7（1名）『ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-』Rule the Stage 阿部顕嵐（碧棺左馬刻役）・鮎川太陽（神宮寺寂雷役）直筆サイン色紙

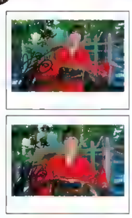


『大奥』直筆サイン入りポラ

8（2名）宮野真守（万里小路有功役）

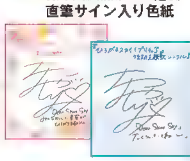


9（2名）松井恵理子（徳川家光役）



10（2名）『死神坊ちゃんと黒メイド』花江夏樹（坊ちゃん）・内田雄馬（ウォルター）直筆サイン入りポラ

11（2名）『ひろがるスカイ！プリキュア』吉武千颯（後期ED主題歌）直筆サイン入り色紙



12（2名）『爆竜戦隊アバレンジャー20th 許されざるアバレ』西 興一朗（伯亜凌駕役）・富田 翔（三条幸人役）・阿部 薫（アスカ役）・田中幸太朗（仲代壬琴役）直筆サイン入りポラ

13（3名）ミュージカル『憂国のモリアーティ』Op.5 -最後の事件- 鈴木勝吾（ウィリアム役）・平野 良（シャーロック役）直筆サイン入りチェキ

14（1名）ドラマCD「絶対BLになる世界VS絶対BLになりたくない男」4
［提供：フロンティアワークス］

『つまみは塩だけ』
［提供：フロンティアワークス］

15（1名）イベントDVD「つまみは塩だけの宴in大阪2023」

16（1名）DVD「大阪ロケ・味園ビル編2023」

17（1名）ラジオCD「極品」その3

18（1名）ラジオCD「極品」その4

19（1名）『HELIOS Rising Heroes』Sing in the darkness「FACTS ERROR」／「dawn light」［豪華盤］
［提供：フロンティアワークス］

20（1名）【TVアニメ化30周年記念】「花の魔法使い マリーベル」アニバーサリー・BD-BOX
［提供：フロンティアワークス］

21（1名）「私の百合はお仕事です！」Blu-ray 第3巻
［提供：フロンティアワークス］

22（1名）Blu-ray「8P channel 13」
［提供：フロンティアワークス］

23（1名）2wink「Turbulent Storm」あんさんぶるスターズ！！ESアイドルソング season3
［提供：フロンティアワークス］

24（1名）あんさんぶるスターズ！！ESアイドルソング Extra オルタード & fine-O
［提供：フロンティアワークス］

※「オルタード」「fine-O」の差し替えジャケットカード（2種）が同梱されています

25（1名）あんさんぶるスターズ！！アルバムシリーズ「TRIP」Crazy:B［通常盤］
［提供：フロンティアワークス］

26（3名）ONE PIECEカードゲーム 新時代の主役［OP-05］
［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは3パック 全126種＋1種

27（3名）バトルスピリッツ 契約編：界 第2章 極争 ブースターパック［BS65］
［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは9枚入り3パック 全108種

28（3名）デジモンカードゲーム テーマブースター アニマルコロシアム［EX-05］
［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは12枚入り3パック 全74種

TVアニメ『呪術廻戦 懐玉・玉折』
［提供：ヒサゴ］

29（2名）フリクションボール3スリムセット

五条 悟　夏油 傑

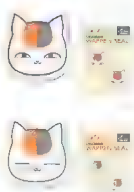
30（2名）ワッペンシールセット

五条 悟　夏油 傑

31（2名）TVアニメ『マッシュル-MASHLE-』デルガード（シャープペンシル）＆ブレンボールペン
［提供：ヒサゴ］

マッシュ・バーンデッド　マッシュ・バーンデッド

32（2名）TVアニメ「夏目友人帳」ワッペンシールセット
［提供：ヒサゴ］



にこにこニャンコ先生　すやすやニャンコ先生

©紺吉／新潮社　©OBC　©2019 Happy Elements K.K　©華プロダクション・ビックウエスト　©未幡・一迅社／私の百合はお仕事です！製作委員会です！
©Frontier Works inc.　©2014-2019 Happy Elements K.K　©尾田栄一郎／集英社　©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション　©BNP/BANDAI　©本郷あきよし・フジテレビ・東映アニメーション　©芥見下々／集英社・呪術廻戦製作委員会
©甲本　集英社・マッシュル製作委員会　©緑川ゆき・白泉社／「夏目友人帳」製作委員会

哀れなる
「六ヵ月間 お前は一人も殺すな」
その殺さずの誓いを芥川が守ったことで、結果的に敦の命が救われた
単なる偶然の結末なのか、何か大事な意味があるのか、
そして芥川はなぜ敦を逃したのか――
文豪ストレイドッグス
➡毎週水曜日➡夜11時➡TOKYO MXほか
HP➡https://bungosd.com/
©朝霧カフカ・春河35/KADOKAWA/文豪ストレイドッグス製作委員会
Illustrated by Nobuhiro Arai
Finished by Reiko Iwasawa
Special effects by Yuichi Furuichi(BOSABOSA)

迷い犬たち
敦はその答えにたどり着くことができるのだろうか？

黒獣と

――《天人五衰》の首領「神威」の正体判明により、物語が一気に加速！

再び集結した武装探偵社は、軍警最強の特殊部隊《猟犬》と手を結ぶため、福地桜痴と交渉する。ところが彼こそが《天人五衰》の首領「神威」だった――！　福地と対峙する中島 敦は、太宰 治の命でやって来た芥川龍之介と共に挑むも、敗北を喫することになる。

太宰が育んできた新世代の双黒、敦と芥川。「信頼」関係とは程遠かった彼らが、互いを信じ、二人の異能を掛け合わせた「月下獣羅生門黒虎絶爪」を繰り出した。第1シーズンからの彼らの確執を考えると、胸が熱くなる展開だ。しかし、その最終手段とも言える攻撃も、福地には敵わなかった。芥川の尽力により、敦は命からがら逃げ出し、情報を持ち帰ることに成功。《天人五衰》の最後の一人、プラムにより《吸血種》となった芥川は、一体どうなってしまうのだろうか……？

事態は依然として不利なままだが、武装探偵社が諦めることはない。福地の狙いが異能技師の造った通信機《大指令》だと見抜いた彼らは、《大指令》が福地の手に渡るのを阻止すべく、新たな作戦を開始するのだった。世界の危機を救うため、負けられない最後の戦いが今始まる。

社員と涙の再会

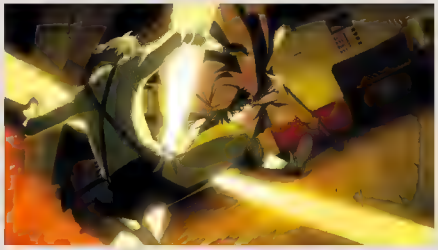
《天人五衰》の事件後、武装探偵社員たちの安否も分からず、不安な思いを抱えながらも鏡花と行動していた敦。さらに、《天人五衰》が社員たちの暗殺を企んでいることを知り、焦りもあったのだろう。社員の面々と再会を果たしたときは、緊張の糸が解けて涙ぐんでいた。

分かたれた二人の路

「神威」の正体が、正義の代名詞であり福沢の親友である福地だと知り、敦は動揺を隠せない。福沢が戦場に行かなかったことで、二人の路は永遠に分かたれたと福地は語る。戦場に行ったことのない敦には、そんな福地の思いを理解することはできないだろう。

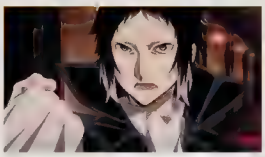
戦って活路を拓く！

乱歩はポオの推理小説内に避難する間際、敦に「逃げきれ お前では勝ち目はない」と告げる。しかし、自分がここで戦わなければ、武装探偵社にさらなる危機が迫ってしまう。そしてなにより、武装探偵社を破滅させた福地を許せないと、敦は彼と戦う道を選ぶ！



敦との約束

船内で鉢合わせした警備員を、芥川は殺すことなく昏倒させるだけに留めた。それは再戦の条件として、敦から「六ヵ月間 お前は一人も殺すな」と約束されていたから。てっきりそんな約束は忘れて破っていると思っていた敦は、芥川の変化に驚くのだった。



凡ては試練

太宰は自分を楽で、敦という「新品」に乗り換えたと思っていた芥川だったが、そうではなかったのではないかと考える。凡ては試練であり、太宰と出会った日から続く「意味ある生」の一部なのだと。その答えを得るためにも、戦いから一歩も引くことはできない！

孤独じゃない

福地を前に恐怖し、「誰でもいいから隣で一緒に戦ってほしい」と願う敦。そこへ現れたのは、芥川だった。船の機関室を破壊し、「今この瞬間のみ奴は孤独だ」と、福地を孤立無援に追い込む芥川に、敦は先ほどまで感じていた孤独が消え去っていることに気が付く。

白虎の歩み

世界を巻き込んだ争いへと発展したこの戦い、勝利は誰の手に――!?

印象深いこのシーン！

中島 敦役　上村祐翔

「第52話で、福地と相対した敦が孤独を怖がるシーンです。ノイズのように蠢く文字と、これまで支えてくれた仲間たちのあたたかさの対比が、敦の恐怖をより濃いものにしていて……。誰かにすがりたい想いが溢れる印象的なシーンでした。感情の変化を細やかにディレクションしていただきながら収録した思い出があります。

芥川龍之介役　小野賢章

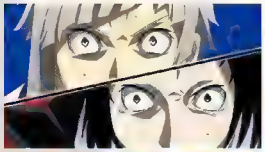
「第54話の『愚者め 疾く往け』のシーンです。あのときの芥川の表情が何を語っているのか、皆さんにも考察していただきたいです。

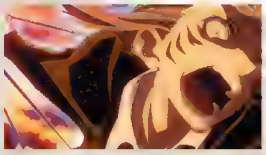
珍しく意見が一致

敦と芥川の異能力の混成「月下獣羅生門黒虎絶爪」。福地に勝つための、単純かつ絶対の戦法だが、最初の一撃で仕留めなければ勝ち目はない。そのためには水中で戦うしかないと、珍しく意見が合う二人。正反対に見えて、意外と似ているところがあるのかもしれない。

致命的な欠点

福地が「神刀・雨御前」を抜いただけで、敦と芥川は訳も分からないまま刺されて倒れてしまう。「この剣を抜く前ならば 諸君にも一縷の望みがあった だが諸君はそれを活かせなかった」と福地は言うが、それは敦と芥川が互いを「信頼」できていなかったという証だろう。





生まれた「信頼」

敦を殺すことを条件に、福地は芥川に「儀の弟子にならないか?」と取引をもちかける。誘いに乗ったかのように敦に攻撃を仕掛ける芥川を、敦は迎え撃とうと見せかけて福地を奇襲！「信頼」のもと、「一人ずつ」ではない「二人の力で」、福地に一矢報いた。敦は潜水艇で脱出する。

作戦会議

社員たちが集められたのは、ルーシーが創る異能空間。作戦会議が開かれ、敦は社員たちの力が結集することに頼もしさを感じる。しかし、《吸血種》の感染拡大や、《大指令》の引き渡しなど、解決すべき問題は山積み……!?

魔人への切り札

激しい共闘を繰り広げた敦と芥川、そして旧知の仲である福沢。
《天人五衰》首領の「神威」こと、福地と深い関わりを見せたキャラクターを中心に、物語を紐解く。

日々進化している姿がまぶしい

中島 敦 役

上村祐翔

うえむら・ゆうと
10月23日生まれ／埼玉県出身／劇団ひまわり所属／主な出演作は『シュガーアップル・フェアリーテイル』（キース・バウエル）、『AYAKA』（あやか 上）（八岳幸人）ほか

【力をぶつけ合う姿勢が彼らしい】

――本作は、ついに第5シーズンを迎えました

上村　僕にとってTVアニメ初の主人公である中島 敦役を、こんなにも長い期間演じられるなんて想像できませんでした。皆さんの応援あっての『続編』という形で、敦くんと向き合っていけるので本当にありがたいです。彼から学んだことが僕の中で血となり肉となっています。すべての出会いに、感謝です。

――今シーズンの台本を読み、どんな印象を抱きましたか？

上村　《天人五衰》の首領（＝神威）の福地桜知を中心に、散りばめられた点と点が時空を超えて線に繋がっていく、複雑で深みのあるストーリーだと感じました。過去の出来事が現在に大きく影響し、その中でもがく異能力者たちの姿が印象的です。とにかく、福地の底知れない怖さが際立っているように思います。

――福地と直接対峙した第53話のアフレコはいかがでしたか？

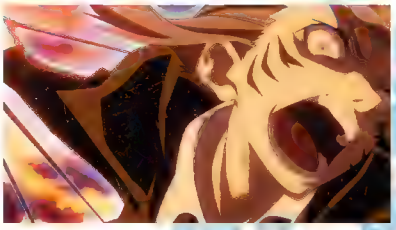
上村　久しぶりの芥川との共闘で、自然と気合が入りました。また、福地という圧倒的な強さを誇る相手との戦いだったので、出し惜しみなくやり切るつもりで挑みました。収録時は（小野）賢章さんとご一緒できたので、敦として思い切り感情をぶつけられてよかったです。

――敦と芥川の合わせ技「月下獣羅生門黒虎絶爪」は、迫力満点の映像に仕上がっていました

上村　同族嫌悪ながらもお互いを認め合う敦と芥川の「信頼」は、幾度もの危機を共に乗り越えてきた経験の積み重ねがあるからこそのものだと思っています。それが「月下獣羅生門黒虎絶爪」という明確な意志として表れるので、覚悟を持ってアフレコに臨みました。この場面を演じたときは、敦と芥川の成長をより強く感じることができました。

――太宰・中也の跡を継ぐ存在とも語られている敦と芥川ですが、今の二人の関係をどのように捉えていますか？

上村　戦いを重ねるたびに強い力が生まれていて、唯一無二の存在になってきていると思います。決して馴れ合わず、互いの力をぶつけ合う全力の姿勢が、彼らしい関係性だと思うので、このままエネルギー全開で、少しずつ変化し

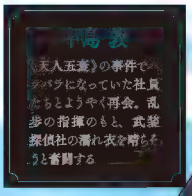


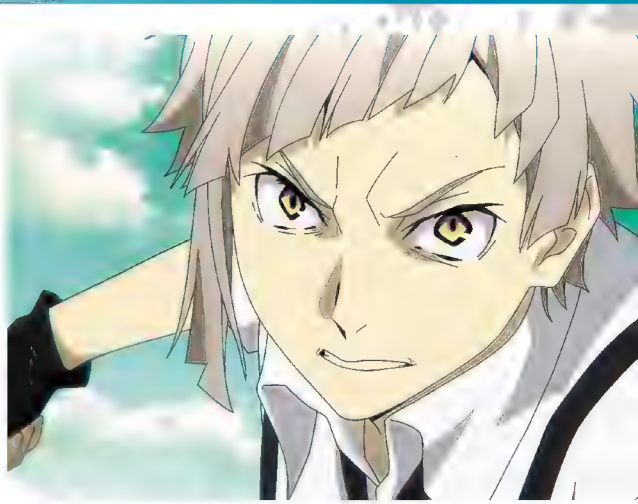
黒幕の正体

〈猟犬〉と手を結ぶために、敦は乱歩と共に福地の元へ交渉に向かう。上手く話がまとまったと思われたが、乱歩が超推理で導き出した「神威」の正体は、まさかの福地だった。黒幕の前に無防備に出てきてしまうという、想定外の事態に敦も動揺を隠せない。

「貞」の在処

シグマを助けられず、「貞」の在処も分からなくなったと落ち込んでいた敦。しかし、落下するシグマの腕を掴んだ際、彼の異能で「貞」の在処を教えられていたことが分かる。「貞」は『天人五衰』が最も隠さなさそうな場所――首領「神威」のもとにあった！





ていってほしいです。その姿に僕も期待しています。

――敦と芥川の関係に変化があったように、敦自身にも少しずつ変化や成長を感じました

上村　敦は思考して戦うことに磨きがかかりましたね。救われる側だった彼が、探偵社員として鏡花をはじめ多くの人を救い、自分の内面と向き合い、異能力をコントロールできるようになりました。すべての経験が彼を段階的に成長させていると思います。自信を深めながらも壁にぶつかり、日々進化している姿がまぶしいです。

【『文スト』はずっと繋がっていたい宝物】

――第52話では、「怪我をしても与謝野さんがいる」敵に捕らわれても乱歩さんがいる」探偵社員が揃うとは、こういう事」と語る乱歩や国木田の言葉がありました。これに当てはめると、敦には探偵社員としてどんな役割があると思いますか？

上村　切り込み隊長のような役割でしょうか。持っているパワーと行動力、絶対に諦めずに挑み続ける敦のタフネスは、目に見える形で変化をもたらす推進力で、それは誰にも真似できないものになっていると思います。バックに心強い先輩たちがいるからこそ全力で進める敦。現場の僕と同じです！

――くじけそうになることはあっても、敦は諦めずに行動してきたからこそ、探偵社員たちが再会することが叶いました

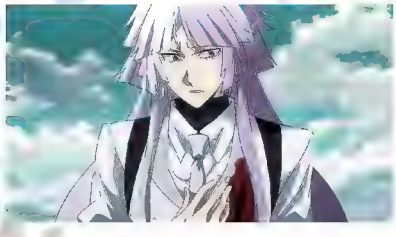
上村　探偵社員にとって帰るべき場所である探偵社に集結できた嬉しさは、演じている僕自身も噛みしめていました。しかし喜びも束の間、吸血種による混乱、《大指令》受け渡しの危機など、問題は山積み。戦場の恐ろしさが大きくのしかかってくる展開となりました。探偵社の結束力の描かれ方に注目していきたいです。

――これまでのシリーズを振り返り、上村さんにとって『文スト』という作品はどんな位置づけとなりますか？

上村　人生です。敦くんに学び、作品に学び、これからも学び続けなければなりません。出会うことのできた縁を大切に、ずっと繋がっていたい宝物です。

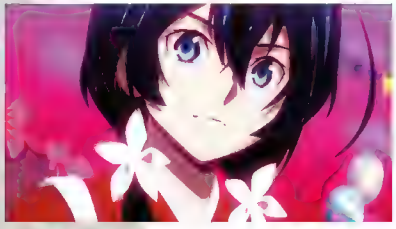
上村祐翔は中島 敦で、中島 敦は上村祐翔。五十嵐卓哉監督からいただいた言葉を胸に、ずっと歩み続けられればと思います！

バックに心強い先輩たちがいるからこそ全力で進める



シグマ

「本」の書き込みによって突如生まれた存在。ナサニエル・Hの攻撃で天空カジノから墜ち、死を覚悟するが、ニコライに助けられる。



泉・鏡花

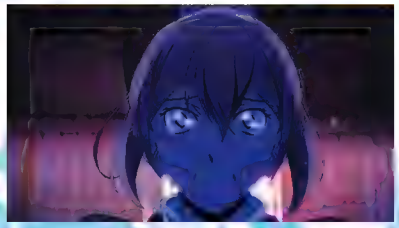
武装探偵社が《天人五衰》に巻き込まれた際、単身で敦の救出へ向かった。その後は、武装探偵社の汚名を晴らすため、敦と共に行動する。

ルーシー・M

武装探偵社の無実を信じ、坂口安吾と共に、敦たちの協力者となる。異能空間「アンの部屋」を拠点とし、敦たちも天空カジノに潜入した。

太宰 治

自ら《猟犬》に捕まり、獄内でフョードルを監視する。《天人五衰》事件発生の二日前、密かに芥川を呼び出し、ある頼み事をしていた。



樋口一葉

芥川に忠誠を尽くす後輩で、黒蜥蜴を指揮する。《吸血種》となった芥川に噛みつかれ眷属となり、銀と広津を攻撃して感染を広げる。

ポートマフィアの

人の心拍数を聞き、対象の心理状態まで察することができる《猟犬》の隊員。再調査を懸願する立原と福地のやり取りに違和感を覚える。

しっかり命を輝かせてあげられるように

芥川龍之介 役 小野賢章

おの けんしょう 10月5日生まれ／福岡県出身／アニ モプロデュース所属／主な出演作は『僕らの雨いろプロトコル』時野谷瞬、『ドッグシグナル』佐村さとし、ほか

【命を輝かせようと身が引き締まった】

――ついに第5シーズンまで来ましたが、ここまでたどり着いた感慨をお聞かせください。

小野　気付けばここまで来たなって思いが強いです。芥川は常に出ているキャラクターではないので、もう第5シーズンなんだと知って驚きました(笑)。

今シーズンの原作や台本を読み、どんな印象を抱きましたか？

小野　いつもいつも強敵に立ち向かっていくので、どうやって勝つんだ……？　と毎回思っていたんですが、今回は間違いなく物語としての一つのクライマックスだ、という印象を受けました。第4シーズンから続いていますが、武装探偵社にとって最大のピンチだと思います。

――これまで戦ってきた敵とは次元が違う強敵・福地を前に、どのような気持ちでアフレコに挑みましたか？

小野　芥川の目的は変わらないので、特に変わりません。強いて言うなら、太宰さんの目的に気づいたと思うので、敦との共闘を少し意識しているところはあったのかな。「月下獣羅生門黒虎絶爪」を繰り出すシーンは、初めて芥川と敦の信頼関係が表現された大事な瞬間。アフレコ中は、何も考える余裕がありませんでした(笑)。

――そんな福地に対する印象を教えてください。

小野　最強という言葉がしっくりくる存在だと思います。《猟犬》のときの飄々とした態度からガラッと変わる瞬間はゾッとしますね。と同時に、彼の中の経験してきた苦悩が垣間見えるところに、人間としての深みも感じます。

――福地との戦いで、芥川が生きる意味にこだわる理由が明らかとなりました。肺の病で、もう長くないとのことですが、この事実を知ったときはどう思いましたか？

小野　覚悟はしていましたが、現実を突きつけられた気分です。初登場から咳をしていましたし……。彼が生きられる時間は残り少ないかもしれませんが、しっかり命を輝かせてあげられるよう身が引き締まりました。

【信頼はしてはいるが敦を認めたくはない】

――小野さんは公式ガイドブックで、芥川はどんなに成長してもまだまだ前を見据えている」とコメントしています。今シーズンでそう感じた場面や台詞は？

小野　第53話の「全ては試練ならば死すらも乗り越えて見せよう」という台詞です。太宰さんの思惑を理解した上で、それを試練と捉えて目的を達成しようとする姿勢に、芥川のブレない芯の部分を感じました。

――芯の部分というと、「言葉など不要 唯行動あるのみ」も、芥川らしい台詞でした。

小野　後から振り返ってみると、どんなにピンチでも逃げずに立ち向かっていく姿は、芥川らしくて痛れますね。

――芥川のおかげで生き延びた敦は、芥川はなぜ僕を逃がしたのか」と疑問を抱いていました。これについてはどう思いますか？

小野　こればかりはいくら考えても芥川の中にしか正解はないとは思いますが、敦は芥川にとっての試練で、その試練がなくなってしまうと、自分が生きている意味がなくなるからじゃないかなと僕は思いました。

――太宰・中也の跡を継ぐ存在とも語られている敦と芥川ですが、今の二人の関係をどのように捉えていますか？

小野　まだ成長途中だと思っています。お互いを認めつつ、信頼してはいるものの認めたくないような、そんな微妙な関係性だと思います。

――では、芥川個人として変化を感じるところはありますか？

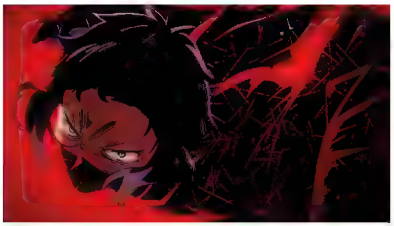
小野　敦への見方が、一番変わったところかなと思います。最初はただの嫉妬だったと思うんですが、なぜ太宰さんが敦を選んだかを考えるようになって、それが結果として敦への態度の変化や芥川自身の成長に繋がっているんじゃないかな。

――芥川を吸血鬼化させたブラムの異能力や、演じている津田健次郎さんの印象は？

小野　恐ろしい能力ですよね。何が恐ろしいって、ブラムじゃなくても吸血鬼にされた人物から感染がうつるそのスピード感。演じられている津田さんの妖艶な芝居が、よりブラムをヤバくさせています。吸血鬼として大活躍の芥川にも注目です！

――最後にファンに向けてメッセージをお願いします。

小野　いつも応援ありがとうございます。毎週どうなってしまうのか、緊張の展開がこの後も続きますので、皆さん最後まで見届けていただければと思います。よろしくお願いします！



覚悟はしていましたが、現実を突きつけられた気分

太宰の思惑

太宰が芥川をマフィアに誘ったのも、敦と組ませたのも、魔人への切り札として新しい世代の双黒を育てるため。つまりは敦が福地と対峙する、この瞬間のためだった。太宰の命通り、敦を尾行していた芥川は、臆することなく福地の前に姿を現す！

《吸血種》化

「愚者め 残く往け」と、身を挺して敦を逃がした芥川。その彼を、福地はブラムに眷属にするよう強制する。《吸血種》となった芥川はもはや自我がないようで、福地の命令のままに部下の雄口を襲い、噛んで感染を広げていくことに……。

福沢と福地は唯一無二の関係

福沢諭吉 役 小山力也

こやまりきや　12月16日生まれ／長野県出身／劇団俳優座所属／主な出演作は「名探偵コナン」（毛利小五郎）「でぁいもん」（納野平五）ほか

ますし、自分の中でもパッと思い浮かぶ数少ない作品の一つになりましたね。僕が演じる福沢諭吉は、第1シーズン当初はそこまで出番があるほうではなかったんです。ところがここへきて第一線で活躍し始めるので、ぜひ楽しみにしていただきたいです。

——第4シーズン冒頭の『武装探偵社設立秘話』では、若かりし頃の福沢が描かれました。

小山　あの話は出番が多くあり、中身が深かったので特に覚えています。初めて福沢の過去が語られて……なんと必殺仕事人だったんですね（笑）。台詞は難しかったですが、非常にサスペンス色が強く、やりがいがあって面白かったです。江戸川乱歩役の神谷（浩史）くんと一緒に収録をすることができたのもよかったです。

——『武装探偵社』は福沢と乱歩の出会いから始まったんだなと、改めて感じる物語でした。

小山　探偵社の社員にはいろいろな人間がいますが、その中でも乱歩とは関係が深く、付き合いも長くて、福沢にとって別格と言わざるを得ない存在ではありますよね。この『武装探偵社設立秘話』は、乱歩の才能に気が付き、福沢がただの孤高の剣豪から一歩動いた物語だったと思います。朝霧カフカ先生がどの段階でこの話を考えられたかは分かりませんが、『文スト』が多くの人に愛され続けてきたからこそ、この話は作られたのでしょうね。

——今シーズンの原作や台本を読んで、どのような印象を抱きましたか？

小山　どんどん苦しく、えげつなくなってきたなというのが、最初の印象です。一般社会からの厳しい非難にプラスして、悪を駆逐する自分たちが逆に警察の特殊部隊・《猟犬》に追い詰められていく。その追い詰められ方も、国家権力が関わってきたりするし、「真」の力をはじめとする能力もさらに複雑化していったりして、これはもう防ぎようがないなと感じる展開ばかりでした。

——全員ではないものの、バラバラになっていた探偵社員たちが異能空間に集まることができました。

小山　探偵社員はみんな、福沢よりも一回り以上、下の世代。福沢は彼らの身元引受人でもあり、一番身近にいて守るべきものなので、こうして再会できたことは保護者としていろいろ感じるものがありました。その直前、テロを装った乱歩に助けられるのですが、福沢が最初から乱歩だと分かっていたところは、ちょっと驚きました。

——離れていても通じ合っている、福沢と乱歩の絆を感じましたね。予想を裏切る展開が続いていますが、展開の予想が当たっていた部分はありますか？

小山　いや、予想をはるかに超えていますね。ずっと裏の裏の裏をかいて……という展開が続きますから。特に第5シーズンは、ずっと驚きっぱなしでした。

——では、福地桜痴が黒幕だというのも予想外でしたか？

小山　実はこれに関しては、最初からそうだと思っていたんです。唯一、予想が当たった部分ですね。豪放磊落というのは装うものですから、これは裏があるなと思っていました（笑）。

——敦と芥川や、立原道造との戦いで、福地の異次元の強さが描かれました。彼の持つ異能力や、神刀・雨御前についてはどう思いましたか？

小山　これはもう、勝ち目がないですよね。他の異能力もそうですが、よく考えられているなと。このまま福地と対峙して、本気の殺し合いになれば勝てそうにないと思います。ただ、二人の間にはこれまでの関係性があるから、福地がどう出てくるか分からないですね。

ここからはどう解決していくのかという展開に

——これまでの福沢は、福地の前では普段の様子とは違った顔を見せていたように感じます。二人の関係をどのように捉えていますか？

小山　子供の頃から付き合いがあって、切磋琢磨し合って、腹の底まで知った関係ですからね。先ほど武装探偵社の社員に対しては保護者的立場だと言いましたが、福地に対してだけはそうではないところでの、唯一無二な存在だと思います。

【人間味がある探偵社は不利!?】

——個性豊かなキャラクターがシーズンを増すごとに登場しますが、お気に入りは誰ですか？

小山　自分のいただいたキャラクターが一番ではありますが……。エピソードとしては、与謝野さんの過去回想が印象に残っています。人の命を救う能力がありながら、それ故に人を苦しめることになってしまったところは、気の毒だなと感じました。

——死にかけた戦士を蘇らせ、戦場に送り続けるという残酷なものでしたね。

小山　絶望と苦しみが果てしなく続く、まさに生き地獄ですね。普通の社会であれば、これほど素晴らしい能力はないと思いますが、ああいうところで利用されてしまうと、地獄の連鎖が続いてしまうだけという、恐ろしい話でした。

——敵ながら魅力的だと思うキャラクターはいますか？

小山　フョードルですかね。計算高くて、攻撃性を前に出すことなく存在価値を示しているところが魅力的です。太宰との頭脳戦は、観ていても正直訳が分からなくなるときがあります（笑）。

頭脳面で言えば、探偵社は太宰と乱歩という最強のカードが2枚もあるわけですが、フョードルは手強いですよね。

小山　探偵社側は人間味が残っている分だけ、1対2でも分が悪い気がします。フョードルは普通の生活に興味がないと言いますか、普通の人としての幸せを享受することを求めていない。普通の生活を捨て、それが当たり前になっている時点で、勝ち目がないのではないかと思わされます。

——今後の展開における注目キャラクターを教えてください。

小山　福沢は直接関わりがありませんが、吸血鬼のブラムですね。敵側として登場しましたが、今後微笑ましいところも見えてくるので、ぜひ注目してください。

——最後に読者へメッセージを。

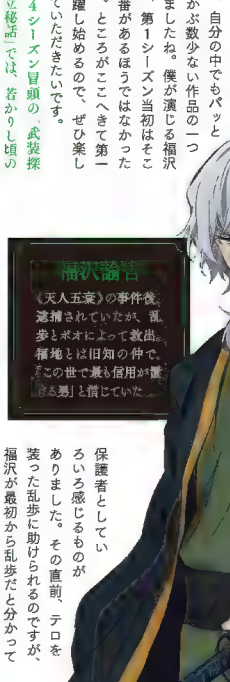
小山　皆さんお待たせしました、ここから小山が頑張りますよ！（笑）これまでが前振りであり、ここからはそれをどう解決していくのかという展開になっていきます。大団円をご期待ください！

名探偵による作戦決行

江戸川乱歩は武装探偵社の頼れる頭脳として、《天人五衰》の企みに立ち向かい、事件解決に奔走する。福沢をはじめ、捕縛された社員たちを次々と救出し、福地の目的が「大指令」であることを突き止める。その受け渡しを阻止するため、作戦を立てるが!!

異能×神刀×英雄

《猟犬》の隊長であり、大空カジノでのテロを受け、国境なき人類軍の司令官に抜擢された福地桜痴。その正体は《天人五衰》の首領「神威」だった——!? 武器の威力を1000倍にする異能を使い、「神刀・雨御前」で過去や未来へ時空を超えて刃を届かせる戦い方に、敵たちはなす術もない。



互いの強さ以外の価値に気付き始めた

シリーズ構成・脚本

榎戸洋司

【時代に先行した主題が描かれている】

アニメ『文豪ストレイドッグス』も第5シーズンに突入しました。ここまでたどり着いた感慨をお聞かせください。

榎戸　正直に言うと、あっという間でした。でもこれだけの長期間、人気を維持しつつ漫画を連載されてきた朝霧カフカ先生、春河35先生の力と、この作品を支持してくださっているファンの皆さんがいなければ実現しなかったアニメシリーズですよね。あとプロデューサーや制作の皆さまにも、とにかく感謝、感謝です。

――第4シーズンでは〈猟犬〉部隊や〈天人五衰〉が登場したことで、これまでの「組織諍バトル」とは違ったテイストになりました。よりサスペンスとしての深みが出た気がしますが、どのように感じていますか？

榎戸　〈猟犬〉部隊と〈天人五衰〉は、首謀者が福地であるために、実は完全な別組織ではない、という原作の仕掛けは面白いですよね。それゆえに福地以外のキャラが、真実を知ったときのリアクションが興味深いです。

――第5シーズンは第4シーズンから地続きになります。今シーズンの構成はどのように決められたのでしょうか？

榎戸　シリーズ構成的には、今までで一番難易度が高かったかも。なぜなら、「天人五衰」編がまだリアルタイムに連載中で、どれくらいの長さになるのかが確定してなかったので。脚本家的には第5シーズンはもう一年くらい先にしてほしかったんですが……あ、やばい、愚痴になっている（笑）。あと、シリーズ冒頭のお約束になっている小説編のアニメ化ですが、第4シーズンがあの終わり方だったので、今回はストレートに本編から始めてみました。ま、ストレートも変化しない変化球の一種、的な感じです。

――そんな第5シーズンのテーマを教えてください。

榎戸　それはずばり、〝戦争〟ですよね。すごくタイムリーなテーマになってしまったわけですが、考えてみれば「共喰い」編のウイルス異能の連載も、コロナのパンデミックより先だったわけで、いつも『文豪ストレイドッグス』は時代に先行した主題が描かれていると思います。

――「文スト」は福沢や森鷗外、夏目漱石など、「おじさんをいかにカッコよく描くか」というテーマがあるそうですが、そこに福地も加わりましたね。

榎戸　福地に関して、原作を読んで一番興味深かったのは大倉燁子との関係です。これは、先の展開を期待してください。

【強さ以外の価値に気付き始めた】

――第52話では、久々に芥川が登場しました。これまでシーズンを重ねる中で、彼にはどんな変化や成長があったと感じていますか？

榎戸　太宰の自分に対する接し方の真の意図、というものに、ようやく芥川も気付き始めたんでしょうね。もともと太宰は芥川に対してはなんの悪意もなく、ただ、芥川という思い込みの激しい弟子への、最適解の方法で接していただけなんですよね。

――第1シーズンや「黒の時代」では、芥川に期待している素振りを見せなかった太宰ですが、第2シーズン以降、少しずつ芥川への優しさを言葉にしています。

榎戸　芥川にとって太宰の存在は、まあ、ひとことで言えば上位自我。芥川にとっての承認欲求の対象のすべてだと思います。

――また、敦と芥川の関係性もシーズンごとに変化がみられます。今シーズンの二人の注目ポイントを教えてください。

榎戸　互いの強さこそが互いを認める価値のすべてだった二人です

森鷗外

森鷗外に〈猟犬〉の潜入捜査官だとバレるが、二重間諜となり真の黒幕を追うことに。福地を追い詰めるも敗れ、プラムに噛まれる。

プラム

異能で《吸血種》へと変容した元人間。肉体と異能を結合させる聖剣が突き立てられた、首だけの状態で、福地に協力を強要されている。

何を足場にするかで理解できる現実が変容する

自由意志の証明

本来は人質事件で死ぬ予定だったニコライが、計画を変更したのはフョードルを殺すため。人生で唯一の理解者であり親友のフョードルを殺すことこそ、真の自由意志の証明になると言う。助けたシグマの自分と相手の欲しい情報を交換する異能を利用し、一体どうやってフョードルを殺すのだろうか?

作戦の真の目的

ブラムは噛んだ人間を己の配下《吸血種》に変え、操ることができる。福地の持つ、武器の性能を上げる異能により、既に感染は世界中に広がっている。だが、大元のブラムを殺すことでその広がりを止めたい。乱歩たちは空港での《大指令》受け渡しを阻止しつつ、ブラム殺害を企てるが――!?

が、今シーズンでようやく、それ以外の価値に気付き始めたのではないでしょうか。

――敦については、頼れる探偵社員の先輩がいなくなり、常に気を張ってきました。他の探偵社員と再会した際に涙ぐんでいたのが印象的です。

榎戸　個人としての自立問題と、組織力の頼もしさは、基本的には別問題ですよね。『文豪ストレイドッグス』のアニメ&原作チームの頼もしさを想うと、僕もつい涙ぐみます。

――第54話の立原VS福地の戦いも見応え満載でした。福地が天敵と認めた立原の戦いぶりをご覧になっていかがでしたか?

榎戸　立原は、「天人五衰」編の象徴的な立ち位置ですよね。二重スパイはアイデンティティクライシスに陥る、とはよく言われることですが。

――福地が黒幕でなければ自分は《狐犬》でもよかったと語った立原ですが、最後は〝マフィア〟の立原道造として立ち向かいました。立原についてはどのような存在として描こうと考えられていたのでしょうか?

榎戸　「真」の現実改変により、〝警察〟は武装探偵社のテロ行為を疑わない、と記されたことが、原作の妙ですよね。軍警としての立原。ポートマフィアとしての立原。どちらの自分かで、理解できる真実が変わってくる。何を足場にするかで理解できる現実が変容するというのは、現実に生きる我々も同様ですよね。

最後にこれからの見どころを含め、ファンに向けてメッセージをお願いします!

榎戸　いつも応援していただいて、ありがとうございます。もう、この後はすべてが見どころです。先の展開を期待していただいて結構です。より完璧な映像化作品になるよう、渾身の力で挑んでいますので、今後ともよろしくお願いします。

新しい世代を担っていく二人

プロデューサー 倉兼千晶（KADOKAWA）

【似ているが相容れない 敦と芥川の共闘】

——アニメ『文豪ストレイドッグス』を続けてきた中で、制作面でどのような変化がありましたか？

倉兼 実はそれほど大きな変化はなくて。ポンズさんやおなじみのメンバーとの信頼関係で、今期も取り組めたと思います。変化といえば、第4シーズンからキービジュアルの方向性を少し変えています（P.20）。それまでは全員がスッと立っていて背景が全部繋がるようなビジュアルでしたが、ポンズの代表取締役である南（雅彦）さんから新規や海外のお客さんにもアクションものであることをわかりやすく伝えたいなと提案があり、みんなで相談して記号として分かりやすく動きを見せる方向性にしました。

その流れでいくと、第5シーズン（P.21）は？

倉兼 五十嵐監督から、福沢と福地の話が主な話になるのでビジュアルはそこに寄りつつ、やっぱり敦と芥川も作品として大事にしたいと強い希望がありました。背景の筆ペンタッチの絵は、キャラクターデザインの新井伸浩さんからのご提案です。第2シーズンの終わりに筆ペンタッチのビジュアルを描いてくださっていて、「それをもう一度やってみたい」ということで。今までやってきたことと新しいことを取り入れたビジュアルになりました。

——第53話で久しぶりに敦と芥川の共闘が描かれました。改めて二人の関係性についてどのように捉えていますか？

倉兼 私個人としては、似たところもあるけれど絶対に相容れない部分のある二人だと感じています。敦が「誰でもいいから隣にいてほしい」と思ったときに現れたのが芥川で、その二人が共闘する、そこにカタルシスを感じます。「僕達二人で？」と訊いた敦に「それ以上必要か？」と答える二人の空気感は、第1シーズンから追っていくと、込み上げるものがあります。そうした、触れ合うことによって起こる変化が、太宰の言うところの「新しい双黒」なのかもしれません。そして、その新しい世代を担っていく二人の前に、福地という存在が立ちはだかるわけです。

——福地の能力はまさに別次元で、二人は絶体絶命の危機に陥りましたね。

倉兼 そんな福地との戦いの中で、「芥川がなぜ自分を庇ったのか」と敦が考えたりするところで、敦の内面がまた変わっていくんだと思います。太宰とは師弟の関係なので、少し甘えてしまうというか、答えを求めてしまいがちですが、芥川相手だとお互いがお互いの存在に甘えることはないので、そう言われるのは二人とも嫌だと思いますが、いい好敵手なんでしょうね。そういう相手が近くにいるのは刺激になりますし、とても良い関係値だと思います。

——敦と芥川を語るうえで、太宰の存在が欠かせませんが、太宰にとって敦と芥川はどういう存在だと思いますか？

倉兼 太宰というキャラクターの心中を語るのは、とても難しいことだと思います。朝霧カフカ先生も「太宰は真ん中が見えないように描いている」とおっしゃっているんですね。そもそもキャラクターを描くにあたっては、「その人の人格の核」が重要であり、それがキャラクターの生き方を決めるのですが、『文ストレイドッグス』における太宰はその真ん中が見えないように作られているといいますか。言い方が難しいのですが、誰かから見た太宰という概念が、そのまま彼というキャラクターを作っているように感じます。決して太宰に核がないのではなく、それを見せないキャラクターデザインをされていると私が感じているだけなのですが。それでもいいことをしようとしているんだろうなと思えるのは、彼が織田作の言葉を守ろうとしているから。私はそう信じています。

——第5シーズンにおける太宰の見どころは？

倉兼 太宰は同じ言語で会話ができるのがフョードルだと思っています。乱歩もそうだと思いますが、「岡」と言えば「畔」と返ってくるし「海」と言えば「山」と返ってくる。お互いそんなに好きじゃないけれど、言葉の通じない世の中で言葉が通じて話せる楽しさはあるんじゃないでしょうか。そんな二人の言葉のやりとりは、今後も見どころになってくると思います。

【福地にも信念があり 止められるのは福沢だけ】

——《天人五衰》の「神威」であることが明らかになった福地は、今期の最重要人物ですよね。

倉兼 福地に関しては、現時点で言えないことが多いんですが……一つ言えるのは、福地が、たとえそれが彼にしか分からないことだとしても、否定されることでもない、彼には彼なりの信念があるということ。登場するすべてのキャラクターがそれぞれの信念で動いているのは、今までのシリーズでもそうでしたが、今回は特にそれを強く感じます。

——福沢と福地の今後の動きに、注目が集まっています。

倉兼 福沢と福地は、一言でいうと「友」なのですが、この歳になるとよく聞く、旧知の仲だからこそ。それぞれが生きてきた中で「道を違えた」と感じることがある、という関係値だと思います。それでも福地のことを分かってあげられるのは福沢だと思いますし、止められるのも福沢なのかなと思います。私は福地と乱歩が言い合っていたときの、「小僧（乱歩）が福沢と出会って今や13年 それでも儂と福沢の時間の半分にも満たん」という台詞が、今回のキーポイントだとも思っています。それぞれが生きている限り、これまで歩んできた時間の長さには勝てないという事実です。第5シーズンのキービジュアルには乱歩の後ろ姿もあります。「探偵社設立秘話」から始まって福沢と乱歩の関係や、武装探偵社の成り立ちが描かれてきたのですが、ラストに向かっていくにしたがって福地と福沢と乱歩の話に繋がっていく。そこは今回のシナリオ構成の妙でもある部分ではないでしょうか。

二人が共闘するカタルシス

——新キャラクターで言うと、プラムの個性が光っていますよね。キャスティングはどのような部分が決め手になったのですか？

倉兼 プラムは五十嵐監督が、「津田（健次郎）さんか、津田さんみたいな声がいい」とおっしゃって、「津田さんみたいな声は津田さんしかいないです」と（笑）。もう本当にそれだけなのですが、真面目なところとお茶目な可愛らしいところのギャップの上手さは、さすが津田さんという感じでした。文とのやり取りは、緊迫した第5シーズンの中ではだいぶ癒しの部類に入ると思いますね。

——第5シーズンで印象に残っているシーンを教えてください。

倉兼 第51話で乱歩の「己の魂で考えろ」という言葉を受けて、刑事の箕浦さんが走り出すところです。「頁」の強制力が働きながらも、それに従わない人々が出てくるという熱い展開で、乱歩の想いやメッセージがダイレクトに伝わるシーンだったと思います。つまり「何を信じるのかは自分で判断しろ」ということです。ここでかかったラックライフさんのED主題歌「軌跡」がまた素敵で、共に歩んできてくれてありがとうございますという気持ちで、目頭が熱くなります。歌詞がとてもいいです。沁みます。

——最後に読者へメッセージをお願いします。

倉兼 企画の立ち上げからもう9年近くなります。観ていただき、応援していただき、本当にありがとうございます。第5シーズンは、今までになかった肝を抜かれる展開が待っていますので、どうか最後まで『文豪ストレイドッグス』に寄り添っていただけたらありがたいです。

二人の関係に大きな転機が訪れた

原作 朝霧カフカ

【常に変化する敦と芥川は、「人生を変える相手」】

――ついにアニメ『文豪ストレイドッグス』も第3シーズンを迎えました。

朝霧　ここまで来ることができたのも、ひとえにファンの皆さまの応援あってこそです。本当に、感謝しかありません。今シーズンも、PVを観た段階で、めちゃくちゃカッコいい映像だなと。本当にスタッフの皆さまにも感謝の思いでいっぱいです。そして雰囲気が、どんどん私の好みの内容になっていく……。テロとか謎の黒幕とか大好きなので。すいません（笑）。

――第4シーズンから《猟犬部隊》や《天人五衰》が登場しましたが、それぞれの立場を描く際に意識していることはありますか？

朝霧　探偵社、マフィア、《猟犬》、《天人五衰》、それらの内部構成員一人一人には、「なぜその組織の一員として戦うか」の理由が個別に存在し、それらが構成員同士で一致することはまずありません。ニコライ、シグマ、フョードル、立原、燐子、条野……。みな個別の動機があり、それらがシンフォニーとなって組織を動かし、時には反発します。その複様図を楽しんでいただければと思います。

――「文スト」の「カッコいいおじさん」枠の一人として、福地をどのように描こうと考えていたのでしょうか？

朝霧　ずばり、「おならをするけど、カッコいいおじさん」です。これは非常に難しい路線です。やれるだけのことはやりましたが、いかがだったでしょうか。

――そんな福地は、今シーズンで福沢との関係が深掘りされていきます。この二人の関係性についてはどのように捉えていますか？

朝霧　福沢諭吉と福地桜痴は史実においても対比されることの多い、当時の偉大な文化人です。いずれも国家の向かう未来について、二人は崇高で壮大で、かつ少し違った意見を持っていました。「真逆であり、似たもの同士であり、偉大である」。そのような関係性を目指して、二人は描かれています。

――敦と芥川は福地と対峙しましたが、今シーズンの二人の注目ポイントを教えてください。

朝霧　やはり注目された豪華客船の戦い、そのラストの芥川の行動でしょう。これが二人の関係の大きな転機となります。彼らの関係を描くうえで意識していることは、常に関係性が変化していくことです。そしてただ変化するだけではなく、相手を知ることによって自分の人生についてのヒントを得たり、自らも変化するきっかけになる、互いにそんな相手になり続けることです。つまり「人生を変える相手」です。

――これまでのシーズンを重ねる中で、芥川にはどんな変化や成長があったと感じていますか？

朝霧　芥川は敵並か、あるいはそれ以上に変化したキャラだと思います。基本的に連載ものはキャラクターの変化・変調を好みません。キャラの解釈違いやファン離れの危険があるからです。しかし芥川の変化はまさに輝かしい成長であり、偉業であり、人間の持つ力の証明とも言えるものです。そして彼の成長は道半ば。どんな完成をみるか、作者である私も楽しみです。

――一方の敦については、探偵社員としての成長をどのように考えますか？

朝霧　原作1巻の時点では、敦を「会社のために滅私奉公！」というような考えをするキャラにはしまい、と考えていました。そういう時代ではもうなかろう、という肌感覚があったからです。しかし今、「探偵社員が集まればこんなピンチ、乗り越えられるのに」と熱望し、それが叶えられて喜ぶ敦を見て、彼は本当によい会社に、自らを捧げる価値のある会社に入れたのだなあ、と嬉しく思います。

――敦と芥川の関係性に変化があったように、芥川と太宰の関係も前進したように感じました。第53話の芥川の台詞にある、これまで太宰から受けた命は「凡てが試練であり意味ある生の一部」なのでしょうか？

朝霧　言うまでもなく、太宰はこの世で最も芥川を成長させる資質を持った人間です。太宰には芥川を育成させるためのビジョンがあり、そのために何が必要かも完全に理解しています。観察者である我々は、そのビジョンを断片的にしか見ることができません。ただ、少なくとも言えるのは、太宰の育成プランが間違っていたことは一度もないということです。

――芥川にとっての太宰とはどんな存在なのでしょうか？

朝霧　実は「黒の時代」の時点ですでに、太宰は「芥川は遠からずマフィアでも最強の異能者になる」と非常に高く評価する発言をしています。ただ本人の前でそれを言わないだけです。言わない理由は、太宰は芥川にとって「生きる意味を与え続ける存在」でなくてはならないから。今のところ、その試みは完全に成功しています。

【立原は敵と味方を振り回す極地といえる存在】

――福地と対峙した、立原の戦いについてはどのように考えていますか？

朝霧　私は大番狂わせがとても好きなんです。主人公と敵が戦えば、主人公が勝つということは仕方ないし、大番狂わせは起きません。しかし敵同士、たとえば立原と福地、燐子とシグマが戦うなら、どちらが勝ってもおかしくありません。そういう戦いが本当に好きです。立原は普通にやれば「誰が勝ってるの？」レベルで強い異能者ですが、さすがに福地には勝てませんでした。ちょっと勝ってほしかった……。

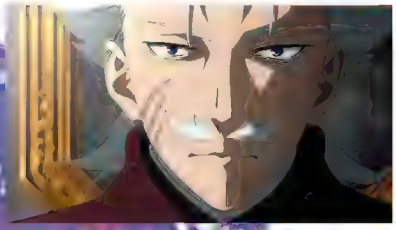
――立原についてはどのような存在として描こうとしましたか？

朝霧　悪と正義、敵と味方をむちゃくちゃにミックスして振り回すのが「天人五衰」編の基本路線ですが、立原はその極地とも言える存在です。探偵社が犯罪者（悪者）となり、元敵であるマフィアの構成員である立原が正義の警察と判明し、主人公の敵として立ちはだかります。しかし途中で探偵社を信じ、テロの黒幕（世間的には英雄）にマフィア（世間的には悪人）として戦いを挑む。もうむちゃくちゃです。それがいい。とてもいいキャラになってくれたと思います。

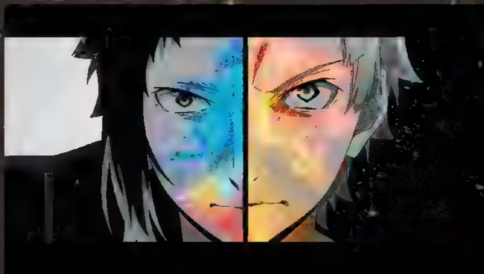
――最後にファンに向けてメッセージをお願いします！

朝霧　ここまで長くアニメシーズンを続けてこられたのは、100%どこまでも純粋に、応援してくれるファンの皆さまのおかげです。この巨大な感謝をどのように表せばいいか、適した言葉が見つかりません。できるのは、皆さまの期待に応え続け、面白いストーリーを作り続けること。それしかないと考え、これからも努力して参ります。

太宰の試みは完全に成功しています



OP主題歌「鉄の檻」



時代の息苦しさになぞらえて

OPアーティスト

GRANRODEO

KISHOW（谷山紀章）

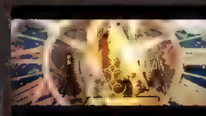
たにやま きしょう・8月11日生まれ／山口県出身／賢プロダクション所属／主な出演作は『うたの☆プリンスさまっ♪』（四ノ宮那月）、『ラブオールプレー』（遊佐賢人）ほか。ロックユニットGRANRODEO（グランロデオ）では、KISHOWとしてボーカルを担当

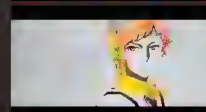
歌に思いを乗せて

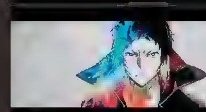
音楽で『文豪ストレイドッグス』の世界を彩り続けてきたGRANRODEOとラックライフ。第5シーズンまでたどり着いた今、改めてこれまでの歩みを振り返る。

中原中也

元・太宰の相棒でポートマフィアの幹部の一人。重力を操る異能力者で、剛力な体術を使う。森の命で探偵社救出に一役買って出た







【どんな言葉を用いても受け止めてくれる作品】

――『文豪ストレイドッグス』のOP主題歌を担当されるのは、実写[illegible]る難しさはありますか？

KISHOW　以前、別作品で何曲もやらせていただいたときは、本当に大変だったんですよ。でも、『文豪ストレイドッグス』に関しては、どんな言葉を用いても受け止めてくれそうな土壌がある気がします。作り手側の僕としては、作品の懐の深さを勝手に感じているんですよね。何をやってもハマってくれる、ある種の甘えみたいなところがあって（笑）。わざとどうとでも取れるような歌詞に仕上がるのが、僕の癖でもあるんだけど、そのファジーさが結果的にこの作品にハマっていただいている。そんなご判断をいただいている気がします。特に今回の「鉄の檻」は『文スト』じゃなくても通用しそうな曲調で、オリエンタルなイントロからガンって入るのがちょっと意外な感じもありますよね。

――「鉄の檻」は、どういうテーマで作詞されたのですか？

KISHOW　偉そうに言うと、時代の世相みたいな……コロナ禍があって息苦しい世間を「鉄の檻」という言葉になぞらえて。そこを出発点に、あとはその言葉をどんどん開放して、広がっていくイメージで作詞していきました。さっきの話と繋がるんだけど、作品とは多少別なものが混じったケレン味を出してもいいという我がままが、『文スト』という作品では許されると思っているんですよ。

――谷山さんは一気に歌詞を書き上げるタイプだそうですが、それは今回も？

KISHOW　そうですね。迷うのが嫌だし、迷って一回作業が中断するよりはギュッと2、3時間集中して、その間に書き上げたい衝動のほうが強い。いつも「ここまででもういいや、このまま行っちゃえ」という開き直りと、「いや、ここはちょっとやりすぎだよ」というストッパーのバランスがなかなか難しいんだけど、今回は見事に開き直ったかな。

――その開き直りが、今回も作[illegible]ているフレーズ等はありますか？

KISHOW　たぶんリスニングでは聴き取れないと思いますよ（笑）。この異様な違和感が、またクセになってくれるんじゃないかなという狙いもあって。第1シーズンのOP主題歌「TRASH CANDY」のときに、「よく分からないことゴチョゴチョ言っているけど、歌詞カード見たら、あ〜こういうことを歌っていたんだ」というノリが、顕著だったような気がするんですよ。それをセルフパロディしたというわけでもないんですが、もう一度ゴチャっと歌ってみようという、自分的、ボーカリスト的、作詞的裏テーマが実はありました。特にサビの部分は、違和感を置いてきたって感じですね。

――OP映像[illegible]したか？

KISHOW（視聴後）……前言撤回ですね、聴き取れないのはサビだけじゃなかったです（笑）。しかも、わざと聴き取れないように歌ってやろうというのもあったと思う。これはもう意味分かんないでしょ（笑）。作品と皆さんに相当甘えていますね〜。でも、こうやって映像がつくと、それでも様になってしまうのが、この『文スト』という作品の懐の深さですよ。すげーカッコいい映像に仕上がってますね！

【太宰と中也の深みがより感じられるはず】

――第4シーズン第44話では、GRANRODEO・KISHOWこと谷山紀章さん演じる中原中也が、《猟犬》に追い詰められた武装探偵社員を助けに颯爽と現れましたね

KISHOW　非常に美味しいところを持っていきましたよね。声優としては、「中也、もっと出てよ〜！」という思いはあるんですが、それは言いっこなしで（笑）。キャラクターを見守る視点で言うと、作品世界の中で、彼はとても恵まれていると思いますね。

――第5シーズンのPVに、中也の姿もチラリと映っていました。ファンに向けて、これから活躍する中也の見どころを[illegible]

KISHOW　これまでの中也と同じく、今回も美味しい場面で登場します……くらいしか言えないですね（笑）。この第5シーズンを最後まで見届けていただければ、太宰と中也が築き上げてきた関係性の深みも、より感じられるんじゃないかなと思います。ま、太宰ばっかり喋っているから、マモ（宮野真守）は大変そうだったけど。マモ忙しいからさ〜（笑）。アフレコ現場でも「マモさん大変だね」というやり取りをしていました。

――改めて谷山さんが思う『文豪ストレイドッグス』の魅力を教えてください

KISHOW　今更な話ではありますが、やっぱり『文豪ストレイドッグス』というタイトルはキャッチーですよね。実在の文豪たちをどんどんキャラクター化していくスタイルも、今改めて考えても特許ものだなと感じます。それに加えて、スタイリッシュな絵柄と、尽きないアイデアで展開していく複雑なストーリー。本当にすごくよくできた、切れ味のある作品だと思います。あと、やっぱ主題歌がいいんじゃないっすか！（笑）

――その通りですね（笑）。最後に読者へメッセージをお願いします

KISHOW　8月30日にはいよいよ「鉄の檻」がリリースされます。9月からスタートするGRANRODEO LIVE TOUR 2023のタイトルも、この「鉄の檻」からとって"Escape from the Iron cage"となっています。「鉄の檻」で『文豪ストレイドッグス』のOPに花を添えることができたなら、第5シーズンの世界にマッチしていると皆さんに思っていただければ、これほど幸せなことはありません。なにとぞ今後もご贔屓によろしくお願いします。

Q 武装探偵社のメンバーをポートマフィアに引き抜くなら誰がいい？

KISHOW　そりゃ乱歩さんでしょう！　だって賢いもん（笑）。味方にいるとこれほど頼もしい男はいないんじゃないかな。国木田くんもね、すげーイジれそうで面白いけど、やっぱ引き抜くなら乱歩さんかな。

見つけてくれてありがとう

EDアーティスト

ラックライフ PON

ぽん　1988年9月7日生まれ／大阪府出身／Hags Entertainment所属／4ピースギターロックバンド「ラックライフ」のボーカル＆ギター。2016年、『文豪ストレイドッグス』エンディングテーマとなるシングル『名前を呼ぶよ』にてメジャーデビュー

ED主題歌「軌跡」

【一緒に歩んできたから作れた曲】

――[illegible]ED主題歌[illegible]ンのお話が来たときのお気持ちは？

PON　ずっと担当させていただいている作品なので、「そりゃあそうでしょ！」という気持ちもありつつ（笑）、必要とされているのはやっぱり嬉しいですね。信頼してくださっている気持ちに応えられるよう、これまでのものを超えていくような曲を作らなきゃいけないなと、今回も燃えたぎりました。

――今回の「軌跡」は、どのような[illegible]で制作しましたか？

PON　物語のクライマックス、大きな山場を迎えるにあたってのテンション感を意識しました。『文豪ストレイドッグス』と一緒に歩んできた7年間の軌跡や、15年間ずっとバンドをやり続けてきたこと、人として34年間ずっと生きてきたこと、その中でいろいろな人と出会って、どんどん輪が広がって、応援してくれる人が増えて……みたいなこともイメージしましたね。

――歌詞にはこれまでのED主題歌のタイトルが入っていますよね。

PON　レーベルの人との話し合いで、「今までずっと担当しているからこそできることがあるんじゃないか。フレーズを混ぜ込んだり、歌詞でこれまでを表現してみたりするのはどうか」と言われたんです。そのときは「そんな無茶ぶりはやめてくれよ～」と思っていましたが、ワンマンライブをやったときに『文スト』の製作委員会からいただいたフラワースタンドに、タイトルを複数個並べて文章にした看板が飾ってあって。それをヒントにして、歌詞に全曲のタイトルを入れることにしました。

――まさにラックライフだからこそできた曲になりましたね。

PON　そうですね。僕らにしかできないことだと思います。ずっとやらせていただいたからこそ思い出もあるし、歴史もあるし。ちゃんと一緒に歩んできたという自負や自信もあるので。

――ファンの間でも、その歌詞が[illegible]

PON　めちゃくちゃ嬉しかったですね。「気付いてくれるかな」と、ずっとエゴサーチしていましたから（笑）。話が進むにつれて、物語と重なる部分をどんどん探してもらえたらいいなと思います。第51話のラストでは、乱歩さんの独演会と同じタイミングで流れたじゃないですか。自分の曲も聴きたいし、乱歩さんの話も聴きたいしで、「どうしよう⁉」と思いながらオンエアを観ていました（笑）。最後にバッと曲だけ浮き上がる瞬間は、ゾクゾクしましたね。

――[illegible]の気持ちが含まれているように感[illegible]たのですが。

PON　芥川が太宰さんに、敦が太宰さんに、太宰さんが織田作に、乱歩さんが社長に、与謝野さんが乱歩さんに……これまでいろいろと救われた瞬間、「ここにいてもいい」という判子をもらった瞬間みたいなものがあったじゃないですか。『文スト』ってそういう物語だと思うんですよね。「じゃあ自分にとってそれは何か」と考えたときに、『文スト』が7年間ずっとラックライフにED主題歌を任せてくれていることが、ラックライフがラックライフでいられる一つの理由なのかなと。それが「見つけてくれてありがとう」の気持ちなんです。言ってみれば、ラックライフの『文スト』への思いを曲にしているんです。

アニメの[illegible]

Q お気に入りのキャラクターを教えてください。

PON　乱歩さんです。第4シーズンの「探偵社設立秘話」での画面がモノクロ調からカラーに変わる演出は、鳥肌が立ちました。第51話の乱歩さんの独演会も、原作ですごく好きだったシーンなので、映像で観られたのも嬉しかったです。

【物語を自分の人生に落とし込み〝本当〟を歌う】

――[illegible]リシーや、大事にしていることを教[illegible]

PON　〝本当〟を歌うこと。僕はノンフィクションというか、実際に自分の人生の中で起きた出来事を曲にしたほうが、歌っていてしっくりくるんです。だから『文スト』のED主題歌を書き下ろすときも、物語を自分の人生にちゃんと落とし込んで、キャラクターたちと同じ気持ちのところを歌にすることを大切にしました。僕は誰かの気持ちになろうとかアーティスティックなことはあまり得意じゃないけれど、自分の気持ちをストレートに伝えることは得意だと思うので。まず自分の人生と重なるようなアニメのシーンを探して、それを見つけたら自分の人生のことだけを思い出しながら曲にする。それが一番その作品に近付けるんじゃないかなと思っています。

――改めてPONさんが思う『文スト』の魅力を教えてください。

PON　まずシンプルに、みんなカッコいいですよね。それと、異能力バトルアニメというより、ヒューマンドラマっぽい。なんとなく出ているキャラクターがいなくて、全員にちゃんと背景や信念があるんですよ。誰も悪者じゃなくて、それぞれの正義があって行動している。過去もかなり深いところまで掘り下げてくれますしね。第4シーズンでは、ポートマフィアの立原が《猟犬》という展開も、本当にビックリしました。ここから立原がどうなるのかも楽しみです。

――最後に読者へメッセージをお願いします。

PON　僕らは15年間ずっとライブハウスでライブばかりやってきたバンドです。直接目を見て〝本当のこと〟を歌うという威力を感じてほしいので、ぜひライブハウスにも来ていただきたいです。きっと、なにか一つ人生が変わると思います。TVでアニメに重ねて聴く、好きなキャラクターに置き換えて聴くのも最高な音楽の聴き方ですが、直で歌われる経験をぜひラックライフのライブで体験してほしいです。

『文[illegible]

[illegible]と、作品と一緒に歩んできた7年間の感謝を込めたED主題歌「軌跡」。全く別のアプローチでありながら、「『文豪ストレイドッグス』の音楽だ」と思わせる説得力が、両者の音楽にはある。

クライマックスとなる第5シーズンも、音楽と共に作品の世界を存分に堪能しよう！

TVアニメ『文豪ストレイドッグス』[illegible]

GRANRODEO「鉄の檻」

[illegible]8月30日(水)[illegible]

TVアニメ[illegible]

ラックライフ「軌跡」

[illegible]

星

呪術は非術師を守るために存在すると考えていた夏油だが、自身の中で非術師の存在が揺らいでいた。非術師をしいては自分、それを否定する自分、そのどちらを本当にするか――夏油が選択したのは、前者だった。

特級呪術師・九十九由基との出会い、後輩・灰原雄の死、非術師による双子への虐待、そして一人で「最強」となってしまった五条との溝。夏油が高専を離反したのは、さまざまな要因が積み重なった結果であり、遡る前から夏油はギリギリの精神状態だったのかもしれない。

一方、夏油の離反に驚きを隠せない五条だが、本当に夏油の変化に気づいていなかったのだろうか。夏油を止めに行った際、「君にならできるだろ」と言われて一瞬言葉を詰まらせてしまったのは、夏油と自分は違うと心のどこかで思っていたのか……

第29話（第2期第5話）のラストでは、五条が眠りから覚め、いよいよ現代へと時間が戻る。親友と過ごした夢のような日々と、悪夢であってほしいほどの苦い記憶――。教師として未来を担う術師を育成する五条は、これからも夢を見続けるのだろうか。

五条 悟

特級呪術師。伏黒甚爾との決闘をきっかけに覚醒、現代最強の呪術師となった。反転術式を会得し、最小限のリソースで無下限呪術を展開し続けることが可能に。任務も一人でこなす。

近接戦闘も得意

わざと攻撃を誘って、呪詛師を倒した夏油。最強を自負するだけあって、呪霊による遠距離攻撃だけでなく、高い攻撃力と格闘術も兼ね備えたバランスのいい戦い方を見せる。

ら覚めて

最強の呪術師・五条と
最悪の呪詛師・夏油の
始まりを描いた「懐玉・玉折」が完結！
物語は現代へと戻り「渋谷事変」が
いよいよ開幕する！！

仇は討てず

目の前で理子を撃ち、五条も殺したと言う甚爾に、夏油は激しく怒りながらも冷静に攻撃を仕掛ける。しかし、最高硬度の虹龍を切り裂くなど、甚爾のほうが一枚上手!?

正反対な後輩二人

五条たちの応援として、七海と灰原も沖縄へ。灰原がやる気に満ち溢れる一方、七海は「一年に務まる任務じゃない」と、消極的。この頃から時間外労働嫌いの片鱗が垣間見える。

理子の本音

天元と同化することを前向きに受け入れているように見えた理子だが、「もっと皆と…　一緒にいたい」と、涙を流して本音をこぼす。そんな彼女に、夏油は手を差し伸べるが……。

甚爾の策略

理子に時間制限付きの懸賞金をかけたのは、五条の力を削り、偽のゴールを作って油断させるため。その甚爾の策略が見事ハマり、五条は術式を解除した瞬間に刺されてしまう！

ビジネスライク

孔曰く、甚爾と関わるのは仕事か地獄だけと決めているという。ビジネスライクな関係ではあるが、甚爾の意図を察知して動くなど、彼のことをちゃんと理解していることがうかがえる。

眠り か
二人から一人に
「俺達最強だし」「私達は最強なんだ」と言っていた二人。しかし、覚醒した五条は一人で最強となってしまった。繁忙期による余裕のなさが、次第に夏油の心を蝕んでいく。
真の最強に
甚爾に殺されかかったことで、反転術式を会得して覚醒した五条。「今はただただこの世界がふ地良い」と、ハイなテンションのまま虚式「茈（むらさき）」を放ち、甚爾を仕留め果たした。
呪術廻戦
懐玉・玉折／渋谷事変
□毎週木曜日□夜11時56分□MBS/TBS系
HP□jujutsukaisen.jp
©芥見下々・集英社／「呪術廻戦」製作委員会
夏油傑
Suguru Geto
星漿体の件を境に、「呪術は非術師を守るためにある」という理念が揺らぎ始める。高専を離反後、元・盤星教の宗教団体を乗っ取った。
離反
非術師を見下す自分と、それを否定する自分。さまざまな要因が重なり、夏油が選んだのは前者だった。双子を虐待していた村人を皆殺しにした夏油は、高専を離反し、非術師のいない術師だけの世界を目指す。
硝子の本心
五条と夏油がケンカしそうな雰囲気になればそっと逃げ出すなど、我関せずなマイペースの硝子。離反した夏油が目の前に現れた際も普段通りだったが、本心は硝子にしかわからない。
自分を肯定するために
普段の甚爾ならタダ働きなどしない。しかし、現代最強の呪術師となった五条を倒せば、天与呪縛として呪術界に否定された自分を肯定できる、と戦う道を選択する。
後輩の死
愚かな非術師を守るために、仲間の術師が命を落とさなければならないのか。夏油を慕っていた後輩・灰原の死により、術師というマラソンゲームの果てにあるビジョンに影が差す。
九十九由基との会話
以前は五条に「呪術は非術師を守るためにある」と語っていた夏油だが、自身の中で非術師の価値が揺らいでいた。九十九からは、本音を選択するのはこれからだと言われるが……。
恵と五条
息子の存在を本気で忘れていた甚爾だが、死に際に「好きにしろ」と五条へ託した。その息子こそ小学1年生の恵であり、恵と五条がこの頃からの関係だということが明らかになる。

全てを持つ者の人間性

五条 悟役

中村悠一

Yuichi Nakamura
2月20日生まれ　香川県出身　インテンション所属　最近の出演作に、『Lv1魔王とワンルーム勇者』マックス、『アンデッドアンラック』アンディ　ほか

全てを持つ者と全てを持たぬ者

伏黒甚爾との最後の戦闘シーンを演じての感想をお聞かせください。

中村　五条は反転術式を会得したばかりで、ハイになってペラペラ喋っているんですよね。甚爾のモノローグでも「コイツ　ハイになってる…？」と言われていますが、「俺こんなこと気づいちゃったんだよ」「だからこれがついにできたってわけ」みたいな話を、一方的にしているだけで、甚爾とは会話になっていない。「コイツ、一方的に喋り出したな」と聞こえるようなテンション感、距離感のズレを意識しました。

――掛け合いではなかったと。

中村　甚爾に対して喋っていないんですよね。誰に対してでもなく、ある意味独り言なんです。相当大きな独り言を、突然喋り出しているように見える。ともすれば「アイツ、様子がおかしいな」と見えるような描写のつもりで演じました。

その直前の戦いでは、五条は甚爾に敗れますが、甚爾の戦い方や強さをどう感じていますか？

中村　設定上のみで考えると、甚爾は実は弱いキャラクターになるんですよね。呪力がマストの世界において、呪力を持たない異端の存在です。でも、それを補って余りあるフィジカルの強さと五感を持ち合わせていて、本人も恐らく呪術師と戦うことを考えた上での戦術を取っている。なぜ対呪術師の戦いを考えて動いているのか？　なぜ術師殺しと呼ばれるようになったのか？　それを考察していくのも面白いキャラクターだなと感じました。

中村さんはどう考察しているのでしょうか？

中村　自分がいた禪院家に対しての感情や、復讐が根底にあるのかなと思います。そういうものがあるからこそ、そこに特化した戦術を身につけているんだろうなと。強いけれど、その強さを驕らず、ゲリラ戦に特化しているような部分があるので、油断がならない人物です。

短期間でしか登場しませんが、甚爾は非常に重要なキャラクターでもありますよね。設定的にいうと、五条と対になっています。五条は全てを持って生まれてきて、そのまま御三家である五条家の中で成長して、強くなった。一方、甚爾は全てを持たずに生まれてきて、禪院家を捨てて、ある種の最強の形のひとつにたどり着いた。この対比構図は面白いし、「呪力、呪術で戦います」というテーマになっている作品の中で、呪力を持たない人間がどういうふうに関わってくるかがしっかり表現されている。『呪術廻戦』の世界を描く上で、彼の設定周りがすごく重要なんだなというのは、今回のエピソードを観た後に改めて感じました。

夏油の変化に五条は気づいていた？

離反した夏油と新宿で対峙するシーンは、五条の心情をどのように捉えて演じましたか？

中村　実はここの第29話（第2期第5話）「玉折」は、他の話数とは違って明確なディレクションがあり、それを受けておぜ居した面が大きかったんです。最初に僕が感じてアプローチしたのは、五条はそもそも人の気持ちがわからない人だということ。なぜなら全てを持って生まれてしまったがゆえに、周りが彼に気を遣って生きているから。五条は人に気を遣わず生きてきたからこそ、人の気持ちがわからない　そういう人間性になっていると、僕は考えました。だから夏油が何かに悩んでいるとか、どんどん悪い方向に道を踏み外そうとしているとか、そういった部分に、多分一切気づいていないんじゃないかなと思ったんです。

五条の背景を考えると、確かに気づいていなくてもおかしくはないですね。

中村　第29話の冒頭で、「俺、目覚

めちゃってこんなことができるようになっちゃったんだよ」といった術式の話も、彼の中での自己満で喋っているのかなって。術式の説明ではあるんですけど、何か意図があって話しているのではなく、単純に「こんなことができるようになって、今こんなことしてるんだよね」と話しているだけなんですよね。その後に「傑ちょっと痩せた？」と言ったのも、本当にただそのときにふと思ったから声をかけただけで。夏油からすると、いつも通りだと思っていたらどんどん最強になっていく五条を見て、彼の力があれば世の中を変えられるかもしれないけれど、自分にはその力はない。五条とは親友だと思っていたし、同じ場所にいたと思っていたのに、そこでフィールドが違うことに気づいてしまったわけです。

――だから離れてしまったと。

中村　五条に説明をして、自分の立場をハッキリさせることはできない。それゆえに何も告げずに離れていく道を、ちょっとず つ進んでしまったのかなと思います。

――新宿での再会のシーンについては？

中村　最後の説得で新宿に現れるところも、五条のほうは最初は「何やってんだよ」というテンション感だと思っていたんです。本当は突然じゃないんだけれど、五条としては急に夏油が変わったとしか思っていないから、彼はまだ自分の言葉で説得できるくらいに考えていた。そんな根拠のない自信で会ってみたら、全然話ができないし通じなくて、だんだんイライラして接している……というプランニングを僕は考えていたんです。

それかディレクションでどのように変わったのでしょうか？

中村　監督からは、「冒頭のシーンから、夏油の様子がおかしいことも汲んだ上で話をしてください」と言われたんです。「なんとなく夏油の様子を察して、ちょっと話を聞き出すじゃないけれど、五条なりに寄り添うような空気を出してほしい」というディレクションでした。なので、アフローチとしては「ちょっと聞いてよー」と、夏油の気を引いて話すイメージというか。「なんか変なこと考えてないで、こっちに来なよ」といった気持ちですね。後半の説得しにいくシーンも、もっと「話を聞くから」「なんか言ってくれよ」みたいな想いが根っこにあるような演技に切り替えました。

「懐玉・玉折」を終えた今、改めて振り返っての気持ちをお聞かせください。

中村　天内理子と出会い、その子を巡っての感情の揺れ動きがキャラクターによって違うんだなと感じました。夏油は彼女の護衛任務にあたったことを切っ掛けに、呪術の世界に巻き込まれていく人や、術師と非術師の関係性に思うところが生まれた。五条としては、多分もうちょっと浅いところで彼女を個人として受け止め、これから死ぬことが確定している人生を送る彼女に、自分は何ができるかと考えた。沖縄で遊ぶというような、本当に小さなことしかできないけれど、それを全力でやろうとしたんですよね。捉え方がみんなそれぞれ違うんだな、彼女が死んだことによって思う感情もやっぱり違うんだなと。エピソードとして短かったからこそ、よりみんなの違いが印象に残りました。

所属　主な出演作は『魔法使いの嫁』シルキー、『おそ松さん』トド子、『銀河英雄伝説 Die Neue These』フンデリカ・グリーンヒル　ほか

Shoko Tatsumi

「ひゅーひょいっ」の感覚で、自覚なく反転術式を他人に使用できる。高専を離反した夏油が現れた際に変わらぬ態度で、五条に連絡を入れていた

家入硝子役

遠藤 綾

一人欠けたら なにか違う

かけがえのない3人の日々

「懐玉・玉折」が終わりましたが、故めて高専時代の硝子を演じられていかがでしたか？

遠藤　高専時代の硝子に何があったのかは、そこまで詳しく描かれているわけではないんですよね。でも、五条や夏油がいて、つるんでいる感じも楽しそうだし、もちろん近くにいないときもそれなりに楽しんでいたんだろうなと思いました。

硝子、五条、夏油の関係性について、どんなところが魅力だと感じましたか？

遠藤　お互いに知らないことはあると思うのですが……気心が知れている3人なんだと思います。「面倒くさいけど、まぁまぁいいヤツなんじゃないの」と思っているような気がするんですよね。たとえ何年も会っていなくても、再会したら「よっ！」と言えそうな感じを想像できるところが、彼らの魅力かなとも思います。

言葉や態度に出さなくても、繋がっているような雰囲気がありますよね。

遠藤　20代の硝子も10代の硝子も、人に興味があるのかないのか、よくわからないような感じがありますよね。でも、五条に対しても夏油に対しても、きっと彼女なりに考えていると思うんです。その上で何事にも動じないのかなと。硝子みたいな子が一人いると、頼もしいですよね。何かあっても慌てる子ではないからこそ、あの日、あの時間、あの場所……新宿の喫煙所で硝子の前に夏油が現れたのも、必然だったのかなと思います。

――夏油の離反を聞いたときも、硝子は動じなかったと思いますか？

遠藤　うーん、どうなんだろう……。離反したことを知らされた場面って、五条は描かれているけれど、硝子は描かれていないんですよね。喫煙所に夏油が来たときには、すでに硝子は知っている感じだったので、その前に知らされていたとは思いますが。想像でしかありませんが、何か思うことがあったからこそ、気持ちを落ち着かせるためにタバコを吸いにいったのかなという気もします。人がいっぱいいるところでタバコを吸う――その気持ちは私にはわからないのですが、一人で吸うより雑踏にまみれて吸いたい気分だったのかなと。3人でいられなくなっちゃうのは、やっぱり硝子も嫌だったと思うんですよね。ずっと一緒にいたいわけではないけれど、一人欠けたらなんか違うし、「クズ共」と言えなくなるのは嫌だと思ったんじゃないかな。「クズ」じゃ足りないんですよね、「クズ共」じゃないと（笑）。

クズは、一人、緒にいてこそだと。何か思うところはあったのかもしれませんが、喫煙所での夏油との会話は、表向きはいつも通りの硝子という感じでしたね。

遠藤　五条との電話も結構フランクに喋っていましたね。ここは普通の喋り方というか、ディレクションでも「どこを立てるかとかはいらない」と言われので、本当にサラリという感じで喋りました。そうやって普通に喋っていつも通りなところも、一人っぱいなという感じがするし、硝子のいるところに夏油が来た意味も、そういうところにあるのかなと想像しちゃいました。

ずっと一緒にいた家族との別れ

理子を守るためにアフレコも本気で！

黒井が攫われてからの沖縄行きは、急展開でしたね。

清水 いきなりすぎでしたね（笑）。びっくりしました。原作を読んでいたときも、すごく重い展開でハラハラしながら「どうなるんだろう？」とページをめくったら、「沖縄？　めんそーれ？」みたいな（笑）。

清水 わかるわかる！「え、ページ飛ばしたかな？」と思いましたもん。

永瀬 そう思いますよね。アフレコのときも、緊張感があったすぐ後のシーンで、私と五条が「めんそーれ！!!!」と言うので、テンション差どうした!?」みたいな（笑）。

清水 でも、すごくかわいかったです。中村（悠一）さんと一緒に収録したんですよね。

永瀬 そう、一緒に録りました。

清水 息ピッタリで、本当に楽しそうでした。

永瀬 アバンとAパートで違いすぎないか、という感じでしたが（笑）。「沖縄に行く前のシーンでは、黒井の戦闘シーンもありました。

清水 黒井の見せ場ですね。あの紙袋との対峙シーンは、オーディションでもあったんです。

永瀬 そうだったんですね。

清水 それもあって、あのシーンは気合いが入りすぎて、ちょっと空回りしちゃったんですが（笑）。

永瀬 でも、ちゃんと怖かったです！

清水 本当!?　もうどれくらいやっていいのか、わからなくなって……。

■ 原作を読んだときのイメージは、もっと冷静にメイドとして仕事をしている感じだったんですが、「大切な家族に手を出したら許さん」のような、本当に家族のことを守ろうとしてくれているみたいで。あ、めっちゃ怒ってくれてる！」と思いました（笑）。

清水 理子様を守るために、ガチでした（笑）。ドスを効かせて、「殺すぞ」の「ろ」をちょっと巻き目に言おうかなと考えたりして。本当は戦いのシーンにアドリブを入れたかったんですが、アドリブを入れると逆に弱く聞こえたり、余裕さがなかったりして、強さを表現できないと思ったんですよね。なので、あえてアドリブは入れずにテストでやってみたら、そのままOKをいただけたので、監督と同じイメージを持てたんだなと、ちょっと安心しました。

――甚爾の印象をお聞かせください。

清水 どうでした？

■ 甚爾さん……。

清水 そりゃ恨みもあるよね。私もそうだし（笑）。

■ 会って間もない人に撃たれるって……ねぇ……。でも、甚爾さんってすごくビジュアルがいいじゃないですか。

清水 そうなの、ズルいよね。

■ みんなもこういう悪い男、ウズ男に惹かれるんですかね？

清水 ヒモだしね。

■ 悪役なのに、人気なのってもうズルい！

清水 しかも、声が子安（武人）さんでしょ？

あのモノローグに甚爾の想いの全てがある

――前号のインタビューで、「甚爾はこの『懐玉・玉折』で、全力で五条らの前に立ちはだかります」とおっしゃっていました。実際に五条や夏油との戦闘シーンを演じられていかがでしたか？

子安 強い敵として立ちはだかると言っても、感情や気持ちをぶつけたりというシーンはなかったんですよね。そういうことではなく、五条と夏油が強いヤツにぶつかり、結果的にそこでどういうものが生まれるのか……という形になっている。彼ら二人の進路や、気持ちの変化の切っ掛けにあたる部分を担っている役なんです。そういう意味では記号的な形で演じなければいけなかったので、心の動きや感情を抑えるのが正直難しかったですね。

あくまでメインは五条と夏油であると。

子安 その通りです。甚爾は五条と夏油の過去の話の中に出てきているだけであって、これは伏黒甚爾の話ではない。そこは役者・子安としては、非常にもどかしいところではありました。あくまで五条と夏油を引き立てる立ち位置なので、甚爾の人間性の部分をもっと演じたいと思っても、そこが描かれているわけではないですから。

――そんな中で、口裂け女に言った「ここはあえて　趣味じゃねぇ」というセリフは、彼の背景が見えるセリフでもあったのかなと感じました。

子安 あそこはすごくカッコいいですよね。原作の芥見下々先生も甚爾のヒモっぽさを意識して、ああいう言い回しにしたのかなと。アニメではカメラが寄ってきて、バストアップくらいになってからのあのセリフだったんです。「ここは決めゼリフだろう！」と気合いを入れてやったのですが、ディレクションで「カッ

天内理子 Riko Amanai

天元と逆合する星辰体として育てられてきた。自分の宿命を受け入れており、最後にそれに抗おうと決めたところ、甚爾に撃たれる

黒井美里役
清水理沙

天内理子役
永瀬アンナ

黒井美里 Misato Kuroi

理子が幼い頃に両親を亡くしてから、ずっと世話をしてきた家族のような存在。理子を狙う呪詛師には容赦はしない

Anna Nagase
7月31日生まれ／東京都出身／81プロデュース所属／主な出演作は『サマータイムレンダ』（ウシオ、小舟潮）、『ユーレイデコ』（ハック）ほか

Risa Shimizu
9月9日生まれ／神奈川県出身／アクセント所属／主な出演作は『デリシャスパーティ♡プリキュア』（美羽ここね）、『キュアスパイシー』、『それでも歩は寄せてくる』（サマンサ）ほか

伏黒甚爾役 子安武人
答えはモノローグに

沖縄で思い出作り
拉致された黒井を助けに沖縄へ向かった一行　救助後は、天元と同化する理子に思うところがあったのか、五条たちはそのまま観光を満喫することに。最後の思い出作りとなった。

清水　あんなマイルドボイスで「五条悟は俺が殺した」とか言ってて！

清水　子安さんと一緒に収録できたんですが、惹き込まれる周波数みたいなものが出ていると言うか……。

清水　なんか飲まれますよね。不思議な魅力があって。

清水　どんどん魅力にハマっていってしまう感じがあって、もう甚爾さんファンになっちゃいそうでした。

同化するために天元様のもとへ向かうシーンは、演じてみていかがでしたか？

清水　テストのとき、「理子様　私はここまでです」と言うところで、すごく感情的になっちゃったんです。そうしたら、「このセリフは抑えてほしい。もっと事務的に言ってほしい」というディレクションをいただいて。そこからちょっと芝居を組み立て直しました。理子様とのお別れが訪れる覚悟は、きっとずっと持ち続けていたからこそ、その上での事務的なんだろうなと理解して演じました。その後にやっぱり感情が爆発してしまったのですが、そこはもう「泣いちゃっていい」ということでした。

子安　ずーっと一緒にいた家族ですからね。抱きしめているシーンでも、離したくない、離れたくないと思いました。

清水　本当にこれでお別れだと思うとね。

永瀬　すごくつらくなりました。10代の女の子が、こんなにも苛酷な運命に立ち向かわなければならないなんて……。

黒井と別れた後、理子は夏油に自分の意志を伝えました。

清水　すごく素敵でした！

永瀬　よかったです～。テストのときに、私としてはもう中盤あたりから気持ちがガーっと上がってきていたんですが、ディレクションで「そこは抑えて、最後の2回目の『でも』のあたりから泣き始めてください」と言われたので、それを意識しながら本番に臨みました。そうしたら、夏油役の櫻井（孝宏）さんが、ご自身はもう録り終わっているのに入ってくださったんです。

きちんと掛け合いができたんですね。

清水　そうなんです。夏油の「理子ちゃんがどんな選択をしようと君の未来は私達が保障する」というセリフがありますよね。理子って、これから天元様と同化して、自分自身がもういなくなってしまうような寂しさがあったと思うのですが、その中で夏油のそのひと言が本当に救いだったんだろうなと。その後に本音を吐露するところ……今まで思ってきた、我慢してきたものが、どんどん出てくるところがもう……！

清水　そこで夏油が、「帰ろう　理子ちゃん」と言ってくれて。

永瀬　「……うん!!」と手を差し伸べて……バーンなので。いや～もうつらい！　ifルートがほしいですね。

清水　理子様も黒井も生きている、そんな世界を観てみたいですよね！

子安　あそこはずっとモノローグが続いていますよね。「否定したくなった　捩じ伏せてみたくなった」という、あのセリフが全てであり、あそこに甚爾の想いがあるわけです。最強となった五条を倒してみたかった……あそこに全部書いてあるので、ぜひそれを読んでください（笑）。モノローグは心の声であり、答えですから。

心の動きや感情を抑え目に演じたとおっしゃっていましたが、それはモノローグのところも？

子安　抑えています。今回のアニメとしての演出は、そこに僕の気持ちがどうだとか、「あの頃はこうだった」といったものを込めてやるお芝居よりも、抑えて……逆に言えば、どういうことを思っているのかわからないようにしたかったのかなと感じました。それは推測と憶測でしかないので、演出の本当の意図はわかりませんが、そのあたりはスタッフさんにお任せして、僕はそれに従っていいものを出すということに徹しました。

甚爾は最期に、息子の恵のことを「好きにしろ」と、五条に託しました。甚爾の恵に対する想いを、どのように捉えていますか？

子安　ここはモノローグが書かれていないんです。ということは、「読んでいる側」視ている側の想像にお任せします」という表現の仕方なんですね。じゃあ甚爾は何を思ってそう言ったのかと考えるのですが、正直僕にはわからない。わからないけれど、悪いことを言っているわけではないと思うんです。「好きにしろ」も、「自分は知ったこっちゃないから、なんとかしろよ」ということではないだろうし。確固たる想いがあっての言葉というよりは、息子への――たくさんではないかもしれないけれど――ちょっとの愛情みたいなものが、こぼれ落ちたものだったんじゃないかな……くらいの解釈に留めておこうと思っています。

伏黒甚爾 Toji Fushiguro
天与呪縛のフィジカルギフテッド。五条が幼い頃に一度、その顔を見にいったことがある。禪院家出身だが嫌入りし、恵を捨てた

Takehito Koyasu
5月5日生まれ。神奈川県出身。「ディーズファクトリー所属／主な出演作は『文豪ストレイドッグス』（ニコライ・G）、『異世界おじさん』（おじさん　ほか

シリーズ構成
脚本

瀬古浩司

魂の深いところで繋がっている

甚爾は出てきただけで画面を支配する

――第25話（第2期第1話）は、夏油のモノローグで始まる構成が印象的でしたね。

瀬古　あれは監督のアイデアです。第1期からかなり時間が空いてから始まるので、ちょっと強い引きがほしいということで、「懐玉・玉折」で最も重要な箇所のひとつである、夏油のモノローグを冒頭に持ってきました。

前号のインタビューで五条役の中村悠一さんが、「夏油に感情移入しやすい描き方になっているのかな」とおっしゃっていました。

瀬古　そうですね。基本的には五条と夏油の物語ですが、やっぱり一番変化が大きい人物は夏油であり、彼がダークサイドに堕ちるという話ですから。それに対して五条がどう反応するかということなので、主体としては夏油ですね。だから中村さんの持たれている印象は正しいと思います。

「懐玉・玉折」の脚本作業の中で、苦労したり悩んだシーンはありますか？

瀬古　第25話の冥冥と歌姫のミッションです。ここは監督から「膨らませてほしい」というオーダーがあって作りました。ほぼ半パートくらいは原作の描写を補完するためにオリジナルで作らないといけなかったので、結構大変でしたね。

逆に書いていて楽しかったところは？

瀬古　甚爾がすごくいいキャラクターで、彼が出てくるところは全部楽しかったです。最強である五条に立ちはだかる敵として、これほどふさわしい人はいないし、実際に一回は勝っていますし。甚爾は出てきただけで画面を支配する存在感があるというか、「もっとこの人が見たい！」と思わせるキャラクターだと思います。それに「懐玉・玉折」における最重要人物の一人でもあるので、書いていて楽しかったです。

彼の最期についてはどう思われましたか？

瀬古　「あー、逝ってしまったか……」というのが素直な気持ちでした。死なないではしかったし、もっと活躍してほしかったです。

息絶える直前、五条に「好きにしろ」と息子のことを託しますが、息子への愛情はあったと思いますか？

瀬古　いや、なかったと思います。愛情云々以前に、その存在すら忘れていて、最後の最後に思い出したのが、グッとくるところですからね。

甚爾と同じく、「懐玉・玉折」における重要人物である天内理子には、どんな印象がありますか？

瀬古　理子は最初は天元と同化することは当然であり、むしろ誇りにすら思っているという登場だったのですが、それが最後にひっくり返り、その瞬間に繋がれちゃうという……。本当にかわいそうなんですが、物語の展開として見ると、これほど完璧な流れはないなと思いました。理子をはじめ、『呪術廻戦』のキャラクターって、個性的でありながら奇をてらっているわけではなく、そこにちゃんと意図があるんですよね。理子の「妾（わらし）」という一人称も、単なるキャラ付けではない。ちゃんと理子という女の子の性格から出てきている一人称で、その上であのキャラクターになっているところは、さすがとしか言いようがないですね。

Hiroshi Seko
脚本家　最近のシリーズ構成作品に、『進撃の巨人 The Final Season』『チェンソーマン』『ゾン100～ゾンビになるまでにしたい100のこと～』『サマータイムレンダ』ほか

夏油の離反で五条の中の何かが死んだ

――五条と夏油を書くにあたって大事にしたことを教えてください。

瀬古　これは脚本というより、ちょっとした仕草とか立ち居振る舞いといった部分にあたると思いますが、僕は夏油が抱え込んでいる無力感にすごく惹かれました。我々の生きている世界でも、五条になれる人ってほとんどいませんよね。夏油になるのももちろん難しいんですが、自分が絶対に超えられない人がすぐ隣にいるという、夏油のその無力感を大事にしました。夏油がダークサイドに向かってしまう一因でもあると思いますからね。

――夏油の感情は見えやすいですが、五条がどう思っているかはあまり見えてこないですよね。

瀬古　夏油が村人を惨殺しにして離反したという報告を受けたとき、五条は驚いていたし、ここでちょっと感情の発露はあったと思いますが、わかりやすくは描かれていません。ただ、今後の展開で明らかになるんですが、五条もまた夏油のことをすごく大切にしていたということもわかるんです。本当に魂の深い部分で繋がっているんですよね、この二人は。

――夏油の離反は、五条にどんな影響を与えたと思いますか？

瀬古　夏油がああなってしまったことで、五条の中の何かが死んじゃったというか。もう元の自分には戻れない、本当に決定的な出来事のひとつだったと思います。

――シリーズを通して、瀬古さんのお気に入りのキャラクターは？

瀬古　夏油ですね。先ほどもお話ししましたが、自分のすぐ隣に絶対に超えられない人がいて、でも自分にはやるべきことがあって、それを文句も言わずに実直にこなすという……本当に頭が下がりますよね。自分を律して日々を生きるところは、自分もそうありたいなと思います。

――“弱者生存”の理念は素晴らしいことですが、力を持つ者の傲慢さも垣間見えるような気がします。確かに、「クズ共」と呼ばれていますし、完璧な聖人ではないんですよね。

瀬古　そうですね、傲慢さは多かれ少なかれあると思います。完璧な聖人ではないからこそ、道を踏み外してしまいますし。でも、それって我々も一緒だと思うんです。我々もちょっとしたことでダークサイドに堕ちてしまうこともあるけれど、なんとか自分を律してそちらに行かないようにしている――そういう意味では、夏油は本当に人間臭いヤツだなと思います。

Artist interview | EDテーマ「燈」

崎山蒼志

近いのに遠い二人

呪術師としてでなく、足掻体としてでなく、ただの高専生として過ごす五条や夏油、理子たちを描いたエンディング。夏油の心情の変化、そして周囲のキャラクターたちの夏油への思いをテーマにした優しい音楽が胸に刺さる。

――『呪術廻戦』「懐玉・玉折」のEDテーマを担当することが決まったときの気持ちをお聞かせください。

崎山　びっくりしました。まさか私がEDテーマを担当できるとは、と思いました。『呪術廻戦』はものすごくファンの多い作品です。その思いを胸に、フル尺の楽曲の細部まで尽力しました。

――『燈』は夏油 傑というキャラクターの積み重なった経験と苦悩の果てに生まれていく心情の変化、それを取り巻くキャラクターたちの夏油への思いがテーマの楽曲です」とコメントされていましたが、どのような経緯でこのテーマに至ったのでしょうか？

崎山　まず、EDに書かせていただくという段階で、バラードっぽい楽曲がいいのではと話し合いました。バラードとなると、どこか感傷的な楽曲が想像されます。また一読者として、今回の「懐玉・玉折」にて夏油 傑というキャラクターに想いを募らせる場面が非常に多く、その多くが愛ゆえの感情で、「よし、バラードを書こう」と決めた段階で、夏油さんについて歌おうと決めていました。

制作するにあたり、夏油、五条の心情を読み解いていったと思うのですが、それぞれのキャラクターをどのように捉えていますか？

崎山　今回の「懐玉・玉折」では、夏油さんは堅実で心優しく、人想いな印象があります。それゆえに、自分で溜め込んでしまう、心がぎりぎりの状態になりやすいキャラクターなのかなと私は捉えています。五条さんは、スーパーマン。温かさもありつつ、どこか他の人と違った感覚や感情を持っている特異な人物と捉えています。

――五条と夏油の関係性についてどんな印象がありますか？

崎山　「懐玉・玉折」では、本当に二人の仲の良さがうかがえます。一方で、相容れない感情も持っている二人なのかなとも、しばしば感じます。近いのに、遠いといいますか。それでも、二人は分かち合い、一人だけの間合いを持ち、息を合わせる。まさに親友の関係性だと思います。ずっと仲良くいてくれ……と願ってしまいます。

「燈」というタイトルに込めた想いとは？

崎山　「燈」は、「とう」とも読み、その意味は「ともしび」だそうです。周囲を明るくする光、私は灯籠の温かい光をイメージしました。もともと「揺れる燈」という歌詞があり、その温かな光が薄れていってしまうことを指しています。そこから拝借し、タイトルを「燈」としました。遠い昔の温かな光、祈りや願いの気持ちなどを込めています。

『呪術廻戦』のEDテーマを担当したことで、この作品ならではと感じたことや、制作で印象に残っているエピソードはありますか？

崎山　『呪術廻戦』には、バトルシーンなどでは少年誌ならではの疾走感を感じつつも、全体的にトーンが暗く、落ち着いた印象を持っています。また、「帳」であったり、日本語の美しさが随所に感じられる部分も、ならではだなと感じています。私自身、日本語のそうした繊細な表現が好きなので、歌詞も普段よりそれを意識して書かせていただきました。ですので、歌詞を書いているときのことはよく憶えています。

アニメやドラマの楽曲を制作する際に、大切にしていることは何ですか？

崎山　そのアニメやドラマのことを愛する読者の皆さまに気に入っていただけるかどうかを考えます。その作品にトーンを合わせることを大切にしています。

今回のEDを作るのに大切にしたことを教えてください。

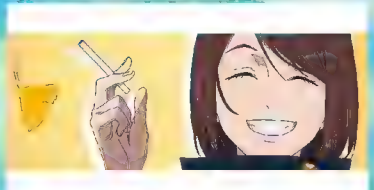
崎山　今回は『呪術廻戦』という作品から感じられる愛いや美しさを、どうにか楽曲に反映できるよう、歌い方や曲の流れについて多く考えました。綺麗で、繊細な、ダイナミックな楽曲を意識しました。

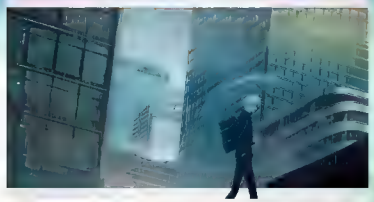
ED映像をご覧になっての感想は？

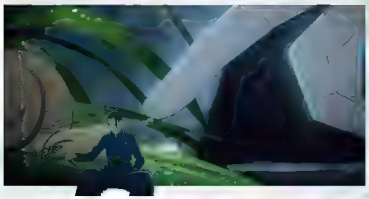
崎山　『呪術廻戦』という偉大な作品に本当に携われたのか……と、初めて実感が湧きました。動くキャラクターたち、そこにかかる「燈」に、強く感動しました。

――「懐玉・玉折」に限らず、シリーズを通してお気に入りのキャラクターは誰ですか？

崎山　七海建人さんです。冷静かつ、







好きなカットは？

それはもう、全部なのですが、あえて挙げるのであれば、家入硝子さんがタバコを持ってニヤッと笑うカットと、雨の中傘を持ち歩く五条さん、かたつむりに触れる夏油さんのカットですかね。とてもとても大好きです。

絶賛発売中

迅速な対応力。クールで、言ってしまえば無愛想な人なのかなと思いきや、言葉の節々が面白く、熱さや、優しさの垣間見えるキャラクター性にとても惹かれます。頼りになるジェントルマンだと感じます。五条さんとの関係性や、その関係性における会話の雰囲気も好きです。

「懐玉・玉折」は五条や夏油たちの青春時代が描かれています。崎山さんにとっての「青春」や、「青春」と聞いて思い浮かべるものを教えてください。

崎山 私が青春と聞いて思い浮かべるのは、大きな空です。私の住んでいた静岡県浜松市は、高い建物が少なく、空が大きく見える場所でした。登下校の際など、畦道を通り、夜に向かって変化していく空の色、マジックアワーに遠く見え出す星の光は、私の青春そのものです。そんなときに友達とした会話などがどんなにくだらなくとも、私にとって本当に宝物です。

――楽曲を楽しんで聴いている読者に向けて、メッセージをお願いします。

崎山 聴いていただき、ありがとうございます。改めて、『呪術廻戦』という作品に携われましたこと、深く感謝申し上げます。私自身、常日頃から今作に胸を突き動かされ、感化されている1人です。「燈」という曲が、アニメ『呪術廻戦』「懐玉・玉折」と共にあれますことを、誇りに思います。このありがたい体験を、その影響を、次の作品に繋げられるよう努力していきたい所存です。今後ともどうぞよろしくお願いします！

OPテーマ「青のすみか」キタニタツヤ

寝ている虎杖悠仁の姿から始まる第1期第1クールのOPと対になるように、寝ている五条の姿からスタート。疾走感のあるメロディに、"最強の二人"として輝いていた五条と夏油をはじめとする、青い春が描かれる。

【初回生産限定盤】
¥5,500（税込）

【通常盤】
¥1,980（税込）

呪術廻戦 懐玉・玉折
OPテーマ「青のすみか」
絶賛発売中

CHECK LIST
- [x] オカルト
- [ ] サイコ
- [ ] リアル
- [x] ファンタジー
- [ ] ビックリ
- [x] ジリジリ
- [ ] コメディ
- [x] ミステリー
- [ ] ハートフル

どんな窮地に陥ろうとも、鴉夜は冷静に推理を語り、津軽はおどけた口調で言葉を返す。それは対峙する相手だけでなく、見る者も惑わす巧みな話術。二人が語り出せば、別世界へ迷い込んだかのような錯覚を抱くだろう。

鳥肌注意!?

ようこそ怪奇の世界へ

怪談やホラードラマは夏の風物詩！　重厚なストーリー＆複雑な人間関係を楽しめれば背筋が凍るような展開や「ゾクッ」とする感覚の虜になるかも!?

怖いものは美しいものと同居している

鵜堂鴉夜役　黒沢ともよ

本作はホラー・オカルト要素を絡めたダークファンタジーですが、ホラー系の作品にどんな印象をお持ちですか？

黒沢　個人的にホラー作品は少し苦手意識がありますが、この作品をホラーだと感じたことはないですね。不死であったり、醜い容姿をしていたりするキャラクターが登場しますが、それぞれ悲しいバックボーンを背負っているんです。あまりに悲しすぎて滑稽だと感じるという意味で、『アンファル』は〝笑劇〟というジャンルなんだと思いました。

――ちなみに、黒沢さんが怖いと感じる存在や、最近恐怖を感じた出来事は？

黒沢　怖いものは人間かなぁ（笑）。怖さを感じた出来事だと、山の中での体験でしょうか。私は山中にも家を借りているのですが、夜の山は暗いだけでなくとても静かで、「コォー」と風が吹くたびにびっくりしてしまいました。でも、夜の山は空気が澄んでいて、星空が信じられないぐらい綺麗で好きなんです。個人的に怖いという感情は、美しいものと同居していることが多いんじゃないかと思っています。『アンファル』で描かれるヨーロッパの街並みにも、綺麗だからこそ怖いという感覚がありました。ヨーロッパの街を見慣れていないから、ということもありますが、美しさの中に怖さを感じるシーンが、必ずどこかにあると思います。

本作はそんなヨーロッパの街を旅する鴉夜、津軽、静句の会話のテンポ感が特徴的です。津軽、静句との関係性を表現するうえで、意識していることはありますか？

黒沢　静句は一行の中で最も長い付き合いで、鴉夜が安心して背中を任せられる人。逆に津軽は、鴉夜にとっては自分が死ぬための手段の一つであり、暇潰しの相手だという関係値を意識して演じています。鴉夜は津軽に対して愛情などはなく、利益のうえで関係が成り立っているのではないかと。

静句役の小市眞琴さん、津軽役の八代 拓さんの印象はいかがですか？

黒沢　お二人とも優しくておおらかなんですが、こだわりがとても強い方だという印象を受けました。八代さんは現場を盛り上げるために、わざとふざけてくれることがあり、津軽らしさを感じる場面がありました。眞琴ちゃんは仕事に対する熱量が高く、「自分で決めた目標をやり遂げる！」という強い意志が、忠誠心が高い静句に似ている気がしました。

飛び入り注意

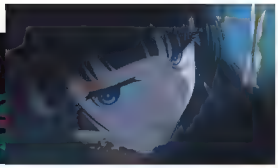
あの有名キャラも参戦!?

切り裂きジャック、オペラ座の怪人など、誰もが一度は名前を聞いたことがある著名なキャラクターも登場。扇動使い一行の物語に、彩りを添えている。なかには普通の人間ではない、怪物の血が流れている者も……?

笑話注意

漫才のような会話劇

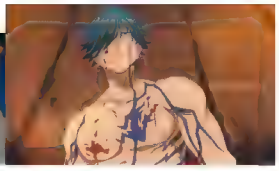
首だけの鴉夜にとって、会話こそが最大のコミュニケーションの手段。津軽との会話の内容は、ブラックジョークを交えた口喧嘩のようだが、熟練の漫才コンビさながらの軽妙さで、思わず聴き惚れてしまう魅力がある。

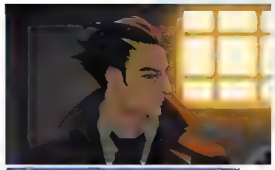


激闘注意

VSルパン決着?

鴉夜とシャーロックが思考を巡らせても、一筋縄でいかないのが大怪盗・ルパン。二人の名探偵の頭脳が勝るか、ルパンと彼が使役するファントムの人間離れした身体能力が勝るか。世紀の対決、その決着の時は近い!?





シャーロック・ホームズ

世界一とも称される名探偵。初めて会った時に鴉夜が不死だと見抜いた。特殊な格闘術にも長けており、場律という特技を持つ

何者かの襲撃を受け、首から下の身体を奪われてしまった不老不死の少女・輪堂鴉夜。彼女はメイドの馳井静句、〝鬼殺し〟の異名を持つ真打津軽とともに、怪物専門探偵の〝鳥籠使い〟として数々の事件を解決しながら、身体を持ち去った犯人を探す。

手がかりを求めて日本からヨーロッパへと渡り、フランス、イギリスを旅する鴉夜たち〝鳥籠使い〟一行。その道中で姿を見せる、鬼混じりや吸血鬼などの奇妙奇天烈な怪物による難事件が、物語の見どころ。鴉夜たちがどのような事件と遭遇し、いかにして謎を解いて怪物を退治するのか注目していきたい。

本作のもう一つの大きな見どころは、鴉夜、津軽、静句の三人による掛け合い。津軽の噺家のような軽快な口調、静句の鋭いツッコミ、鴉夜の生首(不死)に掛けたジョークは、怪しくもどこか小気味よい、洒脱な雰囲気を醸し出している。不気味な気配が立ち込め、数多の謎に満ちみちた三人の旅路。怪物たちが繰り広げる笑劇を、ぜひご堪能あれ!

アルセーヌ・ルパン

ファントム

陰りを帯びた笑劇

アフレコ現場で印象に残っている出来事は?

黒沢 誰もが知る歴史上の人物やフィクションのキャラクターが登場したり、耳なじみのある言葉が出たりすると会話が弾みました。「そもそもこのキャラクターの元ネタは何だろう?」と話したり、その場で調べてキャラクターの源流をたどったり。津軽の落語を聞いて「本場の落語を見に行きたいね」と話していたんですが、いつの間にか落語ではなくストリップを見に行く話にすり替わっていたんです(笑)。私と真琴ちゃんは、実際にストリップを見に行って激ハマりしちゃって。八代さんと三人でアフレコをしたときに、「こうやってポーズを決めるんだよ」と八代さんの前で実演しました(笑)。

和やかな雰囲気の現場だったんですね。調べた人物の中で、特に気になったキャラクターはいましたか?

黒沢 ファントムです。モデルである『オペラ座の怪人』のカッコいい部分だけではなく、抜けている一面も描かれていて、本作ならではのキャラクターになっていると実感しました。逆にホームズやワトソンみたいに、皆さんが想像する人物像のままなキャラクターもいて。原作の青崎有吾先生がモデルの人物をどう描いているのかも、楽しみにしていただきたいです。

鴉夜と同じ探偵として、アルセーヌ・ルパンと対峙するシャーロック・ホームズには、どんな印象を抱きましたか?

黒沢 シャーロックはとにかく存在感がありますね。三木(眞一郎)さんのお芝居も相まって、誰もが「シャーロックきたぁー!」と思ったのではないでしょうか(笑)。彼は頭の回転が速く優秀な探偵だと思いますが、これまでの鴉夜の言葉をなぞりながら見ると、彼女が押されてしまう感じは全くありませんでした。

——これまで放送された話の中で、印象に残っているエピソードを教えてください。

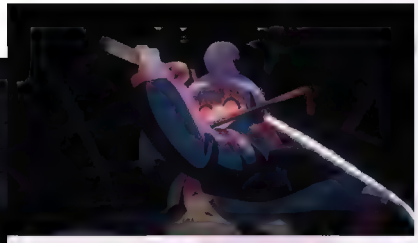
黒沢 物語の核心に触れる大事なシーンが描かれた第1話です。「生きるか死ぬか」「生きたいか死にたいか」という、津軽や鴉夜にとって大事なことにしっかり触れていて、お気に入りの話でもあります。セリフで言うと、第2話でラウールくんに対して鴉夜が言った「私は死んでいないから生きている」という言葉ですね。どこかモヤっとした気持ちが残りつつ、「確かにそうだよな」と納得させられました。

最後に読者に向けてメッセージをお願いします。

黒沢 皆さん、鴉夜や津軽の言動に、もてあそばれているような感覚があると思います。クリエイターさんたちも、私たちに対して遊び心というか、翻弄してくる感じがあって。それらをかわして、作品の忍みたいなものにたどり着いていただけたらいいなと思います。これからのお話もお楽しみに!

くろさわ・ともよ 4月10日生まれ 埼玉県出身 東宝芸能所属 主な出演作は『アイドルマスターシンデレラガールズ(CG48)』(赤城みりあ)、『特別編 響げーむフォニアム ~アンサンブルコンテスト~』(黄前久美子)ほか

寶月夜宵（ほうづきやよい）
天才的な頭脳を誇る、ドクロのような瞳の小学生。現世と幽世を同時に見ることができる強力な霊視能力を持つが、霊に避けられている



⚠強すぎ注意 この少女、天才で最強！

事故を境にIQ160の頭脳と、強力な霊媒体質を手にした夜宵。どんな状況でも思考を巡らせて対処し、描きえた霊に上下関係を叩きこむ姿は、小学生離れしている。強すぎる夜宵の戦いっぷりで、恐怖も吹っ飛ぶかも？

ようこそ怪奇の世界へ

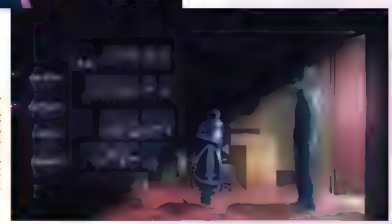
悪霊を従えろ！

交通事故で両親を亡くした少女・寶月夜宵。事故の現場で、母の魂が悪霊に連れ去られる光景を目の当たりにした夜宵は、悪霊から母を取り戻す手がかりと対抗する力を手に入れるために、心霊スポットを巡る。

多くの人にとって霊は恐怖の対象だが、夜宵にとっては倒すべき敵であり、捕縛する対象。彼女は霊と対峙し、捕らえ、収集した霊たちを共食いさせて、強力な悪霊を生み出そうとする。ホラーを題材としながら、バトルアニメとしての一面を持つ本作。遭遇する霊に対して、夜宵と仲間たちは時に知恵を働かせて、またある時は従えた霊の力を利用して立ち向かう。ホラー好きなら本格的な心霊現象の描写を、怖いものが苦手な人も、果敢に霊に挑む夜宵たちの勇姿を楽しめるだろう。

家庭教師の幻燈河螢多朗が強い霊媒体質で、霊を引き寄せると知った夜宵。彼女は霊を集めて母を奪った悪霊と戦うため、螢多朗は自身と寶月詠子にかけられた呪いを解くために、協力関係を結んだ。次々と現れる霊との戦いの中、絆を育む夜宵たちがその先で目にするものとは？

幻燈河螢多朗（げんとうかけいたろう）
夜宵の家庭教師を務める大学一年生。霊を引き寄せてしまう体質の持ち主で、中学時代に霊障を受けて呪われてしまった過去がある



⚠取扱注意
蠱毒の果てにあるもの

大量の毒虫を壺の中に入れて共食いをさせ、最後に残った虫の毒で相手に危害を与える呪術・蠱毒。夜宵は捕らえた霊で蠱毒を行い、残った強大な霊を自分の戦力にしようとしている。はたして夜宵はどんな悪霊を生み出すのか!?

ダークギャザリング

◆毎週日曜日◆深夜1時5分
◆TOKYO MX、関西テレビ、BS朝日ほか
HP◆https://darkgathering.jp/
Twitter◆@DG_anime

©近藤憲一／集英社・ダークギャザリング製作委員会

CHECK LIST

- ☑ オカルト
- ☑ サイコ
- ☑ リアル
- ☐ ファンタジー
- ☑ ビックリ
- ☐ ジリジリ
- ☐ コメディ
- ☐ ミステリー
- ☑ ハートフル

霊現象の怖さだけでなく、人間の恐ろしさが感じられるエピソードも。「ビックリ」系の恐怖シーンが多めなので、人と一緒に見るときは驚きすぎに注意？　夜宵と螢多朗、二人を取り巻く人たちとの心の交流や関係性の変化にも注目！

ホラーとバトルもののおいしいところ取り！

寶月夜宵役　篠原 侑

⚠関係性注意

奇妙な三人の関係

夜宵の心霊スポット巡りには、彼女の理解者で車の運転ができる詠子と、霊を引き寄せる体質の螢多朗が必要不可欠だ。詠子が螢多朗を盗撮・盗聴していると知り、秘密を共有した夜宵。ここから三人の関係性はどう変わる？

寶月詠子（ほうづきえいこ）

夜宵の従姉妹で、彼女と一緒に暮らしている。オカルトが大好き。螢多朗の中毒者を自称し、彼を想うあまり過激な行動を取っている

放送が始まった現在の心境をお聞かせください。

篠原　先の展開を知っているからこそ、「あのシーンは完成したらどうなるんだろう？」という期待があって、早く続きが観たいです。でも、観るとだんだん終わりに近づいてしまうので、すでに終わってほしくない気持ちになっています（笑）。

——原作を読んだ印象は？

篠原　オーディションの際に読ませていただいたのですが、事前に聞いていた通りホラー漫画でありつつ、私好みのカッコいいバトルの要素もあったことが印象的でした。ホラーとバトルのおいしいとこ取りをしている作品で、すごくうれしくなりました。

——バトル要素では、どこに魅力を感じましたか？

篠原　私、昔から詠唱が好きなんです！　難しい漢字やその羅列を唱えることで、自分を守ってくれる強い味方を召喚したり、能力が開花したりする展開が大好きで。いわゆる厨二心をくすぐられると言いますか。この作品では夜宵ちゃんをはじめ、そういう能力を持った子たちがいっぱい出てくるのがすごく良いなと。

——夜宵を演じるうえで、意識していることは？

篠原　よく叫んでいる螢多朗とは逆に、夜宵ちゃんはどんなときでも冷静に、何が起こっても対処できる強さを意識して演じさせていただきました。そんな強い部分と、年相応のかわいらしさのギャップを、どう夜宵ちゃんらしく表現できるかは一番考えましたね。うれしかったのは、私がイメージしていた寶月夜宵像と、原作者の近藤憲一先生が思い描く理想の寶月夜宵像が一致していたことです。説明セリフを噛まないで言う難しさはありましたが（笑）、夜宵ちゃんの解釈で苦労することはありませんでした。

——アフレコはどなたと一緒になる機会が多かったのでしょうか？

篠原　螢多朗役の島崎信長さんとはほぼ一緒で、そこに代わる代わるゲストの方がいらっしゃる感じでした。音量のバランス的に、叫びが多い螢多朗（島崎さん）と、ぼそぼそ喋る私は、立ち位置が4本あるマイクの両端で固定されていて。掛け合うときも近くで存在を感じるというよりは、声だけを聴いて感覚で演じていました。でも、螢多朗のおかげで回を重ねるごとに、夜宵ちゃんが彼を本気で心配したり、楽しそうにしたりと、心境の変化が感じられました。詠子ともいい関係になり、さらに仲間が加わったりする、次第に関係が変わっていく様子がすごく楽しかったです。

——夜宵と螢多朗のやり取りだと、第3話の川沿いのシーンが印象的でした。

篠原　あそこが最初のターニングポイントだった気がします。夜宵ちゃんなりに螢多朗のことを想い、仲間と認めて、物語が大きく動き出した感覚がありました。あと、アフレコには近藤先生がほぼ毎回リモートで参加してくださったんです。収録後には毎回お褒めの言葉をいただけて、ホクホクになりながら収録していました（笑）。とても幸せな空間でしたね。

——篠原さんは怖い話やオカルト話がお好きと聞きましたが、ハマったきっかけはありますか？

篠原　気がついたら身近にホラーがあった気がします。小さいころ、週に一度DVDを5本くらい借りて観るという習慣があったのですが、それで父が借りたホラー作品を一緒に観るうちに好きになりました。ホラーの英才教育を受けていたのかもしれません（笑）。個人的に、ホラーは怖くてナンボだと考えていて、全く怖くないとホラーじゃないと思ってしまいます。最近だと『このテープもってないですか？』からフェイクドキュメンタリーにハマったりして、いろいろなジャンルに触れています。

——そんな篠原さんが考える、一番怖いものはなんですか？

篠原　やっぱり人間だと思います。私個人の感覚として、物理的に干渉する、実害を与えてくる存在が、何よりも怖いと感じるんです。こちらに干渉しない得体の知れないものより、蚊みたいに刺して実害を出すもののほうが怖い。今まで幽霊を見たことがないし、害をなされたこともないので、自分の目に映って、現実に危害を及ぼしてくる可能性がある人間のほうが怖いと感じます。

——怖い人間と言うと、詠子はまさにその典型だと思います。

篠原　詠子が螢多朗への深い愛を示すシーンはもれなく好きですね。純粋に螢多朗のことを好きでやっていて、全く悪びれない。「これは違うの」とかわいく言える豪胆さも含めて、詠子のキャラクターを表している気がして。「こんなことが許されるキャラがいるんだ！」と感動してしまいます（笑）。

——ちなみに、幽霊を見たことがないとのことですが、不思議な体験をしたことは？

篠原　全くないですね。強いて言うなら、ダンス練習をしていたときに、誰も入っていないのにスタジオの更衣室の鍵が閉まっちゃう現象が、2回くらい起きました。パタンと急にドアが閉まって、誰も入れなくなっちゃったんです。窓は開いていなかったのですが、風の仕業ということにしてその場は済ませました。

——それっていわゆる心霊現象じゃないですか？（笑）

篠原　「お～」とは思いましたけど、あんまり怖いとは感じなかったです。私以外の人たちも「風だ」と言っていて信じようとしなかったので、みんなタフだなと思いました（笑）。

——本作で好きなキャラクターを挙げるとしたら誰ですか？

篠原　夜宵ちゃんは殿堂入りとして、これから登場する神代愛依ちゃんと関わりが深い、とあるキャラクターが好きです。「こんなのありなんだ！」と思うような、人間には理解が及ばない存在で、お芝居も相まって圧倒的なキャラクター性がすごく刺さりました。

——今後の登場が楽しみです。最後に、読者へのメッセージをお願いします。

篠原　これからバトルものとしての面白さがどんどん出てきて、私もそこが早く観たくてソワソワしています。第1話から夜宵ちゃんが幽霊版の蠱毒を作っているのですが、怖かった幽霊たちが蠱毒の結果、強い味方になると考えたら、ものすごく心強いと思いませんか？　そこに期待してほしいですし、もっと心躍るバトルが今後見られると、自信を持ってお伝えできます。ぜひ楽しみにしていただけるとうれしいです！

ささはら・ゆう　4月30日生まれ　熊本県出身　アイムエンタープライズ所属　最近の主演作に『転生王女と天才令嬢の魔法革命』ティルティ・クラーレット、『ウマ娘 プリティーダービー ROAD TO THE TOP』カレンチャン　など

ようこそ怪奇の世界へ

一瞬で体感する闇の世界

「よってらっしゃい、みてらっしゃい、『闇芝居』の時間ダヨ……」お面をつけた紙芝居屋のおじさんのこの言葉から始まる『闇芝居』。身の回りで起きる怪奇な都市伝説をテーマにし、13年7月に一期が放送されて約10年。スピンオフや実写ドラマ版も制作された本作の十一期が、7月からスタートした。

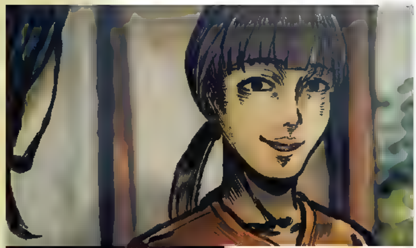
一話完結形式の短編アニメーションである本作は、紙芝居屋のおじさん以外は毎回違ったキャラクターが登場し、語られるストーリーもさまざま。ある時は寺で供養を待っていた人形による不幸に見舞われた子供たち、ある時は恐ろしいきたりが言い伝えられている山村に移住してしまった家族の姿が描き出される。一方で、心温まるようなエピソードが語られることもあり、その物語は実にバラエティに富んでいる。

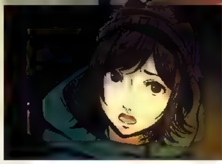
一話一話が数分という短さだから、視るのが一瞬なら怖さも一瞬。物語と同じように怖さの種類も多種多様で、ホラーに耐性がない人でもお試し感覚で、手軽に摘まむことができるはず。「怖い、まあ一話だけ視聴を重ねて、『闇芝居』が紡ぐ深淵へと足を踏み入れてほしい」

⚠遭遇注意

奇妙な存在との出会い

各エピソードにはさまざまな種類の怪異、人智を超えた未知の存在が現れる。十一期の第1話に登場した人形のタロちゃんは、二期の第1話でも姿を見せていた。今後も過去に登場したキャラクターが、ふたたび出てくることがあるかも？





⚠音声注意

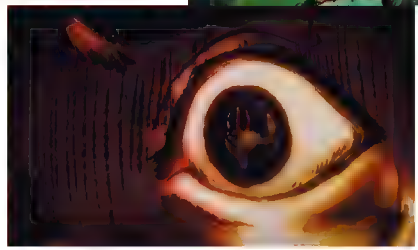
演技が醸し出す質感

本作には実写作品で活躍する俳優、アイドルグループのメンバーなどが出演し、キャラクターに息を吹き込んでいる。普通のアニメとはひと味違う生々しい雰囲気から、身近に起きた出来事を目にしたような視聴感を覚えるはず。

⚠スピード注意

数分で味わう怪奇

一話あたり5分未満でサッと観られることが大きな特徴で、十一期では一話が4分前後の長さになっている。YouTubeなどで配信中の過去のエピソードと見比べて、テンポの違いを体感してみるのも面白いだろう。



始まりはホラーありきじゃなかった？

プロデューサー・脚本 **山川典夫** × プロデューサー・演出 **船田 晃**

今回で十一期を迎えましたが、現在の率直な感想を教えてください。

山川 毎シリーズ「今回で終わりですかね？」と話しながら続けてきたから、振り返ると「よくやったな」と我ながら思います（笑）。

船田 前回の十期が区切りとしてわかりやすいから、そこで終わると思っていたんですけどね（笑）。山川さんとは『超星神グランセイザー』という特撮番組に携わったりして、以前から親交があったんです。僕から山川さんに、若いクリエイターを表に出す場所をもらえないかと相談した結果、生まれた企画が『闇芝居』で。

山川 「若いクリエイターが好き勝手できる枠は、ここしかないですよ」と話して、深夜の放送休止前の時間で番組を立ち上げることになりました。この時間帯なら何をやったら楽しいのかを話す過程で、ホラーというアイデアが出てきたので、最初からホラーアニメをやるつもりで動き出したわけではなかったんです。

——では、お二人とも以前からホラーが特別好きというわけではなかった？

山川 船田さんはめちゃくちゃホラーに造詣が深いんですが、逆に僕はすごく苦手でした。それこそ夜中にトイレに行くのが怖くなるレベルで。ただ、ここまで『闇芝居』が続くと慣れてきてしまって、何が怖いのかわからなくなっているのが最近の悩みです（笑）。

船田 実際問題、僕も山川さんもずっと考えていると、どうしても限界があるんですよね。新しい作家さんや作画さんを招いているからこそ、10年以上続けられているのだと思います。

——十一期では、山川さんが脚本を担当したエピソードも放送されますね。

船田 これまでも何回か山川さんが手がけたお話はあるんですが、絵本を描かれていることもあって、少し優しい雰囲気になるんです。山川イズムとでも言いますか。

山川 絵本は緻密なストーリーのつながりだけでなく、ページの雰囲気や読み聞かせのテンポを重視しているところがあって、それを『闇芝居』で試したいと思ったんです。それに今の『闇芝居』に足りないもの、こうしたら面白くなるんじゃないかというアイデアもありました。自分が書いた絵本がとあるコンテストで大賞をもらったこともあって、あのときは調子に乗っていた気がします（苦笑）。少し具体的に話すと、意味ありげなシーンを切り貼りして、ポンポンと並べる、という手法を試してみました。もしかしたら観た人たちからは「意味がわからない」と言われてしまう恐れもあるのですが、若い人にはハマるんじゃないかと思いまして。船田さんには「このまま放送して、ジャッジは視聴者に委ねさせてください」と話し、お許しをいただきました。

——どんなエピソードになっているのか、楽しみにしています。船田さんが演出として関わるうえで、意識していることは？

船田 上手く間（ま）を取る、ということは大切にしています。間があることで観ている方々が想像を膨らませてくれるから、ホラーにとって間は重要な要素なんです。ただ、十一期では少し尺が短くなっているんですよ。

山川 手軽に観られる動画がトレンドになっている現代の視聴環境に合わせて、今回は尺を短くすることでテンポを早くしようとしたんです。

船田 30秒くらいだったら大丈夫だと思っていたんですが、実際に作ってみたら意外と大変でしたね（苦笑）。

山川 結果的には、いいテンポになっているんじゃないかと。

船田 短い尺の中で話が理解できるよう、これまでより情報量を増やしたりしているので、違った印象を受けるかもしれません。

——10年以上経った今でもチャレンジを続けているんですね。

船田 いろいろチャレンジをしないと、何よりも作っている僕たちが飽きちゃうんですよ（笑）。

山川 そうですね（笑）。

——長年『闇芝居』に携わってきたお二人ですが、ご自身が怖いと思うものはなんですか？

船田 怪奇現象は実際に起こったら怖いと思うんですが、僕自身はホラーをエンターテインメントの方法論だと捉えていて。これだけ番組を続けていると、ある意味受け入れられるところもある気がします。個人的には時代の進化や、それに適応した人間が怖いと思っていますね。デジタル文化が発展していくと、どんどん感情がない世界になるんじゃないかと想像してしまうんです。人の感情が薄れてしまうことが、一番ホラーではないかなと。

山川 わっ、と驚かされるよりも、絶対にないはずのものがある、ずっとここにいたけど本当はいなかった、というシチュエーションに怖さを感じます。たとえば、夜中にトイレへ行く途中に、廊下にすごくかわいいんだけど、見覚えがないぬいぐるみが置いてある……とか。恐怖って、わからないものに対して抱く感情だと思うんですよね。その意味では、「あれはなんだったんだろう？」と思われるのが、好きなホラーかもしれません。

——ちなみに、ホラー系の作品に携わると怪奇現象に遭遇するとよく言われていますが、お二人が『闇芝居』の制作中にそういう体験をしたことは？

船田 僕たち二人ともほとんどないですよね？

山川 ありませんね。ほかのプロデューサーが完パケをチェックしたときには、台本に書かれていないセリフが入ってしまっていたことがあったんです。みんなは怖がっていたんですが、僕は「流石、『闇芝居』だな」とうれしくなってしまって（笑）。

船田 僕も一緒にいるスタッフが「急にあそこで声が聞こえた」と話していたり、周りの作家からそういう体験をしたと聞いたりはするんですが、自分ではあんまり……すみません（笑）。

——ある意味では幸運だった、ということで（笑）。最後に読者に向けてメッセージを。

山川 10年以上続いている『闇芝居』ですが、まだ知らない方は多いと思うんです。一話完結のショートアニメだからサクサク観られますし、全く怖くない話もあるから、ホラーの入門編として気軽に観られるんじゃないかと。今回の十一期で全143話となり、スピンオフもたくさん作られているので、ぜひお気に入りの一本を見つけてください。

船田 山川さんがおっしゃった通り、怖くない話があるだけでなく、いわゆるビックリ系の話も少ししかやっていないんですよね。10年前だと、ショートアニメはアニメ業界では通用しないと、あちこちで言われていたんです。でも、『闇芝居』は夜中に放送されるという環境も含めて味にして、今は配信で電車の中などでも観られるようになった。映像も紙芝居方式を取っているから複雑に動いたり、特別綺麗だったりせず、ラジオドラマみたいな感覚で楽しめると思います。ちょっとした時間にパッと観たりして、気負わずに楽しんでほしいです。

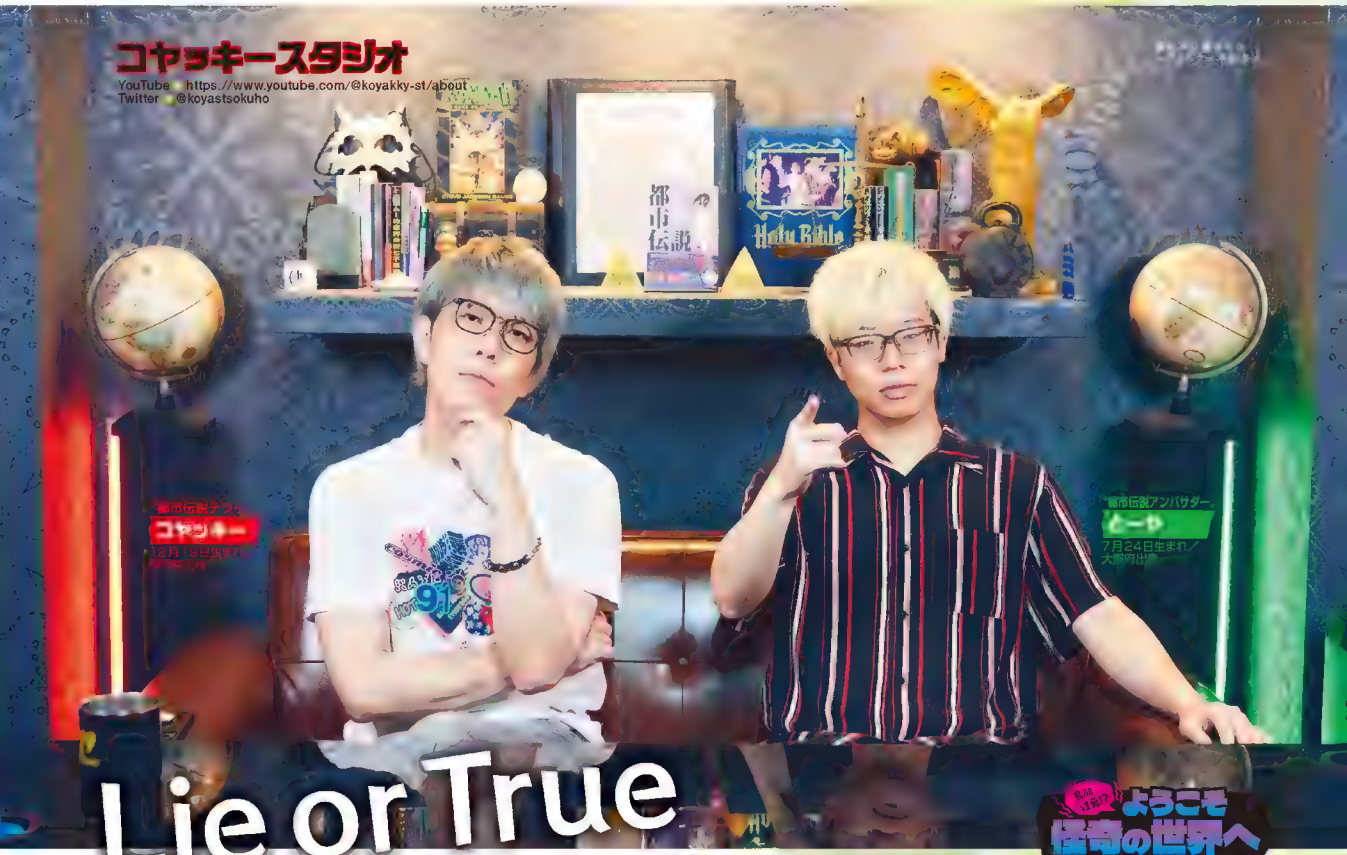
CHECK LIST

- ☑ オカルト
- ☑ サイコ
- ☑ リアル
- ☑ ファンタジー
- ☑ ビックリ
- ☑ ジリジリ
- ☑ コメディ
- ☑ ミステリー
- ☑ ハートフル

10年以上の歴史を誇り、140話を超える『闇芝居』は、ありとあらゆるホラーの要素を網羅している。十一期では"再"、十期では"おしまい"と、各期にテーマが設定されているので、そこに着目して視聴するのもオススメだ。

コヤッキースタジオ

YouTube https://www.youtube.com/@koyakky-st/about
Twitter @koyastsokuho



Lie or True あなたは信じる？

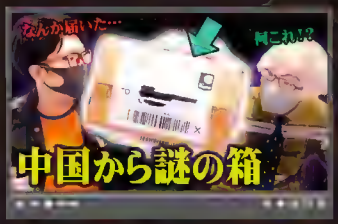
ようこそ怪奇の世界へ

現代社会で人々の間に広まる噂話――都市伝説。真実が解明されていないオカルト話から、背筋がゾクッとするような怖い話題など、ひとくちに都市伝説と言ってもその種類はさまざま。それらを独自の視点と話術を駆使して紹介しているのが、"都市伝説テラー"のコヤッキーさん、"都市伝説アンバサダー"のとーやさんが運営するYouTubeチャンネル「コヤッキースタジオ」（通称：コヤスタ）だ。

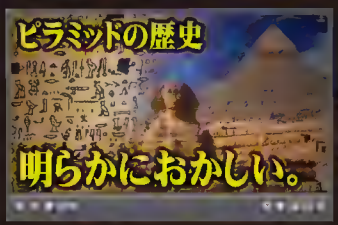
病みつきになる視聴者を続出させている「コヤスタ」の魅力は、なんと言っても二人の軽快なクロストーク！　ボケとツッコミを交えたコミカルな語り口調は、都市伝説という言葉からイメージする恐ろしさ、不気味さを和らげ、視聴者を未知の世界へと誘う。

二人がお互いの得意分野に対する豊富な知識を活かし、分かりやすくもテンポよく、20分程度のコンパクトさで解説していることも特徴。怖めの都市伝説を紹介した回でも、最後にはくすっと笑えるまとめで後味を良くしている工夫もまた、視聴者の心を掴んでいるポイントと言えるだろう。この夏は「コヤスタ」の動画から、奥深い都市伝説の世界に飛び込んでみてほしい。

コヤスタのオススメ動画



「[illegible]プレゼントの正体は…」では、体を張った検証をしました。国際郵便で勝手に送られてきた箱を開けたら、謎の種が出てきて。音響を鳴らすためにも開封を試みたので、ぜひ見てほしいです」（コヤッキー）



「僕はピラミッドシリーズ！　ピラミッドと言いたらお墓のイメージがあると思いますが、一番有名なギザのピラミッドは、墓として建造された証拠が見つかっていないんですよ。ピラミッドの秘密に迫る回は、どれもイチオシです」（とーや）

注目のホラーアニメは？

「[illegible]ですね。10年以上続いていて、いまや国民的アニメになっていると思います。ずっと都市伝説をテーマにしていて、短くて気軽に観やすいところは、僕たちが作る動画に求めているものと似ている気がします」（コヤッキー）

「どれも面白そうですけど、[illegible]挙げるなら「アンデッドガールマーダーファルス」かな。畠山守監督なら、都市伝説やホラーの要素も絶に重くなず、上手く描いてくれるんじゃないかなと」（とーや）

CHECK LIST

- ☑ オカルト
- □ サイコ
- ☑ リアル
- □ ファンタジー
- ☑ ビックリ
- □ ジリジリ
- ☑ コメディ
- □ ミステリー
- □ ハートフル

巷に転がる都市伝説を紹介するだけでなく、ゲストを招いて実体験を聞いたり、話題のスポットへロケに向かったりと、動画の内容はバラエティ豊か。一度でもツボにはまると、底なし沼のように抜け出せなくなるかも。

コヤッキー×とーや

都市伝説は新しい世界を知るきっかけになる

チャンネル登録者数100万人突破、おめでとうございます！

二人 ありがとうございます！

初めて「コヤッキースタジオ」を知った読者もいると思うので、まずはチャンネル紹介をお願いします。

コヤッキー 僕たちは普段、さまざまな都市伝説を紹介しています。都市伝説と聞くと不思議、ミステリアスなど少し怖いイメージもあると思うんです。僕たちは都市伝説をエンタメとして後味よく紹介して、学校や職場でのちょっとした会話のネタになったり、話すきっかけになったりしたらいいなと考えながら、活動しています。

怖い話でも、お二人のコミカルな掛け合いで聞き入ってしまうことが、動画の魅力の一つだと思います。話し手として、意識されていることはありますか？

コヤッキー 新規の人が見ても分かりやすいかどうかは、めちゃめちゃこだわっています。あとは自分たちが楽しいかどうかと、先ほども話した後味のよさですね。一つ重めの動画を見ると、そこで満足して視聴を止めてしまうと思うんです。だから、「もう少し見たいな」と思ってもらえるような、腹八分目な内容にすることは意識しています。

とーや 一生枝豆を出しているような感じですね。

コヤッキー ほぼ毎日更新しているので、「毎日見られるものって何だろう」と考え、内容の濃さよりも二人の掛け合いが大切だと思って。友達とは毎日話していても、聞き飽きたりしないじゃないですか？ 僕たちの動画も、その感覚と同じようになってくれたらいいなという気持ちで作っています。

アニメや漫画に関する動画も投稿されていますが、好きなアニメ・漫画はなんでしょうか？

とーや 最近観たなかだと『「推しの子」』や『ブルーロック』、『劇場版PSYCHO-PASS サイコパス PROVIDENCE』がとても面白かったです！

コヤッキー 僕は『ONE PIECE』。ずっと続いている長寿作品ならではの、毎週楽しみが続く信頼感みたいなものがあります。とーやくんからオススメされることも多くて、『コードギアス 反逆のルルーシュ』は熱烈にプッシュされましたね。

とーや コヤッキーさんは、いわゆる国民的アニメ・漫画にめちゃくちゃ造詣が深いんです。「映画『ドラえもん』のこれが面白い」「『名探偵コナン』のこの話は観たほうがいい」と、いろいろ教えてもらっています。

これまで取り上げてきたなかで、印象に残っている都市伝説は？

コヤッキー 自分が実際に体験したものですね。

アニメや漫画と同じことが現実でも起きたら面白いかも

とーや そりゃあ印象に残るでしょ（笑）。

コヤッキー （笑）。自分で不思議な体験をすると、巷に転がる都市伝説や、人から聞いた話を「本当かも」とより強く思えるようになるんです。妄想する領域が増えるというか。観ている人から不思議な体験をした話をいただくこともありますし、自分でも体験談を話すときはわくわくしますね。

最近の動画でも、撮影中に不審な音が入っていましたね。

コヤッキー そうなんです。もちろんやらせなどではなく、ありのままで出しているんですが、撮影中や編集中は気づかないのに、投稿すると変な音が入っていて。本当に不思議ですよね。

とーや 僕はAIやメタバースの発展に、実は日本政府も一枚噛んでいるんじゃないか？ という話が印象に残っていますね。内閣府が2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現させる、ムーンショット目標というものを掲げているんです。僕らが90年代にアニメで観た世界が現実になる過程に、本当に政府が絡んでいるのか!? そこに今、注目しています。

コヤッキー これはばっさりカットされるかもね（笑）。

とーや そんな悪い話じゃなかったでしょ！（笑）

コヤッキー お互い10～20年ぐらい前に都市伝説として言われていたものが、現実になっていることに対して印象に残っているのかもね。

とーや それだ！ いいまとめ。

コヤッキー （笑）。

お二人が考える都市伝説の魅力はなんですか？

コヤッキー 新しい世界を知るきっかけになることが魅力です。都市伝説は「本当かな？」「嘘かな？」と考えることで、自分のなかにない発想が生み出される可能性があるものだと思っています。陰謀論に寄ってしまうのはよくないんですが、常識が本当は間違っているかも、と疑う気持ちになることは大人になるうえで大切じゃないかなと。特に日本人は、ニュースで報道されたことを真実だと思いこみやすい気がするので、「何が自分にとって必要な情報なんだろう」と考える一つのきっかけに、都市伝説はなると思います。

とーや 世界の秘密を知れることですね。僕は都市伝説をアイドルグループみたいなものだと思っていて。たくさんの種類が存在して、なかにはアニメや漫画の世界のような内容もあったりします。現実でもこんなに楽しいことがあるんだ、アニメや漫画みたいなことが現実でも起こったら面白いかも、と思うきっかけになるのが魅力だと思います。

コヤッキー アイドルの例えがよくわからなかったんだけど。

とーや アイドルグループってたくさんメンバーがいるから、そのなかから推しを見つけるじゃん？ 都市伝説も同じで、いろいろ知ったらハマるものが見つかるかもってこと。

コヤッキー うーん……？

とーや え、伝わらない？

一同 （笑）。

コヤッキー でも、怖いから見ない・聞かないと思わずに、都市伝説に触れてみてほしいです。試してもダメだったら、もう観ないようにすればいいですし。一度覗いてみたら、意外とハマるかもしれませんよ。あなたのオタ活のようにね！

今後チャンネルで挑戦したいことはありますか？

コヤッキー 以前から年内にチャンネル登録者数200万人という目標を掲げているので、それは絶対に達成させます。

とーや 今の都市伝説界は、個々の分野に専門家がいる印象があって。僕らが都市伝説界を率いていく存在になって、祭りやフェスみたいなことをやりたいです。

コヤッキー エジプトのピラミッドとか、都市伝説のスポットに実際に行ってみたいですね。二人とも鮫が好きだから、シャークゲージに入って鮫に食べられに行きたいな。あと、僕らはアニメ・漫画がきっかけで仲良くなって、チャンネルでも紹介動画を上げてきましたが、今度は作る側に挑戦しようと思っています。この情報はここが初出しですよ!!

お二人の新しいチャレンジ、楽しみにしています！ 最後に読者に向けてメッセージを。

コヤッキー 僕たち、アニメも漫画も大好きな都市伝説チャンネルをやっているので、ぜひチャンネル登録をお願いします！

とーや これに尽きますね（笑）。またどこかで会ったら、アニメの話をしましょう！

一度覗いてみたら意外とハマるかもしれませんよ

考え方も生き方も全然違うアキラとシズカ
相容れないように思える二人だったが
何度も出会い少しずつ関係が変わっていく？

ニセ

ブラック企業を退職し、〝ゾンビ〟になるまでにしたい100のこと〟リストを達成するため、親友のケンチョと旅に出たアキラ。生き延びるためのタスクとして〝ゾンビにならないためにすべき100のこと〟を実行するシズカ。あまりにも対照的な生き方をしていた二人のファーストコンタクトは、とあるコンビニだった。

アキラは家で飲むビールを買い足すために、シズカは必要な物資の調達のためにと、コンビニに足を運んだ目的も全く違う二人。シズカに連絡先の交換を持ちかけたアキラだが取りつく島もなく、その場ではお互いの名前を知ることもなく別れた。

そんなアキラとシズカは、とある目的で訪れた水族館で〈アキラ曰く「運命の」〉再会を果たすことに。新たな目的に向かって動き出したアキラに対して、疑問を投げかけるシズカ。一方、シズカも「短絡的で刹那的快楽主義者の思考の持ち主」と評したアキラの生き方を目の当たりにして、心の中にある変化が……？　全く異なる個性がぶつかるからこそ、それが与える影響も大きいはず。ふたたび人生の道が交わったアキラとシズカに何が起こる!?

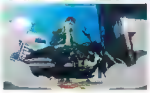
好きだった人に想いを告げる

アキラがリストに書いた最初の項目が、社長の愛人である風さんへの告白。風さんがゾンビ化したことで告白は失敗したが、これで想いを振り切り新たな人生をスタートさせた。

親友と朝まで飲んでバカ騒ぎをする

喧嘩別れ、したケンチョに謝るため、彼がいる新宿に向かったアキラ。仲直りしてゾンビだらけのビルから逃げ出した二人は、お互い裏っ喋で夜通しビールを飲み交わすのだった。

子供の頃に憧れた夢を思い出す



地下に避難していたCAたちと出会ったアキラとケンチョ。その一人であるユカリと交流を深めたアキラは、自分が子供の頃に抱いていた夢について考える。はたしてアキラが憧れていたものとは？

アキラ（天道 輝）

笑顔×全力で突っ走る

アキラ（天道 輝）役 **梅田修一朗**

シズカ（吉澤 亜美）役 **柿木とも**

素直なアキラと変化するシズカ

――作品の内容を知った感想をお聞かせください。

梅田 オーディションの前に原作を読んだんですが、第1話のブラック企業に勤めているアキラが、ちょっと苦しくなるくらいリアルで……。そこから想像できないくらいアキラが明るくなるジェットコースター展開から、彼がどうなるのかが気になって、読む手が止まらなかったです。

柿木 私もオーディション前に原作を読んで、最初はブラック企業で苦しむアキラが描かれていたから、ゾンビものらしい暗い作品だと思ったんです。事前にオーディション用にいただいたシズカのセリフも、淡々としたものが多くて、でも、実際はシズカ以外のキャラクターはめちゃくちゃギャグをやっていて、はじめに感じていた印象とは違うな、と（笑）。

梅田 （笑）。

柿木 ゾンビが出てきてからのほうが明るくなる作品も珍しいというか、梅田さんもおっしゃっていましたが、シリアスになったりギャグになったりするジェットコースターのようなテンポ感で、ずっとドキドキしながらも楽しくなるような作品だなと思いました。

梅田 どのくらいアキラと同じようにものを考えながらお芝居をしているかは意識しています。アキラはパンデミックの世界になったことで、普通の人生だったらあり得ないような、自分の気持ちに素直に物事を考えすぎるタイプなんですが、必要以上に考えて演じるとアキラじゃなくなってしまうと思うんです。アキラが変っていく過程を演じていくように、自分もアキラらしく、素直に出来事を受け止めておけるようにしています。

柿木 シズカはセリフのバランス感に気をつけて演じています。今後明かされるバックボーンを踏まえると、落ち着いているように見えて実は余裕がないタイプだと思っていて、相手を挑発するニュアンスのセリフ[illegible]なりすぎないように注意しています。あまりにも落ち着きすぎると、ただのイヤなめんどくさい人になってしまいますし、アキラたちと一緒に行動する場面が増えるようにも演じたいなと思いました。

梅田 一緒にしていることは？

柿木 [illegible]

ゾン100
～ゾンビになるまでにしたい100のこと～

ドラたいとすべき

シズカ（一日月 聞）

自分の身を守るため、持続可能な安全が確保された場所を探す。名前を知るまでアキラから「リスクヘッジお姉さん」と呼ばれていた

ゾンビ映画を徹底的に研修し、激変した世界でゾンビにならないよう生きているシズカ。コンビニで目にした桜餅も我慢するなど、非常にストイックな生き方を貫こうとするのだが　？

お笑い芸人になる

不動産の営業マンだったケンチョは、自分の仕事に虚しさを覚えていた。アキラに感化された彼は、いつかなりたいと思い描いていたお笑い芸人を目指すと決めた。

てからは、チームの中で大人びた感じにするか、同じくらいの年齢感で接するか、少し幼さを出すかなどのバランスも意識しています。シズカは28歳なんですが、見た目はちょっと幼い印象がありますし、声を張るシーンやギャグシーンは私自身も楽しんで演じたほうがいいと思いますし、アキラたちの空気感とどのくらいチューニングを合わせるかは考えていますね。

――梅田さんから見たシズカ、楠木さんから見たアキラの印象も教えてください。

楠木　アキラは生命力の塊です。ブラック企業で働いたことを経て、生きることに対する力が強くなっていると感じます。アキラがいるだけでその場が明るくなるし、一人だけ見ているものがちょっと違うというか、一歩先を行っている気もして、私自身は考え方がシズカに近くて、アキラの明るさや素直さは見ていて少し羨ましいし、とても爽快感があるキャラクターだと思っています。

梅田　シズカさんって言っちゃうんですけどシズカさんって言っちゃうんですけど（笑）、いわゆる真面目系のセリフが多いんです。カタカナの言葉に言い換えたりして、そんなシズカさんが僕たちの中で一番面白いことをしているシーンもあって、そのギャップが魅力な気がします。あと、アキラがすごく素直なのと対照的に、シズカさんはこれからどう素直になるかがポイントだと思いますね。どんどん力強くなっていくアキラと、シズカさんがどうやって素直に、自分らしくやっていけるようになるのかが、今後見守るのが楽しい部分じゃないかなと。

笑えるのが大変？男性陣のアドリブ

――アプレコでは、どんなと一緒になる機会が多いのでしょうか？

梅田　アキラ、シズカさん、ケンチョ（古川慎さん）、今だとペアトリクス（高橋ミナミさん）が合流して、4人揃って録ることが多いです。

楠木　ペアトリクスが来るまでは、会話の多いキャラクターが代わる代わる入っていました。

梅田　そうですね。古川さんのケンチョはもう、ホントに最高で！

楠木　ちょっと適当な感じがいいですよね（笑）。

梅田　そう、アドリブもすごく面白いんです（笑）。

楠木　ケンチョとアキラの会話は、大学生のノリそのもの。

梅田　ははは（笑）。

楠木　そのあとのシズカのツッコミが入れられないんですよ！「もっと聞きたいのに」と思っちゃって（笑）。

梅田　なるほど、すいません（笑）。

楠木　（笑）。

――和やかな雰囲気の現場なんですね。

梅田　ホントに楽しいです。特にアキラとケンチョの掛け合いは、僕が投げたものに古川さんが乗っかってくれるし、逆に古川さんに引っ張ってもらうことも多くて、和気あいあいとしつつ常に全力で、という感じです。

楠木　収録中は体育の授業かと思うくらい、みんな息切れしているんですよ。

梅田　そうそう。

楠木　私も長文のセリフが多くて、

梅田　シズカさんの長セリフが終わったあとに、古川さんが拍手をするんですよね（笑）。

楠木　ものすごく褒めていただいてうれしかったです（笑）。

――彼女にシズカは長セリフや、難しい言葉を使うセリフが多い印象があります。

楠木　初めて聞くワードばかりで、噛みまくになってしまうことが多かったです。水族館の回（第5話）は楽しいちゃったりロパクに収まらなかったりして、家でチェックをしている時は久々に同じセリフで3、40分くらい苦戦しました。男性陣も大きく

梅田　アドリブの収録が終わったら「旦「お疲れ様」

楠木　になっていましたよ。

梅田　しまうことが多いの

[illegible]時はそういうこともあると思うんですが、気持ちが先行してひっくり返っちゃうこともあって……。そこで楠木さんや古川さんが「大丈夫だよ」と声をかけてくださるんです。

楠木 すごく落ち込んじゃうんで（笑）。

梅田 そんなこと……いや、落ち込んで[illegible]ます。ホントに、皆さんに支えられな[illegible]っています（笑）。

[illegible]れ毎回おっしゃってますね（笑）。

[illegible]みに、お二人ががっつり共演し[illegible]が初めて？

[illegible]です。

[illegible]ですね。

[illegible]いて、お互いについて素敵[illegible]はありますか？

[illegible]共演者の方は皆さんすご[illegible]んですが、面と向かって[illegible]ところをお伝えする機[illegible]一緒にお芝居させて[illegible]んだ」という安心感を覚えています。あと、いい意味で驚くようなアイデアを感じる瞬間もあって、とても刺激をもらっている気がします。僕が言うのはおこがましいですが、シズカさんは楠木さんが演じてくれて良かったと思っています。まだ収録終わっていませんが。

楠木 （笑）。ありがとうございます！ 私と梅田さんの共通の知り合いに戸谷菊之介くんがいて、収録が始まる前に話を聞いていたんです。

梅田 えっ、はじめて聞きましたよ!? 菊ちゃん、なんて言っていました？

楠木 それは内緒で（笑）。実際に現場で演技を聞いた時、特に楽しそうにしているシーンで「アキラだ！」と思いました。お芝居も体全体を使って演技されているのが、すごくアキラのキャラクターにフィットしていたんです。その印象が強くて、性格もアキラみたいなのかなと思っていました。お話しする中でとても感受性が豊かで、何事にもストイックな方だと感じましたし、アキラのように現場を引っ張ってくださったり、ムードを作ってくださったりしていて、いろいろなことに気配りされる方なんだろうなと。

梅田 ありがとうございます……ちょっと気恥ずかしいですね（笑）。

楠木 そうですね（笑）。

まさかの試練!? アキラの歌ネタ

──収録していて、印象に残っているシーンは？

梅田 第2話のアフレコの時に、楠木さんがおっしゃったことを今でも覚えていますね。

楠木 なにか変なこと言いました？

梅田 「私、ゲラなんですよ」「ビールの歌、楽しみにしています」って

楠木 あっ、言いました（笑）。

梅田 コンビニに入っていくシーンで台本に「ビールの歌を歌ってください」って書いてあったんです。だから、「僕、試されてる？」と思ってものすごくドキドキして（笑）。

楠木 そんなつもりじゃなかったんです（笑）。台本を読んだ時点で面白かったから、「どうくるんだろう？」と単純に興味があったんです。

梅田 なるほど。

楠木 試しているわけじゃなかったんですけど、言われた側からしたらそうなりますよね（笑）。

梅田 でも、そのおかげで吹っ切れたというか、「期待に応えないと」「僕はこの人を笑顔にしなければ」みたいな感覚で歌いました（笑）。

楠木 あの時はごめんなさい（笑）。

梅田 いやいや！ 楽しかったですよ。まだ2話で緊張もありましたし。アキラって結構歌いがちで、ビールの歌ももう一度出てきますし、ほかにも歌う場面があって、楠木さんとのやり取りを経て歌っているんだとイメージしながら聞いていただけると、僕の緊張感が伝わると思います（笑）。

楠木 （笑）。私は第5話のロレンチーニ編のくだりですね。説明をするのがとにかく大変で……（苦笑）。あと、第6話のアキラとケンチョが楽しそうで、笑いを堪えていた思い出も込みで印象に残っています。二人のノリで進んでいる感じがすごく面白くて、見ているだけでハッピーになれて大好きなんです。

梅田 現場でいつもニコニコしてくれていてうれしいです。

楠木 恥ずかしい（笑）。

──アキラのように、ゾンビになるまでにしたいことリストを考えるとしたら、何をやりたいですか？

梅田 難しいですね……。

楠木 『ゾン100』に出会うまでは、ゾンビになるまでにしたいことを考える発想がそもそもなかったんです。ゾンビだらけの世界になったら、私は三日目くらいで死んじゃうんじゃないかなって（笑）。アキラみたいにやりたいことをやるほうがハッピーだと思うんですが、考えてみると意外と出てこないんですよね。「ゾンビの世界になったらできるわけない」と思っちゃうところもありますし、今お仕事している中でやりたいことが叶っている気もして。

梅田 それだけ自分のやりたいことを素直に考えるのって、難しいんだと思います。急に休日を与えられても「遊びたい」と思っていたのに何もす[illegible]困る、みたいな。

楠木 そんな感じですよね。

梅田 突然ゾンビの世界になったら何も考えずに、公園でのんびりするかもしれ[illegible]しれない[illegible]た時、誰[illegible]やっぱり家[illegible]かなって[illegible]ましたし、誰[illegible]なのかもしれ[illegible]

──アキラはすぐケンチョに会いに行き[illegible]

梅田 そうでし[illegible]ね。ケンチョに電話して、新宿まで会[illegible]行って[illegible]

楠木 誰かという[illegible]、何かをやる活力が湧くのかもしれ[illegible]せんね。

──今後の見どころ[illegible]教えてください。

梅田 アキラ的には[illegible]のすごく怖い人と会って……。

楠木 怖かった！ セ[illegible]フを聞いているだけで、メンタルをや[illegible]れる感じがしました。

梅田 やられましたね。[illegible]ゾリしてました（笑）。普段は穏やかでお茶目なところもある素敵な先輩なのに、どうして怖い人の怒り方ができるんだろうと思いましたね。「すごかったなぁ」という感想しか出てこなかったです。尊敬の念を抱きつつ、そのお芝居に負けないようにと思い、頑張りました。

楠木 第7話ではシズカの過去が描かれて、なぜ彼女が今の考え方になったのかが明らかになります。シズカがどう変化していくのかは見届けてほしいですね。

梅田 シズカさんが変わるところは、見ていて絶対共感できると思います。

楠木 個人的には、終盤の展開がすごく好きで。映画を見ているような感覚もあるので、ぜひ見てもらいたいです。

──最後にファンへメッセージを。

楠木 ここまで観ていただいている皆様、ありがとうございます。シズカは第5話で本格的に登場し、ここから掘り下げられていきます。アリスクヘッジお姉さん、気になるな」という方はぜひ期待してください。『ゾン100』は作品の熱量が高く、ギャグもありながらウル[illegible]くるシー[illegible]考えさせられるシーンも多く[illegible]。自分が何をしたいの[illegible]

梅田 [illegible]ありが[illegible]

[illegible]ながら全力で、笑いながら収録しています。[illegible]もっと観てくださった方にも、この熱量や空気感が伝わる作品になっているんじゃな[illegible]

好きなキャラクターは？

楠木 ケンチョです。同じ空間にいたらいつも笑わせてくれそう。それもふざけてやるんじゃなくて、笑わせたいと思ってやってくれるのかなって。根が真面目で、一緒にいたら楽しい！ とても素敵な人だと思います

梅田 みんな大好きですけど、一人挙げるなら僕もケンチョかな？ アキラとは別ベクトルで自分に素直というか。ちょっとチャラいところもあるんですが、それも芯があるというか、理由があるのがカッコいいし、チャーミングだなと。実は『ゾン100』の中で一番欠かせないキャラクターなんじゃないかな

10月11日生まれ／千葉県出身。[illegible]プロダクション所属／最近の出演作は『彼女が公爵邸に行った理由』（[illegible]ダム・テイラー）、『犬になったら好きな人に拾われた。』（ポチ[illegible]）

Kusunoki Tomori
12月22日生まれ／東京都[illegible]ソニー・ミュージックアーティ[illegible]所属／最近の出演作は『スパイ教室 2nd season』（アネット）、『魔王学院の不適合者Ⅱ ～史上最強の魔王の始祖、転生して子孫たちの学校へ通う～』（ミーシャ・ネクロン）[illegible]

アニメージュ

Animage

流浪人の緋村剣心が東京下町を訪れてから、彼の周りには様々な人が集まってきた。神谷道場の師範代・神谷薫。東京府士族出身の少年・明神弥彦。そして直近に剣心の前に現れたのが、喧嘩屋「斬左」こと相楽左之助だ。

左之助は神谷道場を狙う悪党・比留間兄弟に雇われ、剣心に喧嘩を売りに来た。だが、彼が剣心と闘おうとした理由はそれだけではない。偽りの新時代を築いた維新志士たちを憎む左之助は、「最強の志士」と謳われた剣心の打倒を切望していた。

しかし、明治の世に満足していないのは剣心も同じだった。むしろ剣心は、維新志士だったがゆえに、本当の新時代はいまだ訪れていないと強く実感。だからこそ今も逆刃刀を振るい続けている。刀と思いをぶつけ合い、互いへの理解を深めた剣心と左之助。闘いを経て、二人の間には確かな絆が芽生えたのだった。

こうして神谷道場に集う仲間が増え、ますます賑やかになった剣心の周辺。だが、剣心のもとに集まるのは、左之助たちのように分かり合える者ばかりではないだろう。伝説の人斬りの名に引き寄せられ、今も血塗られた幕末の時代を生きているような危険な存在がやって来ても不思議ではない。果たして次に剣心の前に現れるのは、敵か？　味方か？

緋村剣心
KENSHIN HIMURA
元・最強の維新志士。栄華の誘いを断り、本当の意味での維新を達成すべく、時代が変わった今も弱き者のために逆刃刀を振るっている

【神谷道場の新たな門下生】

東京府士族の出身ながら、両親と死別し、ゴロツキの下でスリをさせられていた弥彦。剣心に助けられた縁で、神谷活心流に弟子入りすることになった。まだ経験は浅いが、強くなりたいという気持ちは人一倍。彼の剣の腕前が今後どのように成長していくのか注目だ！

【誠意が伝わる人、伝わらない人】

誰に対しても優しく誠実なところは薫の長所だが、その誠意は全員に伝わるわけではない。彼女が活人剣を教えた元・門下生の中にも、酒に酔った勢いで人を傷つける不届き者がいた。だが一方で、弥彦は彼女の誠意をきちんと受け止めてくれた様子。まっすぐな思いは届く人には届くものだ。

左之助に剣心との喧嘩を依頼したのは、かつて神谷道場を乗っ取ろうとして剣心に倒された比留間喜兵衛&伍兵衛兄弟。彼らは左之助を利用して剣心を亡き者にすることを目論んでいたが、卑怯な手で陸嘩に横槍を入れようとして剣心と左之助双方の怒りを買い、前回以上に痛い目に遭うことに。

【再び登場！比留間兄弟】

るろうに剣心 ―明治剣客浪漫譚―
❖毎週木曜日❖深夜0時55分❖フジテレビ系"ノイタミナ"ほか
※放送時期は予告なく変更になる場合があります
HP❖https://rurouni-kenshin.com/
© 和月伸宏／集英社・「るろうに剣心 ―明治剣客浪漫譚―」製作委員会

目標は全編映像化！

シリーズ構成・脚本 倉田英之

「作り手の自分」と「読者の自分」の両立を

――倉田さんが今作に参加することになった経緯を教えてください。

倉田　企画段階のスタッフ候補者リストに自分の名前があって、和月伸宏さん（原作）と黒碕薫さん（原作ストーリー協力）が指名してくれたみたいです。お二人とは20年前、海外のイベントで知り合ったのですが、仕事をするのはこれが初めてです。

――もともと倉田さんは『るろうに剣心』という作品にどんな印象を持っていましたか？

倉田　『週刊少年ジャンプ』読者だったので、原作は毎週読んでいました。少年漫画で明治が舞台、という点が新鮮でしたし、史実とフィクションのバランスも絶妙だったと思います。OVAや実写は観ましたが、TVシリーズとミュージカルは未見です。様々なジャンルで展開されているのを見て、やはり作品として優れているのだろうなと感じました。

――今作のシリーズ構成や脚本に関して、山本秀世監督からのオーダーは？

倉田　原作に忠実に、という方向性は共通の認識としてあったと思います。一度完結している作品なので、先の展開を踏まえてのアレンジはところどころでしてはいますが、でも、皆さんが読んだ時に印象に残ったセリフや場面は可能な限り残すこと、ストーリーは無関係でもなるべく拾うことは大切にしています。『作り手としての自分』と『読者としての自分』の両立を心がけています。

――90年代の原作漫画を今の時代にアニメ化をするという点で何か意識したことは？

倉田　あまり今の時代に合わせすぎないように、とは考えています。短い話数で早い展開というのは昨今のセオリーではありますが、描くべきところを丁寧に描くという点がまさに『剣心』が30年も愛されている理由の一つだと思いますので。

――今回、和月さんが完全監修という形で関わっています。脚本に関して和月さんからはどのようなお話がありましたか？

倉田　和月さんは連載時のことをとてもよく覚えています。「この話はアンケート何位だった」とか、「この回でこういうお便りをもらった」とか。「だからこの箇所はこう変えたい」「今の自分が描くならこう直す」など、毎回貪欲的にアイデアを出していただいています。感謝の極みです。

左之助にとって相楽総三は特別な存在

――放送済みの話数に関して、制作時に意識したことやこだわりを教えてください。

明神弥彦
YAHIKO MYOJIN

以前はスリをしていたが、現在は神谷活心流に弟子入りし、強くなるために剣術修行中。幕末を志高く生きた両親のことを誇りに思っている

神谷 薫
KAORU KAMIYA

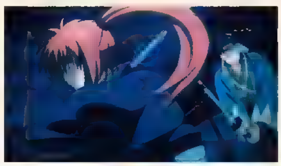
気丈で責任感が強く、面倒見もいい、神谷道場の師範代。弥彦とは口喧嘩が多いものの、師として彼の成長を温かく見守っている

【喧嘩屋「斬左」の強さ】

左之助の強さは、大男を指一本で倒す怪力や、その怪力で繰り出す巨大刀剣「斬馬刀」の剣撃だけでない。彼のもっとも強力な武器は、異常なまでの打たれ強さだ。飛天御剣流の技を喰らいながら何度でも立ち上がる彼のタフさを、剣心は「今までの連中とは段違いでござった」と評していた。

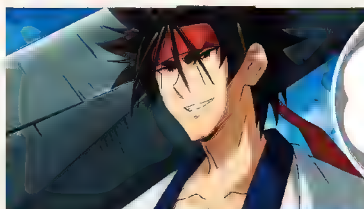
【人斬りの罪を償うために】

満身創痍になりながらもなお、負けを認めようとしない左之助。剣心はそんな彼を拳で殴りつけ、「喧嘩の相手が違うのではござらんか」と問いかける。剣心が人斬りの罪を償うために今も戦い続けていると知った左之助は、自身の目が怒りにくらんでいたことに気づくのだった。



【悪一文字を背負う理由】

左之助は、明治維新の折に維新志士によって陥れられ、ニセ官軍の汚名を着せられた「赤報隊」の生き残りだった。斬首された隊長・相楽総三の無残な姿を目にして以来、維新志士に強い怒りを抱え続けてきた左之助。彼の背中の悪一文字には、そんな赤報隊に対する思いが刻まれている。



相楽左之助
SANOSUKE SAGARA

剣心に敗れ、喧嘩屋を廃業した。明治維新以来ずっと維新志士を嫌っていたが、剣心との闘いを経て、彼のことは認めた様子

【そして仲間がまた一人】

剣心の強さを認め、自身の敗北を悟った左之助は、その翌日、偶然会った剣心に「口先だけのイカサマ維新志士とどう違うか この先お前につきまとってこの目でしかと見極めてやるぜ」と宣言。そんな彼の目にはもう維新志士への怒りの炎はなく、剣心への友情の灯が宿っていた。

明治の世になってから11年。
新政府が成立し、維新は成し遂げられたかのようだが、
まだまだ人々の心の中では激動の時代は続いている――。

維新はまだ終わらない

惹かれ合う魂

俗に「美男三千人」と謳われる大奥――それは女将軍の権威の象徴。男女逆転という大胆な設定のもと、運命に翻弄される男女の行く末を豪華絢爛に描き出す！

大奥

Netflixにて独占配信中
https://www.netflix.com/title/81464005

STAFF● 原作／よしながふみ「大奥」　監督　阿部記之　シリーズ構成・脚本／たかすぎ梨香　キャラクターデザイン　佐藤陽子　音楽　川井憲次　アニメーション制作／スタジオディーン　企画・製作　Netflix

CAST● 万里小路有功　宮野真守　徳川家光／松井恵理子　玉栄／梶裕貴　春日局／井上喜久子　捨蔵／福山潤　水野祐之進／関智一　お信／佐藤みゆ希　徳川吉宗／小林沙苗　ナレーション／窪田等

英明の君・吉宗

名君として知られる八代将軍・徳川吉宗。合理主義で美男にまったく興味がない吉宗は、金食い虫である大奥の改革を断行。大奥成立の歴史に強い関心を寄せている。

吉宗の「初めての男」

貧乏旗本の息子である水野は、生家を助けるため大奥入りを志願。ちょっとした誤解から吉宗のお気に入りとなるが、大奥には「将軍の最初の相手は死罪」という掟があり……。

家光のうっぷん晴らし

町の女性を狙った通り魔的な事件は、家光による憂さ晴らしだった。非道な行いを諭す有功だが、彼の正論は幾度となく打ちのめされてきた家光をさらに追い詰めてしまう。

運命、その残酷なもの

家光との子をなす道具として、大奥に召し上げられた有功。互いの想いが通じ合い、二人は幸せを取り戻したかに見えたが、何度寝所をともにしても彼女が懐妊することはなく――。

ある想いの形

かつて、大勢の助けになりたいと願っていた有功。だが本当に救いたいのは、女性としての人生を踏みにじられてきた家光ただ一人と思い至る。家光の肩にかけてやった女物の着物は、その想いの証。

男と女の業

家光に子を授けることができない有功は、他に側室を取るよう進言。その中には玉栄こと「お玉の方」もいた。家光は彼の勧めを容れつつも、生涯心にあるのは有功だけと誓う。

徳川家光
【とくがわ いえみつ】
三代将軍・家光の落胤で、本名は千恵。将軍として生きることを強いられる中、心身の均衡を崩してしまう。気性は激しいが、聡明で頭の回転が速い。

万里小路有功
【までのこうじ ありこと】
心優しく高潔な公家出身の青年。より多くの人々を救いたいと僧を志すが、その美貌から無理やり還俗させられ、家光の側室「お万の方」となる。

玉栄
有功の引き人をつとめる小僧。主を心から慕い、ともに還俗して大奥の部屋子に。有功のためならどんなことにも手を染める。直情的で危うい一面も

春日局
家光の乳母で、その後の大奥の生みの親ともいえる存在。徳川存続のためには手段を選ばず、家光の逝去を隠し、娘の千恵を身代わりに立てる

江戸時代　誅の疫病・赤疱瘡により男子の人口が急減　政治や労働といった社会運営の多くを、女性が担うようになっていた　そんな中、大奥のあり方に疑問を抱く八代将軍・徳川吉宗は、所記「没日録」からその歴史を紐解いていく。

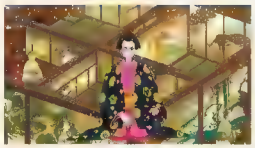
時はさかのぼり、三代家光の時代　僧・万里小路有功は春日局にその美貌を見込まれ、将軍の小姓になるよう脅迫を受ける　大奥入りした有功が知る、徳川最大の秘密――それは将軍本人は疫病によりすでに亡く、現在の家光は男装した少女であることだった

家光ことお千恵の半年は壮絶なものだった　母を殺害され、江戸城に連れ去られた彼女は、暴行を受けた末に妊娠し、赤子は死産　男性としての人生を強要され、かしづく男たちに馬鹿にされながら、息を潜めるように暮らしている　女性としての尊厳を奪われてきた家光だが、やがて有功と強く惹かれ合うようになり……

原作が持つ大胆さと繊細さを、阿部記之監督が丁寧にすくい上げた本作　そこからは、幸福の追求やジェンダーといった、現代が抱える問題も浮かび上がってくる　艶やかな作画と壮厳な音楽によって彩られる重厚な物語――三代将軍・家光と有功たちが紡ぎ出す万華鏡のような人間ドラマを堪能したい

徳川の人柱

春日局の願いは徳川の存続、つまり世の平和と安定だ。国を支える人柱になると決意した家光は、自ら女性であることを公にし、女将軍の誕生を宣言――異を唱える者はいなかった。



ある愛の形

家光にすがって生きることに限界を感じた有功は、彼女と決別。大奥の顔である総取締として家光を支えると決意する。その着物の背には、彼の愛の形を表すかのような淀みなき流水紋がひと筋――。

絢爛豪華な世界を楽しんでほしい

時代をつないでいった女性たちの人生

——歴史もので、かつ男女逆転劇という特殊な設定を、阿部監督はどのように解釈されましたか。

阿部　僕はもともと『ベルサイユのばら』など、女性が男性として生きるといった設定の作品が好きなんです。なので、当初は『ベルばら』に近い感じなのかなと思っていたのですが、実際に原作を読んでみると、単なる男女逆転ファンタジーではない。この作品の女性たちはそれぞれの立場から将軍職を務めたり、力仕事を担ったりしているけれど、究極的には「女性としてどう生きるか」という話なんですよね。僕が感じたのはあの時代——今もそうなのかもしれないけれど、女性たちが男性社会の中で頑張って命をつないできたこと。それがより鮮明に伝わる、人間ドラマとして秀でた作品だなと思いました。

——アニメ化にあたり、原作のよしながふみさんから何かリクエストはありましたか?

阿部　よしなが先生のほうから、大きなリクエストをいただくことはありませんでした。ただ、時代劇なので、言葉ひとつをとっても慎重に扱う必要があります。先生ご自身も非常に勉強されていますし、専門家の方もついているので、僕らアニメスタッフが勝手に作ってしまうより、原作の世界観をそのままアニメ化したいと判断しました。以前、僕が監督を務めた『黒執事 Book of Circus』もそうですが、独特な世界観があって、かつ完成された原作を変にいじりたくはないという気持ちもあります。実写ドラマはいろいろな事情で変更せざるを得ないところもあるとは思いますが、アニメーションという手法であれば、原作に近づけようと思えば近づけられますし。変更した点といえば、アニメーションとして見せる上でどうしても伝わりにくいとか、テンポが悪くなってしまう部分のみで、それ以外のセリフはほぼ原作通りです。それが可能だったのは、定尺ではないNetflixでの配信だからこそです。

——アニメだからこそできる表現についてお聞かせください。

阿部　ひとつは『大奥』らしい、絢爛豪華な映像。色とりどりの着物が登場する世界をアニメーションで表現するのは、もちろん可能ですが非常に大変な作業でもあります。3D作品であれば一度テクスチャを貼ってしまえばいいのですが、普通のアニメーションだと、動きに合わせてそれらの模様を全部ズラしていかなければいけない。当然、少しの動きでも現場の負担は大きくなりますが、そこが本作の見せ場のひとつなので、プロデューサーも「ぜひやろう」と。その点で、着物の動きは他の作品ではあまり挑戦していないところなので、ぜひご覧いただきたい部分ではあります。それと、本作は背景も非常に重要で、石垣プロさんがとても頑張ってくださいました。質感がリアルで、当初は「リアルすぎるかな」「人物の絵と馴染むかな」とも思ったのですが、合わせてみたら綺麗にはまり、よりキャラが映えるようになったなと。

——今回の配信では家光編を9話分で描きましたが、家光編をセレクトした理由は?

阿部　原作1巻目の水野の物語は、『大奥』の世界観を紹介する役割もあるので、アニメではそこを1本にまとめ、すべての起源である家光編から本格的なドラマが始まるという作りにしました。

——以前手がけられた『胡蝶綺 ～若き信長～』では戦国時代を舞台にした作品を手掛けられましたが、江戸時代を描いてみていかがでしたか?

阿部　戦国時代よりは江戸時代のほうが文献も残っているようですが、およそ250年続いた時代ですから、髪型の流行ひとつでもやっぱり大きく変化していて、三代家光と八代吉宗の時代ではだいぶ違います。考証の方にも相談しながら制作していますが、やはり大変なところではあります。

——大奥は一般社会から隔絶された特殊な環境ですが、これらの歴史を紐解いたとき、監督には何が見えたのでしょうか?

阿部　難しい質問です(笑)。『大奥』を手がけてみて思ったのは、人間模様というのは本当に多種多様で、そのことをまざまざと突きつけてくる作品なんだなと。歴史の向こうに、よしなが先生のメッセージ性やドラマの深さが見えてきた感じでしょうか。

懸命に生き抜いた人々の崇高さを伝えたい

——今回は有功と家光がメインとなる物語ですが、二人の魅力とは?

阿部　時代に翻弄される中、二人の心が近づいていって、お互いに支え合う関係になっていく過程は、ドラマとしても非常に見応えがあります。家光は将軍という立場ですが、もし姫だったとしたら、多くの男性に嫁がされた祖母と何も変わらないじゃないかと言う。それでも彼女は家のため、一族のため、国のため、翻弄されながらも頑張って生き抜いた。そうした人々の懸命さや崇高性を、現代に生きる人たちに伝えられたらと思うし、その最たる存在が大奥のルーツとなった家光なんだろうなと思います。

——有功の印象は?

阿部　有功も含め、よしなが先生のキャラクターはみんなそうなんですが、人の業——陰と陽の部分をちゃんと持っているんです。有功は清廉潔白で清々しい男性ではあるけれど、時の流れの中で女々しいところや黒い部分が出てきたりする。かといってダークサイドに堕ちるわけでもないので、そのバランスがリアルで絶妙だと思います。そこを有功役の宮野真守さん、家光役の松井恵理子さんが収録前からしっかり役作りをしていて……。僕は今回、音響も担当しているんですが、僕がディレクションしなくても、キャストさん方があらかじめ作ってきてくれたものがとても素晴らしかったんです。感情をきちんと積み上げて演じてくださっているので、「そうだよね、やっぱり人間はそうなるよね」という説得力があるんですね。

——声がつくことで、キャラクターの人間味もより増したように思います。

阿部　僕は松井さんと組むのは初めてなんですが、本当に全力でお芝居をされる方です。泣き叫ぶシーンもテストから全力で「喉、大丈夫かな」と、こちらが心配になるくらい。それほど入魂のお芝居をしてくださったので、その熱量が家光という人物にピッタリだなと思いました。

——Netflixのよさはイッキ見できること、そして何度も見返せることですね。繰り返し視聴する際に、「ここに注目しながら観るとより楽しめる」というポイントを教えてください。

阿部　原作ではメインのキャラクターがしっかり描かれていて、それ以外の人物については比較的あっさりした描写になっています。ザッと読んだだけでは、脇の人物がどうつながっているかわからないところもある。六人衆という老中たちにしても、時を隔てて登場していますが、特に誰が誰だかわからなくても物語に支障はありません。ただ、アニメの場合は声でつながっているので、「この人物がここでこうなっていた」という因果関係がわかりやすいんですね。細かいですが、これが実は面白いところじゃないかなと思います。

——映像ももちろんですが、音楽も素敵ですよね。

阿部　川井憲次さんの音楽も聴きどころが多いです。NetflixなのでいわゆるOPはないのですが、EDにメインテーマがかかるんですね。音楽がすべての要素を一気につなげてくれるような、その盛り上がりが実に気持ちいいので、ぜひ注目してください。

監督

阿部記之

Noriyuki Abe

7月19日生まれ／最近の監督作品に、『胡蝶綺 ～若き信長～』『新しい上司はど天然』ほか。総監督作品に、『BORUTO-ボルト- NARUTO NEXT GENERATIONS』『劇場版 七つの大罪 天空の囚われ人』など

Photo by Junichiro Noumi

宮野真守

万里小路有功役

業が渦巻く世界で愛に生きる有功

――原作「大奥」にどのような印象を持ちましたか？

宮野　キャッチコピーに「SF大河ロマン」とあって、まさしくそうだなと。史実ではないけれど、人物の描き方にすごくリアリティがあって、それが物語の奥深さや説得力につながっていると感じました。もちろん、実際の江戸時代を見てきた現代人なんていないし、僕らが知っている史実は史料を読み解いた結果なんですが、でも「もしかしたらこうだったんじゃないか」と思わされるような……。男女逆転の大奥なんて、一見すると突拍子もない設定なのに、人物にしっかりと肉付けしてあるためか、ちゃんと地に足がついている、と言いますか、そこにとても感激しました。

――有功というキャラクターについては？

宮野　「大奥」に登場する人々は、当時の価値観の中で自分の信念を貫いたり、あるいは割り切るところは割り切ったりしながら一生懸命に生きています。その中でも僕が演じた有功は、特にいろいろな顔を見せてくれる人物ですね。真っ直ぐな性格だからこそ、理不尽に対しても正面から向かっていく。でも、全てを正せるわけではなくて、時代や運命に翻弄される中、自分の黒い部分や業に向き合っていくことになるんです。それでも有功の本質は「愛に生きる人」で、愛のためにどんな道を選ぶのか？　どう割り切っていくのか？　自分なりに探りながら、真っ直ぐに強く生きた人だったと思います。

――最初は好青年として描かれていた有功ですが、途中からどろりとした側面も垣間見えるようになりますね。

宮野　とても心優しい性格で、よりたくさんの人を救いたいと考えて仏の道を進もうとしていたけれど……それだけ多くの理不尽を強いられてきた結果なんですよね。

――ドラマや映画など、大奥はさまざまな作品のモチーフになっていますが、大奥にはどのようなイメージがありますか？

宮野　人間の業が渦巻く場所……というイメージです。ドラマなどのメディアでは、妬みや嫉みといった感情であふれた世界をドラマチックに描いていますよね。やっぱり人は、人間の黒い部分を見るのが好きなのかなと（笑）。

――宮野さんは人間のそうした部分を見たい派ですか。それとも怖い派でしょうか。

宮野　実際には、僕はあんまり見たくないです（笑）。

Mamoru Miyano　6月8日生まれ／埼玉県出身／劇団ひまわり所属／最近の出演作に、『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』（マリオ役吹替）、『うる星やつら』（面堂終太郎役）ほか

――今回、宮野さんは有功としてその妬み、嫉みの世界に入り込んだわけですが、演じてみての感想をお聞かせください。

宮野　僕は役者なので、作品に携わると決まった時点で役を客観視できないんです。その意味では妬み、嫉みの世界に入るのは大変でした。しかも、僕が演じたのは起源の物語　第1話で描かれた男女逆転の世界が、どうやってできあがったのかというお話です。さまざまな問題が山積みになっていて、それをどう解決したり、折り合いをつけたりするのかが問われる時代ですから、その意味でも演じていてエネルギーを使いました。

――美しい外見を持つ有功ですが、綺麗ごとだけでは生きていけない時代ですしね。

宮野　有功も次々と問題に直面して、自分を無理にでも納得させないといけない場面もある。徳川を守るため、家光を守るためには自分が引かなきゃいけないこともあるし、春日局の言うことにも納得せざるを得ない部分もある。その彼が愛する家光もまた、運命に翻弄された人で、葛延してしまった疫病に対するやり場のない怒りを、どうにか徳川の世を守る力に変えていく。徳川を守ることは多くの登場人物の望みでもあるから、家光自身も割り切るところは割り切らないと前に進めないんです。家光を含め、疫病が大勢の運命を変えてしまったという意味でも、今この時代に生きる僕らの感情にフィットするところがあるなと思います。

――黒い感情に苛まれながらも、有功は人のために行動しますが、全ての状況が好転するわけではありませんし。

宮野　そうなんです。家光に子を授けることができなかった自分に対しての、黒い感情ですよね。愛する人が自分のもとにいないことの悲しみや嫉妬もあるし……真っ直ぐで芯の強い男だからこそ、黒い感情も比例して大きく膨らんでしまったんだなと。

凛と儚い家光との やるせない愛の形

――有功と家光は深い絆でつながりながら、さまざまなしがみの中で翻弄されていきます。二人の関係をどのように捉えていますか。

宮野　家光の境遇や心情を有功がはたと理解するシーンが、大きな変化のポイントだったと思います。この歪な状況にしろ、家光の憂さ晴らしにしろ、それまでの有功はこうした理不尽に真っ向から相対して、それを正そうとしていた。でも、彼が「千恵」の立場に立って考えたときに、なぜ彼女の悲しみに寄り添ってあげられなかったのか、きっと後悔があったと思うんですね。有功が彼女の痛みを受け入れるシーン、抱き締めて包み込むシーンがとても印象的です。一人の関係性が大きく変わった瞬間なので。

――家光役の松井恵理子さんとの共演はいかがでしたか。

宮野　コロナ禍なので基本的には離れたブースで収録したんですが、「ここはこうしましょう」とか、直接やり取りさせていただくこともありました。松井さんの「千恵」はどこか危うい雰囲気……頑張って意識を持っていないと壊れてしまいそうな、凛とした中に儚さがあって、有功としても全身で守ってあげたいと思いましたね。

――松井さんも、宮野さんのお芝居を「真綿のように包み込んでくれる」とおっしゃっていました。

宮野　有功は仏門に入っていた人で、人々を救いたいと思っていたし、自分にはそうすることができるとも思っていたので、「家光を守りたい」という気持ちは彼の育ちや信念から来るものなんだろうな、と。もともとの素養や育った環境が必然的に彼の品格を作り上げたはずなので、僕も演じる際はそこを意識しました。

――最後に、ファンへのメッセージをお願いします。

宮野　今回、家光編をしっかりアニメで描いていただけたことが本当に嬉しくて。原作の細かいところまで、「家光編」全10話を通して誠心誠意、全身全霊で演じました。僕を含め、そんな作り手の熱量を感じていただけたなら幸せです。「大奥」は本当に壮大なお話で、たくさんの人物がいろいろな愛と憎しみを見せてくれます。有功と家光の絆は真っ直ぐさゆえに悲しみも付きまとうけれど、それでも懸命にお互いを想い合った。そんな二人の愛の形を、ぜひ見届けてください。

徳川家光役

松井恵理子

Photo by Junichiro Noumi

将軍になるために生まれた家光

――原作や台本を読んだご感想をお聞かせください。

松井　もともと原作ファンで、書店の少女マンガ棚に重厚な装丁の作品が並んでいるな……というのが最初の印象でした。友人が「すごい作品だよ」と言うので読んでみたら、まず着眼点がすごかったです。歴史漫画でありながら、それぞれの恋模様――特に人間の負の感情が繊細に描かれていて、めちゃくちゃハマりました。歴史ものだと「ちょっと難しいかな」という印象を持たれがちですが、全くそんなことはなく、スッと心に入ってくる。歴史ものであることはひとつの側面であって、主題は人間の心の機微や群像劇にあると感じました。

――設定はSF寄りであるにも関わらず、全体にリアルさや生々しさがありますよね。

松井　学校で勉強した史実は、あくまで歴史上のことなので特に実感はないのですが、それにも関わらず、『大奥』には言い知れないリアリティを感じます。じゃあこのリアルさはどこから来るんだろうと考えたとき、理屈では説明できない人間の感情と、その流れがしっかり描かれているからじゃないかなと。その意味でも共感性や普遍性が高い作品だと思いますし、よしながふみ先生の人間観察眼は本当にすごいです。

――ご自身が演じる家光について、どのような解釈をされていますか。

松井　第一印象は、すごく苛烈な人（笑）。家光の言動には「えぇ!?」と衝撃を受けることが多かったのですが、彼女のことを知れば知るほど、なぜこんなことをするのか、なぜここにたどり着いたのかという理由も、善悪は別としてわかってくる。個人的には彼女に同情もするし、汲むべき事情もあったりで、決して全てが彼女の責任ではないと思うんですね。そのどうしようもなさが、胸にズンとくるんです。もし自分がこんな過酷な運命にさらされたらきっと折れてしまうだろうし、もしかしたら「この世界から消えてしまいたい」とまで思うかもしれません。それでも家光は運命に反抗し、立ち向かっていく。自分の人生の意味を考え、自分が果たすべき役割を全うしようとする、とても肝の据わった女性なんですよね。本当に、将軍となるべくして生まれた人なのかなと思います。

威厳をもたらす家光の内なる炎

――少女から大人の女性に成長する過程では演じ方も異なると思うのですが、アフレコの印象は？

松井　初回のアフレコはめちゃくちゃ緊張しました。少女時代からの収録だったので、あまり男の子っぽくてもいけないし、女の子すぎるものいけない。最初はその塩梅を探りながら演じました。オーディションを経て役をいただきましたが、当時は自分に自信がなくて……「私、大丈夫かな」と思っていました。でも、最初のテストの後に阿部（記之）監督から「時代劇だから、もっとお腹の下に力を入れてしっかりと演じてほしい」とディレクションいただいて、ハッとしました。テストではアニメ作品のキャラクターとして演じていましたが、それよりも等身大の人間としてこの『大奥』の世界に存在しなければいけないんだ、と。そこからは性別に関係なく、この家光という人物を個として見て、彼女の激情に寄り添い、ついていこうと思いました。

――有功に対しての態度と、家臣に対する態度でも違いがあるかと思うのですが、どのように演じ分けられましたか。

松井　有功への恋心も、将軍としての責任感も、全て彼女の感情に素直に演じようと。「ここは将軍らしく」とか、ある程度は意図して演じ分けていますが、彼女の感情に沿ってセリフを言っていけば、ちゃんと家光になるという感じでしたね。なので完成した映像を観て、「私、こんなふうに演じていたんだ」と（笑）。

3月8日生まれ／愛知県出身／IAM AGENCY所属／最近の出演作に、『アリス・ギア・アイギス Expansion』（四谷ゆみ役）、『おとなりに銀河』（鳳門紅葉役）ほか

――家光は苛烈な面もあれば、有功にだけはかわいらしい一面も見せますね。感情の起伏が大きなキャラクターを演じるのは、大変だったのではないでしょうか。

松井　エネルギーがいりますが、とても演じがいがあります。確かに、家光の激情に寄り添うことは大変なんですが、収録後はすごく充足感がありました。現代社会で生きていると、そこまで激しい感情を表に出す機会ってそう多くはないですよね。私自身も多少は大人になったので、精神的に落ち着いてきているとは思うのですが、収録の間だけでも自分の感情を揺さぶって、その役にのめり込んで……それが役者としての醍醐味であり、一番楽しい瞬間でもあります。家光と出会えて、本当によかったです。

――家光のドラマについては、どんな思いを抱きましたか？

松井　尺としては決して長くはないと思うのですが、その中にとても濃密な物語が込められているという印象です。家光は最初、運命に引っ張り回されたり、有功に寄り添ってもらったりしているけれど、最終的にはその有功さえも追い越して、ひとりの人間として立っていく。女将軍として地に足をつけて立つ彼女の姿に、鳥肌が立ちました。「誰か異存はあるかえ!?」のセリフも最初は居並ぶ家臣を黙らせる感じで、言い放つように演じていたのですが、ディレクションで「威圧するのではなく、もっと地の底から湧き上がってくるような」というオーダーをいただきました。確かに、それが「威厳」なんですよね。家臣たちに自分の考えを押し付ける感じではなく、威厳で圧倒するような演技が必要だったんです。

――難しいオーダーですね。

松井　じゃあ、その威厳はどうすれば出るんだろうと考えて。単に声を張り上げるのではなく、静かな決意みたいなもの……内に燃える炎のようなものを表現したいと思ったので、このセリフは何度もテイク数を重ねて録っていただきました。

――松井さんの心に残るシーンは？

松井　たくさんあるので、選ぶのが本当に難しいです。ひとつ挙げるなら、有功が違う男性と閨を……と進言するシーンで、家光が激情のあまり彼に暴力をふるってしまうところでしょうか。「あなた以外に抱かれたくない」という、彼女の悲しみや怒りを思うと胸が詰まります。ここで家光は「死んでしまえッ!!」とかなり強い言葉を投げつけるんですが、有功に「殺して下さい」と言われ、それは嘘だと泣いてすがる。この複雑な女性の心情がとても愛おしいです。家光が抱えるままならなさ、やるせなさのおかげで、彼女が生きている「今この瞬間」がとても尊いものであると再確認できる。本当にいいシーンですよね。

――家光が愛する有功には、どのような印象がありますか？

松井　優しくて理性的なんですけど、そんな人が家光のことで黒い感情を吐露するところがすごく素敵だなと。最初はまさしく仏のようなのですが、暗い闇の部分が垣間見えることで、より人間らしくなったと思います。そこが家光とは対照的なんですよね。似ているようで、似ていないところもあると感じています。

――有功は人間味あふれるキャラクターですよね。宮野さんとの掛け合いはいかがでしたか。

松井　宮野さんのお芝居は、原作から受ける有功の印象よりさらに柔らかい感じがしました。真綿で包むような優しさの中に芯の強さもあって、絶妙なバランスで有功として成り立っているんです。本当に素晴らしい演技だなと思いました。

――『大奥』は歴史絵巻のような物語ですが、歴史を紐解いたときに松井さんに見えたものは何でしょうか？

松井　生きることの難しさですね。『大奥』の世界に存在するさまざまなしがらみは、現代でも形を変えて残っています。時代を問わず、生きることは難しいことなんだなと。それでも家光のように果たすべき役割があるのなら、全力でそれに向かっていく。そんな意志の強さを私も持っていけたら……そんなことを、『大奥』を通して感じました。

二人でつかむ幸せ

死神坊ちゃんと黒メイド（第2期）

毎週日曜日 夜10時 TOKYO MXほか
HP bocchan-anime.com
©イノウエ 小学館・死神坊ちゃんと黒メイド製作委員会

坊ちゃん
アリスの想いを感じることで、閉ざされていた心が少しずつ変化。他人から向けられる想いに、素直に向き合おうとするようになった。

アリス
坊ちゃんに対する過ぎたスキンシップは、さらにエスカレート。だがそんなお茶目な行為が、ハードな状況の中でも一服の清涼剤になっている

ヴォルター
坊ちゃんに呪いがかかっていなくても、自分の方が兄よりも優れていると証明したい。そう思いながら、坊ちゃんの呪いを解こうとする

慕ってくれるアリスのためにも。呪いを解きたいと思う坊ちゃん
そんな坊ちゃんをからかいつつも、役に立ちたいと思うアリス
二人は今、同じ方向を向いて進もうとしている

Yuma Uchida
9月[illegible]日生まれ／東京都出身／ケンテンション所属／最近の出演作に、『MFゴースト』（芦屋桐夏向役）、『るろうに剣心 明治剣客浪漫譚』（四乃森蒼紫役）ほか

Naisuki Hanae
6月[illegible]日生まれ／神奈川県出身／アクロスエンタテインメント所属／最近の出演作に、『鬼滅の刃』シリーズ 竈門炭治郎役、『アンデッドアンラック』（シェン役）ほか

坊ちゃんに「触れるものの全てを死なせてしまう」呪いをかけたのは、魔界のボス・ダレスの双子の姉、シャロンだった――。

ダレスが坊ちゃんのもとに送り込んだタコ足の魔女・アンジェリアによって、誰が坊ちゃんに呪いをかけたのかが判明した。そして、さらに明かされた[illegible]死んだと思われていたアリス[illegible]深い眠りについたままダレス[illegible]たのだった。シャロンを目[illegible]インの魔法が必要であり、[illegible]ってダインを懐柔しようと[illegible]会を逃さず、呪いを解く[illegible]坊ちゃんたち。さまざまな[illegible]は少しずつ転がり始める。[illegible]されたのか、ダインとカ[illegible]を前向きに考えようとする。[illegible]しかなくても、その先には[illegible]っているはず――そう信[illegible]こうとする坊ちゃんとアリ[illegible]される未来を祈りつつ、彼[illegible]守っていきたい。

photo by Daisuke Arakane

坊ちゃん役
花江夏樹

ウォルター役
内田雄馬

似てないけれど！ どこか似ている兄弟

——まずは、お互いが演じるキャラクターの印象を教えてください。

花江　ウォルターは、出てくるたびに場が賑やかになるキャラクターだと思います。ウォルター本人は、ガチで坊ちゃんに対抗意識を持っていますが、かなりデフォルメされてギャグになっているんですよね。そこが、ウォルターのかわいさにつながっている気がします。いつも全力で感情を表しているところとかを見ると、すごくピュアですし、兄に対する感情としては、妹のヴィオラも同じようなものを持っていると思います。

内田　坊ちゃんは、アリスの色仕掛けに対してものすごく素直に反応するんですよね(笑)。「今はそんな場合じゃないのに！」という時でも、ついアリスのことを考えてしまうことがあって、そこが坊ちゃんの愛嬌になっている気がします。それに、他人と関わらないようにしていても、心の中ではみんなと一緒にいたいんだろうなと感じますが、何より誰かを傷つけてしまうのが怖いという、優しさを持っている人です。

——兄弟なのに、あまり似てない二人ですよね。

花江　たしかに見た目はそうなんですが、気持ち的な面で、家族を大事にしているところは似ているんじゃないかな。坊ちゃんが呪いをかけられてしまったことに対して、それぞれの立場から憂いているからこそ、対抗心が出てしまうのではと思います。

内田　ぱっと見の印象は違っても、ピュアさを持っている兄弟ですよね。ヴィオラもそうなんですが、3人のセリフがシンクロしてしまうこともあって、やっぱり家族なんだなと思います。どんなところが似ているか、ファンの方にはぜひ探してみてほしいですね。

——第1期から第2期にかけて、坊ちゃんもウォルターも成長していると思いますが、演じる際に意識したポイントはありますか？

花江　意識して演技を変えることは、あまりしていません。最初の頃から比べると、坊ちゃんも少しずつ成長してきているので、セリフ自体が変わってきているんですね。演じる僕らがあえて意識しなくても、違いが出ていると思います。ただ、演じていて感じるのは、たとえば1期の最後でお母さんに対して自分の想いをぶつけるシーンなど、相手にしっかりと気持ちを伝えることが初より増えた気がします。

内田　僕もほぼ一緒ですね。僕らが「成長を見せよう」と意識して演技するのではなく、物語が進むにつれてキャラクターやセリフがどう変化しているのか、そのポイントを見つけることが大事だと思っています。ただ、ウォルターは1期で語られていない部分も多く、2期で初めて彼の人間性に触れるようなエピソードが出てきます。そういうポイントをたどっていくと、1期から観てくださっている方にも、改めてウォルターのことを知ってもらえるのではと思っています。

——これまで共演してきて、お互いに役者としてはどんな印象を持っていますか？

花江　一緒に遊んだりもするんですが、仕事となるとしっかりしています。普段はあんまりしっかりしていないというか、だらしないというか……(笑)。

内田　ちょっとちょっと！(笑)　はいえこの前は、花江さんが僕の家を片付けてくれました。生活を助けてもらっています。

花江　役者としては、結構ピュアな役が多いという印象がありますが、クールな役を演じることもあって、演技の幅が広いと感じます。セリフに込める熱量や、ひと言ひと言に意思が乗っている感じがあって、聴いていて気持ちがいいですね。……無理やり絞り出して答えていますが(笑)。

内田　ちょっとちょっと！(笑)　絞り出してくださってありがとうございます(笑)。花江さんは、一緒に遊んでいる時も、現場で顔を合わせた時も、傍にいるととても安心感があるんです。坊ちゃんは受け手に回ることの多い役ですが、みんなの演技をきちんと受け止めて演じていて、役者として周囲をよく見ているんだなって思います。

——坊ちゃんの持っているピュアさって、意識して演じていてもピュアさから離れてしまうと思うんですが、そこをしっかり表現できているのも、本当にすごいです。

花江　雑巾を絞るみたいに、絞り出した！(笑)

内田　そんなことはないです。マジで思ってます！(笑)

——アリスに色仕掛けをされている時も、坊ちゃんの演技が目然だからこそ、ファンも物語に没入できるのかもしれませんね。

花江　いや、こんなすごい色仕掛けをされたら、誰でもドキッとしますよね(笑)。こんなキャラ、現実にはなかなかいないと思いますが、それが体験できるのはアニメーションならではなので、楽しんで演じています。

内田　アリスは一見ミステリアスですが、坊ちゃんのことが好きだという気持ちはストレートに伝わってくるんです。観ている方も坊ちゃんと同じように、気づけばアリスのことをめっちゃかわいく感じて、好きになっていると思います。

花江　2期では、アリスの母・シャロンとの関係などアリスに関する情報が増えて、見え方が違ってきているんじゃないかな。今後、アリスの中で抱えているものも次第に描かれていくので、楽しみにしてほしいですね。

——2期では、坊ちゃんに呪いをかけたジャーデーの存在がクローズアップされてきます。現時点でのジャーデーに対する印象を聞かせてください。

花江　現段階では、恐怖でしかないです。そもそもキャラデザインからして、どこを見ているのかわからない目をしているんですよね。きっと、何か原因があってこうなってしまったんだと思いますが……。

内田　……怖い。めっちゃ怖い！

花江　今の段階では、なぜこういうことになっているのかが明かされていないから、謎の存在ですよね。でも、結構な重要人物です。

内田　ウォルター的には、2期ではダレスとの絡みがあるので、ダレスとジャーデーの関係性もぜひ紐解きたいと思うのかもしれませんが……内田としてはただただ怖いです！

——ほかに気になっているキャラクターはいますか？

花江　2期で気になるというと、虚長とかかな？

内田　収録では座長と会っていないので、アニメではどんな感じになっているか気になります。

花江　フリーは結構面白いキャラだなと思います。見た目の印象と強さが、絶妙なバランスで。ニコニコ憧れて髪や目をそろえているところとか、面白いですよね。

内田　実はフリーって、意外にモテるんですよね。

花江　ニコとイチとフリーという魔術学校の教師3人組は、かなり興味深いキャラだなと思います。

内田　魔術学校に行ってからは、ウォルターもずっと坊ちゃんたちと一緒にいることになるので、出番が多くて嬉しかったな(笑)。

——友達になるとしたら、誰がいいですか？

花江　友達になるなら、僕はカフがいいですね。でも、一緒にいると楽しそうだけど、振り回されて疲れちゃうかも(笑)。

内田　この作品に出てくるキャラって、みんな根はいい人なんだけど、パンチが強いんですよね。いいやつだな、友達になってもいいかなと思うのはザインですね。ただ、一緒にはいてくれそうだけど、仲良くなっても心の深いところにまで立ち入れるかはわかりませんが。

——お二人とも家族仲が非常にいいと聞いています。坊ちゃんとウォルターに、家族円満のアドバイスをするとしたら？

花江　いやいや、あんなお屋敷に住んでいる時点で世界が違いすぎるので、僕らがアドバイスできるようなことはないですよ。

内田　お母さんも、周囲に呪いの影響を及ぼさないがために、坊ちゃんを隔離せざるを得なかったんだろうしね。

花江　まず大前提として、呪いを解くところから始めないと。

内田　呪いが解ければすべて上手くいくとは限りませんが、問題を根本的に解決するなら必須でしょう。

花江　そのためにも、ぜひ3期を制作してほしいですね(笑)。

——改めて、この作品の魅力はどういうところだと思いますか？

花江　作品テーマとしてはかなり重いものがあるんですが、ギャグやお色気で上手く包んで、あからさまに見せないバランス感覚がいいですね。「こんな状況だけど、結構幸せだな」という部分が感じられて、重苦しくなりすぎないんです。坊ちゃんとアリス、お互い想い合っているんだけれど、なかなか踏み出せない二人を見ていると、僕も応援したくなります。そういう物語の根幹にある部分が、魅力なんでしょうね。

内田　触れた相手が死んでしまうって、結構ハードなテーマだと思います。でも、そんな坊ちゃんの日常をコミカルにテンポよく描いてくれるから見ていてほっこりするし、その中で坊ちゃんとアリスがどうやって距離を縮めていくのかが楽しみでもあります。ツッコミやギャグのセリフのチョイスも絶妙で、貴族社会が舞台にもかかわらず、現代風の言葉が出てくるところも面白いですね。

花江　坊ちゃんに関わる人たちはみんな、クセがあったり変な人たちだったりするんですが、根はいい人というか、坊ちゃんの存在を受け入れてくれるんです。呪いは怖いけれど、人間として坊ちゃんを見てくれる……お母さんも基本的にそうだと思うんです。そういう意味では、坊ちゃんは恵まれてくれるなって思います。ぜひ今後も応援してください。

内田　ウォルターはきっと、小さい頃は兄である坊ちゃんに対して憧れたいなものがあったと思います。でも、坊ちゃんが呪いをかけられたのをきっかけに、自分らしさというか、自分のアイデンティティを確立する中で、坊ちゃんに対抗心を燃やしているのかなと思いますが、今後は坊ちゃんを受け入れるような彼本来のよさも出てきます。ウォルター的には、ここからやっと掴り下げられていくので、楽しみにしていてくださいね。

ドキドキとギリギリ

お互いの想いを知ったことで、気を抜くとつい、アリスに触れてしまいたくなる坊ちゃん。二人のもどかしい距離感と、ギリギリを攻めるアリスの強ささは、見ていて手に汗を握る!?

暴走、ウォルター!?

自分のほうが、坊ちゃんより優れていると確認したいウォルター。その熱意は完全に暴走気味。時には女装までして坊ちゃんに絡みにいこうとする彼の行動から、もう目が離せない!

シャロンが鍵に?

実は生きていた、アリスの母シャロン。どうせらせ、ダレスやジャーデーと深い交流があったよう。坊ちゃんの呪いを解くためには、シャロンの存在が鍵となるのかもしれない……。

共に歩いていく

自分の持つ魔法の力を忌避して、カフを危険な事態に巻き込まないためにも一人になろうとしていたザイン。だが、カフと共に歩んでいくことを決意。二人でダレスに立ち向かう!

優しい世界がそこにある

アニメ第一期放送から15年、シリーズ前作から約6年を経て
ファン待望の第七期「夏目友人帳 漆」が制作決定！
穏やかに時間が流れる温かな世界が、再び繰り広げられる！

ニャンコ先生／斑（にゃんこせんせい／まだら）
夏目の死後、「友人帳」をもらうという約束で、（自称）用心棒として夏目を守っている。本来は優美な斑という妖怪だが、招き猫に封じ込められ、いつ、かその形に馴染んでしまった

夏目貴志（なつめたかし）
祖母・レイコの遺品「友人帳」を所持し、名前を奪われた妖たちに名を返す日々を送る。妖が見えるなどの能力があり、時にはニャンコノで過ごすことも。ニャンコ先生とはいいコンビ

2023年でアニメ化15周年を迎えた『夏目友人帳』。YouTubeで公開されている15周年記念動画の中で、シリーズ第七作となる『夏目友人帳 漆』が制作決定というビッグニュースが飛び出した。前作の放送終了後、2018年に劇場版、2021年に新作アニメーションが公開され、その後の新作を首を長くして待っていたファンも多いことだろう。

これまでの物語では、主人公の夏目貴志は少しずつ変化しながらも、人間と触れ合ったことで、妖や人間と触れ合ったことで、主人公の夏目貴志は少しずつ変化しながらもきた。他人から受け入れられず同時に他人を受け入れられなかった夏目。今では自分の居場所を見つけて、さらに少しずつ前に進もうとしている。彼を取り巻くニャンコ先生をはじめとする妖たち、学校でクラスメイト、そして夏目の成長を見守る藤原夫妻。それぞれの想いが響き合って紡ぎ出される優しい世界は、温かく穏やかでゆったりとした時間が流れているようだ。放送開始を楽しみに、今後の情報を待とう。

夏目友人帳

◆第七期制作決定！
HP◆natsume-anime.jp
©緑川ゆき・白泉社／「夏目友人帳」製作委員会

STAFF◆原作／緑川ゆき「夏目友人帳」（白泉社「LaLa」連載）　総監督／大森貴弘　監督　伊藤秀樹　シリーズ構成／村井さだゆき　キャラクターデザイン／高田晃　妖怪デザイン・アクション作監　山田起生　音楽／吉森信　アニメーション制作　朱夏

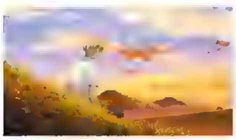
Illustrated by Akira Takata
Painted by Hiromi Miyawaki
Composite by Hitoshi Tamura

名取周一 なとりしゅういち

人気俳優だが、裏の顔は祓い屋。夏目と同じように妖が見えるよき理解者で、自分とは違う道を歩む夏目を心配しながらも見守っている。自身もヤモリの形をした妖に憑かれている

人と妖が生み出す優しい物語

数百年も生きる妖と、たった100年足らずで死んでしまう人間。その感覚の違いから、思わぬ行き違いや悲劇が生まれてしまうことも。それでも互いに触れ合うことで、妖だけの世界、人間だけの世界の中では起こりえない、繊細で情感豊かなエピソードが展開する。



懐かしさを感じる風景

夏目たちが日常生活を送っているのは、緑豊かな山里の風景が広がる田園地帯。アニメでは、原作者・緑川ゆきさんの出身地である熊本県人吉球磨地方がモデルになっており、どこか懐かしさを感じる情景だ。こんな環境なら、どこかに妖が潜んでいても不思議ではないかも？

温かな音楽

シリーズ各作品の主題歌は、いずれも大ヒット。アップテンポでも包み込むような温かみがあり、聴いていると穏やかな気分になれるはず。また、音楽の吉森信さんが手がける劇伴も、温かさの中にどこか切なさを含んでいるようで、繊細な物語をより一層盛り上げてくれる。

こんな話が観てみたい！

夏目貴志役 神谷浩史
ニャンコ先生／斑 井上和彦

[illegible]

神谷浩史

夏目貴志役

Hiroshi Kamiya
1月28日生まれ　千葉県出身　青二プロダクション所属　『ONE PIECE』（トラファルガー・ロー）、『うる星やつら（2022）』（諸星あたる）ほか

感謝しかないこの15年

ゆっくりとした時の中で徐々に変化するもの

――アニメ『夏目友人帳』が15周年という節目を迎えたお気持ちを教えてください。

神谷　もちろん、その間ずっと『夏目友人帳』のアニメが放送されていたというわけではないのですが、第一期から15年という周年を迎えることができてとても感慨深いです。たくさんの媒体にインタビューをしていただけることも驚きだし、そういう作品に関われていることをありがたく思います。

井上　本当にうれしい限りですね。浩史も言うように、15年ずっとやっていたというわけではないので、自分にとっては「節目節目にこの作品と巡り合っている」という感覚で。毎回新鮮な気持ちで演じています。現代社会においてはとてもゆっくりのように感じるのですが、僕としてはとてもいいペースでやらせていただけて、充実した気持ちがずっと持続できている気がしますね。

――これまでTVシリーズやOVA、劇場版などが制作されましたが、その中で夏目やニャンコ先生に対する印象や、キャラクター自身の変化を感じたことはありますか？

神谷　ゆるやかではありますが、夏目の変化は感じています。それはいろいろなキャラクターとのコミュニケーションを通して徐々に生まれていったものですが、あるときに急に見えてくるんです。特にそれを感じたのは、夏目が塔子さんたちと一緒に住むようになったきっかけを描いたエピソード（第二期第十二話「帰る場所」）でした。それまでも夏目はクールで大人びた少年という印象があったのですが……あの話を演じたときに、塔子さんたちに引き取られる前の彼が、人とコミュニケーションをとる際に自分の中でハードルを課していたことを改めて感じて、「今とはだいぶ違うな」という印象を受けたんです。少しずつ変化していく夏目を演じてきた中で、急に過去に戻ったことで「そうか、今の彼は人とのコミュニケーションのハードルをここまで下げられていたんだ」と気づくきっかけになりました。

――妖や友達に対する夏目の心の開き方は、本当に少しずつではありますが、確かに変わってきていますよね。

神谷　そうですね。エピソードによってではありますが、そう感じます。ただ、時間は一方向に進みますが、物語は話の内容で急に時を遡ることもあるので、ちゃんとそのときの気持ちを覚えておかないと成立しなくなってしまう。夏目自身は時間と共に少しずつ気持ちが和らいでいき、妖だけでなく人間ともあまり壁を作らずにコミュニケーションをとれるようになってきてはいますが、それが過去の時間軸に戻ったときに「あのときはこれくらいだった」という感覚を、僕としては覚えておかなければ……と思っています。

――井上さんから見たニャンコ先生はいかがでしょう？

井上　基本的に変化はないのですが、表現の幅として、ニャンコ先生って〝なんでもありなキャラクター〟だと自分では思っていて（笑）。キャラクターのイメージが、風船みたいに15年の間にどんどん大きく膨らんでいって、「どんな表現をしてもニャンコ先生／斑は変わらない」というふうに育てていただいたなと感じています。

――ちなみに、TVアニメ第一期の収録のことは覚えていますか？

神谷　覚えていますよ。第一話のアフレコは画があったから、そのおかげですごくアドリブが入れやすかったな、とか（笑）。夏目はとにかく走ることが多いのですが、ひしがきに追いかけ回されて逃げるシーンでは、振り返るところで息の質を変えたりできたのが楽しかったです。

井上　第一話では、ニャンコ先生が悟ったようなことを言うので、だいぶ大人な雰囲気でしたね。そこから先の崩れてしまったニャンコ先生とは人が違う（笑）……じゃない、妖が違うぐらいに真面目なことを言っていて。自分としては役作りを変えたつもりはないのですが、今第一話を観ると「ちゃんとしているな」と思います（笑）。ニャンコ先生の振り幅の広さを感じられる第一話だったと思います。

――確かに、最近はだいぶおじさんっぽさが前面に見えていますよね（笑）。そういうニャンコ先生のメリハリは、神谷さんから見ても感じますか？

神谷　油断しているなとは思いますね（笑）。ただ、それも夏目との関係値がちゃんとできているからそうなっているだけだと思います。毎回、緊張感のある話ばかりではないですし、締めるべきときにはちゃんと締めてくれる。斑が登場した瞬間の「これでこの物語が全部解決するんだな」という安心感は、やっぱり大きいですね。「いよっ！　待ってました！」と言いたくなるような（笑）。斑があんまり頻繁に出てくる展開というのもまた違う気がするので、普段はだらしないニャンコ先生というバランスが、ちょうどいいんでしょうね。

――ニャンコ先生と夏目の距離が縮まったからこそ、よりおじさんっぽく見えてくるようになったのかもしれませんね。井上さんは演じる上で、その違いを意識していますか？

井上　時間が流れる中、お互いにまったく同じということはあり得ないので、いいほうに関係ができあがっているんだと思います。意識して変えているというより、話の中でだんだんと信頼関係が積み上がってきているのかな、と。それはもちろん、原作でも描かれていますし。僕自身も彼らの変化は感じつつも、「この話数から急に仲良くなろう」みたいなことは特に意識していないです。

――改めて、夏目とニャンコ先生の関係値の変化をどう感じていますか？

神谷　夏目がニャンコ先生の封印を解いてしまったことが出会いのきっかけでしたし、その時点ではニャンコ先生が何者かもわからなかったので、はじめは当然、緊張感があったと思います。一方で、自分の祖母である夏目レイコのことを知っていたり、ほかの妖怪とは違って襲ってくるだけではないところに、何かの興味が芽生えたのかなという気がします。あと、人とのコミュニケーションで、ある程度壁を作る癖がついてしまっていましたが、妖相手ならそうしなくて済むという気安さもあったのかもしれません。夏目の場合、妖力が異常に高い分、

夏目一妖帖

Q　伊藤秀樹監督が、「『夏目友人帳』は見えないものを見る話だ」とおっしゃっていましたが、見えないものを見た経験はありますか？

井上　ありますよ。以前、千葉方面へ行こうとして山の中を車で走っていたら、カーブに差しかかったところで、夏なのにレインコートを着たお母さんと子どもが立っていたんです。「こんなところで何をしているんだろう？」と思って通り過ぎたのですが、「暑いのになぁ」と思ってふと振り返ったら、その二人が消えていたんです。あれは見えないものを見ちゃった気がする。事務所のスタッフと一緒に乗っていたんですが、その人も見ていて。「あー、見ちゃったね」という感じでした。

神谷　僕はないですね。ただ、見える人がいるというのは知っています。本当に見える人は、映画『シックスセンス』くらい普通に見えるみたいですね。以前、そういう方にお話を聞いたら、その時々で見えるレベルが違うらしく、「ハッキリ見えるときは、本当に普通の人だと思ってしまう」と言っていました。普通の人が立っているな、と思っていたらいつの間にか消えていて、「人だと思っていたけど、違ったんだ……」とあとから気づくという。だから「いつまで経っても慣れないんです」とおっしゃっていましたね。

「何かあっても殴れば解決」というちょっとズルいキャラクターだから（笑）、そういう彼の迂闊なところも手助けして、今の関係値につながっているのかなと思います。

井上　僕は、第一期第一話で夏目がニャンコ先生の封印を解いてしまったことは、偶然ではないような気がしているんです。因縁のような何かの力が働いて、ニャンコ先生は封印されたときからずっと夏目とバディを組むことが決まっていたんじゃないかな、と。そう思うと自分の中で腑に落ちるというか……。人間同士でも、初めて会った人と10年間付き合っている人とでは関係値が違いますよね。それと同じように、徐々にニャンコ先生と夏目も関係が深くなっているんだと思います。それは理屈で考えてもしょうがなくて、肌で感じればいいんじゃないかな、と。って、なんだかブルース・リーみたいなことを言っていますね（笑）。

神谷　（笑）。

時間が経っても作品が持つ空気は変わらない

――『夏目友人帳』という作品は、ご自身のキャリアにとってどういう存在ですか？

神谷　先ほど和彦さんが「節目節目にこの作品と巡り合っている」とおっしゃっていましたが、僕もそう感じています。15年前と今の僕はもう細胞レベルでは別人なので、ある一定の時の流れの中で生きている夏目を、15年前とまったく同じように演じることは難しくて。でも、演じている以上、その時々で皆さんに納得いただけるものを提案しなくてはいけない。だからこそ、こういう作品をやるときは気合いが入りますね。自分のキャリアの中で、こういった"とある「時」の中から動かないキャラクター"を定期的に演じる機会があることが、僕にとってはすごくありがたいです。

井上　僕はラッキーなことに、長く続く作品に関わらせていただく機会が多くて。その中で、『夏目友人帳』は特別長い作品というわけではないし、本数的にもそこまで数が多いわけでもないんです。それでもやっぱり、存在としては大きいですね。その上ニャンコ先生は、自分が今までに演じた中で、一番ぶっ飛んだキャラクターですし（笑）。こんなにグッズが出て、若い方をはじめ、たくさんの人に愛されるキャラクターは今までいませんでした。自分にとっても本当に特別なキャラクターですね。

――15周年の想いをひと言で表すなら？

神谷　「感謝」でしょうね。

井上　そうだね、感謝しかないですよね。

神谷　作品を長く続けるって、本当に難しいことだと思うんです。生々しいことを言うようですが、作品を作っている方たちは、僕ら以外は皆さん会社員なので、組織が変われば人も変わるし、ずっと同じ気持ちを持ったまま作品を作り続けられる人ってなかなかいない。でもこの作品に関しては、不思議なことに、なぜか人が変わっても同じ想いを持ち続けてくれるんですよね。そういうことが本当にありがたいなと思います。

井上　まさにその通りで、スタッフさんやプロデューサーさんが変わっても、みんな優しいんですよ。それはこの作品自体が持つパワー、そして（原作の）緑川ゆき先生が持つパワーがあるからだと思います。その"緑川イズム"がスタッフや役者みんなに浸透して、この作品がずっと続いていっているんじゃないかなという気がしますね。たいてい、続編までに間が空くと、関係者はみんな「どうなっちゃうんだろう？」と焦ったりもするのですが、この作品だと誰も焦らないんです。そのシーズンが終わっても、終わった気が誰もしてないんですね。

神谷　いつからかそうなりましたよね。最初は「終わってしまって寂しいな」と思っていたけど……。

井上　そうそう。今はアフレコが始まると、長い時間が空いているはずなのに、一瞬でスタジオの空気が戻るんです。毎回が同窓会みたいな感覚ですね（笑）。

――15年経って、お二人はお互いをどう見ていますか？

神谷　和彦さんは変わらないですね。ずっと憧れの先輩です。

井上　浩史も変わらないですよね。ずっと面倒見のいい後輩（笑）。僕がだらしないから、よく「ちゃんとして！」と言われています。「本番いくよ」「はい」とか、「いつまでもしゃべってない！」「はい」とか（笑）。

神谷　「和彦さん、ちゃんとしてください」と言おうとしたら、混ざってしまって「和彦ちゃん」って言ってしまったこともありましたね（笑）。

――（笑）。素敵なコンビですね。

神谷　僕は20歳のとき、40歳くらいの先輩に対して「ベテランでおっかないな」と思っていたんですが、自分が今、実際にその年齢になったときに「40歳になっても相変わらず、できないことばかりで悩んでいるし、つまらないことで行き詰まっているな」ということに気がついて。「自分が年下から同じように大ベテランと神格化されて気を遣われたら、寂しいな」と思っちゃったんです。でも、逆に和彦さんは昔から変わらず「ねぇねぇ」と話しかけてくださって。ベテランの方との接し方を教えていただいたという意味でも、和彦さんには感謝しかありません。

――最後に、第七期の放送を楽しみにしているファンへメッセージをお願いします！

神谷　ありがたいことに15周年を迎えられて、なおかつ第七期が発表されて、本当にうれしい限りです。緑川先生の描く『夏目友人帳』の世界を、アニメーションとしていい形で皆さんに届けられるよう頑張りたいと思いますので、ぜひお付き合いください。

井上　皆さんと同じ時代に生き、『夏目友人帳』の世界を一緒に紡いでいける幸せな時間をいただけたので、一生懸命演じていきたいと思います。皆さんもぜひ、一生懸命応援してください！（笑）

ニャンコ先生
斑役

井上和彦

Kazuhiko Inoue
3月26日生まれ／神奈川県出身／B-Box所属／『名探偵コナン』（白鳥任三郎）、『NARUTO ナルト-』『BORUTO ボルト-』（はたけカカシ）ほか

次の曲が始まる

次なる物語の舞台は、アンサンブルコンテスト！
総勢60人を超える部員の中から、出場できるのはたったの一編成のみ!!
新部長・黄前久美子が率いる北宇治高校吹奏楽部に、またも波乱の予感!?

鎧塚みぞれ
MIZORE YOROZUKA

久石 奏
KANADE HISASHI

黄前久美子
KUMIKO OUMAE
パート・ユーフォニアム
60人を超える吹奏楽部員をまとめる部長。麗奈からアンコンの編成に誘われたが、あることを少し不満に思う

高坂麗奈
RE NA KOUSAKA
パート・トランペット
吹奏楽に情熱を注ぎ取り組むドラムメジャー。ストイックな性格上、相手のミスを直球で指摘してしまうことも

塚本秀一
パート・トロンボーン

特別編
響け！ユーフォニアム ～アンサンブルコンテスト～

♪絶賛公開中
HP ♪ http://anime-eupho.com/
© 武田綾乃・宝島社／『響け！』製作委員会

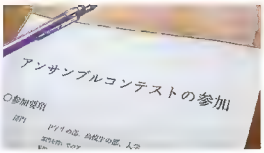
アンサンブルコンテスト――通称〝アンコン〟の時期が迫った北宇治高校吹奏楽部。部長となった久美子は、初仕事を前に翻弄されていた。本作で久美子の頭を悩ませた問題は、どうやって部員全員がバランスよく、小編成を組むことができるのか。そして、個人の演奏では補えない音楽的な技術を、チームでどう解決するかだ。

小人数の演奏では、一人一人の演奏が目立つため、演奏者にプレッシャーがのしかかる。普段とは違う形式に戸惑うパーカッションのつばめは、思うような演奏ができず思い悩み、チューバの葉月も日に日に自信をなくす。麗奈の指摘は正しい意見だが、だからこそ言われた側が追い詰められてしまうこともある。視点を変えるため、二人に休日練習を提案した久美子は、彼女たちにどんな言葉をかけるのだろうか？

ぎこちないながらも次第に自信を持ちはじめ、一歩ずつ前へと踏み出す久美子。彼女たちの日々の空気感、音楽に向き合うさわやかな響きを、ぜひ劇場で聴いてほしい！

校内オーディション

北宇治高校吹奏楽部では、校内でオーディションを兼ねて演奏会を開き、出場チームを決定する。オーディションについて滝から相談を受けた久美子たちは、全員が納得いく投票結果になるよう意見を出し合った。



アンサンブルコンテスト

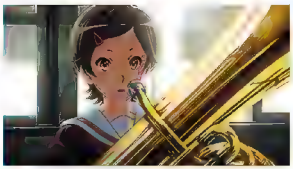
冬から春にかけて行われる大会の一つで、一編成につき3～8人の少人数編成で演奏する。吹奏楽コンクールのように課題曲はないため、演奏時間5分以内という条件にあった曲を、自分たちで選ぶ必要がある。

みぞれ先輩のアドバイス？

曲の難易度は高く設定！

釜屋つばめ
TSUBAME KAMAYA
パート・パーカッション

麗奈から管打八重奏のメンバーに誘われ、久美子たちと組むことに。持ち前の高い演奏技術を発揮できずにいる

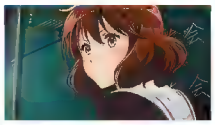


加藤葉月
HAZUKI KATOU
パート・チューバ

周りの音によく注意を傾けるなど、演奏面に繊細な性格。自分がチームの足手まといになっていると感じており……？

今こそ初心に戻って

黄前久美子役
黒沢ともよ



くろさわ・ともよ／4月10日生まれ／埼玉県出身／東宝芸能所属／主な生演作は『アンデッドガール・マーダーファルス』（輪堂鴉夜）、『幻日のヨハネ -SUNSHINE in the MIRROR-』（ツキ）ほか

久々の新作は渋いストーリー

——台本を読んだ感想は？

黒沢　これまでは「コンクールに向かう葛藤があり、そのたびに久美子たちが成長していく、ドラマチックでエモーショナルなストーリー」を展開する作品という印象がありました。本作ではその部分がより繊細に描かれ、一つの躍きに対して音楽の中で向き合っていく、渋いストーリーだと感じました。誰かが泣き喚くこともなく、怒ることもなく、走ることもなく、雨も降らず（笑）。けれど、その中にドラマがしっかりあるという、作品の芯の部分はブレずに描かれていました。

——久しぶりに久美子を演じるにあたって、意識したことはありますか？

黒沢　久美子は第1期のときからどんどん熟していく、素朴になっていく感覚があります。今回は前回から映像化までの期間が空き、新世代が登場するストーリーも相まって、"初心に戻るべし"みたいな感覚を抱きました。久美子自身にも成長はありましたが、私とキャラクターの関係という意味では、初心に戻って「黄前久美子はこういう子」という答え合わせをしながら、丁寧に演じようと意識しました。

——アンサンブルコンテストは、吹奏楽部員にとって個人の技量を見つめ直す時期なので、"初心に戻る"という意味では、黒沢さんの気持ちと本編がリンクしている気がします。

黒沢　確かに！　作品の内容に影響されたのかも。

——久美子自身の成長を感じた場面を教えてください。

黒沢　周りに興味を持ち始めているところが、彼女の成長だと思います。久美子は第1期で、麗奈が悔しくて死にそうと泣いている姿を見ても、理解できないところから始まりました。麗奈に共感できないし、興味も持てなかったんだと思います。そこからシリーズを通して、麗奈やあすか、下級生たちと向き合うことで、どんどん人との距離が近づき、より多くの人と関わるようになって、今に至るんですよね。

——そんな久美子の、注目してほしいシーンはどこですか？

黒沢　久美子がみぞれ、麗奈と、それぞれ二人きりで話すシーンです。みぞれと話すと一気に芸術性の高い会話になり、麗奈と話すと「ユーフォ」らしい、ポップさのある会話になるのがとても面白くて。話す相手による、久美子の言葉選びの違いを楽しんでもらえたらいいなと思います。

——会話をしているときの雰囲気も、少し違うように感じました。

黒沢　みぞれが相手だと久美子もつられて声が小さくなって、秀一と話すときは逆に声が大きくなるんですよね（笑）。ここはアフレコをしていても、すごく面白かったです。

久美子のクールな部分にだんだん似てきた

——「第1期の頃は麗奈のほうに共感していた」と以前コメントされていましたが、現在の黒沢さんが共感する、似ていると思うキャラクターは？

黒沢　麗奈役の（安済）知佳ちゃんと話す機会があったのですが、「第1期のときは麗奈に似ている感じがした」と言われました（笑）。私自身も麗奈のように、演技に関してはとにかく実演してみせるスタンスでいたんです。でも、今は久美子のクールな部分にどんどん寄っている気がします。人を見る視点、視野の広さ、人に対して心が動く瞬間みたいなものは、久美子にとても似てきているなと。

——久美子以外で注目しているキャラクターを教えてください。

黒沢　釜屋つばめちゃんです。彼女が抱えている躍きや上手くいかないことが、"音楽的"な方法で解決される、素敵なドラマを背負っています。今回のキーパーソンだと思いますね。あとはみぞれ先輩！　窓越しに話すあのシーンのセリフは、サブタイトルにしたほうがいいんじゃないかと思うくらい、この作品を表している言葉だと感じました。

——久美子がつばめに言った「自分にとって当たり前のことでも、他の人にとってはそうじゃないって、意外と多いからね」という言葉も印象的です。

黒沢　これはすべての芸事に通じることだと思います。一人一人が高いスペックを持っていても、合わせたときに相手の呼吸を取れないと、癒けないことはたくさんあります。そのことを短い場面で、あんなにも粋に伝えられるって、素敵ですよね。

——最後にファンに向けてメッセージをお願いします。

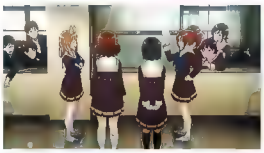
黒沢　冒頭のマウスピースから口を離し「いい感じ」とつぶやくシーンなど、劇場で観てもらわないと感じられない息遣いが、この作品にはたくさんあります。そこに注目して楽しんでいただきたいですし、2回目を観てくださる方には、久美子が数ヵ月前に振った男について、何も追及していないことを確認してほしいです（笑）。軽口は叩きつつも核心に触れていかない感じと、秀一の気まずそうな顔を見てほしいな。秀一が久美子に振られていたということを、初めて観たときは忘れていると思ったんです。私も初読では気にならなくて、台本を読み返すうちに思い出しました（笑）。

——久美子は部長の仕事が忙しくて忘れてしまったのかもしれません（笑）。

黒沢　気まずい視線も全く感じず、「よっす！」みたいな挨拶をするだけでしたが、もっと話すことがあるでしょ！　と思うのですが、そんなところもこれからのTVシリーズで、垣間見えていくのかなと楽しみな気持ちが膨らみました。

少人数編成の組み方

自分たちで編成を組む以上、自力で人を集めなくてはならない。すぐに編成が決まった剣崎梨々香や麗歌さなえは、以前から勧誘をしていたようで、麗奈も周りに遅れを取らないよう各パートへ勧誘を始める。



助っ人登場!?

引退した3年生は、受験や就職活動の真っ最中。それでも、朝や放課後の校舎に響く音色が気になり、部室を訪れた吉川優子と傘木希美。張り出されたアンコンの編成を見て、久美子にある提案を持ちかけ……？

メッキ？ラッカー？

楽器が美しく輝いているのは、部員がメンテナンスをしているから。作中でも登場したメッキとラッカーは、使用する楽器によって使い分けているもの。ただ、部員同士ならば、なんとなく意味は伝わるらしい。

新部長

夏の吹奏楽コンクールを終えると3年生は引退し、受験に専念する。そして、吉川優子から久美子へとバトンが渡された。慣れない部内ミーティングなどの大仕事に、久美子は振り回される毎日を過ごしている。

アイドルマスター ミリオンライブ!

✦TVアニメ全12話を劇場にて先行上映
✦第1幕 8月18日 第2幕 9月8日 第3幕 9月29日 上映開始
HP✦https://millionlive-anime.idolmaster-official.jp/
Twitter✦@imasml_765PRO
©Bandai Namco Entertainment Inc

Illustration by SHIROGUMI INC.
CG-Animation by Kazuki Tanaka
Finish-Work by Junichi Umezawa

春日未来

中学2年生。底抜けに明るく、部活の助っ人には全力で取り組む。765PRO ALLSTARSのライブを見て、オーディションに静香とともにチャレンジすること。

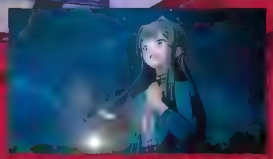
いつも元気いっぱいの春日未来。様々な部活の助っ人に駆り出されて大活躍をしているが、本当に自分がやりたいことには少し頭を悩ませていた。そんな折に出かけた765PRO ALLSTARSのライブで、アイドルたちが輝きを放ちながら歌う姿を目撃した未来は大きな衝撃を受ける。「自分が本当にやりたいこと」、それがアイドルだと悟った未来は、ライブ会場で出会い友人となった静香とともに765プロダクションが開催する新人アイドルオーディションに参加。ふたりはアイドルとして羽ばたくことを目指す。

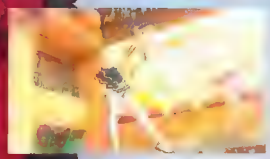
本作で最大の特徴となるのは「765プロライブ劇場」という常設劇場を舞台に、アイドルたちがパフォーマンスを発揮すること。未来をはじめ765プロライブ劇場オープンに合わせて765プロダクションに所属することになった39人のアイドルたちは、このシアターに立つことを目指して切磋琢磨するのだ。これまでアイドルとは縁遠い生活をしてきた未来。だが、部活の助っ人を通して多くの人たちを明るくしてきた経験は、きっとアイドルとして活動するうえでも役に立つはず。未来の笑顔が弾ける劇場の幕開けが待ち遠しい!

765プロライブ劇場の幕が上がる

『アイドルマスター』シリーズのアニメ最新作は劇場でパフォーマンスするアイドルたちをフィーチャー。開幕を控えたキャストたちのインタビューとともに見どころを紹介!

彼女たちの幕も上がる





最上静香の夢はアイドルになることだが、父親には反対されている。でも、未来との出会いがきっかけとなり、オーディションを受けることを決意。オーディションでは未来と一緒に練習した課題曲で、抜群のアピールを決めたいところだ。

765プロダクション[illegible]れ、入所し[illegible]覚えられる[illegible]ションでは、未[illegible]参加するようだ[illegible]

望月杏奈

ゲームが好きなインドア派。普段は無口でおとなしいが、ステージに上がるとハイテンションなアイドルへ早変わり

春日未来 役

山崎はるか

やまざきはるか／6月27日生まれ、神奈川県出身／アーツビジョン所属。主な出演作は『死神坊ちゃんと黒メイド』（ケト）ほか

望月杏奈 役

夏川椎菜

なつかわしいな／7月18日生まれ／千葉県出身／ミュージックレイン所属。主な出演作は『マギアレコード 魔法少女まどか☆マギカ外伝』（由比鶴乃）ほか

── アニメ化されると初めて聞いたとき、どんな感想を持ちましたか。

山崎　ソーシャルゲーム版が始まった初期からいつかアニメ化したいという話を聞いていたので「ついに確定した！　収録や放送はいつからだろう」という気持ちでした。

── 10年以上にわたって各アイドルを演じているおふたり。まず未来についてはどんな印象がありますか。

山崎　明るい子とよくいわれますが、彼女がひとりで光っているという感じではなく、大好きな仲間たちと一緒にいることで明るく輝くことができる子だと思います。キャスティングのオーディションで演じさせていただいたときはもうちょっとおとなしい子だと思ってましたが、最近では明るく真剣だけどちょっと抜けたところもある、いい意味で愛される“アホの子”だと思っています。

夏川　未来は真ん中が似合う子だなとずっと思っていて。仲間のアイドルたちには未来より年上の子もいるし、彼女よりリーダーシップがとれる子もいる。でも、なぜか未来が真ん中にくるとしっくりきます。今回のアニメでは、未来がなぜ真ん中だとしっくりくるのかにフォーカスが当たっています。

── 杏奈に対してはどうですか。

夏川　杏奈の持つ二面性というのは、最初「キャラ付け」だと思っていたんです。でも彼女はアイドルにすごく憧れていて、憧れに近づくために練習するうちに、二面性を切り替えられるようになったと知って、テクニカルなところがあるんだということを強く感じるようになりましたね。

── 山崎さんの杏奈に対する印象は？

山崎　14歳という年齢のわりにすごく冷静だなと。普段の引っ込みがちなときに状況を冷静に俯瞰して、みんなが納得できることをすっと言えるところはすごいですね。

── ゲームとアニメで役の演じ方に違いはありますか

山崎　だいぶ違いましたね。ゲームではいつも一緒にいる子たちとでも、アニメでは初めましての関係になるので、距離感がある演じ方をするのは違和感がありました。

夏川　スマートフォンゲームアプリ『アイドルマスター ミリオンライブ！ シアターデイズ』（以下「ミリシタ」）が始まってからは徐々にアイドル同士のコミュニケーションが増えてきたので、この距離感は新鮮でした。あと、杏奈に関しては『ミリシタ』では自由な間でしゃべっていたんです。アニメだと尺が決まっているので間を意識しつつ、でも「ミリシタ」のときの自由な間の感じもなくならないように演じるのは苦労しました。

── 見どころはどんなところになりそうですか。

山崎　CGアニメで描かれるアイドルたちが綺麗でかわいいです。見慣れているはずなのに「うわあ、美少女！」という感じで。『ミリシタ』のゲーム画面での動きとはまた違うなめらかさもあって、かわいさがぐっと増していました。

　ゲームだけでは見えてこなかったアイドルたちのパーソナルな部分が表現されていて、すごくいいなと思いました。あと、画面のうしろのほうでアイドルたちがグループになっていたり、ある子がある子をタオルでふいてあげていたり、台本上にはないアイドルたちの関わりも描かれていて、楽しみにしているプロデューサーの皆さんにはサービスになるシーンだと思います。

── オープニング主題歌「Rat A Tat!!!」の聞きどころはどうでしょう？

夏川　「いままで私たちが作ってきた素晴らしいものをもっと世界に届けよう」という心意気を感じる歌詞ですね。メロディも「ミリオンライブ！」らしさを残しつつ、すごく新しい感じというか。鼻歌で歌えそうな気軽さがあります。

山崎　その一方でイントロはすごく壮大で。『ミリオンライブ！』といえばこの曲になるんじゃないかというぐらい、気合いが入ってますね。プロデューサーさんたちも納得できる歌詞と楽曲になっています。タイトルもちょっと気になる単語なのがおもしろい。「Rat A Tat!!!」以外にも新曲がいっぱいあるのでぜひ聞いてほしいです。

夏川　アニメ本編のライブシーンでかかる楽曲はどれもキャラクターの心情と歌詞が連動していて、きっと見ている人の心に響きますよ。

機動戦士ガンダム 水星の魔女

✦Season2 vol.1 Blu-ray が9月27日発売
HP✦g-witch.net
©創通・サンライズ・MBS

罪悪感からの再出発

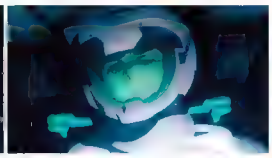
タイン・ハーバーの惨劇に責任を感じ、ひとりでは向き合えないほどの重い罪悪感に苛まれるミオリネ。それでも、スレッタがそばにいてくれれば――自ら扉を開いたミオリネは、スレッタと固く手を握り合う。

何も手に入らなくても

「遠ざけたら一つ、進めば二つ」の呪縛から解き放たれ、何も手に入らなくても前に進むしかない、と自分なりの変化を実感するスレッタ。これまでの過ちを認め、それでもここまで来れたのは「ミオリネさんと出会えたから」。

相容れない道

クワイエット・ゼロが起動する中、互いの主張をぶつけ合うスレッタとエリクト。エリクトは母親の願いを叶えるために、一方のスレッタは、無関係な人々が危険にさらされるのを見過ごすことはできない。



もうひとつの兄弟対決

スレッタとエリクトの想いが平行線をたどる中、グエルとラウダの兄弟もまた葛藤の只中に。父の死の真相をひとり抱え込んだ兄に対する、弟のやるせなさを発端に、さまざまな想いが爆発した末の兄弟ゲンカだった。

スレッタ・マーキュリー

大きな悲しみを経て、何も手に入らなくても前に進む大切さを知る。プロスペラとエリクトを止めるため、危険を覚悟で「呪われたガンダム」キャリバーン搭乗を決意する

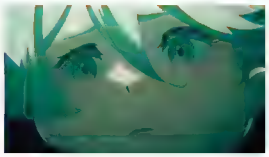
Suletta Mercury

それでも、できることを

プロスペラとエリクトを止めるため、命がけの決断をしたスレッタ
ミオリネをはじめ、彼女を支えた仲間たち
正しい道も誤った選択も
できることを積み重ねたその先に
彼女たちが掴んだ未来とは――

エアリアル大破

議会連合が放った惑星間レーザー送電システムからスレッタたちを守るため、エリクトは身を挺する。スレッタは無事だったが、エアリアルは激しく損傷し、エリクトの声も聞こえなくなってしまう!



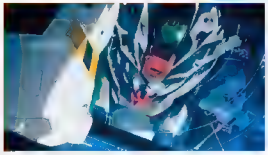
愛してる

クワイエット・ゼロを止める機能停止コードは、植生エンジニアだったミオリネの母・ノートレットがトマトの遺伝子コードにこめたメッセージにヒントがあった。亡き母の愛が、娘とその大切な人たちの窮地を救う!

エリクト・サマヤ

データストーム空間の中であれば、自由に生きられる。エリクトの居場所を作るという理想の実現を願う母に協力するため、スレッタと対立するが!?

Ericht Samaya



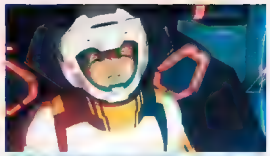
エリクトが自由に生きられる世界を作り出すべくプロスペラが起動させたクワイエット・ゼロ――それは、大きくなりすぎたベネリットグループへの強制介入を狙う宇宙議会連合との戦端を開くきっかけでもあった。

スレッタは自由に生きていいと、あえて別離を告げたエリクトとプロスペラ。だが、己の意思で選び、進むことを知る〝今〟のスレッタの選択は違う。家族と共に生きたいと願う彼女は、エリクトとプロスペラとの対話を選んだ。

一方、クワイエット・ゼロに侵入し機能停止を試みるミオリネは、そこで亡き母・ノートレットが遺したメッセージにたどり着く。母が創案したクワイエット・ゼロを停止させるためには、彼女が遺したトマトの遺伝子に刻まれた言葉「I will always be attached to you, Miorine」が鍵だったのだ。

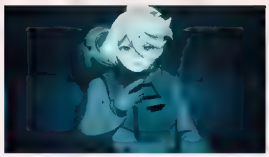
目的を達成したミオリネはプロスペラに言う。「進めば二つ。あんたの言葉でしょ。だったら言葉通り進みなさいよ」「私たち、家族になるんだから」と。

何も手に入らなくても、出来ることをする。その想いを胸に進み続けるスレッタとミオリネ。スレッタがキャリバーンを使って作り出したデータストームの中で、プロスペラは夫や恩師、そしてエリクトと再会し、ついにその歩みを止める。彼女たちの行く手には、一杯の祝福が待っていることだろう。



スレッタが起こす奇跡

エリクトを呼び覚ますため、スレッタはキャリバーンでデータストームネットワークを作り出そうとする。そこに手を差し伸べたのは、かつてスレッタと心を通わせたエラン（強化人士4号）だった。



ミオリネの策

議会連合のさらなる攻撃を阻止すべく、ミオリネはグループの解散を宣言。資産は地球側の企業に売却・合併され、議会連合は武力介入の根拠を失う。ミオリネの策に、さすがのシャディクも「かなわないな」。

ミオリネ・レンブラン

クワイエット・ゼロを停止させるため、プロスペラと対峙する。議会連合による惑星間レーザー送電システムの攻撃を前に彼女が下した、ある重大な決断とは……？

Miorine Rembran

社長業はラクじゃない

ベネリットグループ解散後、従業員の再就職先など、オリジナルのエランに何かと世話になった様子のグエル。恩がある分、彼には強く出られないようだ。

遥かなる旅路

自らを見逃すことを条件に、スレッタたちに協力を申し出たエラン・ケレス（強化人士5号）。クワイエット・ゼロから無事に帰還したあとは、ノレアのスケッチを頼りに、彼女の描いた風景をたどる旅に出た。

スレッタ・マーキュリー役

市ノ瀬加那

手を取り合って生きていく

最終回でうるうる アフレコでこぼれた涙

――『水星の魔女』を演じきっての感想をお聞かせください。

市ノ瀬 キャスト発表から約1年――本当にあっという間で、濃い1年間でした。このまま「水星の魔女」がずっと続いていくような、そんな錯覚があったりもしましたが、でもやっぱり物事には終わりがあって……。最終回はLynnちゃん、能登(麻美子)さんと同じ時間に収録したんですが、実はこっそり泣いていました。そのくらい、ずっとスレッタでいたいなぁという気持ちが強くあったんです。スレッタとして「水星の魔女」に関われたことは、自分にとってそれだけ大きなことでした。

Lynn 私も加那ちゃんと一緒で、終わりたくないな、もっと演じていたいな」という気持ちでした。24話で完結すると聞いてはいましたが、最終回の台本をいただくまで「サブライズで続編があったりしないかな……」なんて思ったり(笑)。でもキャラクターを好きになればなるほど、最後はみんなの笑顔で終わってほしいと思っていたので、そこはすごくよかったです。

――Lynnさんは、市ノ瀬さんがこっそり泣いていたことには気づいていましたか?

Lynn いえ、気づいていなかったです。

市ノ瀬 気づかれないようにうるうるしていました(笑)。これが最後だと思ったら、なんだか涙が出てきちゃったんですよね。お芝居に集中、集中!」と、必死にこらえていました。

――最終回では、スレッタとミオリネの仲睦まじい様子が描かれてホッとしました。スレッタとミオリネが迎えた結末、そして物語全体の着地点について、どんな感慨を持っていますか?

市ノ瀬 物語がスタートしたころは「誰がいなくなるんだろう」ということが気になって、ずっとソワソワしていました。でも、最終回のアフレコ台本を初めて読んだとき、いい形でそれぞれの場所に収まっていて、本当に安心しました。もちろん、それぞれに自分がやってしまったこと、やらなければいけないことはあるんですが、現状のベストな幸せといいますか……みんながやるべきことをやったからこそ、こういう結果にたどり着けたんだなと。スレッタとミオリネが二人で寄り添う姿を見ることができて、視聴者の皆さんもホッとされたと思います。それと、まさかホッツさんがあれほど重要なキーアイテムになるとは思ってもみなかったので、とてもびっくりしました(笑)。ただ、シャディクはやっていない罪まで背負ってしまって……。それでもシャディクは最後まで自分の正義を貫いていましたね。

Lynn 「水星の魔女」は、どのキャラクターの視点に立つかで求める結末が違うと思うんですが、スレッタの物語として見たときに、彼女がずっとやりたかったこと……家族や仲間と一緒に過ごす穏やかな時間だったり、学校を作ったり、それらが叶っているラストでした。スレッタ視点では本当にいいラストでしたが、別のキャラクターの視点に立つと、いろいろと思うことはありますね。アーシアンとスペーシアンの問題もまだ解決はしていないので、そこをきれいに丸く収めないところが、ある意味すごく現実的で。個人的にはそこが「ガンダム」のよさだと思っています。

――最終回で特に印象的だったシーンは?

Lynn 先ほど加那ちゃんがアフレコで泣いた話をしてくれましたが、実は私も泣いたんです。ミオリネとしてはもう、スレッタが死んでしまったのではないかと思ったので……。無音の空間でミオリネが叫んでいるので、声自体は収録してはいないのですが、マイク前ではミオリネが何を言っているのか想像して。そのシーンで、本当に泣いていました。気持ちがこもりすぎて、アフレコで涙が出るのはこれが初めてかもしれません。スレッタが目覚めてくれて心から安堵したシーンでは、第1話での宇宙空間での出会いを思い出しました。とても印象的なシーンでした。

――市ノ瀬さんは、Lynnさんが泣いているのに気づかれましたか?

市ノ瀬 泣いていることには気づかなかったのですが、私もマイク前でLynnちゃんと並んで立っていたので、ミオリネが宇宙空間で泣いているシーンでは隣から何か伝わってくるものがありました。

Lynn セリフがないのに、身体が動いていたもんね。

市ノ瀬 そうそう。だからLynnちゃんの気持ちも大きく動いているんだなって。最終回は、二人の距離感がよりグッと近くになっているのがよかったですね。私が好きなのは、ラストでミオリネがスレッタの肩に頭をコツンとやっているシーン。今までも似たようなシチュエーションはありましたが、これからも共に歩んでいこうという、そんな二人の姿を見ることができて心にくるものがありました。

――以前、お二人は次回を予想するのが楽しみとおっしゃっていましたが、この結末は予想していましたか?

市ノ瀬 監督からは、ハッピーエンドになる予定であることだけは伺っていたので、そこまで悲しいエンディングにはならないだろうと思いながら最終回の台本をめくっていました。それでもエアリアルとキャリバーンの戦いがどうなるのか、プロスペラもエリクトも消えてしまうんじゃないか……とか。誰がいなくなってもおかしくないのが「ガンダム」なので、ハラハラドキドキが尽きませんでした。何よりプロスペラが最後、あんなに穏やかな微笑みを見せてくれるとは思わなかったです。復讐心や喪失感、エリクトを生かすための情熱……それらがすべて昇華されたあとの笑顔が、とても印象的でした。

Lynn 物語が進むにつれ、どんな結末になるのかまったく予想がつかなくなってきたので、最終的には考えるのをやめました。それでも最後、3年後の世界が描かれるとは思っていませんでしたね。時が経って、そこに流れている日常があって、でも解決していないこともあって……そうした描き方は意外だったというか。だからこの3年間、みんながどんなふうに過ごしていたかとても気になるんです。描かれていない空白の部分があるので、そこはぜひ続編で!と(笑)。

――たしかに気になりますよね。

Lynn それと……ミオリネがベネリットグループを解散させたことが、個人的にはとても驚きでした。ミオリネなりのけじめのつけ方、親だったのかな。デリングもそれを受け入れているんですよね。お父さんと話し合うタイミングは、きっと特になかったんじゃないかなと思うんですが、デリングが娘の判断をしっかり受け止めてくれたことが嬉しかったですね。ただ、最終回でお父さんと

話すシーンがあるかと思っていたのですがなかったので、そこがちょっと寂しかったです。

――スレッタとミオリネは両輪で、二人の主人公として物語を動かしてきた。そのことが感じられる最終回でした。

Lynn そうですね。本当によきパートナーになって、どちらが欠けてもいけない存在になったと思います。

それぞれの視点に立つことで見えるもの

――先ほどは最終回についてうかがいましたが、ここでは物語全体を振り返りたいと思います。

市ノ瀬 第22話でスレッタとミオリネが壁越しに話しているシーンが印象的でした。この二人はどちらかが落ち込んだり、どうしていいかわからなくなったとき、もう一方がしっかり立ち上がっているんですね。地球から戻ったミオリネが打ちひしがれているとき―スレッタは二回り以上も成長している。やってしまったことは取り消せないけれど、前を向いていくしかないんだって。ミオリネ自身も地球でのことをすごく後悔しているけれど、スレッタの言葉を受けて立ち直っていく。そんな二人のバランスが印象に残っているんですよね。

Lynn Season2だと、第16話でスレッタと久しぶりに再会して、温室で二人が話すシーンが印象深くて。「あんたは母親が言うなら、ガンダムで人を殺すの?」と究極の質問をしたとき、スレッタが「お母さんが言うなら」と答えるあのシーンは衝撃的でした。ミオリネも頑張ってスレッタの価値観に歩み寄ろう、理解しようとしたけれど、どうしようもないことがわかって、いても立ってもいられなくなったんだと思います。このシーンを経て、スレッタをどうにかして救わなくては……という気持ちになった。その後、ミオリネがさまざまな行動を起こすきっかけになったという意味でも、とても印象深いシーンです。あと、トマトに反射する二人の姿が美しかったので、絵的な面でも印象に残っていますね。

市ノ瀬 私もトマトを使った演出が素敵だと思いました。

Lynn そうそう、青いトマトと熟れたトマトがあってね。そういう温室の使い方、トマトを通じた表現の美しさも含めて、すごく思い出深いシーンです。

――物語後半は、特にキャラクターが心情を吐露するシーンが多くありましたが、演者として共感したことや気づきはありましたか?

Lynn 「私はもう間違いたくない」とスレッタに気持ちを打ち明けるシーンは、私も共感しました。これまで親に守られてきたミオリネが、独り立ちして頑張ってはみたけれど、失敗してしまった。最初の一歩がうまくいかなかった経験はトラウマになるし、次に進むのが怖くなってしまうと思うんですね。そういう子どもらしい素直な気持ち――もちろん大人でも失敗したくないと思いますが、本当に共感できます。ただそこで立ち止まっちゃいけない、怖くても次に進まなきゃいけないと、視聴者の皆さんもいろいろ考えるところがあったシーンではないかなと思います。

市ノ瀬 私は「何も手に入らなくても、前に行くしかない」というセリフにハッとしました。今までは「逃げたら一つ、進めば二つ」とプロスペラを軸に動いていたスレッタが、自分の考えで、何も手に入らなくてもいいと決断できるようになった。プロスペラの呪縛から解き放たれたことは人生を変えるほど大きな出来事だと思うし、スレッタがより上人公らしくなったという意味でも印象深いです。

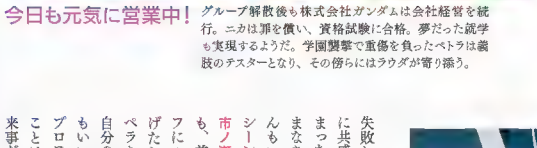
――スレッタとミオリネだけでなく、登場するすべての人々に影響を与えたのがプロスペラでした。彼女がやりたかったこと、その顛末について、お二人はどう捉えていますか。

市ノ瀬 夫も仲間も失って、エリクトが自由に生きられる世界を作ることだけがプロスペラの原動力だったと思うと、今までの行動をすべて否定することはできなくて。やったことの結果は重大なんですが、彼女にしかわからない悲しみや葛藤がたくさんあったはずです。だから、スレッタの、お母さんが泣いてるなら抱きしめてあげたい」というセリフもよくわかるんですよね。スレッタを演じている立場からすると、もっとスレッタに向き合ってほしいと思ったりもしたのですが、プロスペラの視点に立つと、そうだよね、そうなるよね……と、理解できる部分もたくさんあって。本当に人間って、それぞれの視点に立ってみないとわからないことがあるんだなと思います。だから最終回、スレッタがいて、エリクトがいて、プロスペラがいて……そうした世界が私にはとっても嬉しかったです。

Lynn 「PROLOGUE」を観るとエルノラは被害者で、家族や仲間を奪われた悲しみを背負ってずっと生きてきた。だから、責められるようなことはしていないよね……とも思えてくるんです。ミオリネにも、「あなたのお父様は私たち親子の仇だもの」と言いましたよね。ミオリネは大人同士で勝手にやってと跳ねのけましたが、プロスペラの心の傷に対し、もう少し歩み寄ってもよかったんじゃないかとも感じました。ただ、ミオリネにとってはスレッタが大切なので、過去ではなく未来のことを考えようと思ったのかなと

無音の再会

クワイエット・ゼロが消失、光の粒子となって漂う中、宇宙空間に放り出されたスレッタをミオリネが迎えにいく。目を覚まさないスレッタ。ミオリネは涙を浮かべるが……。



今日も元気に営業中! グループ解散後も株式会社ガンダムは会社経営を続行。ニカは罪を償い、資格試験に合格。夢だった読学も実現するようだ。学園襲撃で重傷を負ったペトラは義肢のテスターとなり、その傍らにはラウダが寄り添う。

ミオリネ・レンブラン役

Lynn

地球のその後

一時、地球に流出したペネリットの資産は、再び宇宙へと吸い上げられていた。アーシアンとスペーシアンの格差問題はそう簡単にはなくならないが、ミオリネはそれでも出来ることをするのだと前を向く。

贖罪の日々

クワイエット・ゼロの罪までも引き受けたシャディクは、現在も収監中。一方、クイン・ハーバーの惨劇が残した爪痕は今も癒えておらず、ミオリネもまた被害者に対して贖罪の日々を送っている。

ホッツさんの姿になったエリィ

エアリアル大破後、エリクトの意識が宿ったのはなんとマスコットのホッツさん！　エリクトのちょっとしたアドバイスもミオリネには小姑の小言のように聞こえるが、なんだかんだうまくやっているようだ。

麦畑のひととき

スレッタは、データストームで傷ついた身体を癒しながら、以前からの夢だった学校設立に力を尽くす。その傍らで穏やかに微笑むミオリネ。

解釈しました。最後、スレッタが「お母さんの選択を、肯定します」と言ったことで、救われた部分もあったとは思いますが……もっとプロスペラの悲しみに寄り添ってあげられる人がいたら、状況は少し違っていたのかもしれません。プロスペラは決して悪役でも悪人でもないから、その意味でも難しいキャラクターだったと思います。

二人をつなぐ プロスペラの存在感

――エピローグでも一緒にいたスレッタとミオリネですが、ここに至るまでを振り返ったとき、キーポイントになったと思われる出来事をお聞かせいただけますか。

市ノ瀬　スレッタとミオリネの関係性は、私としては心と心の通じ合う者同士……という感覚なんです。序盤ではスレッタの気持ちがエラン（強化人士4号）に向いているような描写もありましたしね。でも、第7話でスレッタとエアリアルがピンチに陥ったとき、ミオリネが「守るわよ、私がアンタを」と言ってくれて。ここでミオリネの強さを目の当たりにして、スレッタもきっと感じるところがあったんじゃないかなと。その後、株式会社ガンダムが設立されて、そこで二人の距離がより縮まった気がするんです。特にスクーターを二人乗りして、ミオリネがスレッタの背中にコツンと頭をもたせかけるシーンは象徴的だった気がします。花婿としての自覚が芽生え始めたのは第10話あたりで、徐々にミオリネの強さも弱さもわかっていったころだと思います。そして、その後の衝突やすれ違いを経て、最終回のような関係性になったんだなと。

Lynn　ミオリネの中では、早い段階でスレッタの存在が大きくなっていたような気がしています。「逃げたら一つ、進めば二つ」という言葉を聞いた瞬間、たぶんハッとさせられたと思うんですね。やりたいことがあると言うスレッタに、「偉いねあんた」ってポソッとひと言返すだけでしたが、きっとミオリネの中で動くものがあった。株式会社ガンダムを立ち上げたのもスレッタとエアリアルのためでしたし。でもミオリネ自身、それがどんな感情なのか、きっとわからなかっただろうし、言葉にすることもできなくて、それが第11話の想いをぶつけるシーンにつながったんだと思います。

――たしかに、ミオリネのほうが早い段階でスレッタから影響を受けていたように見えます。

Lynn　それまで、ミオリネの周りには思いもよらない考えをくれる人がいなかったんでしょうね。グエルは当初、乱暴で自分勝手でしたし、シャディクは一歩引いていて歩み寄ろうとはしてこない。そこにスレッタという不思議な存在が現れて、ミオリネの日常がかき乱された。でもそれが悪くない、楽しいという感じだったのかなと。

――そんなミオリネに対し、スレッタはせっかく出会えたのだからと、距離を縮めようとしていました。

市ノ瀬　ミオリネは最初ツンツンしていましたが、そんなスレッタにほだされてしまった感じはありますね。

Lynn　そうですね。ミオリネは孤独を感じていたから、そばにいてくれる人ができて安心したんだと思います。最初はまあ、無理やりそばにいさせたという感じですが（笑）。

――二人が今の関係にたどり着くまで、特に影響を及ぼした人物は誰だと思いますか？

市ノ瀬　スレッタを演じる立場からすると、やっぱりお母さんでしょうか。プロスペラの呪縛があったから、ミオリネも「自分がスレッタを救わないと！」という気持ちになったので。

Lynn　そうなんですよね。プロスペラは目的のため、ミオリネを焚きつけるようなことも言っていましたが、それが結果としてミオリネを突き動かして、スレッタとの絆が深まっていくことになりました。ミオリネが行動を起こすとき、プロスペラに何か言われていることが多いんです。プロスペラにそのつもりはなかったのでしょうけれど、スレッタとミオリネが今の関係を築くのに欠かせない人だったと思います。

――最終回では、ミオリネはプロスペラを切り捨てるのではなく、一緒に生きていく道を選びました。

Lynn　ミオリネも心のどこかでわかっていたのかもしれませんね。プロスペラがいたから、スレッタと出会うことができたんだって。これは私の想像なんですが、ミオリネはスレッタのことが大切だからこそ、そのスレッタが大好きな、たったひとりのお母さん」のことを理解したいと思ったんじゃないかなと。ミオリネには親子を引き離すことはできなかったので、それならわかり合おうとする道を選ぶしかないと思うんですよね。

――家族といえば、デリングはどうでしょうか。

市ノ瀬　デリングさん、ペネリットが解体された後もまた何か仕事をしていそうだよね。

Lynn　お父ちゃんは自分で新たな事業を興しつつ、ミオリネの自立を温かく見守ってくれてそう。助けを求められたら手を差し伸べるし、かといって干渉しすぎない。この親子は、いい距離感になったのかなと思います。プロスペラにも、スレッタたちと今、緒にいられる幸せをしっかり噛みしめてほしいなと思います。エリクトともずっと一緒にいるのかな？

市ノ瀬　どうなんだろう？

Lynn　あの感じだと、これからもずっとホッツさんとしてぷら下がっている気もする（笑）。

市ノ瀬　エリクトに常に会話を聞かれて（笑）。そう考えるとやっぱり、この先も物語を続けていきたいですよね。いろいろと気になることも多いし。

――彼女たちがどう生きていくのか、興味深いですね。

市ノ瀬　二人とも自身の考えで行動していける人に成長したので、自分たちのやるべきこと、やりたいことを目標に生きて、何かあったら支え合って……そんなパートナーになってほしいですね。これだけたくさんの困難を乗り越えてきたスレッタとミオリネですし、この先すれ違いがあったとしても、きっとすぐにいつもの二人に戻っている――そんな未来が、私には見えています（笑）。

Lynn　私にも見えています（笑）。麦畑でのミオリネの顔がとても穏やかだったので、心が休まる居場所が見つかって本当によかった。向き合うべき問題はたくさんあるけれど、これからも二人で手を取り合って、前に進んでほしいなと思っています。

Q. お気に入りの御三家は？

市ノ瀬　これは難しい質問ですね……。Lynnちゃんはシャディク？

Lynn　シャディクですね。最後の最後にまた株を上げて去っていきました、彼。

市ノ瀬　最後ミオリネに「さようなら」って言ったのが……もう、ね。切なくて。

Lynn　しかも自分の罪ではないものまで背負って。本当にみんなの幸せを願っているんだなって思いました。

市ノ瀬　株といえば、エラン（強化人士5号）も最後の最後で、めちゃくちゃ株が上がりましたね。はじめはスレッタに強引に迫ったりしていたので、私としてはちょっと敬遠していたんですが、彼を知るにつれ人間味のある人だとわかって。ただひたすら、生きていくために必死なだけだったんだと思うと、どうしても憎めないんですよね。第23話での銃撃戦もすごくかっこよかったし、ノレアとの出会いややり取りを経て、彼自身にも少し変化があったりして……。エランも、これからも幸せでいてほしいキャラクターのひとりですね。実は5号が最初に登場したとき、不気味さというか、何か違和感を持ったんですが、これは彼がオリジナルを真似していたからなんですね。最後の最後で、ナチュラルな素の彼を見ることができて嬉しかったです。

Kana Ichinose
12月20日生まれ／北海道出身　シグマ・セブン所属／最近の出演作に、『乙女ゲーム世界はモブに厳しい世界です』（オリヴィア役）、『あやかしトライアングル』（花奏すず役）ほか

Lynn
6月1日生まれ／新潟県出身／アーツビジョン所属／最近の出演作に、『青のオーケストラ』（立花静役）、『Fate/strange Fake -Whispers of Dawn-』（アサシン役）ほか

ミオリネとの対面

ベネリットグループのインキュベーション・パーティーで、ミオリネと対面したプロスペラ。ミオリネの痛い部分を突くプロスペラだが、その真意は果たして……。

すべてを失った日

監査組織カテドラル直轄の特殊部隊ドミニコス隊の襲撃から、ガンダム・ルブリスに乗り脱出するエルノラとエリクト。この後、水星に流れ着いた二人は過酷な環境に身を置いていたようだ。

エリクトとの日々

プロスペラがエルノラ・サマヤであった頃、彼女はフォールクヴァングで愛娘と幸福な日々を過ごしていた。母娘の曇りのない愛情に満ちた眼差しは、のちを知る者には切なく感じる。

優しい母の仮面の下

エリクトを目覚めさせる鍵として、プロスペラはスレッタを言葉巧みに誘導していた。エアリアルがガンダムだとあっけらかんと明かすなど、彼女の真意はなかなか掴みづらいものだった。

涙の理由

地球寮とグラスレー寮の決闘終盤、プロスペラはエアリアルがパーメットスコア・シックスに到達した際に、涙を流す。仮面の下の彼女の顔は、エリクトのための計画がまたひとつ前進した喜びに満ちていたのだろう。

エリクトのために

ヴァナディース事変から21年、エルノラはプロスペラと名を変え表舞台に。体を失い、エアリアルに生体コードを移植したエリクトが自由に生きられる世界を作るべく暗躍を始める。

GUND技術

本編ではプロスペラのGUND化された右腕が印象に残る。ヴァナディース事変を機に研究、開発が衰退していたGUND技術だが、今は株式会社ガンダムがその完成を目指す。

プロスペラ・マーキュリー

エリクトの居場所を作るため、暗躍していたスレッタの母。その体はデータストームに侵され、あとわずかで体が動かなくなることも自覚していた

Prospera Mercury

嵐の時は過ぎ去って

我が子への愛ゆえの計画に人生を捧げたプロスペラ
彼女は物語の裏側で暗躍し続けた“悪しき魔女”だったのだろうか？
すべてが終わった今、プロスペラの人生を、振り返ってみる

物語の序盤、プロスペラはスレッタを言葉巧みに、意のままに動かしてきた。その目的は、家族と恩師と仲間を奪ったデリングへの復讐ではないのか――当初はそう思われていた。しかし、プロスペラはどこまでも“母”だったのだ。

エアリアルの中で眠るエリクトを目覚めさせるために利用したスレッタのことも、愛していなかったわけではないのだろう。それはエリクト覚醒後、スレッタに「学園に戻りなさい。あそこなら、あなたの胸を埋めてくれる」と告げたことからも垣間見える。

エリクトが自由に生きられる世界を広げること――それがプロスペラという人物を形作る核だった。マスコットのホッツさんに宿る形で、これからも一緒にいられる時間を得たエリクト。そしてミオリネと共に、学校を作るという夢も諦めずに穏やかに暮らすスレッタ。二人を見守る母の心が、今は安らかであることを願ってやまない。

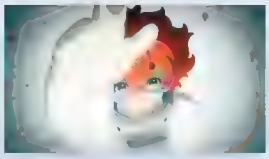
クワイエット・ゼロの胎動

エリクトが生きられる世界を広げるため、地球圏に巨大なデータストームネットワークを作るために必要なのがクワイエット・ゼロだった。デリングと密約を結んでいたプロスペラは、計画の完遂を目指すが……。

新たなるパートナー

プラント・クエタ襲撃事件でデリングは重症を負い、プロスペラは代わりのパートナーとしてミオリネを選ぶ。ミオリネはスレッタの自由を代価にプロスペラと手を組むことに。

データストームのその先に



かつてヴァナディース機関で働いていたベルメリアは、エリクトとスレッタの年齢の乖離やエアリアルの特異性に気づきプロスペラを詰問。明かされるエアリアルとエリクトの真実は、Season2中盤最大の見どころだ。

能登麻美子

プロスペラ・マーキュリー役

赦しと再生の物語

衝撃的だったスレッタのひと言

――最終回の感想をお聞かせください。

能登　リアルタイムで観たのですが、本当に愛のある……幸せな終わり方でホッとしました。ここにたどり着くまでに命を落としたキャラクターもいる中、最後の最後に、今生きている人たちがそれぞれの道を見出す――こういう終わり方があるんだなって。プロスペラはエリクト上と、緒に死を選ぶのではないか、とかそんな苦い結末も頭をよぎっていたので、この終わり方でよかったなとより強く思いました。

――最終回で特に印象的だったシーンは？

能登　ひとつに絞るのは難しいのですが、麦の穂の中でスレッタとミオリネが温かく手を携えているシーンでしょうか。そして傍らにプロスペラもいて……。外見は変わっていましたが、画面からあふれる温かさが本当に印象的でした。

――プロスペラはエリクトと会話はできていたようですが、姿を見たのは最終回が初めてなのでしょうか。

能登　このときが初めてだったと思います。プロスペラの仮面が崩れて、彼女の表情が露わになったところで、初めてエリクトを見たという、こちらも印象的なシーンでしたね。

――スレッタからは「お母さんの選択を、私は肯定します」という、赦しの言葉も飛び出しました。

能登　あれは本当にすごい言葉で、娘に赦される、肯定されるということについては、私もまだ気持ちの整理がつきかねているところがあります。特に第18～19話あたりのスレッタの成長、変化にはすさまじいものがあって。その彼女に「肯定します」と言われたあと、プロスペラが「あなたに、何が」と返すんですね。たしかに娘にこれを言われてしまっては、私だったら崩れ落ちてしまうなと思いました。スレッタの愛の大きさ、懐の深さ……とてもこのひと言では片づけられないのですが、プロスペラを演じる立場からするとすごく衝撃的でしたね。この「肯定」という言葉と、最後にミオリネが言った「人の数だけ正しいがあるもの。いつか必ずどこかで間違うのよ。それでも出来ることをするの」。個人的には、この二つが『水星の魔女』最大のテーマだったんじゃないかと思っています。

――プロスペラは重く、難しい役だったと思うのですが、演じきってのお気持ちはいかがでしょうか。

能登　最初に監督とプロスペラについてお話する機会があって、柱となる部分についてはいろいろと何っていました。プロスペラは、世界をエリクトが生きていけるものに変えていくことが目的で、そのためにデリングと手を組むということについても最初に教えていただきました。あとはそのシーンごとに、監督がイメージされるプロスペラ像に近づけていくということをしたので、自分ではまだ「演じきった」という境地に達していないのが本音です。

強くしなやかなプロスペラの生き方

――「PROLOGUE」ではエルノラ・サマヤとして登場し、大きな悲しみを経験したはずのプロスペラが、『水星の魔女』本編では大勢を悲しませる立場になってしまいました。その変化をどのように演じていきましたか。

能登　監督からは、「エルノラとプロスペラが同一人物のように見えなくても大丈夫です」とディレクションをいただいていました。水星に行ってから計画を実行するまでの年月と、その中で彼女が抱えてきたものを思うと、たしかに人が変わってしまってもおかしくはありません。それに「同一人物なの？」と視聴者の興味をより掻き立てることにもなりますから、これが監督の狙いだったのかもしれませんね。なので、エルノラとプロスペラの間には無理に整合性をとらないよう心がけました。「エルノラはこういう感じだったから、プロスペラはこうはならない」とかあまり考えすぎてしまうと、プロスペラを演じる幅が狭くなってしまう。そこはエルノラにあまり縛られず、むしろ彼女の年月に想いを馳せながら演じるようにしました。特にSeason1は手探りで前に進んでいく感じだったので、テイクを重ねたことも多々ありました。その意味で、スタッフみんなで作っていった人物だったと思います。

――プロスペラを演じる上で大切にしたことは？　Season1と終盤では、スレッタに見せる顔、声音に変化があったように思います。

能登　根底にはやっぱりスレッタへの愛情があったと思いますが、どんなときも、何をしていてもエリクトのことが頭にある。そこだけは絶対ぶれないようにと思っていました。あと、プロスペラについては、微笑みの裏で何を考えているのかわからない女性」というイメージがあると思うのですが、実はスレッタやミオリネに結構揺さぶられているんですよね。葛藤しながら進んでいった人なので、その結果として演じ方や声色に変化がついたのだと思います。

――プロスペラにとっては、エリクトが一番大切ということが観ていて伝わってきましたが、ではプロスペラにとってスレッタはどんな存在だったと思いますか？

能登　これもまた監督とお話させていただいたとき、（プロスペラは）スレッタのことは愛しています」と。それと同時に、本来エリクトが歩むはずだった道を歩いているスレッタに対して、非常に複雑な感情を抱いているともおっしゃっていました。それを象徴するのが、第18話のエリクトとのシーンだと思います。その後、エリクトの生体コードをエアリアルに移しましたが、プロスペラは一番大切なものを一度あそこで失ってしまった。だからこそ、再び失うわけにはいかないという想いが、スレッタへの複雑な感情につながっているんですね。それでも、最後の「ごめんね、エリィ……スレッタ……」というセリフで、一人の娘に等しく愛情を注げるようになったと……私はそう思いたいです。

――優しい母親の声が、回を重ねる中で恐ろしく感じられることがありました。

能登　視聴者の皆さんには怖がられていたようですが、はじめはその自覚がなく「あ、私そんなに怖いんだ」と思っていました（笑）。台本には「口元は笑っているけど笑っていない「サイコホラー風」」というト書きがあったり。監督からは、「『ガンダム』の世界は強い人物が多いけれど、プロスペラは柳のように優しく、しなやかに。その一方で、粛々と物事を進めていくキャラクター」と伺っていたので、怖さというよりも、そこがおぢ居の基本ラインと考えていました。ただ、終始柔らかいだけだとメリハリがなくなり、感情が伝わりにくいキャラクターになってしまうので、スレッタに対するとき、仕事の顔のとき、脅すようなときと、ある程度の変化はつけています。それが、私が思う以上に怖い感じになったわけですが（笑）。

――怖い役柄を演じる楽しさもあったのでは？

能登　プロスペラについては、「楽しい」という境地には達していなくて、むしろ必死で演じてきたという感じです。とても存在感の大きいキャラクターだったし、シーンごとに自分の役割を全うすることで精一杯でした。でももし、もう一度演じることができたら楽しくなるかもしれませんね（笑）。

「家族」をめぐるさまざまな絆

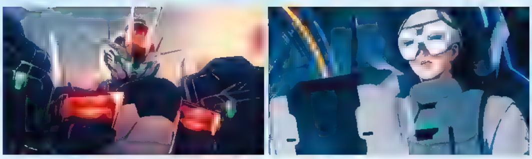
――かけがえのない我が子が死に瀕して、でも命をつなぐ手段がゼロではないとわかったとき、母としてどんな行動を取るのか。プロスペラの親としての顔を、どのように解釈していますか？

能登　私は子どもがひとりいて、ちょうどエリクトと同じ年ごろなんです。同じ親としてプロスペラの気持ちが理解できる部分もありましたが、スレッタやミオリネと同世代の視点で見たとき、果たして共感できるのかというと……でも、愛おしいものをもぎ取られた痛み、そしてそれを再び取り戻したいという想いは、若い方々にも共感しやすい部分かなとは思います。「水星の魔女」ではさまざまな家族の形、愛の形が描かれました。グエルやシャディクもそうですが、親を通じての成長や関係性が描かれたという意味でも、「家族」はひとつのテーマだったと思います。

――たしかに、「家族」は重要なキーワードですね。

能登　スレッタ、ミオリネ、プロスペラだけでなく、本当にさまざまな家族、さまざまな絆があって。「家族」という言葉を無理に当てはめなくても、最小単位での絆の育み方もあるし、そこには正解も不正解もない。いつでも、いつからでもやり直せる……そんな「赦しと再生の物語」なんだなと感じました。

――最終回で、エリクトがミオリネに小姑のようなことを言いますよね。それにミオリネが、「うるさ

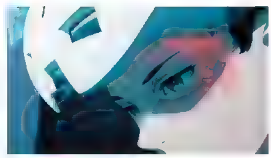


怒りの鉄槌
ミオリネたちと共に、エアリアルと地球へ降りたプロスペラは、オックス・アースの工場を破壊。そこにはGUNDの理想を汚し続ける存在への怒りもあったのだろう。

使い終わった鍵の行方
グエルとの3度目の決闘でパーメットスコア・エイトに達し、パイロットが不要になったエリクトは、鍵としての役目を終えたスレッタに別れを告げる。データストーム空間の中でスレッタは、母プロスペラの過去やこれまでのいきさつを知ることに。

計画は最終段階へ
プロスペラ指揮のもと、姿を現したクワイエット・ゼロは、宇宙議会連合の艦隊を一蹴。内部からの攻略を目論むミオリネに対しても、プロスペラは自ら銃を携え迎撃に向かう！

二人の娘
キャリバーンが作り出したデータストームの中、プロスペラは夫や恩師、そしてエリクトと再会。彼女の人生と選択を肯定するスレッタの言葉と共に、プロスペラはついにその歩みを止める。



その身は汚染されていて
半壊したエアリアルを抱え、プロスペラのもとへ向かうスレッタ。データストーム汚染で長くないという彼女に、スレッタは「お母さんも失いたくない」と自分の意思を示すが……。

い」といったリアクションを返す。あのやり取りも楽しいものでした。

能登　ウェットにならない感じもよかったですし、「スレッタにしか出来ないことだったんだ」というセリフも心に響きました。

——『水星の魔女』は、いろいろな想像力を刺激する作品でもあります。

能登　そうなんですよね。とても美しい終わり方だったので、彼らのその後を見たい気もするし、これで完成されているからこれ以上見なくていいような気もしています。

——プロスペラは、ミオリネと直接対峙することも多かったです。最後には娘二人を等しく愛してやれと、きついひと言を食らいました。

能登　本当に「言ってくれるじゃない」ですよね（笑）。ミオリネのことは最初、手のひらで転がせると思っていたのでしょう。ただ、ミオリネは折れずに食ってかかってくるんですよね。スレッタも含め、真正面からぶつかってくる彼女たちの姿勢に対して、プロスペラもだんだん優位に立つばかりではいられないというか……。プロスペラが焦っている様子などは直接描かれていませんが、回を追うにつれ「安心してはいられない」という思いはあったかもしれません。その一方で、ミオリネに対してはある種の信頼感があったと思うんです。スレッタに「学園に戻りなさい」と言っていますが、あそこならミオリネを筆頭にみんながいて、楽しく暮らせるだろうと。だからこそプロスペラはスレッタに幸せになってほしいと思っていて、ミオリネと一緒なら大丈夫という、そんな気持ちもあったんじゃないかなと思います。

——そのミオリネに「私たち、家族になるんだから」と言われ、プロスペラも胸の内は複雑だったと思います。

能登　想像の域になりますが、ミオリネのほうから手を広げて、プロスペラを受け入れてくれた気がするんですよね。

——受け入れてくれたミオリネに対し、プロスペラがどう応えるかですよね。

能登　最終回の麦畑のシーンではすごく穏やかな時間が流れていて。この3年という時間で、3人の気持ちが自然な形で溶け合っていったのかなという印象を持ちました。最終回でプロスペラ自身も言っていましたが、彼女に残された時間は決して長くはない。そう考えると、もしかしたら本当に憑き物が落ちたようになったのかもしれないし、そうなっていてほしいなと願っています。

先のステージに達した特別なタイトル

——プロスペラのシーンで、もっとも思い出深いものを教えてください。

能登　最終回のエリクトとスレッタ、プロスペラの会話はちょっと別格ですが、「協力してくれる？　ベル」のシーンは我ながらサイコ感があったなと（笑）。あのセリフは何度かテイクを重ねて、「こういう表現はどうでしょう」と調整しながら収録したものですが、たしかにオンエアを観たら、自分でも不気味に思いました。そうしたディレクションを重ねながら作ったという点で、あのシーンは非常に印象に残っています。あと、スレッタとのなにげない日常会話も好きでした。優しいお母さんを取り繕っているわけではなく、あれはあれで自然な態度なんだろうなと。

——「学園生活を楽しんでる？　よかったわね」みたいな会話ですね。

能登　プロスペラはその奥に思惑を潜ませていたりしますが、それでも母と子の間に通うものは真実だったと思いたいんですよね。エリクトに対しては、スレッタと一緒にいることもできるとプロスペラは言いましたが、その一方でスレッタには「学園に戻りなさい」と突き放しました。「あなたはあなたの幸せを見つけなさい」と。たぶんプロスペラは、離れることがお互いの幸せだと考えたのでしょう。スレッタに対する愛情が感じられたという点では私もホッとしましたし、その意味でも好きなシーンですね。

——その他の登場人物で、特に気になったキャラクターを教えてください。

能登　思い入れがあるのはベルメリアです。ヴァナディースの生き残りで、そうせざるを得なかった葛藤や苦悩、弱さを抱えていて。とても等身大なキャラクターで、個人的に思い入れが深いです。

——大人の立場からすると、ベルメリアの境遇はつらいですよね。

能登　大人の視聴者に刺さるキャラクターだと思います。子どもたちからの真っ直ぐさゆえの突き上げもわかる……わかるけれど、長く生きているとそうするしかなかったとか、今はこうするしかないとか、そうした局面に出くわすことがある。そんな、ままならなさを抱えたところにグッときます。

——『水星の魔女』を最後まで見届けてくれたファンへ、メッセージをお願いします。

能登　皆さんの反響に接して、本当に『ガンダム』は特別なタイトルだなと実感しました。皆さんの応援と作品の力によって、『水星の魔女』はひとつ先のステージに到達した作品になったと思います。ファンの方の熱い気持ちに対し、スタッフが作品の面白さでお返ししていく——そんないい循環ができあがっていました。『水星の魔女』は末永く愛される作品になるでしょうし、そんなタイトルに参加させていただけたことを心から光栄に思っています。ご覧いただき、本当にありがとうございました。

Mamiko Noto
2月6日生まれ／石川県出身　大沢事務所所属／最近の出演作に、『君は放課後インソムニア』（倉敷兎子役）、『ちみも』（鬼神むつみ役）、『SHY』（スピリッツ役）など

アニメージュ

Animage

未来への架け橋

7月2日から後期EDアニメーションが放送中。前期EDと合わせると、一日が一周するという仕掛けになっているそうだ。

「ひろがるスカイ！プリキュア」のED演出は、昨年のCG短編映画『わたしだけのお子さまランチ』を手がけた山元隼一監督が担当。CGプロデューサーの野島淳志さん（東映アニメーション）によると、同作での山元さんの並々ならぬプリキュア愛が依頼の決め手になったそう。

山元さんは作画アニメ畑のクリエイターなので、今回も一般的な全カットコンテが用いられ、CG映像ではあまりないような作りもあちこちに見られる。CGの実務作はコラットが担当、振り付けは近年おなじみのCRE8BO[illegible]

前期ED「ヒロ[illegible]の日常感が描かれ[illegible]ズム」「ウィング&バタフライ」それぞれのペア感も推されている。[illegible]モチーフとしては文房具で、ク[illegible]アナログ感もある、[illegible]らしい。

後期ED「Dear Shi[illegible]チュエーションで、[illegible]人ぴたテイストた、[illegible]ンのきらめく美しさが[illegible]プリキュアがミニチュアサイズで机の上を踊ったり、ラストできれいな虹が出現したりと、前期EDとの共通要素で統一感が生み出されているのも特徴だ。

前期ED「ヒロガリズム」

[illegible]

シェアハウス内（前半パート）から、屋外の雲のステージ（後半パート）へ移動する際、スカイとフ[illegible]ズムが一人で作るパートにズームインするワイプが[illegible]つのポイント。「ここの歌詞は『そこにみんながいるミラクルはタカラモノ』。つまり、友達とのつながりこそが宝物ということ。二人でパートを作るという振り付けは『宝物』を象徴したものだろうと理解したので、そこで場面を切り替えることで印象的に見せました」（山元）

カラフルなビー玉ステージ

冒頭のステージはソラの机に作られた星空のジオラマ。実際の映像では背景はぼやけているので、イメージ空間的にも見える。足元のキラキラした色とりどりの球体はビー玉。夜のシーンだか、暗くなりすぎずファンシーなテイストを出すために用いられている。前奏のバレエ調の振り付け（放送では第22話のみ）がオルゴールのバレリーナ人形のように見えたことから、「机の上でミニチュアのプリキュアがくるくると舞う感じ」（山元）をイメージしたそう。夜も更けた頃に、机の人形が目覚めて踊り出すような雰囲気だ。

後期ED「Dear Shine Sky」

ビー玉ステージ（プリキュアCGを元に描いた背景）

キャラに合わせた背景とフレーム

前期・後期共にソロパートは、各キャラに関連した場所が背景に（後期は各自の部屋）。キャライメージに合わせた手描き感あるフレームも使われている。フレームの絵素材はイラストレーターのおおぬきかおりさんが作成。前期の画[illegible]で使われるフリーハンド的なラインも、おおぬきさんが描いたものだ。

ミラーパッドを効果的に

本編でのアイテム「ミラーパッド」に歴代プリキュアの映像をはめ込むというのは、髙橋Pからのオーダーの一つ。そこから山元さんが辿り着いた演出が、プリキュアがパッドと同じサイズになって踊るというもの。『ミニサイズのプリキュアが自分の家のテーブルにいたりしたら、夢があっていいなぁと思って。特に前期は文房具を見せるというのもあり、その点でもうまくハマってくれました。身体が小さいと、本編と同じ場所でも見え方が全然違ってくるのも楽しいかなと』（山元）

どんどんひろがる「プリキュア」の可能性

前期第1話 絵コンテ・演出 山元隼一

「スカイとプリズム」「ウィングとバタフライ」のペアで見せるカットも多いです。アップショットの画面分割もありますね。

山元　初代『ふたりはプリキュア』のようなバディ感を出したいという話がありまして、そこを明確に見せるなら、画面分割がいいだろうと。ずっと引きのショットで踊るとメリハリがなくなりそうだったので、アップショットも交えて、映像としてのリズムを作りました。振り付けにもペアの動きが取り入れられていたので、映像も振り付けとの相似形にしています。

手元アップのインサートも印象的です。指は頭上や足元などを差しており、「スカイランドの人たちも地上の人たちもみんな友達」といった意味合いだそうですね。

山元　手首をくるくる回転させる指差しの振り付けで、動き自体も印象的ですよね。せっかくなので、お客さんの目にも残るように、クローズアップで大きく見せました。

サビから雲の上に飛び出すのは、作品的に「空」がモチーフだからでしょうか。

山元　そうですね。それに曲名も「ヒロガリズム」だし、空は自由を象徴する場所だし。そうなると、雲の上の天空ステージが楽しいかなと。ここでの空は、夕方になりかけです。冒頭部分もオレンジ寄りですが、実は朝焼けなんです。朝から始めて昼を挟んで、サビは放課後。4人のキャラカラーが全部混ざった感じで、きれいでいいなと思いました。

最後は虹で締めますか（P.75下）、その前振り的に、デザイン的な鳥が虹のラインを描くのが素敵です。

山元　空が作品モチーフなので、最後は虹を作りたいと思ったんです。そこで、ホリゴン的な鳥がカラフルな線を描いて飛び、それが虹になるとカッコいいなぁと。たとえるなら、アクロバット飛行のスモークがカラフルな虹になったイメージです。

ラストのスカイのウィンクと星のエフェクトもキャッチーです。

「スカイとプリズム」「ウィングとバタフライ」のペアで見せるカットも多いです。アップショットの画面分割もありますね。

山元　初代『ふたりはプリキュア』のようなバディ感を出したいという話がありまして、そこを明確に見せるなら、画面分割がいいだろうと。ずっと引きのショットで踊るとメリハリがなくなりそうだったので、アップショットも交えて、映像としてのリズムを作りました。振り付けにもペアの動きが取り入れられていたので、映像も振り付けとの相似形にしています。

手元アップのインサートも印象的です。指は頭上や足元などを差しており、「スカイランドの人たちも地上の人たちもみんな友達」といった意味合いだそうですね。

山元　手首をくるくる回転させる指差しの振り付けで、動き自体も印象的ですよね。せっかくなので、お客さんの目にも残るように、クローズアップで大きく見せました。

サビから雲の上に飛び出すのは、作品的に「空」がモチーフだからでしょうか。

山元　そうですね。それに曲名も「ヒロガリズム」だし、空は自由を象徴する場所だし。そうなると、雲の上の天空ステージが楽しいかなと。ここでの空は、夕方になりかけです。冒頭部分もオレンジ寄りですが、実は朝焼けなんです。朝から始めて昼を挟んで、サビは放課後。4人のキャラカラーが全部混ざった感じで、きれいでいいなと思いました。

最後は虹で締めますか（P.75下）、その前振り的に、デザイン的な鳥が虹のラインを描くのが素敵です。

山元　空が作品モチーフなので、最後は虹を作りたいと思ったんです。そこで、ホリゴン的な鳥がカラフルな線を描いて飛び、それが虹になるとカッコいいなぁと。たとえるなら、アクロバット飛行のスモークがカラフルな虹になったイメージです。

ラストのスカイのウィンクと星のエフェクトもキャッチーです。

サビのエンブレムステージ

前期・後期ともに、サビから登場する円形ステージ。配された歴代のエンブレムは、20 周年ならではの系譜感やお祭り感を出したいという山元さんのアイデア。後期はエンブレム自体も光るなど、よりはっきり印象付けている。後期 ED 曲かダンスナンバーというところから、夜のライブステージ的に作られた。「歴代の先輩たちか 20 周年をお祝いしているイメージです。後期はアゲアゲでキラキラなレーザービームにして印象を変えてみました」（山元）

巨大な虹が出現！

「ステージのエンブレムの光は上空に向けて発射されていますか、歴代フリキュアのエネルギーが集まり、最後に大きな虹になってドーンと降り注ぐイメージです。虹は次世代のフリキュアへの架け橋であると共に、未来や夢を連想させるものでもあります。雨で憂うつな気分になっても、雨上がりにはきれいな虹が出る。明日はもっと面白いことがあるかもしれない。虹って人生の象徴みたいだなと思うんです」（山元）

山元　CGアニメーターとの打ち合わせ時に提案してみました。イラスト調の星にしたのは、文房具モチーフとの統一感です。ファンシーグッズ的な星がラストにくるといいかなと。アニメーターさんが付けてくれたスカイの表情芝居もいい感じですよね。

世界観・ストーリー・キャラクター 後期ED・夜空と未来

後期EDは夜空やイルミネーションがモチーフのようですが。

山元　そうですね。キラキラした雰囲気にしたいなと。「明日も楽しいことがあるといいな」といった歌詞なので、楽しかった今日が終わる少し寂しい気持ちや、明日へのわくわくした期待感が出ればと。星空に思いを馳せているイメージですね。子どもって、「今日はこんなことがあった」と毎日が発見の連続で、「明日は何が起こるんだろう、何が待っているんだろう」という、一日一日の楽しみの乱数が高いと思うんです。大人よりも「今」の持つ意味が強く、一日の体験度合いが大きいですよね。そんな「明日への希望」をテーマにした映像です。

後期EDも、またアブノーマルな色味のカットがありますね。

山元　「夢見て　またね」から曲の雰囲気が変わるので、そこで一回アブノーマルな色味に切り替えて映像のテンポを変えています。作画アニメではよくやる手法ですが、CGアニメではあまりやらない、少し実験的な試みです。前期でやってみたらよかったので、後期はもう少し長めの尺にしてみました。それから歴代のエンブレムも、背景にただ壁紙的にあるよりは、撮影処理で流れる動きを入れて、イメージ背景になじませる感じにしたくて、それも加味してこういう色味になりました。プリズムの後ろに『ビーリングっど♥プリキュア』のエンブレムが来るように、ちゃんと計算して合わせてあるんです（笑）。

加隈亜衣さん（キュアプリズム役・ラビリン役）つながりってことですね（笑）。

山元　歴代エンブレムは、背景の小道具などにも忍ばせています。ちょっとした絵探し絵本的に見つけてくれたら面白いかなと。

サビへの切り替えで、紙飛行機が現れて虹色の光跡を描きます。

山元　紙飛行機って、自分の意志で空に飛ばすものだけれど、どこへ飛ぶのかは分からないものですよね。そういう「未来の可能性」の意味合いで使ってみました。何が起こるか分からない、可能性としての乱数ですよね。それを紙飛行機に託しています。

終盤の「We're Precure」で、プリズムが右腕をあげる動きに合わせて目線を動かす芝居付けが目を惹きます。

山元　前期EDの最後「青空へとさぁ羽ばたこう」のプリズムのカットと対になる感じを意識しました。実は僕の絵コンテ段階ではカメラ目線だったんですが、前期の時の経験から、表情をある程度豊かにしないと冷たい印象になるということで、このカットを担当したアニメーターさんがアドリブを効かせてくれました。フレーム外で隣にいるスカイを見て、「一緒にいるよ」みたいな関係性も匂わせられたかなと。すごく尊い顔になりました！　空からの光を受けている部分（腕など）は、ほかと線を変えて色トレスにしています。

――後奏部分では、スカイミラージュを振るスカイの表情芝居も絶妙です。少し目を細めて、柔和な印象です。

山元　すごくいいですよね！　これもアニメーターさん独自の芝居付けです。動作としては単純なリピートになるので、うまく表情をつけて、リピート感を減らしてくれました。

最後にファンへのメッセージをお願いします。

山元　20年間、「変身して戦う」という構造は変えずに、様々なプリキュアが生まれていますよね。20年前から現在まで、毎週日曜の朝に変わらず送り続けて、どんどん可能性がひろがっているのは本当にすばらしいことだと思います。「プリキュア」20年の歴史は、作り手と子どもたちと、かつて子どもだった皆さんとの関係性が作ってきたものです。ED映像からも「プリキュア」の未来へのメッセージを感じ取ってもらえたら嬉しいです。今後も「プリキュア」シリーズをご一緒に楽しんでいければと思います。

後期ED主題歌である「Dear Shine Sky」は、夕暮れから夜をイメージしたミディアムなメロディ。少し哀愁感のある、シティポップ調の楽曲だ。これまでの「プリキュア」主題歌にはあまりなかった、大人びた雰囲気が特徴である。

歌うのは、「プリキュア」ファンにはおなじみの吉武千颯さん。歌詞には、出だしの「空におまじない」、明日も素敵な日になれ」など、ガーリーな要素が散りばめられている。吉武さんのかわいい声質ともマッチしているが、曲調も相まって、いつもの吉武さんの元気な明るさとはひと味違う、おしゃれディストに仕上がっている。

ただ、あくまでもダンスナンバーということで、ビートの効いたベースラインや、彩りを添えるファンクなキーボードのフレージングもある。要所で入るスクラッチ音など、リズミカルでアッパーな印象だ。フルサイズの間奏部分に、前期ED主題歌「ヒロガリズム」のサビを思わせるメロディを忍ばせているのも心憎い。

後期ED主題歌 「Dear Shine Sky」

素敵な明日へ

後期EDアニメーションと共に流れるのは、吉武千颯さんのピュア＆キュートな歌声。心にそっと寄り添ってくれるような、明日への優しい応援歌だ。

吉武千颯

8月23日発売
『ひろがるスカイ！プリキュア』後期主題歌シングル

CD+DVD　通常盤

声優4人が歌う「ヒロガリズム ～Precure Quartet Ver.～」も収録

★ インタビュー

前期ED主題歌「ヒロガリズム」に引き続き、後期ED主題歌も担当とのことでしたね。

吉武　はい！　1年通して担当できて、すごく嬉しいです。レコーディング自体は「ヒロカリズム」ほどそんなに間はなくて、2曲とも近い時期に収録しているんです。でも、先に「ヒロカリズム」を歌ったことで、自分の中で作品への理解が深まった気がするので、この「Dear Shine Sky」にもつなげられるよう意識しました。

――曲調としてはこれまでの「プリキュア」ソングと少し違いますね。

吉武　そうなんです。いつものような「元気！」「楽しい！」「みんなおいで！」って感じよりは、包み込むような優しさを感じる曲で。私なりに感じた想いをストレートに歌に乗せるようにしました。聴いている人の背中をそっと押せるような楽曲になったらと。

吉武さんが歌に込めた想いというのはどんなものですか？

吉武　まず楽曲を聴いて、パッと夜空が浮かんだんです。レコーディング前にプロデューサーさんともいろいろとお話させてもらったんですけど、「ヒロガリズム」がお昼とか午後だとしたら「Dear Shine Sky」は夜。明日を応援するような楽曲にしていけたらと。日々生活していると、楽しい一日もあれば、あんまりうまくいかなかった一日もある。それでも、明日がみんなにとっていい日になるようにと、願いを込めながら歌いました。

――これまで吉武さんが「プリキュア」で歌ってきた楽曲にはない、大人っぽさがありますね。

吉武　そうですね。去年の『デリシャスパーティ♡プリキュア』では「DELICIOUS HAPPY DAYS」（ふわっ）っていう楽曲に挑戦して、今年の　ひろプリ　では「ヒロカリズム」で石井あみちゃんとのデュエットに挑戦。そして今回はこれまでにない曲調と、毎回ありがたいです。私は今年で「プリキュア」シンガー5年目なんですが、初期の頃だったら出せなかった表情とか、5年間携わってきたことで感じてきた想いを込めました。聴いてくれたみんなが、少しでも前向きな気持ちになるようにと。

★ パーソナルインタビュー

お気に入りのフレーズは？

吉武　ロメロの「空から見れば砂粒くらい　ちっぽけな私たちでもね」から始まる部分は、ソラちゃんとま

みんなにとって いい日になりますように

しろちゃんを重ねているような感じかしました。一人じゃできないことも、友達とパワーを重ねると、大きなものになって奇跡が起こせちゃう。そんな素敵な歌詞だなぁと想いました。それと全体を通して『ひろプリ』らしく空がモチーフになっているのも好きです。大森祥子さんの歌詞がおしゃれなんですよね。2番のAメロで「紺碧の夜空は包むよ 傷や涙を」とあるんですが、「夜空」を「ブランケット」に例えるってすごい！

夜空に包まれるという感覚、分かりますよね。

吉武　それと、この楽曲はサビ始まりで、「Dear Shine sky 空におまじない 明日も素敵な日になれ」って歌い出しなんです。最初に楽曲のテーマそのものが示されて、そこから終盤にかけて盛り上がっていくのもお気に入りです。

――前号のインタビューで、「レコーディングする時は、自分の頭の中で振り付けを作って臨む」とのことでしたが。

吉武　今回もそうです。私、「レコーディング中も動いてるよね」ってよく言われるんです（笑）。基本じっとして歌えないというか。歌っているうちに楽しくなって動いちゃうんですよ。それはおうちで練習してる時からそうで。「Dear Shine sky」をレコーディングした時は、まだダンスの振り付けがない状態でしたが、私の頭の中で、曲調から感じられる色合いも含め、いろんな想像を膨らませてイメージを作りました。ただ、元気に踊っているというよりは、ちょっと静かなムードで、満点の星空の下で腰掛けて歌っている絵が最初に浮かんできました。ダンスの振り付けがどういうものになるのか（※取材時点ではまだ見ていないので）、すごく楽しみです。

――間奏で一瞬「ヒロガリズム」のメロディが入る箇所があるのがニクイですね。

吉武　そうなんです！　「おおっ、ここに「ヒロガリズム」が入ってる！」ってわくわくしました。「Dear Shine sky」も「ヒロガリズム」と同じハマダコウキさんが作編曲してくださっているので、ハマダさんの遊び心から来てるのかな（笑）。「ヒロガリズム」の想いがメロディの形で入っていたので、私としても「想いをつないでいこう！」って気持ちになりました。TVサイズでは間奏は聴けないと思うので、ぜひCDでフルサイズを聴いていただいて、皆さんにも「おおっ！」となってもらいたいです。

TVサイズだと、サビ前の「昨日より2cm未来へ近づいた私たちで」も、明日につながる感があります。

吉武　そうなんです。すごくおしゃれな歌詞ですよね。おしゃれな要素はメロディの中にもたくさん入っています。間奏ではポチャンという水音があったりと、いろんな音が入っていて楽しいです。どこを切り取っても素敵で、プリキュアらしいキラキラも詰め込まれています。ぜひ隅々まで楽しんでもらえたら嬉しいです。

『ヒプノシスマイク
-Division Rap Battle-』
Rule the Stage

公式HP✦http://hypnosismic-stage.com
公式Twitter✦@hnm_rtstage
©『ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-』Rule the Stage 製作委員会

撮影／江藤[illegible]（SHERPA）

BATTLE OF PRIDE

これまで登場した全ディビジョンが勢揃いする『ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-』
開催決定！ 左馬刻と寂雷を演じ続けてきた最強の二人に、これまでの思い出とライブ

碧棺左馬刻役 阿部顕嵐 × 神宮寺寂雷役 [illegible]川太陽

音楽原作キャラクターラッププロジェクト『ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-』は、これまでさまざまなメディアミックスがされてきた。その中の一つが、2019年11月から始まった舞台作品『ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-』Rule the Stage7。舞台オリジナルのディビジョンやキャラクターが登場し、オリジナルのストーリーを展開。ステージ上で高スキルのラップで言葉の応酬を繰り広げ、『ヒプステ』ならではの魅力を見せ続けてきた。

そんな『ヒプステ』が9月3日を皮切りに、全ディビジョンが集結するライブ公演「-Battle of Pride 2023-」を開催。そして、この公演をもって、キャストが卒業することも発表された。つまり、このライブは『ヒプステ』が始まってから、の4年間を総括する公演となるだろう。現場で、記憶で思いっきり楽しむ準備をしておきたい。

ARAN ABE

AS SAMATOKI AOHITSUGI

肉付けをしながら、作りあげたキャラクター

——阿部さんの演じる碧棺左馬刻は「track.1」、鮎川さんの演じる神宮寺寂雷は「track.2」で『ヒプステ』に初登場。それぞれ3年半～4年演じ続けてきていますが、初めの頃はどのように役作りを？

阿部　僕らが役作りに入った頃は、まだあまり参考資料がなかったんです。なので、キャラクターの動き、特にダンスを想像するのが難しかったですね。

鮎川　まだアニメもなかったし、コミカライズの連載も始まるか始まらないかくらいの頃だったもんね。

阿部　声優さんの声のお芝居を頼りにするしかなかったよね。

鮎川　そうそう。最初の頃は苦労したな。あと、僕は「track.2」からの参加だったのですが、出演が決まったのがちょうどコロナが流行り出した頃で。感染対策のために出演者みんながマウスシールドを付けての公演になったんです。

阿部　一枚隔てることで、マイクに乗る音が変わるんだよね。

鮎川　さらに、ある程度のお芝居が出来上がった後にもコロナ禍が収まることはなくて、動きをかなり変えることになったんだよね。相手の手や体に触れるお芝居はできなくて。

阿部　あの頃、めちゃくちゃ大変そうだったな。キスシーンもなくなって残念だったよ。

鮎川　そうそう……キスシーン？

阿部　なかったっけ？

鮎川　元々ないね（笑）。

阿部　そうだったか（笑）。

——お二人とも原作のキャラクターに寄せた声で芝居をされていますが、そこへの苦労などは？

鮎川　とにかく寂雷役の速水奨さんの声を繰り返し聴き続けました。お風呂に入っているときも、洗い物をしているときも、原作CDのドラマトラックやラップをずっと聴いていましたね。

阿部　僕も左馬刻役の浅沼晋太郎さんの声をずっと聴いていました。ただ、もちろん〝原作第一〟なんだけど、全体的に左馬刻として成立していれば『ヒプステ』としての正解だなと思うようになって、途中からは意識しすぎないようにしました。原作の左馬刻に、自分の思う左馬刻像を肉付けしていくようなイメージで芝居するようになりました。

鮎川　僕も同じく、演じるうちに肉付けしていけたと思います。毎回思うけれど、顕嵐の声ってすごいよね。俺なら絶対に声枯れると思う。

阿部　どこかのタイミングで発声方法を掴んだ気がする。ここまでやっても枯れないなっていうポイントを見つけたというか。毎回ちゃんとケアしたのも大きいかも。

鮎川　俺も「track.2」の時は大丈夫だったんだけど、「track.5」から喉の大切さを特に実感してた。セリフの分量が増えたからっていうのもあるかもしれないけれど……。

阿部　バトルが激しくなっていったというのもあるかもしれないよ。

鮎川　それはあると思う。言葉をちゃんとぶつけようとすればするほど、力が入るよね。

可愛い左馬刻と面白い寂雷

——お互いの役の印象を教えてください。

阿部　左馬刻は可愛いでしょ？

鮎川　うん、可愛いね（笑）。なんだかんだ言って、結局は断らないところとか。

阿部　そうそう、左馬刻のことを知れば知るほど、めちゃくちゃ可愛いって思うんだよね。

鮎川　あと、顕嵐が演じることで気付いた魅力もあるよ。パフォーマンスのカッコよさの中に、美しさがあるんだよね。

阿部　品のあるヤクザを目指してた。

鮎川　確かに品を感じるね。あと、左馬刻のソロ曲「Come Back To Me」や、「track.5」で左馬刻が彫を夢に見ながら歌うシーンを見て、繊細だなとも感じた。

阿部　そうそう。実はすごく繊細なんだよね、左馬刻って。一方の寂雷は、面白い人。

鮎川　間違いない（笑）。

阿部　まず、お酒に弱いところがいいよね。

鮎川　飲んじゃうと人が変わるからね。

阿部　それでいてラップがめちゃくちゃ強い！

鮎川　寂雷のラップは治癒能力もあるからね。

阿部　ずるい能力だよね。俺、一番強いのは寂雷なんじゃないかって思うときあるもん。

鮎川　俺もそう思う。あと、寂雷は普段はとても理性的だけど、激しい一面もあって。俺がちょっと可愛いなって思う寂雷の一面でもあるんだけど、乱数に対してだけ、勢いがすごいじゃない？「君はッッ!!」みたいな。

阿部　わかる！　乱数との過去を知るまでは、なんだかすごいなと思ってた（笑）。

鮎川　でしょ？　乱数に対してだけ語気が強め。過去のストーリーを知った今となっては気持ちもわかるんだけどね。

阿部　そのギャップもまた〝味〟だよね。

——これまでの公演で特に思い出に残っているものはありますか？

阿部　「track.1」はもちろん思い入れがあるけれど、それ以外なら「track.5」ですね。『The Dirty Dawg』（以下〝T・D・D〟）が一緒にいた時代が描かれた公演で、今ではギクシャクしている4人が仲良くしているシーンは、演じていて素直に楽しかったです。

鮎川　わかる。4人で歌う「King of Kings」もすごく印象に残ってる。お互いの目を見て歌うのは新鮮だったよ。寂雷が乱数に笑顔を見せる日がくるなんて思ってもいなかったし。

阿部　あの曲は聴いても歌っても、ハッピーな気持ちになれるよね。

鮎川　ラストの演出も良かったよね。4人がそれぞれクロスして歩くシーンで、現在のディビジョンの旗がザッとスクリーン上に現れて。

阿部　俺もそこ好き。

鮎川　この過去があるからこそ、今があるんだなと感じさせるような、昂るものがあった。

阿部　そういえば、リハーサルのこと覚えてる？

鮎川　あれでしょ、顕嵐と（高野）洸が笑いすぎて歌えなくなっちゃったやつ。

阿部　そうそう。思い出すだけでやばい。

——何があったんですか？

鮎川　僕の格好が面白かったらしいんですよ。

阿部　〝T・D・D〟が決裂する大事なシーンのリハなのに、太陽くんが短パン小僧みたいな格好で現れたんですよ。

鮎川　短パン小僧って！（笑）　半

TAIYO AYUKAWA

AS JAKURAI JINGUJI

ズボンだよ。

阿部 あの丈は短パンだよ。もう大変な目に遭ったんだからね。なんであんな格好していたの？

鮎川 練習着だからだよ！（笑）

阿部 今回のリハも、あの格好してきてよ。

鮎川 大変な目に遭ったのに？

阿部 うん。みんなに見せたい（笑）。そもそも太陽くんと寂雷先生のギャップが面白いんだよね。普段と全然違うんだもん。だから寂雷をやれるのはすごいなって思う。低い声を保つのも大変じゃない？

鮎川 かなり喉にくるよ。前にバラエティ番組で声優さんの声を分析して低さをヘルツで測る企画をやっていて、速水奨さんの数値がとんでもなかったの。一般男性の数値よりもはるかに低くて。

阿部 それに寄せるってめちゃくちゃ大変じゃん！

鮎川 僕は元々低めの声ではあるんだけど、速水さんレベルにも寄せられるんだという、今では自信になってるよ。

阿部 すごすぎるわ。

——「track.5」では〝T・D・D〟の衣裳を着用しているのも新鮮でしたね。

鮎川 これまで寂雷は白衣に長髪という特徴の多い姿だったけれど、〝T・D・D〟時代の寂雷は髪を束ねているし、長さも少し短くて、正面から見ると短髪っぽく見えてしまうんです。だから横や後ろを向く動きや、髪を触る動きを増やしたりもして。

阿部 これまでは動くだけで髪が揺れていた。

鮎川 そう。衣裳もジャケットになったし、技を封じられた感じだったよ（笑）。

阿部 いつもの左馬刻と逆だね。左馬刻は普段アロハシャツだもん。アロハシャツってかっこよく見せるのが大変なんだよ。

鮎川 確かにそうだよね。じゃあ〝T・D・D〟の衣裳は？

阿部 絶対かっこよくなると思っていたから、特に苦労はなかったな。その時に自分がかっこいいと思う動きさえすれば、いい感じになるし。

鮎川 アロハの時は動きを意識してたの？

阿部 めちゃくちゃ研究した。そうそう、肘を少し突き出す感じにすると、よくなるんだよ。

鮎川 立っているだけでかっこよく見せなきゃいけないから、大変だよね。寂雷もイラストだと髪の毛がなびいているものが多いじゃない？ でも実際はそうならないから、実は苦労していたんだよ。

阿部 でも動くたびにふわっとなるの、ずるいじゃん。「track.5」の時に「やっぱあみろ」って思った（笑）。

鮎川 まぁね（笑）。顎鳳の苦労を身をもって知ったよ。

——左馬刻も寂雷もヒプノシスマイクがスタンド形ですが、そこへの苦労はありましたか？

鮎川 階段を下りる時は気をつけないといけないくらいだよね？

阿部 うん。足元を見ないから、うっかりするとスタンドの脚部分がぶつかっちゃう。だから、そうならないよう研究した。

鮎川 練習したおかげで今は意識しなくても平気だよね。

阿部 過去の自分、偉い。

鮎川 うん、自分を褒めてあげたい（笑）。

——ちなみに稽古は一緒のことが多かったんですか？

鮎川 「track.5」は一緒でしたが、それ以外はコロナ禍ということもあって、基本的にディビジョンごとの稽古でした。

阿部 最後の大詰めになって、やっとみんなで合わせてって感じで。

なんだかんだいつも楽しかったよね（阿部）

この作品で〝楽しむ心〟が一番成長したかも（鮎川）

あゆかわ・たいよう
1991年1月18日生まれ／東京都出身／出演作は舞台『魔法使いの約束』シリーズ（ミスラ役）や舞台『諸海天記』（ゲント役）、ミュージカル『シデレウス』（ガリレオ・ガリレイ役）ほか多数

2人が選んだ思い出の公演
-track.5-

2022年1月7日～9日にメルパルクホール大阪で、1月27日～2月6日にTOKYO DOME CITY HALLで上演された公演。左馬刻がMAD TRIGGER CREWになる、そして寂雷が麻天狼を結成するより前に山田一郎や鮎村乱歩と共に組んでいた伝説のチームThe Dirty Dawgの誕生と終わりが描かれている。

鮎川　うんうん。

会場一体となって、思い切り楽しみたい

――9月3日の大阪を皮切りに「-Battle of Pride 2023-」がスタートしますが、見どころは？

鮎川　みんなが一堂に会するので、まずはその迫力を楽しみにしていただきたいですし、懐かしい曲から最新の曲まで披露する……はず？

阿部　はず。実は稽古はこれからなんですよ（※取材時）。

鮎川　昔の曲をやるとして、俺、振り付け覚えているかな……。顕嵐は覚えてる？

阿部　……。

鮎川　だよね（笑）。

阿部　でも踊れちゃうんだよな、これが。

鮎川　曲を聴けば思い出す？

阿部　うん。太陽くんもそうだと思う。

鮎川　久しぶりに自転車乗るのと同じで、意外とできちゃうかも。

阿部　そうそう。あと、今回はライブだから、歌とダンスに集中できるのもいいよね。

鮎川　当日はずっと舞台袖で見てるんだろうな。

阿部　俺もそうなると思う。

鮎川　舞台袖って、俺らだけの特等席だよね。（人差し指を回しながら）「糸の会」ってやるの楽しみだな～。

阿部　めちゃくちゃ盛り上がるだろうな。舞台上も、舞台袖も、客席も。

――改めて、この作品に触れることで得たものはありますか？

阿部　たくさんあるけれど、技術的なもので言えば、滑舌ですね。自信を持って言えるレベルではないかもしれないけれど。

鮎川　いや、確実に身についたと思うよ。ちゃんと歌詞を伝えるために頑張ったもん。ラップの経験がない状態からのスタートだったけれど、多少なりとも成長したと自分でも思うし。

阿部　一郎や左馬刻みたいなラップもできるようになった？

鮎川　あ～、それはどうだろう（笑）。

阿部　俺は寂雷のようなラップができるのはすごいと思う。難しいでしょ？

鮎川　難しいよ。音に言葉がはまっていないことのほうが多いんだよ。1拍遅れていたり、1小節に一気に言葉を詰め込むこともあって。ものすごく覚えにくい。顕嵐にも挑戦してみてほしい。

阿部　できる自信がないなぁ。

鮎川　使っているワードも難しいし。だから歌う前にはちゃんと言葉のひとつひとつを調べるようにしてる。

阿部　そうなんだ！

鮎川　じゃないと、何を言っているかたまにわからなくなるんだよね。寂雷の歌詞に「モーゼのように」という歌詞があるんだけど……。

阿部　聖書に出てくるモーゼだよね？

鮎川　そうそう。俺最初「モーゼ」を知らなくって。なんとなく女神の名前なのかなと思いつつ調べたら、おじさんの写真が出てきてさ。

阿部　おじさんのように……（笑）。

鮎川　ちゃんと調べて、どういう存在なのか知れてよかったよ。ちゃんと理解しながら歌わないとね。

阿部　こっちが理解して初めて相手に伝わるからね。

鮎川　あとほかに得ものといえば、精神力かな？『ヒプステ』には毎回、ディビジョン・ダンス・バトル〝D・D・B〟というダンスで盛り上げてくれるメンバーがいるんですけど、彼らを見ていると、「絶対に弱音を吐けない」って思うんです。とんでもない量の練習を重ねて、もちろん1ステージの体力の消耗具合も半端ない。彼らの精神力を見ていると、自然と僕らの気が引き締まるんです。

阿部　それはすごくわかる。俺らも弱音なんて吐いていられないと思うよね。こう言うとすごく苦労したように見えちゃうかもだけど、なんだかんだいつも楽しかったよね。

鮎川　そうそう、本当に楽しかった。この作品を経て、〝楽しむ心〟が一番成長したかもしれないね。だから、最後と思うと寂しくもある。

――みなさんはこの「-Battle of Pride 2023-」で卒業ということが発表されています。

阿部　もちろん寂しい気持ちはあるけれど、始まりがあれば終わりがあるわけだから。

鮎川　皆で一緒に卒業できるってことが、むしろ嬉しいかな。

阿部　ある意味、潔いよね。次のライブがどういうステージになるのか未知な部分もあるから、今はわくわくしてる。毎回鳥肌が立つ瞬間があるから、今度はどこで俺は鳥肌が立つのかな、とか思ったりもして。実際にお客さんが入らないとどうなるかわからないから、今は想像するしかできないけど。僕らもしっかり準備するし、演出の（植木）豪くんが僕らをよりかっこよく見せてくれるはずなので、期待していてほしいです。

鮎川　そうだね。まずはみんな揃って最後までやり切りたいと思っています。コロナ禍の中で、大変なこともあったけれど、有終の美を飾れたらいいなって。めいっぱい楽しんでいただくことが、僕らにとっての幸せです。みんなでハンドサインを掲げて、最高の景色を作れたら嬉しいなと思っています。

-Battle of Pride 2023-

大阪
2023年9月3日（日）
@大阪城ホール

横浜
2023年9月7日（木）～10日（日）
@ぴあアリーナMM

チケット情報は公式HPをチェック！

カリスマ

HP♕https://charisma-house.com/
Twitter♕@charisma-house
♕YouTube「カリスマOfficial Channel」にてドラマ更新中
♕「祝2周年・カリスマサミット」が8月3日(土)に片桐アリーナにて開催
©Dazed CO.,LTD

ブレイク時に生み出すエネルギーが資源になるとして、追われる身になったカリスマたち。過酷な逃亡生活の日々だが、その中で2度目のカリスマブレイクをする者も現れた。その一人が、天堂天彦である。

仲間との日々から“受け入れられる喜び”を知ったという天彦は、自分を突き動かすものの正体を探り始めた結果、己のリビドーの根源を知り、“テクノブレイク”に至った。注目すべきは、ブレイクへの経緯には、ほかのカリスマたちの存在が今まで以上に必要不可欠だったということだ。普段はセクシーすぎるふるまいを拒絶していた6人も、懸命に天彦を求めている姿を見せており、彼らの間に結束力のようなものを感じさせた。

彼らの関係は思った以上に強い結びつきがあるのかもしれない。と思われた矢先、正邪のカリスマ・伊藤ふみやのまさかの裏切り。そして、ふみやを除く6人は捕縛されてしまう。あれほどセクシーを渇望していたふみやが、一体どうして？　このまま6人はエネルギー源になってしまうのか？

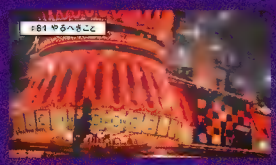
ドキドキが止まらない「カリスマ」の超展開。今後のドラマも見逃せない。

天彦 IN YOUR AREA

2nd シーズンに入ってから、人間ドラマが絡むようになり、より味わい深くなったカリスマたちの物語。今回は、天堂天彦が“テクノブレイク”に至るまでを振り返る。

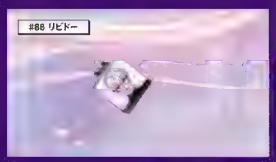
カリスマが世界を救う!?

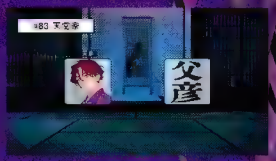
中神編右衛門いわく、7人がカリスマブレイクした際のエネルギーは、石油や石炭、原子力に変わるほどのもので、この国の資源問題を解決できるという。強引に協力させようとする中神を振り切り、逃げるべく、7人は逃亡生活を始めた。



ナイーブの理由

実家での天彦は、いつもと様子が違った。名家の子息であることや、父彦との関係がその理由なのか……と思いきや、実際は4年に一度開催されるセクシーの頂点「セクシーワールドカップ」への出場で頭がいっぱいだったからだ。





父彦との関係

重川の故郷を抜け出した後、7人が駆け込んだのは、天彦の実家。天堂家は代々名医を輩出している名家だ。カリスマの存在を知らぬ父彦(天彦の父)の目には、天彦が好き勝手生きていると映っていた。

奮起させるために！

いつの間にか天彦のセクシーがないと生きられない体になっていたカリスマたち。彼らは、一生懸命に用意したセクシーショー(セクシー野球拳&理解のバレエ)を披露し、天彦を奮起させようとした。

天彦のリビドー

仲間や母のおかげでいつもの調子を取り戻した天彦の前に、現れる父彦が登場。天彦は自分のリビドーの元は父彦であると言い、突如現れたボールを駆使して妖艶に踊り始める。天彦は苦しみながら踊し続け、やがてテクノブレイクに至った。

天堂天彦

“性”のカリスマ。あくなき性への探究心を持つ、世界セクシー天使(ワールド

想像の斜め上ゆくカリスマたち

天堂天彦 役 橋詰知久

はしづめ・ともひさ
4月13日 生まれ
兵庫県出身　青二プロダクション所属
主な出演作は『進撃の巨人』ベルトルト・ノーバー役、『GANGSTA.』デリコ役　ほか多数

ナーバス天彦にシリアスを予感したけど!?

――2ndシーズンが始まってから約4ヵ月。橋詰さん演じる天堂天彦が「#83 天堂家」から「#86 リビドー」にかけてフィーチャーされましたが、いかがでしたか?

橋詰 2ndシーズンの頃に見え隠れしてたものがより具体的に見えてきましたよね。天彦回の前に、湊大瀬と猿川慧の回があって、それぞれの抱えていたものがより深く、いつもながらのコメディ要素はありつつも、シリアスな展開も見せながら描かれていました。だからきっと天彦も、シリアスになると想像していたのですが……。

――予想とは異なりましたか?

橋詰 斜め上をいっていました(笑)。以前より天彦は実家とあまりうまくいっていなそうな雰囲気があったじゃないですか。なので、天彦の実家が舞台となると知って、父親との確執に苦しむのではないかと思っていたんです。でも、シナリオを読み進めると、ちょっと様子が違って。実家に帰った天彦は、普段とは打って変わって性に対し無反応。なぜだろう、家族のことが関係あるのかと思ったら、近く開催される「セクシーワールドカップ」への出場のことで頭がいっぱいでナーバスになっていただけという。天彦たちは現在、中神博士に追われている身なので、出場することで見つかってしまうかもしれないから、皆とお別れしなきゃいけない。その別れへの思いもナーバスな理由の一つだったかもしれないけれど、まさかセクシーワールドカップとは……。

――母親とのやりとりなど、あたたかな展開を見せてもくれましたよね。

橋詰 なんとも素敵な母ですよね。実は天彦が世界セクシー大使であることも知っていて、倒れた自分の看病を続ける天彦に、セクシーワールドカップに出場するよう言ってくれたりもして。

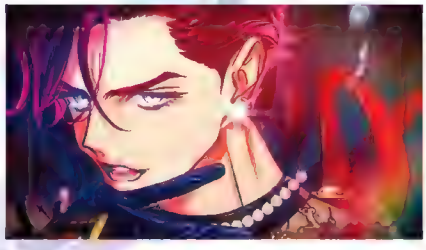
――そのほかのシーンで印象的だったものはありますか?

橋詰 セクシー野球拳ですね。天彦と理解以外の5人がセクシーショーを披露するシーンでの一幕なのですが、収録中、キャスト陣が本当に楽しそうだったんです。普段の天彦なら率先して参加するのですが、ナーバスな状態なので、ただ見ているだけで……。

――セクシー野球拳の後、今度は草薙理解がバレエを披露していましたね。一生懸命に舞っていました。

橋詰 途中でコケちゃったりもして。理解役の山中真尋さんのああいうお芝居は天才的なんですよ。不器用でちょっとダメな部分をなんともいい塩梅で出すんです。

――彼らのセクシーショーが披露された「#86 リビドー」で、天彦が本当に立ちたかった舞台はセクシーワールドカップではなく、父親の前であること。リビドーの根源は父親であることを自覚し、2度目のブレイクをしました。今シーズンではカリスマブレイクではなく、テクノブレイクと呼ぶのですね。



橋詰 ええ。今シーズンでは、湊大瀬はヘルブレイク、猿川慧はツッパリブレイクとそれぞれ違うネーミングでカリスマブレイクをするんですよ。ちなみに宇面通りのテクノブレイクだと、天彦は天に召されてしまうわけですが、このテクノブレイクは「TAKE NO BREAK」を短縮した形になります。

――テクノブレイクする姿と共に解禁されたのが、新曲「ムンラホルマオ」でした。歌う際に意識したことは?

橋詰 この曲は1度目のブレイク曲「VIVA LA LIBERATION」とはまた違ったアプローチですよね。前回は説法のような印象が強かったけれど、今回は歌要素が多め。僕がしっかりと歌で天彦を見せないといけません。なので、天彦の歌の土台づくりとして、いろいろな曲を1オクターブ、時には2オクターブ低くして歌う練習をし、低音の部分をブレないように練習したりもしました。

――「VIVA LA～」の際に行ったインタビューでは、タイトルや歌詞の意味を聞いていないと話していましたが、今回は?

橋詰 今回も、ですね(笑)。レコーディングの段階ではタイトルがついていなくて、ただ“テクノブレイク”と書かれていたんです。レコーディングが終わった後に、制作スタッフさんの誰かが「この曲は“ムンラホルマオ”にしよう!」と言っていたのは覚えています。歌詞に“ムンラーラ”とありますし、そこから来たのかもしれません。“ホルマオ”はどこから来たのでしょうね。歌詞にもさまざまなカタカナがありますが、これは脳に喜びを感じさせてくれる神経伝達物質のことなのかも? と想像させるワードもあります。でも、実際はどうなのか……というところです。

――なるほど。公開されてしばらく経ちますが、この曲も多くの反響が寄せられる1曲となりましたね。

橋詰 「VIVA LA～」が想像以上に多くの人に愛される曲となり、そのぶんプレッシャーもあったんです。けれど、YouTubeのコメント欄などを見ると、みなさん喜んでくださっているようで、ありがたいです。トレーラー映像もテクノブレイクをした天彦ならではの魅力が詰め込まれていて、本当に嬉しいです。

仲間がいたからこそテクノブレイクできた

――天彦のテクノブレイクを経て、ここまでの物語にどのような印象をお持ちですか?

橋詰 今回のブレイクで、天彦はただセクシュアルなものに興味があるのではなく、もっと大きな“性”、人間そのものを愛し、肯定してくれる人なんだと改めて思いました。また、大瀬、猿川、天彦と物語が流れていく中で、それぞれが己の抱えているものと対峙する姿が描かれましたが、どれも一人では向き合うことも、解決することもできなかったと思うんです。でもそこにほかのカリスマたちが結託して、関わってくれた。そういう関係になれたんだなぁと。

――絆のようなものが生まれたのでしょうか。

橋詰 それを絆と言っていいのかどうかはまだわからなくて。連帯感がまったくない時もありますし(笑)。彼らはそれぞれ突出した存在で、個性が強いどころではありません。きっと完全に相容れることはないと思うんです。けれど、相手の認められるところを認めたり、スルーしたり、時には否定したりしながらやっていけるんじゃないかなって。たとえばテラくんは、普段は天彦のことをスルーしがちだけど、天彦とセクシービューティーペアとして悪者の前に現れる時は、息がぴったり。そんなふうに、時と場合によってうまく付き合っていくんじゃないかなと。

――では最後に、読者にメッセージをお願いします!

橋詰 作品が始まってもうすぐ2年、少しずつ『カリスマ』に触れてくださる方も増えて、9月3日には、『カリスマエキスポ』(『カリスマ』のイベント)を開催できることにもなりました。この先さらなるグッズ展開もあるでしょう。たくさん買っていただき、皆さんの支援を受けることで、より物語が広がり、さらに多くの人と『カリスマ』をじっくり楽しんでいけたら嬉しいです。

ムンラホルマオ
天堂天彦

作詞　岩里祐穂
作曲・編曲　月蝕會議

各種音楽配信サービスにて配信中。猿川慧「ツッパれ!生存反発」、湊 大瀬「Hell lazy, Psychology」も要チェック!

気になる新キャラ

中神総右衛門

中神総右衛門は、外務省と国防省をまたぐ特殊機関に属し、政府を裏から支える偉い博士。時には強引に、時には見守りながら、カリスマたちを追いかけている。

「カリスマたちのことを“鉛推し”と言うくらいだから好いてくれているとは思うのですが……。一方でカリスマの力を資源にしたいと思っているので、味方とも言えない。そもそもカリスマの力が資源になるというのに驚くばかりです」(橋詰)

アジアのカリスマ

猿川の故郷に潜伏していた時、理解と天彦の前に突然現れた自称・レジェンドカリスマ。ナイーブかつ心配性で、多忙なのか「時間がない」ということ以外は詳細不明。「またどこかで会うだろう」と言っていたが、果たして……。なお、彼の声を務めるのは神谷浩史。

「アジアのカリスマさんが最後に言った“カリスマリンク”って何のことなのでしょうね。ちなみに、僕と山中さんは神谷さんと一緒に収録することができたのですが、テストの段階で圧倒させられましたね。僕らのようにずっとこの作品に関わってきたわけではないのに、一瞬で役どころを掴んで、納得させる。役名の通り“アジアのカリスマ”でした」(橋詰)

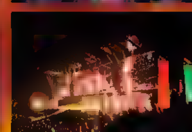
希望から始まる物語

『ウマ娘 プリティーダービー』初のアリーナツアーがスタート
ファンを興奮と感動に包んだ第1公演 DAY2を振り返る！

5th EVENT 第1公演 DAY2 セットリスト

M-01 DRAMATIC JOURNEY
M-02 ゆるパカ HAPPY DAYS！
M-03 Make debut!
M-04 Play Again
M-05 ラキハピファンタスティック
M-06 Destroy for Dasein
M-07 Hat on your Head！
M-08 Never Looking Back (Remix Ver.)
M-09 ライトレス
M-10 ミッドナイト・エピローグ
M-11 KIRARI MAGIC SHOW
M-12 Glorious Moment！
M-13 ゼッタイトナリ…！
M-14 Forever gold
M-15 Like a Shooting Star
M-16 ONCE MORE, I CAN
M-17 イチバン星が駆ける空
M-18 Special Record!
M-19 BLOW my GALE
M-20 Ms. VICTORIA
M-21 winning the soul
M-22 ユメヲカケル！(Symphonic Ver.)
M-23 Everlasting BEATS

＜ENCORE＞
M-24 Gaze on Me!
M-25 うまぴょい伝説



7月15・16日の2日間にわたって、横浜・ぴあアリーナMMで開催された「ウマ娘 プリティーダービー 5th EVENT ARENA TOUR GO BEYOND -WISH-」。『ウマ娘 プリティーダービー』初めてのアリーナツアーの開幕を飾った第1公演、そのDAY2の様子をお届けする。

マスク必須ながら、ナンバリングイベントでは久々の声出し応援が解禁となった今回の公演。コパノリッキーによる声出し練習、その後に流れた「うまぴょい伝説」の音源に合わせてトレーナー（ウマ娘ファンの通称）のコールが響き、会場は開演前から凄まじい熱気を帯びていた。

まず登場したのは、アニメ『ウマ娘 プリティーダービー ROAD TO THE TOP』（以下、ROAD TO THE TOP）で、沖田トレーナーを演じた土田大さん。沖田トレーナーに扮した土田さんの掛け声で会場の興奮が高まり、出走（出演）するウマ娘全員による「DRAMATIC JOURNEY」でライブが開幕。歌唱の後は出走者が一人ずつ挨拶し、演じるウマ娘の個性を活かしたコメントやコール&レスポンスで、場内を沸かせていた。

ライブは合唱曲、ソロ曲を織り交ぜて展開。[illegible]もトレーナーたちの歓声を集めていたの[illegible]タニノギムレット[illegible]曲「Destroy for Dasein」と、帽子を愛するウマ娘のユニットBoC'z（ボウシーズ）の「Hat on your Head!」だ。

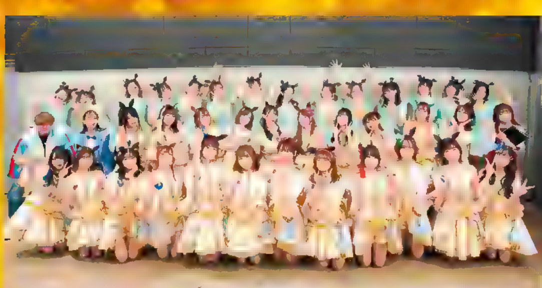
「Destroy for Dasein」では、タニノギムレット役の松岡美里さんが激しいヘッドバンギングやモチーフとなった競走馬の逸話にちなんだ棚破壊のパフォーマンスを披露し、会場をどよめかせる。「Hat on your Head!」は、ライスシャワー役・石見舞菜香さん、ミスターシービー役・天海由梨奈さん、マチカネタンホイザ役・遠野ひかるさん、シュヴァルグラン役・夏吉ゆうこさん、ホッコータルマエ役・[illegible]紗矢香さんのクールなダンスからスタート。ユニット衣装に身を包んだ5人[illegible]とダンスでトレーナーたちを魅了していた。

そして、DAY2で最高潮の盛り上がりを[illegible]たのが、[illegible]の「ROAD TO THE TOP」ブロック。アニメ本編の映像が流れた後、同作の実況役・本泉莉奈さんが登場。主題歌「Glorious Moment!」をテイエムオペラオー役の徳井青空さん、アドマイヤベガ役の咲々木瞳さん、ナリタトップロード役の[illegible]熱唱し、会場のボルテージは急上昇。[illegible]オペラオーの[illegible]て、彼女とかかわりの深いメイショウドトウを演じる和多田美咲さ[illegible]「ROAD TO THE TOP」で活躍したウマ娘たちのソロ曲が、次々[illegible]トップ以降のオペラオー[illegible]が、劇中でクラシック三冠を制した順番と呼応しているセットリ[illegible]秀逸だ。[illegible]再現したア[illegible]「ROAD TO THE TOP」本編を[illegible]み、徳井さん、咲々木さん、中村さんがふたたびステージに登壇「イチバン星が駆ける空」を歌い上げた。MCパートでは和多田さん、土田さん、本泉さんも交えて6人でトークを展開。その最中では、感激した土田さんが思わず涙ぐむ一幕も。

ライブ終盤は合唱曲中心の構成。コールが多い楽曲で会場の体感が高まり、天海さんとカツラギエース役・藤原夏海さんのぶつかり合うような「winning the soul」のデュエットでさらにヒートアップ。そこから一転、美しい旋律の[illegible]ユメヲカケル！（Symphonic Ver.）」「Everlasting BEATS」でライブを締めくくる。

会場にはトレーナーたちのアンコールの声が響き渡り、[illegible]へと戻った出走者が「Gaze on Me!」を歌唱、実況とナビゲーターも含めた全員による「うまぴょい伝説」でラストを飾った。

「5th EVENT」は今後、23年9月16・17日に名古屋、24年2月3・4日に東京、同年3月22・23日に大阪で開催予定。それぞれ第1公演とは違うコンセプトで、出走者とセットリストも異なった内容となる。ぜひ会場や配信でライブ[illegible]



ウマ娘 プリティーダービー 5th EVENT ARENA TOUR GO BEYOND -WISH-

HP★https://umamusume.jp/event/gb5th/

© Cygames, Inc.

【出走者】
Machico（トウカイテイオー役）、木村千咲（ダイワスカーレット役）、徳井青空（テイエムオペラオー役）、石見舞菜香（ライスシャワー役）、上坂すみれ（アグネスタキオン役）、咲々木瞳（アドマイヤベガ役）、天海由梨奈（ミスターシービー役）、和多田美咲（メイショウドトウ役）、遠野ひかる（マチカネタンホイザ役）、矢野妃菜喜（キタサンブラック役）、青山吉能（ツルマルツヨシ役）、真野美月（サクラローレル役）、中村カンナ（ナリタトップロード役）、春川芽生（シンボリクリスエス役）、松岡美里（タニノギムレット役）、夏吉ゆうこ（シュヴァルグラン役）、稲垣好（コパノリッキー役）、菊池紗矢香（ホッコータルマエ役）、須藤叶希（ワンダーアキュート役）、藤原夏海（カツラギエース役）、春日さくら（ヒシミラクル役）、篠田みなみ（タップダンスシチー役）

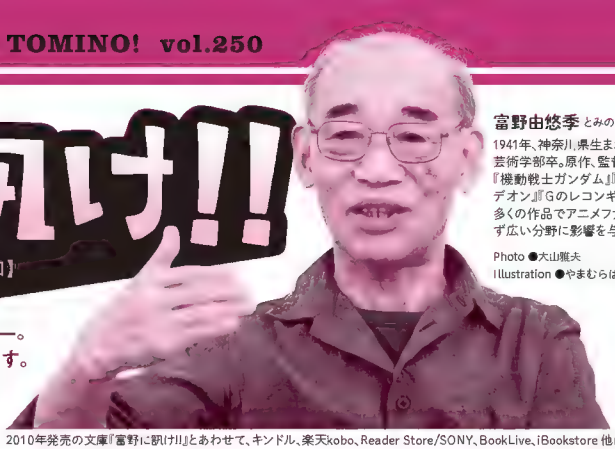
【実況】
明坂聡美（実況役）

【シークレットゲスト】
土田大（沖田トレーナー役）、本泉莉奈（アニメ『ウマ娘 プリティーダービー ROAD TO THE TOP』実況役）

富野に訊け!!

人生相談【第250回】

あのとき自分はどうするのが正解だったのか——。
何年経っても、考えてしまうことはあると思います。
ただ、答えが出ないことについては、
一旦脇に置くことも必要なのかもしれません。



富野由悠季 とみのよしゆき
1941年、神奈川県生まれ。日本大学芸術学部卒。原作、監督を担当した『機動戦士ガンダム』『伝説巨神イデオン』『Gのレコンギスタ』ほか、多くの作品でアニメファンのみならず広い分野に影響を与えている。

Photo ●大山雅夫
Illustration ●やまむらはじめ

Information
『富野に訊け!! 〈怒りの赤〉篇』『富野に訊け!! 〈悟りの青〉篇』は全国書店にて発売中。電子書籍版は、2010年発売の文庫『富野に訊け!!』とあわせて、キンドル、楽天kobo、Reader Store/SONY、BookLive、iBookstore 他にて配信中。

被害者だと思っていたら加害者だった?

Question 266

福岡県/フミ(21歳・大学3年生)

私の高校時代の話なのですが、今でもどうすればよかったのかなと思うことがあります。

当時、演劇部の同学年に、空気の読めない男子(A君)がいました。わりと勉強はできるし悪い子ではなかったのですが、周りに合わせるのがうまくないというか、微妙にみんなをイラッとさせるタイプでした。クラスでは極端に浮いているわけではなかったみたいですが、部活は土日も含めほぼ毎日なので、長時間一緒にいると正直しんどくなりました。

最初の1年間は、それでもみんななんとか我慢できました。でも2年生になり、大会に向けて主戦力として忙しくなってきたときに、「A君の面倒、いつまで見なきゃいけないの?」という感じになってきました。それでみんな、A君にはあまり仕事を振らず、私も彼とは必要以上に関わらないようにしました。

そんなときに、A君が交流のある他校の人たちに、「部内で冷たくされ、いじめられている」と嘆いていたという話を聞きました。私たちとしては、むしろ迷惑をかけられている気持ちだったのですが、これもいじめだったのでしょうか?

一度、A君抜きで、顧問の先生も交えて話し合ったこともあるのですが、「なるべく無視をしないようにしよう」くらいの結論しか出ませんでした。

結局、A君は不満をこぼしつつも部活を辞めることはなく、うちの代はみんなで「団結」できないままでした。富野さんはどのように考えますか? お聞かせください。

フミさんが今現在大学3年生ということは、ここに書かれている問題は高校時代の記憶になりますよね? それについて、僕になんと言ってほしいのでしょうか? **今回のお話は相談事のように見えて、実は相談でもなんでもありません。**

「これもいじめだったのでしょうか?」というのが具体的な質問なのかもしれませんが、そうすると**今度はフミさん自身の問題になってきます。**高校時代のことをずっとくよくよと思い悩んで、それにいつまでも引っ張られているという思考回路だと、僕がここで何を語ってもたぶん響かないでしょう。現在ただいまの差し迫った問題ではないのだから、いったん落ち着いたように見えても、これから先も事あるごとにほじくり返して、引きずることになると思います。

想像してほしいのは、**こうした人生相談というのは、される側にしてみればあくまで他人事**だということです。だからこそ、行き詰まっている人に違う角度から客観的な視点を提示することができる。でも、3年も4年も前の他人事に対しては、「切迫した問題じゃないから相談に乗れませんよ」というシャープな回答になってしまいます。

フミさんの相談文を読んでいて、僕は**「ChatGPTの文章みたい」**という感想を持ちました。一見、整理されて綺麗にまとまっているけれども、よく読むと肝心な問題点は切実なものではなく、ぼんやりしている。そう考えると、**フミさんの思考回路はあなた一人の問題ではなく、やっぱり時代性が作っている人格の問題ではないか**という気さえするのです。

ひとつヒントになる話をすると、僕は先日『**ウマ娘プリティーダービー**』の新しいCM(**「むすめはみんな」篇**)を観て、見事だなと思いました。あのカッコよくてかわいい『ウマ娘』が、新しいCMでは完璧に「アニメ」になっていたからです。ここまでスパッとギャグ的というか、コミカルな方向性に行けるのはすごいなと思いました。

結局、能力のある人はこういうことができてしまうのです。カッコいい『ウマ娘』からこれにドーンと舵を切れるすごさというのは、作り手からしたらなまじなものではありません。**前のイメージを引きずっていては、とても不可能な仕事**でしょう。「切り替える」というのは口で言うほど簡単ではなく、路線を変更する作業は作り手にとって地獄の沙汰です。けれど、過去をきちんと踏まえた上で**覚悟を決めて乗り越えてみせたときに、新しい光が見えてくる**ものなのです。

何をするにも「切り替え」というのはとても大事。過去のことに必要以上に引きずられないよう、覚悟を決めて乗り越えてみせよう!

さらなる悩み まだまだ募集中!!

このコーナーではみなさんの悩みを募集中です。どんな些細な内容でもかまいません。[illegible]悩みの相談、匿名(本名掲載不可の場合はペンネームも)、年齢、学年(もしくは職業)を明記して、あの住所までお送りください。[illegible]掲載は上記の目的以外での利用はいたしません。なお、投稿原稿は返却いたしません。掲載の際、内容の一部を手直しすることがあります。掲載された原稿は書籍化などの複製使用を[illegible]使用させていただくことがあります。[illegible]

郵送の宛先 〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 日興ビル[illegible]

Web投稿 [illegible]

熱烈な夏が到来！　一気にうだるような暑さになってしまいました。ライブやイベントが盛りだくさんの8月は、適度な水分補給を忘れずにね～☆

Front Interview

sajou no hana サジョウノハナ ｜ 現実とリンクさせるようにしています

7月から絶賛放送中の『スパイ教室』2nd season。sajou no hanaによるEDテーマ「ニューサンス」がリリースされ、人気を博している。物語のダークな部分に焦点を当てて作られた同曲について、作詞・作曲を手がけた渡辺翔に話を聞いた。

TEXT　花木洸

――『スパイ教室』には、どんな印象をお持ちですか。

渡辺　最初はとてもシリアスな作品なのかなと思ったのですが、観てみると意外と日常的なホッとする要素もあり。女の子たちの人間味や成長が描かれている作品なんだなと感じました。

――楽曲の方向性はどのようにして決めたのでしょうか？

渡辺　かわいい女の子たちは、それぞれ苦労を背負ってきた暗い過去があります。困難に立ち向かっていく彼女たちのバックボーンにあたる、過去の部分に焦点を当てたいと思い、方向性を決めました。

――これまでsajou no hanaとして発表してきた曲よりもダークなイメージです。

渡辺　そうですね。シングルでは久しぶりです。sajou no hanaで曲を作る時は、アニメのキャラクターやストーリーをテーマにしつつ、どこかで現実とリンクさせるようにしています。まるで、キャラクターたちが現実にいるかのように親近感を覚えてもらいたいんです。そういった理由もあり、「こういうバックボーンを持つ子たちが現実にいたらどんな子だろう？」と、僕なりに解釈して作りました。

――なるほど。具体的には、どんな作業をしたのでしょうか。

渡辺　大変な経験をしていたり、他人が進まない道を選んでいる女の子が、どんなことを考えているのか想像しました。それを歌詞に落とし込んだのが、例えばBメロの「『ほんと大丈夫？』／それ聞いてどうするの？／ただ褒めるだけでいい」という部分です。こう表現することで、グッと現実性を強めています。

――ボーカルもいつもとは違うテイストですよね。

渡辺　爽やかな曲が続いていましたが、久しぶりにシリアスなモードにしました。レコーディングでも強めとか弱めとか、いろいろなニュアンスを試したのですが、ボーカルのsanaが、どんどんアップデートされていると感じました。

――sajou no hanaは、別のメンバーが作詞作曲することもありますよね。

渡辺　僕はいつも頼りにしているし、刺激になるなと思っています。時にはメンバーのアレンジに嫉妬したりもします。そもそも、このバンドはお互いに刺激しあえると思って始めたところもあって、そのモチベーションだからこそバンドとして上手く歯車が回っている部分もあるんじゃないかな。

――今回の曲でそれがわかりやすいところはありますか？

渡辺　「ニューサンス」のデモは僕がフレーズや楽器も作れるだけ作り込んで、それをメンバーと一緒にアレンジしました。サビ前のボーカルにエフェクトがかかって、そこに声っぽいサンプリングが入ってくる仕掛けはほかのメンバーのアイデアです。

――『スパイ教室』2nd seasonのED映像の感想は？

渡辺　イントロのスパイっぽいフレーズの部分から、作中の絵柄とは異なる、ちょっと重厚な絵画調の映像でスタートしたのが印象的でした。キャラクターが出てくるところもデフォルメされているのですが、怪しくもあり、過去の苦悩が描かれています。映像でも曲のイメージを丁寧に表現してくれて素敵です。ぜひ、そちらもチェックしていただけると嬉しいです。

ニューサンス
KADOKAWA
CD　1320円
発売中

※カップリングにはゲームアプリ『ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか～メモリア・フレーゼ～』6周年記念主題歌の「影裏」を収録！

本壊
ニノミヤユイ　発売中

Lantis
CD　3080円

声優「二ノ宮ゆい」としても活躍するニノミヤユイが、物語の脇役（モブ）に焦点をあてたコンセプトミニアルバムをリリース。リード曲「ヒロイン」は本人の作詞作曲でロックサウンドとポエトリーリーディングが融合したダークな味わいとなっている。

POLAROID
NACHERRY　発売中

Lantis
初回限定盤（CD+BD）3520円
通常盤A（CD）2420円
通常盤B（CD）2420円

声優・村上奈津実と田中ちえ美によるユニットの3rdミニアルバム。バンド・フジファブリックの金澤ダイスケが書き下ろした「テレポーテーション」は、これまでのポップでかわいい路線からは想像できないエモ切なさ。この新境地はファン必聴！

Endroll
神山羊　8月30日発売

ソニー・ミュージックレーベルズ
アーティスト盤（CD）1650円
アニメ盤（CD+BD）2200円

「有機酸」名義でボカロPとしてデビューし、2018年からは現在の「神山羊」名義でシンガーソングライターへと転身した人気アーティストによる最新作。これまでにも、ずっと真夜中でいいのに。やDAOKOへの楽曲提供をはじめとして、アニメやドラマのタイアップで着実に人気を集めてきた彼が、『BLEACH 千年血戦篇-訣別譚-』EDに大抜擢。自身で作詞作曲を手がけ、ロックバンド・ヒトリエがレコーディングに参加したこの楽曲は、超絶ロックでアグレッシブな仕上がり。予測不可能な展開や、何重にも施されたエフェクティブな声の質感や仕掛け、打ち込みのサウンドとバンドサウンドの混ざり具合など、どこをとっても完成度が高いアレンジ。シンガーソングライター、そしてアレンジャーとして神山羊の過去最高を更新した一曲だ。

愛してしまえば
斉藤朱夏　発売中

ソニー・ミュージックレーベルズ
初回生産限定盤（CD+BD）4100円
通常盤（CD）3000円

声優、そしてAqoursのメンバーとしても活躍している「しゅかしゅー」こと斉藤朱夏。彼女の新作ミニアルバムが登場だ。今回もデビュー当時からサウンドプロデューサーを務めるハヤシケイとのタッグで、「愛」をテーマにした5曲が収録されている。軽やかでミュージカルチックな「愛してしまえば」を筆頭に、ライブで盛り上がりそうなロック曲「ベイビーテルミー」。さらには、アコースティックなミディアムナンバー「はんぶんこ」などを収録。多様な曲調だが、そのどれもが、しっかりと「しゅかしゅーっぽい」仕上がりとなっている。中でもロックからジャジーになったかと思えば転調して……と目まぐるしく曲調が変わりまくることで、恋愛のドキドキ感をみごとに表現している「伝言愛歌」が圧巻だ。ぜひ、聴いてみて♪

There Is The Light
fhána　8月23日発売

Lantis
初回限定盤（2CD+BD）7700円
通常盤（2CD）4400円

デビュー10周年を迎えたfhánaが、デビューシングルから最新アルバムまでの軌跡を辿る全32曲の大ボリュームなベストアルバムをリリース。新曲も収録し、初回限定盤にはこれまでのミュージックビデオをすべて収録したBlu-rayも同梱。

ユリイカ
ARCANA PROJECT　8月23日発売

Lantis
初回限定盤（CD+BD）2530円
通常盤（CD）1530円
アニメ盤（CD）1530円

5人組アニソンボーカルユニットが放つ『SYNDUALITY Noir』のED主題歌。同アニメの劇伴も担当する中山真斗による爽やかで切なく、それでいて壮大な楽曲が、5人の透明感あふれる澄んだボーカルと見事にマリアージュしている♪

※価格は全て税別です

Feature

ブギーマン THE BOOGEYMAN ｜お手本のような夏の王道ホラー映画

本郷みつる　渡辺麻紀

本郷　ホラーの王道のような作品ですね。さすがにこの年になるとさほど怖くはないですが、中学生の頃だと震えあがっていたかもしれない。

渡辺　ホラーの王様、スティーブン・キングの短編「子取り鬼」の映画化で、そうとう膨らませているようです。原作はすっかり忘れたので、どの辺がオリジナルなのか判らないですけど。

本郷　映画的には音と音楽に力を入れていましたね。ノイズを含めて音の演出はとてもよかった。映画館で観ることを想定した音響なんだと思いました。

渡辺　タイトルになっている謎のモンスター、〝ブギーマン〟は光が嫌いで暗闇が好きという設定なのに、誰も部屋を明るくしない。テレビのモニターでゲームをやっているときも小さな間接照明だけ。怖いなら明るくしよーよ！　って思っちゃいましたけど（笑）。

本郷　それも含めてホラー映画の王道じゃないですか。やっぱりホラーは暗闇なんですよ（笑）。ヒロインも、そっちに行くと危ないという方向に行くし、開けちゃヤバいというドアを開ける。すべてホラー映画の王道。お手本と言うか古典的と言ってもいいくらいの怖がらせ方。

渡辺　お手本というなら上映時間もそうですね。98分という短さ。といっても、ホラーに限らず昔の映画は大体100分前後。今の映画は単なるアクションであっても2時間越えは当たり前ですから、この時間は嬉しい。

本郷　短いからこそ恐怖を畳みかけることが出来てダレ場がない。ただ、もうひとつヒネリがあってもいいと思いましたけどね。展開が思いのほかストレートで、モンスターもちゃんと見せていた。

渡辺　説明不足なところもありましたけど、まあ相手が人知を超えた存在のブギーマンなので、そういうところを突っ込むのはヤボなのかなと（笑）。

本郷　そうですよ。説明不足なところをとやかく言っていたら怖がれません！（笑）

渡辺　そのヒロインの女子、よかったですよね。ソフィー・サッチャーという23歳の若手女優。

本郷　よかった。意志の強そうな凛々しいルックスで頼もしかったですよ。彼女の幼い妹もがんばっていた。反対にお父さんを始め、男性陣にヘナチョコ感があるけど、やっぱりそれもお約束（笑）。

渡辺　米国でモニター試写をやったら好評だったので劇場公開したという話もあるようですね。

本郷　そうなんだ。それも納得です。劇場を意識して作っているし、そのほうが絶対、怖がれそうじゃないですか。

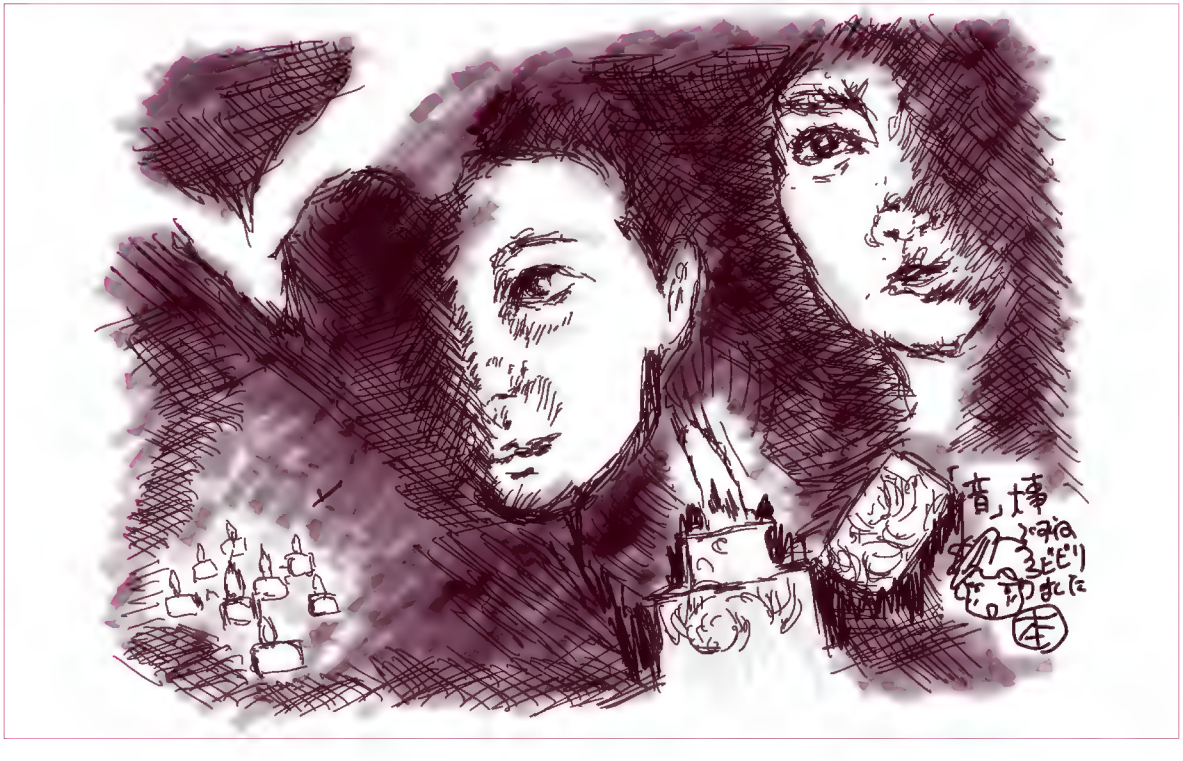
渡辺　友だちと観るのにいいかもしれない。夏のホラー映画の正しい楽しみ方が出来そうですね。

本郷　そう思います！

母親を事故で亡くし失意のハーバー家。そんなとき、セラピストの父親の元をひとりの男が訪ねる。自分の3人の子供が次々と亡くなり殺人容疑がかけられているが、実は謎のモンスターが殺したのだという。そして、その絵を見せるのだが。監督は新鋭のロブ・サヴェッジ。出演はソフィー・サッチャー、クリス・メッシーナ。（8月18日公開）

©2023 20th Century Studios

Illustrated by Mitsuru Hongo ｜ほんごう・みつる｜アニメーション演出者。『柚木さんちの四兄弟。』は秋放送で、私の監督作業はほぼ終わっています！

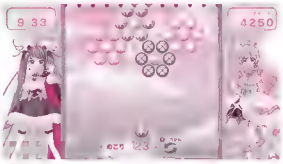


game

『ひろがるスカイ！プリキュア』のミニゲームを全10種収録！

「LOVE」を集めれば、TVアニメの名場面などのイラストが手に入る。イラストの数は全100種類

注文をおぼえて正しいコスメを選ぶ「コスメショップ」



同じ色のパズルを3個以上つなげて消していく「パズルパズル」

入手したイラストは、ジグソーパズルにして遊ぶこともできるぞ。3段階の難易度ぜんぶで試してみよう

ひろがるスカイ！プリキュア ひろがる！パズルコレクション

DATA

メーカー／ディースリー・パブリッシャー　プラットフォーム／Nintendo Switch　発売日／8月10日(木)　価格／(パッケージ版、ダウンロード版共に)4,400円(税込)　ジャンル／ミニゲーム　CERO：A(全年齢対象)

ジャケットにはプリキュア4人とエルが勢ぞろい

公式HP | https://www.d3p.co.jp/precure/

※画面は開発中のものです。

「LOVE」を集めてイラストを手に入れよう

アンダーグ帝国の怪物・カバトンにさらわれた、天空に浮かぶ世界「スカイランド」のプリンセス・エル。彼女を追ってふしぎな穴に飛び込んだ、ヒーローに憧れる勇敢な少女ソラ・ハレワタールは、気づけば別の世界にある街「ソラランド市」にたどり着いていた。

文化も風習も違う世界に戸惑う中、虹ヶ丘ましろと出会い居候させてもらうことになったソラ。彼女はエルと共にスカイランドへ帰るため、プリキュアとしてアンダーグ帝国と戦うことに。

絶賛放送中の『プリキュア』シリーズ最新作、TVアニメ『ひろがるスカイ！プリキュア』が、Nintendo Switch専用ゲームで登場。

遊べるミニゲームは全部で10種。さまざまなジャンルのゲームを「かんたん」「ふつう」「むずかしい」の3段階で楽しめる。

アクション性が高いゲームは、ミニキャラを操作してゴールを目指す「おそらのだいぼうけん」や「おさんぽキャッチ」など。ほかにも、2枚のイラストの違うところを見つける「まちがいさがし」や、カードをめくって同じイラストを見つける「えあわせ」のような記憶力勝負のゲームもある。

さらに、同じ絵柄のブロックを3つずつ3種類集める「ブロック3」や、同じコマを3個集めてすべてのコマを取る「スリーマッチ」などの頭を使うゲームも楽しめる。

また、ミニゲームを遊んで「LOVE」を集めていくと、『ひろがるスカイ！プリキュア』のTV放送された名場面などのイラストが手に入る。全100種あるイラストは、ジグソーパズルとしてプレイすることも可能だ。こちらも難易度は3段階用意されているので、全部で300種類のジグソーパズルを楽しむことができるぞ。

ヒーロー　に憧れ日々鍛錬している スカイランドの少女

物知りで、優しく思いやりのある中学2年生

鳥亀の妖精・ブニバード族の男の子

保育士を目指している明るいお姉さん

©ABC A・東映アニメーション ©2023 D3P_BL SHER

goods

若き日の五条と夏油がお座りポーズであなたを見上げる！

ウルトラマンが10cmのアクションフィギュアに！

仲間を守るために敵を威嚇したり、自らを鼓舞するために喝り声をあげたり……。野性的な戦い方で話題となっている『ウルトラマンブレーザー』の食玩アクションフィギュアがお盆明けから発売開始！

「超動αウルトラマン6」は全高約10cmにも関わらず広い可動範囲を持つのが特徴。さらに各ウルトラマンの光線技などのパーツもセットされている。各792円(税込)で8月21日、バンダイから発売予定だ。

「るかっぷ」の名はルックアップ(＝見上げる)に由来する

首をかしげたポーズも可能。るかっぷ同士で視線を合わせられる！

2006年、呪術高専の生徒だった頃の五条悟と夏油傑。二人は天元から星漿体・天内理子の「護衛」と「抹消」を依頼され、彼女の殺害を目論む呪詛師を返り討ちにしたものの、突如「術師殺し」と伏黒甚爾の襲撃を受けることに。そして、五条は殺されてしまうのだった……。

五条と夏油の過去が描かれている『呪術廻戦』第2期。今回は、道を分かつことになった二人がデフォルメされて、お座りポーズしているキュートなフィギュアをご紹介。上目づかいで、とってもかわい♡

るかっぷ 呪術廻戦 五条悟 高専ver.

サングラスはクリアパーツ。首に可動部あり　4180円(税込)／全高約11cm／12月下旬発売予定／発売元：メガハウス

るかっぷ 呪術廻戦 夏油傑 高専ver.

こちらのポーズは体育座りだ。首に可動部あり　4180円(税込)／全高約11cm／12月下旬発売予定／発売元：メガハウス

メガハウスお客様相談センター　ナビダイヤル0570-066-039(祝日を除く月～金曜日10～16時)
バンダイお客様相談センターキャンディ ナビダイヤル0570-014-315(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く10～16時)

©芥見下々／集英社・呪術廻戦製作委員会
©円谷プロ

今日もアニメ日和

第149回 アニメイト店員雑記

岡ノ部亨 真泰
株式会社アニメイト 本社勤務
好きな「アイカツ！」は、「アイカツスターズ！」。
アニメイト Twitter➡@animateinfo

初日に観てきました『君たちはどう生きるか』。相変わらず人間はもちろん、機械や動物の細かいお芝居がほんとうにとんでもない！　本筋とは直接関係なく見えるそれぞれも、キャラクターの生命を表現する大事な一要素。映像そのものがまるで生き物のよう。アニメイトも生き生きと夏真っ盛りです

Illustrated by Shinyasu Okanobetei

江戸に咲く、魔術の花！

今月のお題 Fate/Samurai Remnant

2004年に始まりとなる『Fate/stay night』が発売されてから20年弱、二次元シーンの一角に君臨し続けている『Fate』シリーズ。新人研修の頃、秋葉原で『Fate/stay night』の海洋堂製カプセルフィギュアが鬼のように売れていたのを昨日のことのように思い出せます。カプセル自販機が片っ端から壊れて、カプセルをコンテナにザラザラと出して手売りしたのも今では良い思い出（白目）。

先日も成田良悟先生による小説シリーズ『Fate/strange Fake』のTVスペシャルアニメが放送され、TVシリーズの制作も発表になったり。『Fate/Grand Order』も2015年のリリース以来人気が衰えず、今年上半期のセールスランキングでも上位にランクインしたり。今に至るまで新たな展開が続き、話題が尽きません。

そんな『Fate』シリーズに現れる新たなる物語、ゲームソフト『Fate/Samurai Remnant』が9月にいよいよリリースされます。江戸時代の日本を舞台に、かの宮本武蔵の弟子「宮本伊織」を主人公にしたアクションRPGです。

コーエーテクモゲームスから『Fate』のゲームが出るというだけでも既に激アツなのですが、個人的にめちゃくちゃ楽しみなのが、渡れい先生がキャラクターデザインを手掛けていること！　渡先生といえば、超絶画力・超絶漫画力でシリーズに馴染みのない人さえも次々と魅了していった、史上最強のスピンオフコミック『Fate/Grand Order -Epic of Remnant- 英霊剣豪七番勝負』。そんな渡先生描きおろしのタペストリーがアニメイトの特典で付きます。さらに、同じく描きおろしイラストを使用したアクリルパネルが付く、「アニメイト限定セット」のリリースも決まっております。これは、マジで予約したほうがいいやつです。

渡先生がオリジナルデザインを務めるマスターやサーヴァントたちがモリモリ登場するということだけでも正直たまらんですが、オリジナルのサーヴァントが多いと、デザインや設定を見て真名が何なのか予想するもこのシリーズの醍醐味。主人公たる宮本伊織のサーヴァント「セイバー」も、古風な衣装や祭具のような刀身を持った刀から、これは一体誰なんだと、発表以来ファンの中では予想が飛び交っています。

セイバー以外にも、ファンなら絶対に見たことある気がするランサー（しかもマスターが島原の乱の生き残りらしく、もう絶対にアレじゃん、とすでに大興奮）、顔を隠した黒き鎧武者のライダー、そして主人公が宮本武蔵の弟子でありながら、ちゃっかりバーサーカーのクラスで顕現している宮本武蔵その人とか、今わかっているだけでも個性大爆発かつミステリアスすぎるサーヴァントが勢ぞろい。真名が気になるのもそうですが、それらが江戸時代の日本に現れ刃を交わすときに何が起きるのか、ゲームとしてもひとつの物語としても楽しみすぎます。

『Fate』シリーズ、関連作品が多すぎてどれから入門したらよいのか、と敬遠している人もひょっとしたらいるかもしれませんが、基本的に「気になったら気になったやつから読め　観ろ　遊べ」の精神です。最初に気になったタイトルに出てきたサーヴァント（や、それによく似たキャラ）が、ほかの関連作品にも出てくることがあります。そうなればそのキャラ観たさに別の作品を観れば、いつの間にかシリーズ全体に興味が向いているというもの。

『Fate/Samurai Remnant』も、誰かの最初の『Fate』になったら良いな、と思っております。とりあえず、まずは公式サイトでムービーを観てみよう！　マジでわくわくします。

animate information

★『ディズニー ツイステッドワンダーランド』Disney100 プラチナジャケットアートフェア

全国アニメイト・アニメイト通販にて『ディズニー ツイステッドワンダーランド』Disney100 プラチナジャケットアートフェア』を開催中です。フェア期間中、対象商品のご購入・ご予約で描き下ろしイラストを使用した特典「切手風ステッカー（全23種）」を1枚プレゼントいたします。また、8月1日より順次、特典と同じイラストを使用した「缶バッジ、「アクリルスタンド」といった新グッズも発売いたしますので、フェアと合わせてチェックしてみてください。

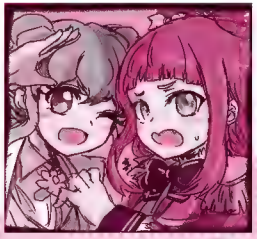
◎『ディズニー ツイステッドワンダーランド』Disney100 プラチナジャケットアートフェア
開催期間：2023年8月1日～9月3日
開催場所：全国アニメイト・アニメイト通販

今年も熱いアイドル活動！

「アイカツ！」10周年記念の劇場版、EDテーマの最後の一秒に至るまで完璧に最高でした……。私が秋葉原にいたころから、フェアをやるたびに大行列ができるレベルでアニメイトでも高い人気を誇るこのシリーズですが、今年も8月26日からアニメイトではフェアをやります。そして秋葉原ではオンリーショップも！

今年の描きおろしイラストは和装ベースですが、あかりちゃんは足元がブーツ、ユリカ様はフリルのついたインナーを合わせていたりと、キャラの解像度がめちゃくちゃ高いナイスコーデです。個人的にはあこちゃんと花園きらちゃんの対になるようなポーズが激アツ。二人が並んでいる絵を見るだけで泣いてしまう！　加えて、過去のイラストや劇中の場面を使ったグッズもラインナップしています。『フレンズ』や『オンパレード』推しの方も大満足間違いなし。

今はTVシリーズの放送のない時期ですが、こうやってアニメトでのフェアやイベントでファンの皆様の姿を見るたび、「好き」の火がまったく衰えていないことを感じます。しかもそれが、自分が好きなタイトルだとなおさら。8月末、たぶん初日から、私もフツーにお客さん側で開店待ちの列にいるはずです。楽しもうぜ！



第3回

夢か、現実か

大塚隆史メライフ！

おおつか・たかし
アニメ監督・アニメ演出家
1981年2月23日生まれ　大阪府出身　業界歴23年目　代表作は『映画プリキュアオールスターズDX 1～3』（監督）、『スマイルプリキュア！』（シリーズディレクター）、『劇場版ONE PIECE STAMPEDE』（監督・脚本）ほか。アニメの仕事をわかりやすく解説した著書『アニメができるまで』発売中

イラスト：川村敏江

「夢が叶った！」と思った瞬間は？

編集部　アニメ業界を目指そうとして、周囲から「夢ばかり見てないで、現実を見なさい」と言われてしまう人も少なくないと思います。「夢をとるか、現実をとるか」といったお悩みに対して、お二人はどう思いますか？

小松田　なるほど、「夢か、現実か」ですが。まずお聞きしたいんですが、大塚さんは業界に入った時点で夢ってありました？

大塚　うーん、漠然と「絵コンテを描きたい」と思っていたのが夢になるのかな。『もののけ姫』はこうして生まれた。で宮崎駿さんがコンテを描く場面を観て、これと同じようなことをして生活できたら楽しいだろうな」と思ったのが、僕がアニメ業界を志した理由だから。「俺も宮崎駿みたいな大監督になって、こういう作品を作ってやるぜ！」という大志を抱いて入ってきたわけでは、まったくなかったです（笑）。

小松田　（笑）。

大塚　もっと具体的な夢　というか目標だと、東映アニメーションに入ってから「50歳くらいまでにはオリジナル作品の映画の監督をやりたい」と思ったことですかね。それは実は、27歳のときに『映画プリキュアオールスターズDX みんなともだちっ☆奇跡の全員大集合！』で叶ったんです。原作付きではなく、自分がスタートから演出として関わって作ってきたキャラクターたちで、その劇場版をオリジナルストーリーで作れたとき、明確に、夢が叶った！」と思いました。そのときは本当に嬉しくて、実家のおかんに電話しましたね。しかも、それを任命された日がおかんの誕生日で。

小松田　おぉ、すごいー　最高のプレゼントじゃないですか！

大塚　ね、「そんなことある!?」って思いました（笑）。小松田さんはどうですか？

それぞれが自分で考えて自分の価値観に合った職業を

小松田　僕にはアニメ業界に入ったときにまず「監督になりたい」という夢がありました。ただ、アニメーターとしてもうまくなりたかったので、「憧れの監督の作品にアニメーターとして参加する」というのも夢の一つでしたね。宮崎駿さん、高畑勲さん、庵野秀明さん、押井守さん、富野由悠季さん、細田守さん、あとは今敏さん……。

大塚　すごいメンバー。神々じゃないですか！　その夢は叶ったんですか？

小松田　はい、全員の作品に参加できました。それはもう、あらゆる手段を使って（笑）。

大塚　素晴らしい！　そういう行動力って大切ですよね。

小松田　高畑さんのときは、「かぐや姫の物語」の劇場予告を観て、その表現の豊かさに衝撃を受けて。ちょうど自分の初めての監督としての仕事が決まりつつあった時期で、「きっと、今このタイミングを逃すと高畑さんの作品にアニメーターとして参加することはできないだろう」と思ったんです。それで、即座に知り合いに連絡して繋いでもらったりね。まさかそれが、高畑監督の最後の作品になるとは思ってもいませんでしたが。

アニメ業界の"夢"は絵空事ではない

大塚　僕も小松田さんも、いわば夢を叶えられた人間ですけど、それって別に僕らが人並み外れた才能を持ったスーパーマンだというわけではなくて。「夢ばかり見てないで、現実を見なさい」と言うときの夢というワードには、実現する可能性が低い絵空事」みたいなニュアンスがありますけど、アニメ業界の夢って実際のところ、それほど絵空事ではないんですよ。もちろん本人の努力や運次第の部分も大きいですが、僕は「関わりたい作品や人に能動的に関われること」がこの仕事のめちゃくちゃいいところだと思っています。

小松田　そうそう！　自分が積極的に動けば、やりたい作品に参加できるチャンスが必ず巡ってくるのは、アニメ業界のいいところですよね。

大塚　例えば「プリキュア」を描きたい」と思ったら、TV放送では毎週約320カット、年間で考えれば約1万5千カットとあるわけですから、その一部を担当することは20代でも一定の技術と人間関係を作れば不可能ではないんです。もちろんスタジオジブリ作品とかだと話は違ってきますけども。

「この監督と一緒に仕事がしたい！」という夢だって、先ほど小松田さんが挙げた名前はすごすぎる方ばかりでしたけれど、もう少し近いところを目指すなら、一般的な修練で得られる一定基準の技術さえ習得すれば「ぜひ一緒に仕事しましょう！」と言ってもらえたりします。そして、そうやって一歩一歩実績を重ねて人脈を広げていった先には、「監督になる」みたいな大きな夢だって現実に繋がっていく。それはすごくいい話ですよね。

小松田　あと、目標の持ち方にもいろいろな形があるのもこの業界のいいところだと思います。同じクリエイティブな仕事でも、漫画家のように作家性の強い職業の場合は、基本的に作家個人の才能を軸に作品を作っていきます。けれど、アニメはいろんなセクションの人が集まって成立させるものだから、別にみんながみんな作家である必要はなくて。「俺は監督になってこういう作品を作りたいんだ！」とギンギンに意欲に燃える人だけじゃなく、撮影のセクションで画面のクオリティを上げることが自分のやりたいことだ」とか「職人として背景美術の腕は俺が守りたい」とか考えている人が山ほどいるのが、この業界の厚みなんだと思います。

大塚　そうですね。漫画家だと作品

こまつだ・だいぜん
アニメーター・アニメーション監督・演出家／1973年3月13日生まれ／埼玉県出身／業界歴25年目／代表作は「ブブキ・ブランキ」（監督）、「エヴァンゲリヲン新劇場版」シリーズ（副監督）ほか。現在、映画「アイセンフリューゲル」（監督）を鋭意制作中

小松田大全 ハッピーアニ

～"好き"を進路にしてみたら～

クリエイティブな仕事を目指す人の多くが、一度は直面するであろう「夢をとるか、現実をとるか」という問い。大塚隆史＆小松田大全が、自らの人生から得た教訓を交えながらお答えします！

安泰がない時代だからこそ、自分が好きなことを精いっぱい頑張る

は基本的に作者一人で作りますけど、アニメはたくさんの人の力が結集してできるから、いろいろな関わり方ができる。

小松田　以前、（『クレヨンしんちゃん』の初代監督などを務めた）本郷みつる監督が、漫画家とアニメーターという二つの職業を比較したとき、僕は若者にアニメーターを勧めたい」ということをおっしゃっていたんです。「漫画家は最初からほかの人と比べて頭一つ抜けた才能が求められる分、作品がヒットすれば大成功できるが、競争として非常に過酷。しかし、アニメーターはほかの人と同じくらいのことができれば、スタート時点から生活していける」と。確かになと思いました。

もちろんアニメーターだってより高みを目指そうと思うなら、いずれ才能のふるいにかけられるときはやってきますけども、入り口という意味では比較的入りやすいと思います。これは、漫画家とアニメーター、どっちがなりやすいか」という話ではなくて、最初に求められるものが違うということですよね。それに漫画家になる場合も、アシスタントという準備期間を経て作家性や技術を磨く人も多いと聞きます。

大塚　そうですよね。右も左も分からない業界に入ってゼロからスタートするにしても、働きながら夢に向かってステップアップしていけるのであれば、頑張れますよね。

大切なのは「人生をどう生きたいか」

小松田　と、ここまで"夢"の部分について話してきましたけど、じゃあ"現実"とは何かというと、「お金を稼げるか？」ですよね。子どものころは、親が全部お金を出してくれて当たり前。だけど、学生という身分を切り上げた瞬間から自活することを意識しなきゃいけないし、社会も親も絶対的にそれを望んでいる。そのときに、アニメ業界で現実的に生きていくことができるのか、と。

大塚　そうですね。専門学校に行くにしろ大学に行くにしろ、進学するということはお金を稼ぐ身になることを先延ばしにすること。ならば、「卒業後に就職してきちんとお金を稼げる」と親を納得・安心させなくちゃいけない。そのときに業界のことをよく知らない親の立場からしたら「給料が低いと言われているアニメ業界で、本当に自活できるのか？」と思うのは、ある意味当然のことですよね。

小松田　そうそう。ただ、これに関して僕が昔から疑問があるんですよ。「"夢"と"現実"は本当に相反する概念なのか」「夢を放棄すれば、お金を稼げるようになるのか？」と。

大塚　ああ、確かに。二者択一の話とは限らないですよね。

小松田　例えば、「お金を稼ぐ」を目標にしたときに、どういう仕事を選べば自分の中に続けていけるモチベーションが生まれるかと想像してみても、あまり思い浮かばないんです。僕は昔、ゴミ収集のアルバイトをやったことがありまして、毎朝、定時にゴミ収集車に乗せてもらって回収場所に出されたゴミを収集して回る仕事で、13時には作業が終わるので、お金を稼ぐにはすごく割のいい仕事だったんです。ただ、その後15時までは事務所内で過ごさないといけないというルールがあって。長く働いているおじさんたちは将棋をしたりTVを観たりして上手に時間を過ごすんですが、当時の僕は、「なんで外に遊びに行っちゃいけないんだ！」と思ってしまったんですね。今にして思うと、仕事の後の余暇の時間をゆったりと過ごしたいと思ってる人にはもってこいの仕事なんですよね。それが若かった自分には、余暇の時間に自由に行動できないことが何よりつらくて……。

大塚　うーん、僕も同じようになりそうやなぁ（笑）。

小松田　ほかにも下水道の配管工事とかコンビニのレジ打ちのアルバイトとかをやったことがあるんですが、稼げる仕事ほど大変なんですよね。当たり前ですけど（笑）。学生時代のことなので経験した仕事の内容には限界があるとは思いますが、どれも楽な仕事なんてなくて。現実＝お金を稼ぐ。ことの困難さを思い知ったんです。

大塚　なるほど……。そうですよね、どういう仕事を選ぶかって大きな問題ですよね。育ってきた環境とかもあるから一概に語ることは難しいですけど、究極的には"生き方"の話だと思います。「自分の人生をどう生きたいか？」という。「仕事内容よりもお金をたくさん稼ぎたい」という考え方もあって、それも決して間違いではない。けれど、僕の場合は「なるべく楽しい時間を過ごして、おまけにお金にもなる」という職業を選んだほうが幸せなんじゃないか」と思っていて、だから今の道に進んだ。そういうふうに、それぞれが自分で考えて自分の価値観に合った職業を選んだほうがいいのではないのかなと思いますね。だから「夢をとるか、現実をとるか」という問いに対する僕の答えは「自分の人生、好きなように生きたらいいと

自分の“好き”にしっかりと向き合うというのはとても大事なこと

思う」になるんです。身も蓋もない結論ですけど（笑）。

小松田　でも、僕もそれに尽きると思いますよ。

大塚　僕自身、アニメ業界を志した高校3年生のときにそこまではっきりと思考してその仕事を選んだわけではないですが、「進学して勉強したい、関心ある科目がなかった」というのは確実にあって。「給料は最低限生きていけるくらい稼げたらいいから、自分が楽しいと思えることをやりたい」と考えて、その道を選択したという能動的な行動に意味があったのかなという気がしています。その結果、稼げるようになるのか稼げずに貧乏になっていくのかは適性や考えた、戦略や運や縁や頑張りなどの複合的な要素によるかなと。そこは、夢を追うか現実路線かで区別されるものではないと思います。

安泰がない現代にこそ“好き”が武器になる

大塚　僕は「自分がどういう人生を歩みたいか」を考えることは、今後の日本で生きるうえではより大事になってくるんじゃないかと思っているんですよね。20～30年前だと、いい大学に行っていい会社に就職する」が基本でしたけど、今はそれが少しずつ変わってきているじゃないですか。

小松田　そうですね。自分が就職した90年代後半は、まだ「大きな会社に入れば安心だ」みたいな価値観がギリギリ残っていました。でもその後、日本企業の中小企業化が進み、非正規雇用も増えていきました。今は正規雇用の椅子自体すごく数が限られているし、無事に正規雇用になれたとしても終身雇用が約束されているわけでもなく、中小に切り分けられたりすることもある。いわば「安泰」そのものがなくなっちゃった時代なんですよね。

そういう現代でこそ、「自分が好きなことを精いっぱい頑張る」ということはものすごく強いパワーになると思うんです。僕らの親世代だったら「何浮ついたことを言っているんだ」「夢ばかり見ずに、現実を見ろ」と周囲から言われていたことが、逆に武器になるのが今の時代なんじゃないかな。

大塚　“好き”というのはかなり強い武器になり得ますよね。“好き”って気持ちは常人が驚くような集中力や修練（本人に自覚ナシ）を達成させる、つまり苦じゃなくむしろ楽しんで自らの技術を向上させていける。おまけに“好き”は内面から出るもので捏造できない。「あの娘を好きになろう」と思って好きになったりしないのと同じで、体が反応するもの。自分の“好き”にしっかりと向き合うというのはとても大事なことだと思います。

小松田　それに加えて、特に日本は輸出するものの中に“文化”があって、いまやアニメやマンガは花形の輸出産業になってきている。配信などの視聴環境も加わったことでアニメもその観客が世界中に広がり、海外からのクライアントも増え、作品の作り方も多様化しました。だからといってみんながお金持ちになったわけではないけれど、昔よりは状況が開かれてきていると思います。

大塚　アニメーターの労働条件や賃金を取り巻く状況の厳しさというのは相変わらずです。ただ、年功序列ではなくスキルによってステップアップできる。そこはこの仕事の面白さでもあるし、また、業界自体もより良くなりつつあるんです。だからこそ、「アニメの仕事をやりたいな」と少しでも思っている人は、ぜひチャレンジしてもらいたいと思いますね。小松田さんという例があるとおり、25歳から入ってきたとしても努力次第で十分やっていけます。逆に20歳で業界に入ってきて、5年働いてみて「自分には合わないな」と思うなら方向転換したっていい。25歳からほかの道を志すのも、まったく遅くはないですから。

小松田　夢は状況に合わせていくらでも軌道修正・再設定できるものですしね。

大塚　将棋の羽生善治さんの名言で「夢は目指した時から目標に変わる」という言葉がありますけど、「夢を目指して歩き始める」ということがまず大きな一歩で、それ以降は実は“現実との向き合い”なんですよ。「夢か現実か」というよりは、それこそ今の自分やこれからの人生に正面から向き合い、どう生きていくかを考えて決める。これが大事だと思います。そして、運とか縁も含めて、どうやって目標とするものに近づいていけるのか」、その中で直面するこの現実にどう折り合いを付けていくのか」という。だから、小松田さんの言うように、夢と現実って相反する概念ではなく、むしろ現実を歩んでいった先に夢が繋がっているんじゃないかなって思います。

小松田　その通り！　僕もまったくそう思います。……とはいえ、「本当にアニメ業界では、最低限生きていけるくらいの金額を稼ぐことができるのか」というところが見えないと、あまり説得力がないかもしれませんね。

大塚　じゃあもっと具体的に、次号では僕らが業界に入ってからの収入や生活ぶりをぶっちゃけていきましょうか！

大塚　小松田　夏休みのオススメ作品！

天空大魔境
©石原正敬・講談社／天国大魔境製作委員会

ダークサイドミステリー

大塚　夏休みシーズンですし、学生の皆さんには時間がたくさんある休みの間にいろんなアニメや映画、本に触れてほしいですね。

小松田　そうですね。いい機会ですから、そういうときに観てほしい作品を僕らがオススメするのはどうでしょう？

大塚　じゃあ、僕が夏休みにオススメしたい一本は、今年の春アニメ『天国大魔境』。漫画原作の不可思議さや空気感を見事なクオリティで映像化されていて、森大貴監督をはじめとするスタッフの気合いとこだわりが随所にあり、非常に見応えがあります。個人的にも　久しぶりに毎週楽しみに最後まで観た1クール作品です！

小松田　僕はアニメではなくNHKのドキュメンタリーなのですが、『ダークサイドミステリー』をオススメします。犯罪や呪い、陰謀など、人々の関心を集める謎を扱う番組なのですが、ただオカルト的に紹介するのではなく、それが流行った背景に何があったのか、人間のマインドや社会状況などを踏まえて客観的に分析していくんです。物事を多角的に捉えられて、面白いし勉強にもなる番組です。

夢は状況に合わせていくらでも軌道修正・再設定できるもの

ドラマ特区 結婚予定日

♥毎週木曜日♥深夜0時59分♥MBSほか
MBS放送後に、FODにて独占配信
TVer、MBS動画イズム 無料見逃し配信1週間あり
HP♥mbs.jp/kekkon_yoteibi/
©「結婚予定日」製作委員会・MBS

秘密の約束

結婚予定日は、佳子の30歳の誕生日前日!?
イケメン後輩と秘密の〝社内婚約状態〟になったアラサー女子の
期限付きピュアラブコメディにむずキュン♥

人気小説投稿サイト「エブリスタ」で 総合ランキング第1位達成の原作をコミカライズした、王道ピュアな少女漫画『結婚予定日』がTVドラマ化! 恋に不器用なアラサー女子&年下イケメン後輩のピュアラブストーリーを、松田元太(Travis Japan)と大原櫻子のW主演で贈る。

29歳の誕生日直前に 3年半付き合った恋人にフラれ、失意のどん底に落とされた河合佳子。その直後、偶然居合わせた部署一のイケメン後輩・結城真臣と、そのままカフェで話すことに。そして結城から突然、「1年でお相手が出来なければ私と結婚しましょう」と提案されて――!?

不意に始まった1年という期限付きのオフィスラブ。過去の恋愛にトラウマがあり、恋愛に関してはいつも受け身で奥手だという結城が、なぜ佳子に結婚の提案をしたのか。結城の真意はただの同情なのか、それとも……!? その謎を解く鍵は、彼の過去の恋愛にありそう。

果たして秘密の約束から、本物の恋は実るのか? 二人の不器用な恋を見届けよう!

結城真臣役

松田元太

（Travis Japan）

結城のことが日に日に好きになっていく

原作を読んでの印象をお聞かせください。

松田　普段、少女漫画は読まないですが、めっちゃキュンキュンしました。「早く告って！」みたいなもどかしさが、すごく楽しくて（笑）。『結婚予定日』をきっかけに、少女漫画っていいな、面白いなと思いましたね。

ドラマ初主演ということで、心かけていることはありますか？

松田　とにかくなるべく皆さんとコミュニケーションを取って、楽しくいられたらいいなと思っています。

同世代が多い現場ですよね。撮影の合間に、どんな会話を？

松田　どんな会話をしているんですかね？　特に弾む会話はしてないです（笑）。でも、皆さん結構、馴染んでいるなと思います。（大原）櫻子さんとは、二人での掛け合いのシーンが多いので、話す時間が比較的多いかもしれません。大抵は役につい

結城真臣

ゆうきまこと

営業部のエース。ハイスペックイケメンだが、いつもクールなため周りからは"AI"と言われている。過去の恋愛にトラウマがある

ての話題になりますね。

——現場はどんな雰囲気ですか？

松田　櫻子さんがいつも明るく接してくださるので、楽しい雰囲気です。撮影の合間に、次の日のセリフの読み合わせとか、どんな感じでコンタクトを取るか、ということなどを話し合ってアドバイスをいただいたりもして。そういう合間も勉強になりますし、すごくいい時間を過ごせています。

演じている結城貴臣の印象や、ご自身との共通点を教えてください。

松田　結城はクールで周りからAIと呼ばれてはいますが、それは周りから言われているだけで、本人としては別にそうは思っていないんですよね。僕も、（河合）佳子さんのことを真っ直ぐに思って、物事をストレートに受け取る、自分の中で整理する面のほうが、印象として残っています。自分に似ているところは意外とないというか、真逆な感じですね。結城のよさに気づくことがたくさんあって、楽しいです。

——似ていないことで、苦労する部分はありますか？

松田　そうですね、やっぱりわからないことも多いので。でも原作を読んで、結城がどういうキャラクターで、どういう人間なのかということを、自分の想像と深川（栄洋）監督のアドバイスとを照らし合わせていって、撮影のたびに自分の中で結城を毎回更新しているんです。結城のことは、日に日に好きになってきていますね。

似ていない部分とは、具体的にはどんなところですか？

松田　例えば、ポソポソではないですが、ちょっと静かめの声のトーンだったり、話すスピードだったり。自分はあまり考えずに喋っちゃうので、結城として喋るときは毎回整理しながら話す、ということを意識しています。

——AIと呼ばれるクールな結城を演じる際に、表情で意識したことは？

松田　とにかく自分の意識はゼロにして、役として監督のおっしゃることに染まりたいなと思って演じていました。監督からは、表情や声、目線や動き方などで細かく指示をいただいたので、それに沿った上で「自分だったらこんなアプローチができるかな」とチャレンジしています。

——サラリーマンという役柄ですが、スーツを着てオフィスのセットの中にいる感覚は新鮮でしたか？

松田　普段着ない服なので、ビシッとしていて、なんか気持ちがいいですね。大人になった感覚があります。いい緊張感と、楽しさと……夢の国にキャラクターの服を着ていくみたいな（笑）。オフィスにスーツを着ていくワクワク感やウキウキ感を毎日感じていて、新鮮な気持ちで楽しいです。

ちょっとしたコスプレのような感覚でしたか？

松田　自分の中では最初はコスプレ感があったんですが、現場に入ってすぐスーツを着るというリズムがだんだんできてきたので、今は慣れましたね。私服も今後スーツでいいかなと思うくらい。嘘ですけど（笑）。

実際にサラリーマンになれそうなくらい、慣れましたか？

松田　撮影中は、なるべく染まりたいなという気持ちで臨みました。でも真夏の撮影で、スーツの方ってすごく大変なんだなということも身に沁みましたし。マネージャーさんはスーツでネクタイを締めているので「いつも大変だね、ありがとうね」という気持ちになりました。

役のことを考えたり作り上げる時間が好き

佳子役の大原さんとの掛け合いで、印象に残っているシーンは？

松田　ぱっと会うシーンがあるんですけど、そういうときの佳子さんの反応や、結城のクロっとした感じですかね。オフィスじゃないところでの結城との掛け合い、会話は個人的に面白いなと思いました。

海で撮影もされていましたね。

松田　暑かったです！　でも、やっぱり気持ちよかったですし、シーンとしても海をバックにした大人の青春みたいな感じがよかった。俯瞰で見ても、結城と佳子さんのいい画、いい時間を作れましたね。海、本当によかったです。

海での撮影の合間は、遊びたくなったりしませんでしたか？

松田　ないです、日陰で休みたいです（笑）。海の撮影のあとにグループの仕事が大体あったので、毎回日に焼けて火照ると「もう海には行きたくない！」って思うんですよ。でも、いざ現場に行ったら楽しくなるんですけどね。

久しぶりのお芝居の現場で、改めて何か感じたことは？

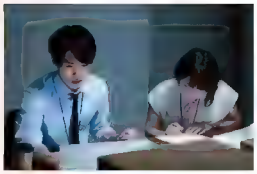
松田　役について考えたり原作を読んだりと、何かを作り上げる時間がすごく好きなんです。久々のお芝居の現場だったので緊張もあったけれど、やっぱり楽しみのほうが先に来るので、ずっとウキウキワクワクしていました。「これからお芝居の現場に行くんだ！」って。

今回の現場を通して、ご自身で特に成長したなと感じるところはありますか？

松田　えっと、飲み込む……監督がおっしゃったことを全部飲み込んで、頭の中でめっちゃ揉んで、お芝居に出すところ。自分は言葉で理解するよりも、頭の中の画で捉えているんですが、その画のコマ送りが速くなりました。そこは成長したのかなと思います。

最後にドラマを楽しみにしている読者へメッセージをお願いします。

松田　漫画原作の作品ということで、原作ファンの方たちの想いを大事にした上で、監督をはじめ多くの人たちの想いもちゃんと乗せて、責任を持って演じたいと思っています。この作品をきっかけに、Travis Japanも知っていただけたら嬉しいです。個人的には、声のお仕事にも興味があるので、いつか声優にもトライしてみたいなと思います！



普段のまま

怒涛の展開で仕事に身が入らない佳子は残業することに。手伝ってくれる結城の普段と変わらない様子に、佳子は昨日結城からプロポーズされたのは冗談かと思い始めるが……。

結城の本心

「私の『結婚』というものが役に立つのなら、使ってほしいと思いました」と、プロポーズした理由を語る結城。そこに佳子への想いはあるのか？　結城の本心はまだわからない。

大人の恋愛

オフィスラブストーリーではあるが、浴衣姿の佳子や、海でのシーンもあるなど、さまざまな胸キュンシチュエーションが登場する。その中で繰り広げられる大人の恋愛に注目だ。

AIも変化する!?

いつもクールでミステリアスな結城だが、ときにはこんなに優しい表情を見せることも！AIと言われている結城が、佳子と関わることでどう変化していくのかも気になるところ。

Q

劇中で佳子が「26歳で結婚、27歳と29歳で子供を産み、温かい家庭を築く」という理想を夢見ていましたか、「何歳で何をする」といった目標や夢はありますか?

松田　小さい頃から、そういう人生設計を立てている派でした。でも、常に更新されて変わっていくんです。そのときに興味があるものに対して熱を注ぎたいので。お芝居に関してもそうで、いろいろな作品や監督に出会って、たくさんチャレンジしていきたいなと、年々更新されています。

Q

3年後くらいに、こんな自分になっていたいというビジョンは?

松田　やっぱりお芝居の話になるんですが、新しい出会い、ご縁を大事にして、役者としても生きていたいです。

Q

好きなアニメは？

松田　ずっとサッカーをしていたので、『イナズマイレブン』が好きでした。初期の無印ですね。キャラクターだと豪炎寺修也、鬼道有人、壁山塀吾郎あたりが好きだったな。試合中に、「ファイアトルネード」とか、彼らの必殺技をガンガンに真似してやっていました。もちろん、一度も成功しなかったですが（笑）。今思うと、アニメのおかげでずっと楽しくサッカーができたんだろうなって思います。『イナズマイレブン』に助けられていましたね。

Genta Matsuda
1999年4月19日生まれ／ジャニーズ事務所所属／Travis Japanのメンバー。主な出演作は『君が落とした青空』（横原修作）『だから愛せなかった』（江原陽一郎）ほか

Photo Junichiro Noumi
Styling Katsuhiro Yokota（YKP）
Hair & make up KAZUOMI（LOTUS）

大人気配信アプリ『IRIAM』で話題のライバーに注目!

IRIAM

Liver Magazine

IRIAM×アニメージュ
2023 September Vol.6

甘々声の美少女ライバーボイス、
ぜひ聞いていきませんか？
君を虜にすること約束するよ♡
愛永星ミア
@manase_mia
Liver* 01 | 10

PROFILE

『IRIAM』で活動している
『Li:start事務所』クランD所属の愛永星ミアです。
ミアのお仕事は未来警察！
悪い子は捕まえちゃうぞ♡
ミアの声を1度聞いたら沼ること間違いなし！
初見さん、常連さんミアのこと愛してね？
浮気は許さないぞ♡♡♡

IRIAM
Lover Magazine

from 愛永星ミア

11月にデビューしてから迎えたハーフアニバーサリー。
前回の2位の悔しさをバネに
今回の『Animage』のイベントに参戦。1位になりたい、
記念になるものにしたい。他ライバーさんとの
切磋琢磨はもちろんのこと、リスナーさんとの絆を信じて、
何より自分自身を信じて戦おうと挑んだ1週間。
本当に本当に楽しく充実した時間をありがとう。
同じ想い、時間を共有できたことの感動や素晴らしさは
ミアにとってかけがえのない宝物です。
まだまだリスナーさん頼りなとこがあって未熟だけれど、
蕾がいつか花開くように、誇り高き青薔薇を胸に
これからもみんなで『奇跡』を起こし続けていこうね。
ミアにとって見守り隊のみんなが誇りであるように、
見守り隊のみんなにとっても誇りであれますように…。
みんなだーいすき♡♡♡

角夏カララ

@kararara_dia →

私と飲むお酒は
万病にも
効くらしいです。
一緒に飲も♡

from 角夏カララ

カラリスのみんな～！
みんなで掴み取ったこのページ、
すっごく嬉しいね　この雑誌を手に取って、
私を知ってくれる人がまたたくさん増えてくれると思うと
少し寂しいような嬉しいような
雑誌に載れるなんてこんな素敵な思い出
一生忘れられないねっ　私にとってもみんなにとっても
そうであってほしいと心から思ってます
たくさん泣いたガチイベだったけどこのページ見たら
また泣いちゃいそうだね　私は泣くけどみんなは
泣いちゃダメたよ、私が君たちの涙で濡れたら
どうするんですか　改めて、Animage イベント2位
本当にありがとう！
みんながいたからここまで来れたよ！
カラリス大好き～！

Kurara
(本人)

PROFILE

「Milkyway」所属1期生 角夏カララです！
20歳です！　お酒を飲みながらの
雑談枠をメインに活動していますっ！
お歌は少し苦手だけど配信中には
楽しく歌ったり踊ったりもしてます！
良かったら遊びに来てみてねっ！

芋之山かわる

@kawaru_imo →

Liver' 03 | 10

PROFILE

芋の魔女こと、
芋之山かわると申します。
そろそろ、初めましての人より
また会ったわね。なんて人が
増えてきたんじゃないかしら？
なんたって半年も連続で
載ってるんですもの。
一度足を運んでみてくださいまし。
びっくりするわよ

IRIAM
Liver Magazine

from 芋之山かわる

2回目の1ページ掲載はみんなのおかげよ！
本当にありがとう。雑誌だけを見ている方には
わからないことだけど、最後の追い上げ
気持ちよかったわね…！
この雑誌が発売されてるということは、
目標の1年掲載まであと数ヵ月となったということ。
あまり無理せず、のんびりやっていきましょうね。
芋之山かわるのライバー活動は
ここで終わるわけじゃないんだから…
なぁんて思ってるやつは一人もいねえでしょうね！！
（2ヵ月ぶり2回目）あたしたちは全身全霊で
目の前に突っ込むだけよ。竹槍は持ったか！
覚悟はできたか！あたしを誰だと思ってやがる。
芋之山かわるよ。強欲な魔女。
【1年間連続掲載】絶対にやり遂げてやるわよ！
これを手に取ったあんたも今すぐ枠に来なさい！
この雑誌が発売されているということは、
また私はこの雑誌のイベントを
走ってるってことなんだから！
貴方の応援を、
首を長くしてお待ちしてるわ！！
押忍ッ！！

#KAWARU

『IRIAM』で唯一
『Animage』に半年連続
掲載されているオンナ

須崎ぷる

@suzakipul →

Liver 05 | 10

雑色のスーパースター

PROFILE

雑色のスーパースターこと
須崎ぷるです。
配信内容はみんなであさひを見ることと、
きゅるるんとやるき!! げんき!!!
せーの!!!! すざき!!!!!です。
箱の中の生活こそ、
どこよりも楽しいんだから!

茶ノ間 みらい

@Sakura_MiRai62 →

Liver 4 | 10

『IRIAM』で
1番ファンサがすごい!
ホッとできる
案内人Vライバー

PROFILE

お茶の間の空間でホッと一息!
お茶の間の案内人!
茶ノ間みらいと申します!
毎日22時から配信! め〜っちゃ可動域広い!
Live2Dで配信しているよ!
みらいとお茶でも飲んで
ホッと一息つきませんか?
＼ホッとする〜／

Mirai Chanoma

IRIAM
Liver Magazine

「七色の歌声」を持つ
アイドルで魔性で小悪魔★

PROFILE

アイドルで魔性で小悪魔なカトレアぽんぽんです♪
原曲に溶け込むちょっぴり不思議な歌枠をしています♪
倍音の声・持っている才能・人柄で
みんなのこと虜にしちゃうよ★
無邪気に「いひひっ♡」と笑う
ぽんぽんを愛してね♪

カトレア ぽんぽん

カトレアぽんぽん

@ponpon_staff →

RECOMMEND
Liver 06 | 10

鳥皮ぽんず

@torikawa_ponzu_ →

こんぽんず☆
貴方にぎゅんをお届け！
2時間おきにお腹が空いてる
腹ペコVライバー！

PROFILE

こんぽんず☆
初ぽんず☆
焼き鳥唐揚げ大好き
バーチャル年齢22歳
鳥皮ぽんずです！
食べることと喋ることが大好き！
絶対貴方を元気にするよ。
ぜひ遊びに来てね。
『IRIAM』で待ってるよ～(*^^*)

月萌ののめ

@DolLive_Tukumo →

Liver ▸ 07 / 10

「月萌の物語を
見届けて欲しいの」
素敵な物語を紡ぐために
舞い降りた天女だよ！

PROFILE

素敵な物語を紡ぐために
『IRIAM』でみんなとお話をしている
天女だよ!!　たくさんの楽しいや
幸せを共有できたらうれしいな、
よかったら月萌の物語を見届けて
くれませんか？

一星ちぃず

→

Liver ▸ 10 / 10

ジントニックボイスが
魅力のうちなーんちゅ！
みんな騙されていく？(笑)

PROFILE

はいさーい！
南の島から配信してる
一星ちぃずって言います！
ここを読んでる君…暇でしょ？(笑)
暇じゃなくても私の配信に来て
日常のくだらない会話を
一緒に楽しみませんか？
チーズと特撮話なら任せてください！
趣味もたくさんあるから
ぜひ会話しに来てね！

るい

→

Liver ▸ 09 / 10

きみに寄り添う
メイド屋さんを
目指して！いっぱい
「るいちゃーじ！」
させちゃうぞ♡

PROFILE

おかえりなさいませ～！
るいのお屋敷へようこそin『Animage』さん！
雑談もお歌も得意な活動4年目の
セルフ受肉ライバーです(ﾔﾋﾞ)
毎日22時からきみのご帰宅を待ってるよ！
リスナーさんも優しくて
はちゃめちゃ楽しいお屋敷に
ぜひ遊びにきてね！

爆竜戦隊アバレンジャー20th 許されざるアバレ

HP✦https://www.toei-video.co.jp/abaranger20th/
Twitter✦@abaranger 20
©2023東映ビデオ・東映AG・バンダイ・東映 ©東映

STAFF✦原作／八手三郎　脚本／荒川稔久　アクション監督／和田三四郎
監督／木村ひさし
CAST✦西 興一朗　富田 翔　いとうあいこ　阿部 薫　田中幸太朗　西島未智
シルクロード（Fischer's）　ンダホ（Fischer's）　大友花恋　東訪太朗
【声の出演】津久井教生　長嶺高士　宮田幸季　篠原恵美　銀河万丈　緑川 光
関 智一

撮影／山本 一人（平賀スクエア）

全ての生物が持つ精神エネルギー・ダイノガッツを迸らせ、邪命体エヴォリアンと戦った5人の若者、爆竜戦隊アバレンジャー。彼らは新たな敵・アバレンゲッコーに立ち向かうが、TV番組での痛烈な"アバレ批判"を機に、世間からの厳しい風当たりにさらされてしまう。

03～04年に放送されたスーパー戦隊シリーズ第27作『爆竜戦隊アバレンジャー』、その約20年ぶりの完全新作が爆誕！ 当時のメインライターを務めた荒川稔久さんによる脚本、キャスト陣の掛け合いが生み出す雰囲気は、放送当時に作られた映像なのかと錯覚するほど。

その一方で、ヒーローなのにアバレるという在り様に現代的なアプローチでメスを入れたり、20年の時間の流れをドラマに組み込んだりと、今だからこそ描けた展開も。変わっていないようで進化している、面白さのコアは同じなのに新しい、令和ならではの「アバレン」が味わえるだろう。

地球をネオエヴォリアンのための死の星に変えようとするアバレンゲッコー。20年ぶりの危機を前に、アバレンジャーのダイノガッツが試される！

仲代 壬琴（なかだい みこと）
アバレキラー
「ときめき」を求める求道者外科医。凌駕たちと敵対関係にあったが、最終的に[illegible]目のアバレ[illegible]となり、[illegible]

三条 幸人（さんじょう ゆきと）
アバレブルー
涼々しい口調が玉に瑕なスーパー警[illegible]。20年の間にエヴォリアンと戦った仲間である美夏と結婚。アバレ[illegible]批判に強い[illegible]

伯亜 凌駕（はくあ りょうが）
アバレッド
ポジティブで大らかな性格。仲間に[illegible]して可愛がる。アメリカから[illegible]する[illegible]

樹 らんる（いつき）
アバレイエロー
メカいじりが得意なアバレンジャーの紅一点。言葉は標準語だが、時々[illegible]が混ざる。[illegible]を離れて[illegible]

アスカ
アバレブラック
別次元の地球・ダイノアースの竜人で、アバレンジャーのリーダー。アバレンゲッコーを倒すために[illegible]

20年目のアバレ祭り！

西興一朗　富田翔　阿部薫　田中幸太朗

深い愛を感じた脚本と演出

――西さんはアソシエイトプロデューサーとしても参加されていますが、本作の企画が決まった時の心境を教えてください。

西　結構ギリギリまで企画が成立するかわからなくて不安だったんですけど、いざ撮れると決まったら「やった！」と思いましたね。一時期は『忍風戦隊ハリケンジャー』の20周年作品と同時上映になるかも、という話もありましたが、無事単独の映画として上映できることになって。

富田　僕らもこまめに連絡はもらっていて、今の状況を教えてもらったり、意見を伝えたりしていました。

西　僕はあくまでも、みんなの代表で行ってるだけなんです。だから、みんなの意見を通さなきゃと考えていました。撮る時に「こんなはずじゃなかったのに」と思われたら、20年ぶりにやる意味がないし。エヴォリアンと戦う前に、東映側で僕は戦ってました。正義のために……。

田中　（笑）。

西　ダイノガッツで！

富田　うるさい（笑）。

阿部　もういい、もういい（笑）。

西　え？

富田　ハマってないからリアクション取らなかったんだよ（笑）。

田中　でも、10周年の時はやろうとして実現できなかったから、決まったと聞いた時はすごくうれしかったです。今回も一瞬、停滞していた時期があったので。

――いとうあいこさんも含めて5人揃うのは、本当に奇跡的だと思います。

西　そうですね。そもそも、いとうさんがいないと撮れなかったですから。芸能界を辞めたのに、またらんるを演じてくださったことに感謝の気持ちしかないです。

――荒川稔久さんが手がけた脚本も素晴らしかったです。まさに「アバレン」当時の雰囲気そのままという感じで。

西　そう、まんまなんですよ。でも進化しているのが、「アバレン」にしかできない大アバレで。「アバレン」から進化しても、「アバレン」らしさを残す。これこそ、その、「アバレン」です。

富田・阿部・田中　（笑）。

富田　最後だけ弱いんだよ（笑）。

阿部　上手く言えなかった？

西　いや、途中で「何が言いたかったんだっけ」と思っちゃって。

一同　（笑）。

富田　でも、改めて「荒川さんすごいな！」って思った。

西　ホン（脚本）は結構時間かかったんだよ。荒川さんが打ち合わせの段階から、「アバレ」を追求していくから。「これはやりすぎじゃない？」「いや、ほかの作品じゃ絶対やらないからやりましょうよ」とか話したりして。しかも、それをストーリーと絡めなきゃいけない。大苦戦しつつ、最終的にあのホンを書いてくれた荒川さんの仕事は素晴らしかったです。

阿部　20年前の作品の背景やキャラクターの関係性を、「今はこうなっているんじゃないかな」って考えて、一冊のホンに込めるのもすごい。多分当時の脚本をものすごく読み返したんだと思うし、だからこそセリフのひと言ひと言から奥深さが感じられて、本当に感動しました。

――当時にはない部分だと、仲代先生のギャグシーンが描かれたのは驚きました。

西　でも、意外と成立するんだよね。

田中　そう、違和感がない。むしろ『アバレン』らしいと思った。

富田　今まで見たことないはずなのに。

阿部　仲代先生が20年経って、あんなことができるようになったのは夢があるよね。荒川さんの愛情を感じる。

――監督の木村ひさしさんは、西さんが推薦されたとのことで。

アバレ怪人大進撃！
エヴォリアンの残党アバレンゲッコーは、3種の動物や植物、無機物を組み合わせた怪人・トリノイドの第24号。レンゲ、ゲッコー（ヤモリ）、アバレンジャーの特性を持つアバレンゲッコーによる、レンゲの利尿作用を活かした作戦には、きっと衝撃を受けるはず!?

西　そうです。木村監督と「アバレン」は相性が良いと思っていたから、10年前の時にもオファーして、お話を受けていただくところまで進んでいたんです。今回も「木村監督じゃなかったらやりたくないです」くらいの勢いで言っていて。スケジュール的に厳しいかもという話もあったんですが、なんとか調整していただいたので、これも一つの奇跡だなと。

田中　木村監督はすごく楽しそうに撮ってくださっていましたね。

西　もともと「アバレン」というか特撮がお好きだったので。

成から音楽の使い方、カット割り、ドラマの盛り上げ方、とれをとっても「アバレン」好きな人の目で撮った感じになっていて。ファンを代表して撮っているというか。

西　「俺が好きなことをやったらお客さんにも伝わる」と確信されていたんだと思うよ。

阿部　そうかも。「アバレン」の作風と監督の演出が、バッチバチに合っていましたね。

富田　以前から木村監督が手がけたドラマを観てたので、木村監督の世界観に入れることも、今回の楽しみの一つよね。

西　撮影中からお祭りというか、アバレフェスって感じでした。「楽しんだもん勝ちだろ！」みたいな。

富田　監督、変身シーンとか戦闘シーンはモニターを見て「すごーい！」って言ってましたから（笑）。

田中　そう、子どもみたいに（笑）。

富田　「監督、すごいじゃなくてOKです」って周りに言われていて（笑）。そのくらい雰囲気の良い現場でした。

頭を悩ませた仲代先生の復活

20年後の凌駕、幸人、アスカを演じるうえで意識したことは？

富田　えみポン（笑里）と結婚してたり、整体師を続けることに嫌気が差したり、20年で変わった部分もあって、いろいろ考えたことはあったんです。でも、撮影がはじまったら自然と幸人に戻れたというか。目の前に凌駕……西くんがいると、自然体で20年後の幸人になれた感じがしました。

西　自分で思っていたよりも役作りは必要なかった、本当に。「アバレン」感を大事にしようと意識しましたが、実際に20年経ってるから、今の僕がやればおのずと20年後の凌駕になるんだと思いました。

田中　自然と当時に戻れるんだよね。

西　なんだろう、不思議だよね。

阿部　僕の場合は……。

富田　筋トレ？

阿部　筋トレもしたけど（笑）。台本を読んだ時「これなんだろう？」って疑問がたくさんあって、ヒントを見つけるためにTVシリーズを見返したんです。そうしたらアスカが最後にみんなと別れる時「ここでの一年は決して忘れません」と言っていてゾッとしました。「アスカ、忘れてないんだ」「俺が20年後に忘れてたらマズいな」と（笑）。アスカがどのくらい当時のことを覚えているのか。それを考えながら何回も本編を見返したり、台本を読み返したりしました。特に仲代さんが出てくるあたりからは3周くらいして、TTFC（東映特撮ファンクラブ）に入って良かったなって（笑）。

田中　めちゃくちゃ見返しましたね（笑）。

阿部　ホン読みが一番疲れたかもしれない（笑）。何気ないセリフが20年前のこれにかかってるとか、当時言われたことを覚えているからこう言ってるんだとか発見も多くて。それをしっかり踏まえたうえで、演じたいと思っていました。

田中　僕は薫さんと違って、そこまで見返さないで現場入りしたな。

西　いいんじゃない？

富田　仲代壮琉は20年前に死んでるわけだから。

阿部　そうそう。今回の復活も奇跡みたいなもので。

富田　逆にムズいよね。

阿部　どこまで知ってていいのかもわからないし。

西　仲代壮琉復活問題も、かなり揉めたからね。復活しすぎなんだよ、これまでに！

田中　映画を観ても感じましたが、監督の愛が伝わってきました。

阿部　現場では監督が意見を言うことがあまりなくて、かなり自由に演じさせていただきました。ちょっと不安に思うくらい、のびのびやらせてもらったんですが、いざ出来上がった映画を観たらこだわりがすごい！　映画の構

復活？ アバレキラーだ!!

アバレンジャー最凶の敵として君臨していた、アバレキラーこと仲代壮琉。20年前の戦いの終盤でエヴォリアンと決別し、やがてその命を落としたと壮琉が、本作では復活を果たす。しかし、凌駕たちの前に現れた彼には、力を合わせて悪と戦った記憶がないようで……。

阿部　いろんなところでちょこちょこ出てるから。

西　「もう出す方法ないよ」ってなって。

富田　だから言ったじゃん、ドラゴンボール集めて復活させようって。

阿部・田中（笑）。

西　それ本当に言ったんだよ（笑）。まあ通るはずないから、どうしようか悩んで今の形になりました。

――撮影中に20年の歳月を感じた瞬間はありましたか？

富田　キャスト同士はなんか、ね。

西　割と会ってるから。

田中　いとうさんは久々でしたが、相変わらず綺麗で。

西　でも、20年を一番感じさせない役者を知ってるでしょ？　諏訪太朗さん。

富田・阿部　あー！

田中　全く変わってなかった。

富田　諏訪さんのシーンはすごかった。

西　現場で会いたかったなぁ。

阿部　ただ、TVシリーズから続けて観ると、スマホを持ってることに年代の違いを感じるなって。

田中　20年前はスマホなかったが。

西　ないない。当時、阿部薫が新しい携帯電話を買ってきて、画面を横に動かしてモニターにしてたことをよく覚えてる。

阿部　そうだった！

富田　「すげー！」って言ってたもんね。あの頃は写真もデジカメとかで撮っていたし。

西　あれ、今日薫電の取材でしたっけ？

一同（笑）。

田中　ヤッデンワニのフォルムって、今の若い子はわからないんじゃないですか？

西　あぁ、確かに。黒電話のシステムも。

阿部　ベルの音とかわからないかも。

西　じゃあ撮集やり直しだな（笑）。

田中　スマホに変えましょう、ヤッデンワニを（笑）。

――本作で印象的なシーンを教えてください。

阿部　今回、西くんが初めて監督したカットがあるんですよね。

西　そうですね。数日悩んだんですけど、あのシーンを撮るためにこの映画が……。

阿部　天気で三日ぐらい待ったもんね（笑）。

富田　このやり取りに時間費やして大丈夫ですか？

一同（笑）。

富田　見学に行った時、木村監督が出演するシーンがあったから、たまたま西くんが代わりに監督をやっただけなんです（笑）。

西　そう、普段は役者の僕が監督で、いつも監督している木村さんが演じるという。この難しさを料理で言うなら……。

田中　例えはいらないです（笑）。

阿部　次行っていいですよ（笑）。

富田　料理で例えればいいんですか？

田中　いや、監督として答えて。

富田　監督？（笑）

田中　（監督は）やってないから（笑）。

富田　僕は個人行動しているシーンが印象的です。撮影の前半で撮ったんですが、監督と「三条幸人ならこうするよね」と、話し合いながら撮影できた思い出があります。だから、なんだろ

そのアバレ、超究極につき

本作で初登場したアバレッドの新形態・超アバレマックス。その姿はアバレッドが変身する、体の模様をトゲに変化させたアバレモード、金色のプロテクターを装備したアバレマックスの特徴を併せ持ったように見える。誕生の秘密と能力は、その目で確かめてほしい！

う……たまねぎ的な要素もあるんですよ、料理で言うと。何にでも使えるじゃないですか。

西　スープとかに使っても味が染みこみやすいし。

富田　単体でも食べられるし。

西　だから、このベジタブル戦隊オニオンジャーというのはですね。

一同　(笑)。

阿部　どんどん脱線する(笑)。アクションシーンが僕は印象に残りました。アフレコをした時に違和感を覚えたんですが、ブランクがあるからだと思ったんです。出来上がった映像を観たら、実際に当時とは少し違っていて、過去ードラマチックなアクションになっているなと。

富田　そうだね。アクション監督も違うから、今回は。

阿部　現行の『王様戦隊キングオージャー』とは、また違ったアクションの素晴らしさが感じられると思います。ドラマの一部として捉えるとより深く面白く観られると思うので、楽しみにしてほしいです。

西　いつたまねぎとかけてくれるのか、期待してたんだけど(笑)。「深く」ってところは引っかけてると思ったのに。

田中　それは気づいた(笑)。

阿部　ごめんごめん(笑)。

田中　僕は当時、役的になかなかみんなと一緒に変身できなかったから、今回5人で変身できたのはうれしかったです。改めて変身するのっていいなと。

西　邪魔しちゃってゴメンね。

田中　あー、そうかあれが(笑)。

西　せっかく久しぶりにみんなで変身できたのに(笑)。

次の新作はまた20年後？

——もしまた新作が作れるとしたら、やってみたいことはありますか？

西　いやー、ないですね！　やりたいことは全部やりきったんで。

富田　いまは『あしたのジョー』みたいな感じです。

阿部　ある意味、最高のもう一つのエンディングになっている気がします。

西　うん。そういう映画になった。

阿部　今回を超える『アバレン』はもう作れないんじゃないかな。

田中　いや、機会をもらえるなら今日からでもやりますよ、俺(笑)。

富田　また20年後にやりたいですね。みんな60代になった頃に。

西　60歳になってできる『アバレン』ってなんだろう？　僕らみんなが「面白い」と思えるものがあって、お客さんが「観たい！」って言ってくださったら、もしかしたらやるかもしれない。

田中　じゃあ20年後にやりますか、ドラゴンボール！

西　20年後ならやれる？(笑)

田中　その時は仲代王琴から悟空に名前変えますよ。

一同　(笑)。

西　なんでお前が主役の話になってるの？(笑)

阿部　口癖がトキメキじゃなくて、ワクワクになっちゃうんだ(笑)。

富田　「ワクワクしてきたぜ」とか？(笑)

田中　いいね(笑)。

——盛り上がっているところ申し訳ないのですが、お時間が来てしまったので(笑)、最後に『アバレン』を観たことがない読者に向けて、メッセージをお願いします。

西　「アバレン」はいろいろな要素が詰め込まれた作品だと思うんです。「鬼滅の刃」の要素も、「呪術廻戦」の要素もある。

富田　あと「推しの子」。

西　そう、「推しの子」もね！　まあそれはともかく(笑)、『アバレン』を観たことがない人、10代の若い人たちが観ても絶対面白いんで！　アニメと同じ感覚で観に来てもらえるとうれしいです。

田中　そうですね、本当にフランクな感じで観てもらいたいです。一時間だけ、僕らに時間をください。

西　観たら「え、こんな面白い戦隊ものがあるの？」って思うんじゃないかな。

富田　とにかく観た人の感想を知りたいですね。特に10代の子なら、ちょっと違った感覚の意見が出てくる気がします。ぜひ感想を教えてほしいです。

西　もし今度『アバレン』をやるなら、今の若い人たちの意見はかなり重要になってきますよね。その人たちがドラゴンボールを観たいかどうかが。

富田　そうそう、20年後に(笑)。

阿部　今の子たちが、TVシリーズの『アバレン』を観た時にどう思うかも気になりますね。「日曜の朝7時半にこんなことやるのか！」と言われたこともあるくらい、意外とハードな話だったから。

田中　ファンの人たちはもちろん、戦隊に詳しくない、それこそ『アバレン』を知らない10代の人たちにも観てもらいたいですね。そういう人が観ても、すごく面白い作品になっているはずなので。

西　単純に面白いと思っていることを投げかけてるから、10代の子が観ても「面白い」と思える世の中であってほしいよね。そう、首相は思います。

富田　えっ、自分のことを首相って呼ぶタイプでしたっけ？

西　うん、首相。

富田　ダッサ(笑)。

阿部　むかし舞台でそういう役やってたよね(笑)。

富田　でも、それがし的には……。

西　自分のことそれがしって言うの!?　ダッサー！

一同　(笑)。

田中　もう締めよう(笑)。

阿部　まあ、『アバレン』はこんな人たちがやっているんで、10代の皆さんも「面白いおじさんたちがやってたんだな」くらいの気持ちで観に来てください(笑)。

アニメージュ

Animage

畠中祐 連載

タスクのつぶやき

TASUKU no TSUBUYAKI

第3回 時が流れて変わらないもの

声優・アーティストの畠中祐さんが、気づいたことや好きなものについて自由に執筆するコラム連載！今月は10月から公演がスタートする音楽座ミュージカル「シャボン玉とんだ宇宙（ソラ）までとんだ」の役作りで訪れた、巨大迷路の思い出などを語っています。

いやぁ、あちぃ。

なーんで俺は直射日光の下、巨大迷路なんて挑戦しちゃってるんだ。

この時の栃木の気温は35度。まだ7月だってのに。

いや、一応理由はあるのよ。今度チャレンジするミュージカルで、巨大迷路が出てくるんだけど、一応俺も体験しといたほうがいいかなぁ～、なんて考えて行ってみるかぁ、と雑な役作り。

昭和の巨大迷路がもう軒並み潰れちゃってて、結局栃木の山奥にたどり着いたってわけ。しかも、ちょうど舞台の時代設定と同じ1980年にできた巨大迷路。喜び勇んで朝っぱらから車飛ばして、チャレンジしにきたんだけども……。

舐めていた。

デカい。デカすぎる。

迷いに迷って1時間。

汗ダラダラ。一向に見えてこない出口。

先の見えない焦燥感。

そんな中で、ふと、このコラムを書くために読んだ、山田康雄さんの文章を思い出す、、、

このコラムも俺が書くのはまだ2回目。

観劇もしてるし映画も観てるから感想とかなら書けるけど、まーだフワフワしてる。山田さんのコラム「ルパンのつぶやき」では、2回目は……えっと……何書いてたかなぁ。

あぁ、そうだ。

アニメ業界への不満が赤裸々に書かれていたんだった。

特に、録音時に僕らが合わせる「画」が出来上がらない現状への憤りが綴られていた。

今も、画が完成された状態で収録をしてるかというとそりゃそうじゃないし、あまりにも画が出来てない時は、白い画面にボールド（キャラ）とに色分けされたマーク）が出るだけって現場も、本当に稀だがある。

まぁデビューした時からそうだったわけだからなんの違和感もないが、山田さんの「その責任の一端はそれを許した役者にある」という言葉が痛い。

でもだからって、声を大にして全部画を作ってくださいって、なかなか俺は言えない。

若手の立場もあるけども、何よりアニメのスタジオに行って戦場のような現場を目の当たりにすると……アニメーターの人たちの、あのギリギリのところでの頑張りを見ると、画を全部アフレコまでに用意してくださいなんて、俺、口が裂けても言えない。

でもその分、ルパンの現場の、あの何が何でもアフレコまでに画を間に合わせる気合い（今もその伝統は続いている）は凄まじいし、役者の身も無茶苦茶引き締まる。

なんと、当時のルパンのTVシリーズはストックが一本もなかったらしい。つまり、山田さんが倒れたら放送に穴があく。甘えてない。甘えてなさすぎて怖いくらいよ。**山田さんはそのお互い甘えない緊張感を作りたかったのかもしれない。**山田さんはその緊張感の中、芝居したかったんかなぁ。

この山田さんのコラムに書いてあった「たいしてウマクなくても、ソコソコ食えちゃう変テコリンな声の世界。もちろん、うまい人ははいて捨てるほどいるが、ぬくぬくと甘えていれば近い将来、シッペ返しをくらうのは必至」は、的を射ている気がする。

時代が変われればアニメ業界を取り巻く状況も刻々と変わる。その中で俺は、**言い訳がましく、何かに甘えて芝居してないか？**

「悪条件下でスンナリOKされる芝居（もはや芝居とはいえないが）のできることを、自分の車越した技術と勘ちがいし、うぬぼれ、得意がるバカもいる」（アニメージュ1979年2月号抜粋）

と、山田さんに指をさされながら言われたような気がして、ハッと立ち止まる。

目の前には壁。

あぁ行き止まりだ。

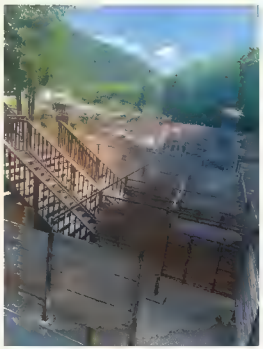
そうだ。俺迷路にいるんだった。

そうはなりたくねえよなぁ。**無駄かと思う役作りも、それは自分次第だ。**

と、まだまだゴールの見えない迷路の中を、迷いに迷いながら、歩き回る。

しかし、本当にあっちぃなぁ。

先は長えなぁ。



▶▼畠中さんが訪れたのは、国内最大級の広さを誇る「巨大迷路パラディアム」（栃木県日光市）。興味を持った方はこの夏、挑戦してみては？

はたなか・たすく
8月17日生まれ／神奈川県出身／賢プロダクション所属／声優だけでなくアーティストとしても活躍中／代表作：『LUPIN ZERO』（ルパン）、『僕のヒーローアカデミア』（上鳴電気）、特撮ドラマ『ウルトラマンZ』（ウルトラマンゼットの声）など

お便り募集中！

本コーナーではお便りを募集中！　テーマ宛のものだけでなく、感想もお待ちしています。

第1回テーマ
「最近、あなたの気持ちが動いた瞬間は？」

郵送
〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒CS
㈱徳間書店 アニメージュ編集部「タスクのつぶやき」係

Web投稿
https://animageplus.jp/webform/

放送►「超！A&G＋」毎月最終土 夜8時～9時　アーカイブ►文化放送ニコニコA&Gチャンネル
Twitter► @radioradio1134　メール► radioradio@joqr.net

文化放送 超！A&G+のススメ

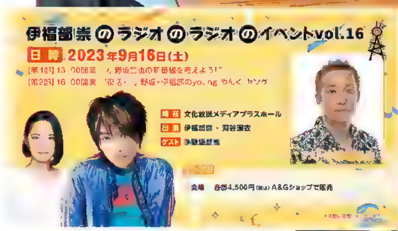
伊福部崇のラジオのラジオ

毎月最後の土曜夜は、ラジオというメディアのあり方について考えるきっかけに!?
今年4月に10周年を迎えた、濃いラジオオタクに向けたトーク番組です！

『ラジオのラジオ』はその名の通り、ラジオの構成作家・伊福部崇さんが、ラジオ大好きさんと一緒に、ラジオについて語り合うラジオ番組です　毎回、演者やスタッフなど、ラジオ関係者をゲストに呼んで、その人のラジオ観をお聞きしています

編集部がお邪魔した日（7月29日放送回）のゲストは、様々なラジオ関連書を手がけるフリーの編集・ライターの村上謙三久さん。最新著書『いつものラジオ リスナーに聞いた16の話』は、いわばラジオの生活史のようなインタビュー集だそう。ハガキ職人出身でラジオ漬けの人生を送る伊福部さんは、村上さんの著書に興味津々「基本的にラジオは毎回流しっぱなしで消えていくもの　だからこそ演者の本音が語られるし、それはリスナー一人一人の中にしか残らない　そして人の数だけラジオ体験がある！」と、お二人でテンション高くセッションしていました

9月16日開催の「ラジオのラジオのイベントvol.16」では、かつてのラジオの相方である声優の小野坂昌也さんがゲストです。四半世紀前の知る人ぞ知る伝説の番組が、一日だけの復活になるそう　我こそはラジオオタクという人や、そんな猛者たちの集いを垣間見たい人は、文化放送メディアプラスホールへ行ってみては？



12月25日生まれ／愛知県出身

ゲストの村上謙三久さん（右）は番組黎明期からの常連出演者

伊福部崇&刈谷瑠衣 Interview

首の皮一枚残った10周年!?

―この番組は、ラジオについて話すラジオというコンセプトで続いていますね。

伊福部　そうですね。今でこそ、こういったメディアの制作舞台裏を伝える番組も増えてきた気がしますが、始まった10年前の頃は珍しかったと思います。

―刈谷さんは今年4月から11代目パーソナリティということで、

刈谷　はい。1年限定のお仕事なので、もう3分の1は終わってしまいましたが、番組を通してラジオにどんどん詳しくなっている気がします。

―伊福部さんとゲストさんの濃いトークがポンポン飛び交うので、刈谷さんが話に割って入るのは大変なのでは？

伊福部　歴代アシスタント、みんなそれに悩んでます（笑）。

刈谷　（笑）。もうそこは無理せず、素直に相槌を打つようにしています。そして、なるべく知ったかぶりをしないようにと。

伊福部　ついディープな話になりがちなので、一見さんが入れない番組になっちゃうのもまずいんですよね。アシスタントが分からないことは分からないと言ってくれると、そこで僕も説明ができるので助かっています。

―9月には番組イベントも開催されます。ゲストの小野坂昌也さんを一言で紹介するなら？

伊福部　見聞は広いのに、視野がめちゃめちゃ狭い人。自分の道をひたすら歩いている人ですね（笑）。小野坂さんとの付き合いは長くて、一緒に『小野坂・伊福部のyoungやんぐヤング』をやっていたのは20年以上前です。BSQR（当時あった文化放送制作のBSデジタルラジオ）での放送という、かなり限られた人しか聴いていない番組でしたが（笑）、いまだに覚えてくれている人がいたら、ぜひ遊びに来てほしいです。

刈谷　小野坂さんは、私が中学時代に好きだった『テニスの王子様』に出演していらして、私が初めて意識的に聴いたラジオも『ラジプリ』（文化放送の地上波で放送中の『テニスの王子様 オン・ザ・レイディオ』）でした。小野坂さんの回があまりに面白かったので、録音して何度も何度も聴いていたんです。

―じゃあお会いしたら「聴いてました！」って伝えないと。

刈谷　いえいえ、そこはお仕事ですから自重します。

伊福部　小野坂さんは結構な人見知りなので、「ファンです！」みたいな人が来てもスンっとして黙っちゃう気がする（笑）。

―最後に、今後の抱負をお聞かせください。

刈谷　私は1年間という期限付きですが、20年続くための1年にしたいです。リスナーさんにもっともっと楽しんでいただける番組になるよう、お手伝いができればと思います。

伊福部　思えば10年間、スポンサーなしでやってきたんですよね。そう考えると感慨深いですが、まあ文化放送の偉い人たちは『ラジオのラジオ』なんて知らないんじゃないかな（笑）。

刈谷　そんな！（笑）

伊福部　今年4月の大改編で月1放送にはなってしまいましたが、首の皮一枚残していただけたのはありがたいです。今後も番組のコンセプトは変わらないので、呼びたい人を呼んで、ゆるっと長く続けていければと思います。

『ラジオアニメージュ』も

久保田未夢さんがパーソナリティを務める『ラジオアニメージュ』が文化放送「超！A&G＋」にて放送中。「アニメージュ」の最新情報や濃いアニメトークが聴けるこちらの番組もチェックしてね。

次回放送は8月17日木 夕方5時30分～6時！

アートギャラリー Art Gallery

◀神奈川県／Yu-li
W子安キャラ降臨！ 確かに実林さんもおしゃれな帽子が似合いそう～

▲岡山県／てがみ（15）
野球ユニには、帽子が欠かせないよね！

▲千葉県
伯ミシェル（18）
かなちゃんの恋する瞳!?麦わら帽子も似合うね☆

GAME ▲福岡県／ぷっとび恵理子（30）
夏色の爽やかなエンピーから、目が離せない☆

▶兵庫県／日向涼子
なんと鳥姿でキュアウィングの帽子とは。あげはさん緒に、はいポーズ！

アニメ歳時記

今月のテーマ

帽子の日

8月10日は、ハットにちなんで「帽子の日」。暑い日の続くこの季節、推しキャライメージの帽子で熱中症対策をするのも楽しそうだね♪

▲鹿児島県　さゆ（15）
灰もアニメに登場してくれるかな

▲山口県　IMAGE（44）
和装にレトロ帽子がベストマッチ◎

▲茨城県　Re（35）
魔女っ子衣装風でおしゃれだよね！

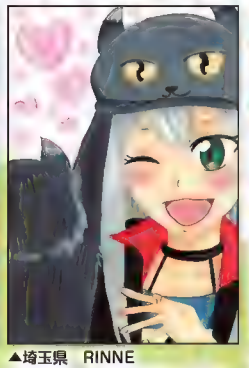
▲神奈川県　miマカロン（27）
麦わら帽子の十四松、楽しそう◎

▲神奈川県／黒蝶姫（28）
世界一帽子が似合う兄弟かもね♪

▲秋田県　カタバミ
耳出し帽とアイスで夏を満喫♪

▲栃木県／夏烏 葵
帽子キャラといえばメモルでしょ!!

▲埼玉県　苺シロップ（37）
ポケモン少年といえば、やはり帽子!?



▲埼玉県　RINNE
よぞらモチーフの帽子がかわいい♥

▲山梨県／とうや
乱歩さんの帽子はいかにも名探偵☆

キュアマカロンの力で、世界中をトキメキでいっぱいにしてほしいな♥

▲福岡県／ひいらぎ一帆

◀大阪府／水曜日
期待の秋新番。初回2時間SPの発表で注目度も急上昇中だね！

▲富山県／竹田深雪（22）
コンさん!?

▲千葉県／つな子
帽子の羽根飾りが英国紳士風!?

アイ譲りの才能で、芸能界の荒波を乗り越えていけ！

▲神奈川県／るん

▲千葉県　みこ
懸命な真田さんに励まされる！

▲大阪府／なまず48号
夏らしいボトルシップ。二人の魅力も閉じ込めちゃえ!?

▲愛知県　光流ヒスイ。（14）
無一郎にも大きな変化が。
人としてさらに強くなったよね

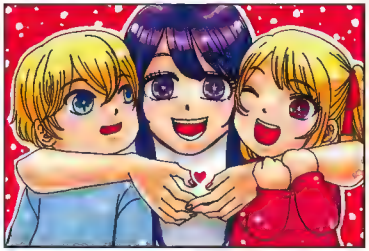
VTuber

▼宮城県／緋桜ひよ子（15）
太陽よりも剣持くんが眩しい♥

▲京都府／にあ
こんな茶毘にも切ない過去が……

▲神奈川県／織人（51）
綾波といえば、月のイメージだね

▲神奈川県／ヒロカ
夜露のキュートな一面が炸裂♥



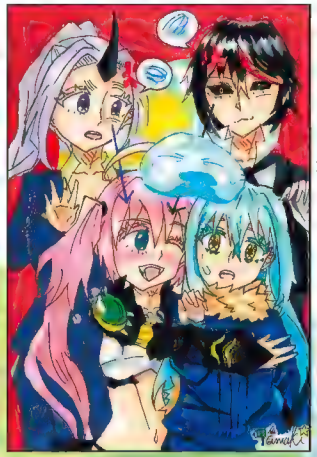
▲東京都／くま&ピーコ（41）
アクアとルビーこそ、アイにとって一番の宝物だね♪

福島県／翠葉
ヲタクの世界を取り戻すために、頑張れアナーキー!!

▶滋賀県／MAX SLEUTE
ポクとチチャとマリーの冒険は、今も続いている!!

▶神奈川県　のにのー
マリンルックの黒名と氷織。サッカーはお休みかな？

◀神奈川県／たまちゃん（8月21日で12歳）
リムルにおつかいをしたに対して、シオンやディアブロはどう出る？



今月のイラストコンテスト！

フリースペース
Free Space

選者（寸評）菊田幸一さん（キャラクターデザイン）

『この素晴らしい世界に爆焔を！』

どのハガキも、爆裂魔法級の元気よさ!?
めぐみんに負けない全身全霊をかけた
破壊力で、フリースペースに
爆焔を巻き起こせ!!

1等賞

神奈川県／のにの

▲全体的にピンク系の色合いで統一されていて、ふんわりした雰囲気があります。人物と背景にあしらわれたグラデーションが鮮やかで目を引きました。めぐみんとゆんゆんの表情も、かわいくてすてきです

2等賞

静岡県／白玉ゆきみ

◀水彩ならではの淡いタッチがいいですね。中二病っぽいポーズや、自信に満ちた表情が、すごくめぐみんらしくて、カッコよくてかわいいです

静岡県／鈴

▶帽子だけをピックアップする意外性というか、アイデアの勝利ですね。ポップでカラフルで、デザイン的にもよくまとまっていると思います

3等賞

栃木県／竹ちゃ（47）

▲ストレートにかわいい！　ゆんゆんとめぐみん、こめっこの関係性が伝わってきます。彩色もとてもていねいで、愛を感じます

神奈川県／森川鶴子（26）

◀反対色を使った思い切りのよさで、パキッとした鮮やかな印象になっています。自信ありげな表情も、めぐみんらしいですね

埼玉県／高橋和也（17）

◀こめっこにとって、やはりちょむすけは食糧!?　関係性の面白さが出ています。後ろにいるホースト（ゆんゆんの妄想）の哀愁漂う感じも好きです

長野県／鈴鳳Stella

▲ツンとしためぐみんと、何か騒いでいるゆんゆんが、本編そのままといった感じですね。絵柄もかわいい！

東京都／あま（21）

▲まさか第3話の紙袋シーンをチョイスするとは！ ネタ絵かと思いきや、デザイン性にも優れていて完成度が高いです

東京都／トライスター（29）

▲青髪とジャージの作業員！この二人が登場した時には安心感を覚えました。きっと同じ気持ちで描いてくれたんでしょうね

兵庫県／

◀少女漫画の魔法少女風ですが、めぐみんらしさがちゃんと保たれています。ファンタジックな背景もすてきです！

石川県／たると

▲魔法学園の仲間たち。誰が誰だか分かるところが、デザイン的に優れています。柔らかいタッチもいいですね

岩手県／魔術師まつひろ（52）

◀あまりに美人すぎて、思わず笑いが漏れてしまいました。ゆいゆいが現実世界にいたら、こんな感じかもしれません

神奈川県／るん

◀作品のかわいい部分が凝縮されているよう。二人おそろいのちょむすけパーカー、僕も欲しくなりました！

茨城県／ココア

▲根はすごくいい子という、めぐみんの天使な部分が表されているよう。描いた方も、きっと心根が優しいんでしょうね

福岡県／みいな（28）

▲文字の彩色にこだわりを感じます。ぽてっとしたぬいぐるみのような、ちょむけすけのとぼけた感じがいいですね

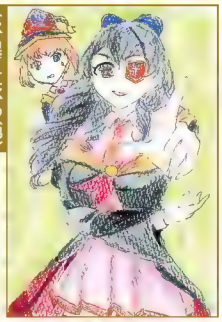
福島県／エーリク

▲画風がキャラにぴったりマッチしていて、思わず「ぶっちん先生ってこういう人だよね」と納得してしまいます

静岡県／せいんとせーちゃん

▲そういえば猫だった、と思い出させてくれる1枚。ちょむすけのマスコット的なかわいさが堪能できる絵です

大分県／紅水晶（13）



▲めぐみんさえも困惑させるあるえ。いかにもなポーズもいいですね。頑張って描いてくれたことが伝わってきます

埼玉県／ノッチ

▲ED映像は僕自身も意表を突かれたので、そこにインスパイアされて描いてくれたことが嬉しいですね！

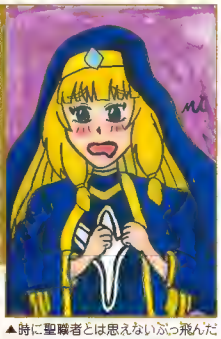
埼玉県／テルン

▲アーネスのかわいさ、うっさかり騙されてしまう憎めない雰囲気が出ています。背景の星形シールもかわいい

大阪府／カルネアデス（57）

▲何が描きたかったのかがよく分かる、一点突破な潔さに惹かれました。色遣いもロックンロールですね

北海道／米紅来杏（めめ）（4）



▲時に聖職者とは思えないぶっ飛んだ行動をするセシリー。彼女の二面性というかヤバさが表現されている気がします！

三重県／チヤ

▲なかなかにとんでもない両親ですが、娘たちに対する愛情は本物というポイントが表現されていて、いい絵です

滋賀県／異性勇者カスト

▲原作の制服デザインのかわいさを再確認しました。その魅力を感じ取ってくださったことが嬉しいです

ワンポイントレッスン

『この素晴らしい世界に爆焔を!』

One point Lesson!

いろんなアクア様

菊田幸一さん
(キャラクターデザイン)
きくたこういち/1984年生まれ。フリー。主な参加作品は『BLUE REFLECTION RAY/澪』(キャラクターデザイン)、『球詠』(キャラクターデザイン)、『ハイキュー!!』(絵コンテ・演出・原画)ほか。

© 2023 暁なつめ・　鳴くろね/KADOKAWA　このすば爆焔製作委員会

10月号 『山田くんとLv999の恋をする』
選者:濱田邦彦さん(キャラクターデザイン)
募集終了

11月号 『わたしの幸せな結婚』
選者:伊藤晋之さん(総作画監督)
8月31日(木)消印有効

12月号 『実は俺、最強でした?』
選者:制作スタッフ
10月2日(月)消印有効

募集作品＊ 11月号のフリースペースは『わたしの幸せな結婚』。応募締切は 8月31日(消印有効)。続く12月号は『実は俺、最強でした?』の登場です。応募締切は10月2日(消印有効)。

応募要項＊●ハガキ、またはハガキ大のサイズに描いて送ってください。●イラストの裏には、住所・氏名(本名)・ペンネーム(必要な場合)・年齢・月号と作品名(例えば【11月号『わたしの幸せな結婚』】など)を忘れずに書いてください。●イラストの簡単な説明もあると嬉しいです。WEB 投稿も受け付けます。●投稿イラストは選者に譲渡する場合もあります。

取材 Today's Diary 日記

6月でフィナーレを迎えた『このすば爆焔』。しかしスタッフはそのまま休む間もなく『このすば3』の制作になだれ込んだそう。お疲れさまです!

そんな新シリーズ絶賛作業中の菊田さんに、読者のハガキを見てもらいました。

「『このすば』はコメディなので、笑わせることに重点を置いていたんです。でも、スピンオフ作品の『爆焔』では、キャラをできるだけかわいく見せるというのが目標でした。それがファンの皆さんにも伝わっていたのか、かわいいイラストがたくさんで嬉しいですね」

絵を描く上でのアドバイスを教えてください。

「めぐみんのサイドの髪がどこから来るのか、ちょっと不思議ですよね。キャラ表では原作に合わせて、耳の上から下ろす設定にしています。ただ、耳の下から手前に流れてきたほうがバランスがいい場合もあるので、絵として自然に見えるならどっちも OK にしています。アニメーションって本来は自由なものだと思うし、『このすば』はセオリー通りでなくても許される作品だと思うので、皆さんも自然に描いてくれたら嬉しいです。あと、紅魔族はみんな黒髪で目が赤いので、差別化が難しいですよね。アニメでもなんとかキャラごとの変化を出そうと色彩設計で頑張りました」

本編の作画作業で苦心したところはありますか?

「作画については、これまでのシリーズで培ってきたスタッフへの信頼感があるので、安心してお任せできました。心残りは、セシリーを描くチャンスがあまりなかったことかな。ウォルパクももっと描きたかったです」

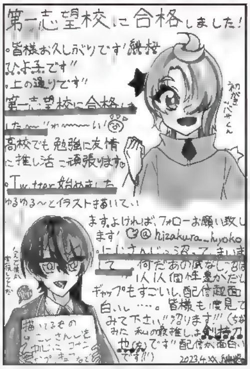
『このすば3』に向けての意気込みを聞かせてください。

「『爆焔』は安部祐二郎監督の演出手腕もあり、女の子たちの青春物語が楽しく作れた手ごたえがあります。僕も非常に勉強になりました。この経験を活かして、次作でも皆さんの期待に応えられるよう頑張ります!」

▶にこやかにハガキに見入る菊田さん。「こうして皆さんの絵を見ると、あらためて原作のキャラ造形の妙を感じますね」

宛先 → 〒141-8202 東京都品川区上大崎 3-1-1 目黒CS　株徳間書店 アニメージュ「フリースペース○月号」係

Letter Room



▲宮城県　緋桜ひよ子(15)
高校最初の夏休みはどんな感じかなっ？

▲滋賀県／MAX SLEUTE
五山の送り火を見るたびに思い出す……

▲千葉県／前川 泉
新旧 Re:vale の3人がそろい踏み。描くのに4日かかったというだけあってステキ♥

▶福岡県　ぶっとび恵理子(30)
怪盗ヒガナにならどんな物を盗まれても許してしまう!?

『ひろプリ』の今後の展開に期待！

『ひろがるスカイ！プリキュア』、キュアバタフライが加わり、4人そろいましたね。キュアウィングとキュアバタフライの連携もすばらしい。合体技である「プリキュア・タイタニック・レインボー」は、途中まではド派手でカッコいいのですが、最後は巨大なプニバード姿になってランボーグを押し潰すというのがインパクト大です。

スカイランドとアンダーグ帝国は大昔に戦って以来、交わることがなかったのに、今になってスカイランドを襲いエルちゃんを狙うようになった、とヨヨさんが言っていました。もしかして別の勢力が両国を統御しているのでは？ 敵や世界設定についてはまだ謎が多いので、個人的にはそのような展開なら燃えます。

放送情報では第22話「バッタモンダーの最後の秘策！」にソラの心を折る事件とありますが、行方不明となったシャララ隊長と何か関係があるのでしょうか？ 嫌な予感がすると同時に、とても盛り上がりそうな展開が待っていそうで、テンションがアゲ↑です。

新潟県／ひろーがーる

ひろーがーるさん、第22話を観てみていかがでしたか？

続く第23話、なかなかいいお話だったね。シャララ隊長の言葉にぐっときたよ。

ソラとましろの友情もさらに深まったし、終わりよければすべてよし、かな？

『青オケ』で描かれる「演じる演奏」の魅力

学生のころ愛読していたクラシック音楽雑誌「レコード芸術」が、7月号をもって休刊となった。配信サービスの台頭、ファンの高齢化、市場の縮小などが背景にあるのだろう。かくいう私も、最後に購入したクラシックのCDは、ピアノの巨匠マウリツィオ・ポリーニが39年の歳月をかけて完結させた『ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集』で、もう8年も前だ。なので、クラシック音楽をテーマにした『青のオーケストラ』には頑張ってほしいと思ってしまう。

こういった物語はだいたい、天才的な主人公がコンペティションなどを通じてソリスト(独奏者)として成長していくのがパターンだ。本作の主人公・青野一も、世界的なヴァイオリニストの父に指導され数々のコンクールで好成績を収めた天才少年。だが、彼はソリストとしての道を進んでいるわけではない。入学した高校の部活紹介でオーケストラ部の演奏を体験した彼は、演奏者と観客の一体感に圧倒され、入部することを決意する。

象徴的なのは、顧問が部内オーディションの結果について、青野にこう言い放つところだ。

「お前の演奏は『ソロ』なんだ。今のままだとおまえの音は調和しづらく浮いてしまう。それじゃあダメなんだ。何故ならここはオーケストラだからな」

アニメ版の見どころ(聴きどころ)は、やはりクラシックの名曲の演奏シーンだろう。声優が役柄を演じながらセリフを発するのと同様、演奏家も役柄を演じながら演奏しなければならない。例えば、オーケストラ部の仮入部で青野とライバルの佐伯直がヴィヴァルディの「四季」を合奏するシーン。青野を挑発する佐伯の演奏にキレた青野は、喧嘩するように演奏をヒートアップさせていく。実際の演奏家は相手に合わせるように演奏するので、逆に合わせないように演奏する経験がない。だから二人の演奏を担当した東亮汰さんと尾張拓登さんは、相当悩んだようだ。こうした演奏家の苦労を想像しながら聴くのも一興だろう。

さて、ある記事でオーボエ奏者の茂木大輔さんが、「音大の学生たちから『のだめカンタービレ』の音楽会に行って、音楽の道に進む決心をしたと言われることが増えてきた」と語っていた。本作もクラシック音楽ファンのすそ野を広げる一助になることを期待している。

東京都／ダーザイン

クラシック音楽にはまったくの素人の僕ですが、『青オケ』ではキャラごとに奏でる音色が違うのは、すごくよくわかります。

単純に上手く弾けばいいってわけじゃないから、演奏者さんも大変だよね。バランスもあるだろうし。

「合わせる」というのが吹奏楽とかオーケストラの醍醐味なんでしょうね。これぞ部活って感じですてきです。

7月号アンケートハガキ

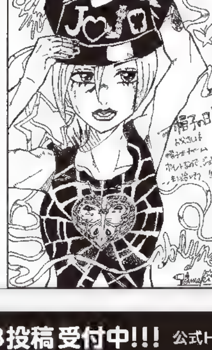
★表紙の「呪術廻戦 懐玉・玉折」が気になったので、急いで予約しました。内容がとても豪華で夢中になって読みました。ほかにも、いろいろなアニメの情報が知れてよかったです。気になった作品があったので観てみようと思います。これからもアニメージュを購入します!! 栃木県／S(16)

★「フリースペース」のお題に「ノケモノたちの夜」を選んでくださり、とても嬉しいです！ たくさんのイラストを拝見できて、すごく幸せです!! 北海道／O(17)

★「ラジオアニメージュ」の久保田未夢さんが1日編集長として、編集部のお仕事を体験している裏側レポートがすごく面白かったです!! 最後のほっぺを人差し指で押さえた表情と仕草がとてもかわいいです(^^) 静岡県 O(25)

アニメ歳時記

今月のテーマ
帽子の日

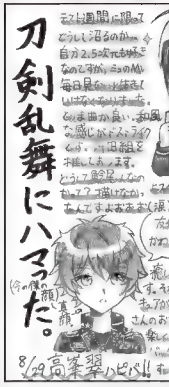


◀神奈川県　たまちゃん(8月21日で12歳)
お父さんを真似して、徐倫も帽子にチャレンジ◎

▶東京都　飛剣 祐
アニエスとアズサとイレイナとめぐみんで帽子チェンジ☆

▶福岡県　本田由美子
フブキの華やかな帽子姿に先生やジェノスもはっとする!?

WEB投稿受付中!!! 公式HPからも投稿できます。https://animageplus.jp から赤いバナーをクリックして進んでください。イラスト画像も投稿できます!



◀夏知県　光流ヒライ（14）
頑張る刀剣男士の姿を見て、テスト勉強でも励まされたのでは？

◀福島県　みにゃん（34）
太陽を克服した禰豆子の笑顔には、炭治郎でなくてもうっとり！

◀三重県　舞夢（19）
かなちゃんは、まさに正当派のツンデレヒロインといった感じ♪

◀広島県／上田美和（35）
イチョウの葉が分からない無一郎くんも、もちろんかわいいね♥

◀神奈川県　のにのー
猫と戯れるアーサーとカルナ。猫耳パーカーもキュートだね☆

◀佐賀県／的野秀紀（50）
『ロックマン』シリーズの魅力は、35年経っても色褪せない……

◀東京都　柚源このは
「華Doll*」ファンには、待望のアニメ化。続報が待ち遠しい!!

◀千葉県／みこ
あれだけ食べていても、体重がヤバくならない秘訣を知りたい！

私、困ってるんです～

回答編（6月号）

男性だけれどメイク道具を買いたい

属性勇者カズトさんへ

★男性の化粧をタブー視する論調に客観的な根拠はありません。あくまで偏見なので、メイク道具の購入を恥ずかしがることなく少しもないでしょう。なので、堂々と買われることをお勧めします。ただ、どうしても人目が気になるのであれば、百均や量販店、ドラッグストアなどを利用されるのがよろしいかと思います。対面販売ではなく、支払いもセルフレジが多くなっておりますので、安心です。

宮城県／仙台四郎（54）

★男性が女性用化粧品を使うことはあまりお勧めできません。男性の肌は、男性ホルモンの影響で皮脂の分泌が多く、キメが荒くなっています。女性用化粧品は女性の肌質に合わせて開発されているので、男性が使うと肌トラブルを起こしやすくなります。今は男性用化粧品もかなりのカラーバリエーションがあるので、まずは男性用化粧品をそろえてみてはいかがでしょうか。

また、舞台メイク用品なら男性でも買いやすいかと思いますが、それらは一般的な女性用化粧品よりもさらに肌が荒れやすく、ていねいなスキンケアが必須です。美しく装いたい気持ちは分かりますが、できるだけ肌に負担をかけないよう心がけることをお勧めします。

東京都／ドクターM

★「男の娘になりたい」とのことですが、女装に対する社会の目は決して温かいものではありません。少々厳しい言い方になりますが、それでもメイクをしたい、男の娘になりたいという強い意志があるのなら、「メイク道具を買うのが恥ずかしい」といった些細な感情は乗り越えられるのでは？

それと、メイクは肌荒れなどのデメリットも少なくないので、興味本位で「ちょっとやってみたい」程度の気持ちでいるなら、やめたほうがいいと思います。

島根県／ブルーバード（37）

★いきなり女装に挑戦すると、ちょっと痛々しい仕上がりになりそうな気が……。まずはメンズコスメを買って、メイクやスキンケアを練習してみては？　LOFTや東急ハンズにはメンズコスメがそれなりに置いてあると思うし、店員さんにも普通に相談できると思いますよ。

東京都／真夜（21）

ちょっとキビシい意見もありましたが、いかがでしたか？

お悩み編　地元の書店が閉店してアニメージュが買えない

★私は前までは地元の本屋さんでアニメ雑誌を買っていましたが、5月に閉店してしまいました。そのため、アニメージュなどのアニメ雑誌をどこで買えばいいのか悩んでます。皆さんは近くに本屋さんがない場合、定期購読しますか？　それともほかの本屋さんに行きますか？　それ以外の意見もあれば、ぜひ聞かせてください！

鹿児島県／上下チエ（35）

寂しい話だけど、町の本屋さんがどんどん閉店している状況だから、みんなにとっても他人事じゃない話だよね。皆さんがどこでどういうふうに購入しているのか、編集部としても気になります。いつも買っているのはどんなところか、そしてオススメの購読方法など、自分はこうしてるよって話を聞かせてね！

何でもおしゃべり箱

➡5月号の別冊付録『機動戦士ガンダム 水星の魔女』Season1 プレイバック本にはビックリしました。毎年恒例の『プリキュア』シリーズの増刊号のようで、とても嬉しいです。『水星の魔女』もプリキュアみたいにイケメン女子たちが続出しています。もちろん男子も捨てがたいけど、もうイケメンという概念は男女均等であってほしいと思っています！　北海道／山田雪太（50）

★45周年おめでとうございます。谷口悟朗監督と渡邉徹明監督の対談に出てきた「アニメージュより年上か年下か」というお話からも、アニメージュはアニメの歴史に大切な存在だということが分かりました。50年、60年と続いてほしいです。「ハッピーアニメライフ!」での大塚隆史監督の進路についてのお話も心が楽になりました。私も気になることにチャレンジします。　広島県／Y(17)

★45周年おめでとうございます。コロナ禍は色紙プレゼントがなくて寂しかったけど、復活して良かったです。クリエイターさんも編集部さんも無事で安心しました。特に井上俊之さんは一番好きなクリエイターさんで、「電脳コイル」は一番観たアニメです。15周年Blu-rayも購入して、作画と演出の勉強をしています。井上さんの描き下ろしヤサコ&イサコが見られて嬉しいです。　神奈川県　N(20)

★「BIRDIE WING -Golf Girls' Story-」の稲垣監督へのインタビュー、楽しく拝見しました。「無限のリヴァイアス」「スクライド」の黒田洋介さんが携わっている時点でこのアニメは必見でした。もうおっさんの身としては、心が熱くなる場面、展開、演出が眼福でした。令和にもう一度こういう作品に出会えるとは思っていなかった。制作陣に心から賞賛を送りたい。　東京都／U(33)

『おしりたんてい』が人生の活力に!

私には愛してやまないアニメ作品があります。それは『おしりたんてい』です! 毎週の放送を楽しみながら、お仕事を頑張っています。人生初のミュージカルも観に行きました。

それだけ私にとって活力を与えてくれる作品ですが、年齢もあってか、あまり周りに対して好きな気持ちが言えません。笑われたらどうしようと考えてしまい、話題が出ても避ける時があります。ですが、受け止めてくれる友人や兄弟がいて、とても嬉しいです。好きなことを好きと言えたら、いろいろ価値観が変わりました。童心に返って観られる『おしりたんてい』が本当に大好きです。

おならで犯人を傷つけずに捕まえるカッコよさや、紳士であることを忘れずに身だしなみを整えるなど、大人な部分を感じさせてくれます。そんな一面もありつつ、スイートポテトに目がないかわいさもあるおしりたんてい。大人もハマるほどの魅力がたっぷり詰まっています。日々の忙しさから抜けて浸る『おしりたんてい』の世界観は、心を潤してくれます。　鳥取県／栞(21)

おしりたんてい、すごくジェントルだし頭脳は天才的だし、なかなかイケメンですよね!

ミュージカルでは、あんなかぶり物でキレッキレなダンスを見せるのもカッコいい。

意外とまだ知らない人も多いので、日用グッズを使ってそっと好きをアピールするのもいいかも。

若いアニメーターの奮起に期待したい

7月号のNAFCA(日本アニメフィルム文化連盟)の記事を読んで驚いた! そこまで深刻な事態だったとは! デジタル化で一人でもアニメを作れてしまうようになったのもあり、基礎が身に付いてない若者が増えたのか。上手いベテランへの負担増加で次々早死にされたら、ガチで日本のアニメは終わるぞ!

直接の会話が少なくなったというのも、デジタル化の弊害だな。直接電話が苦手な若者も多いし。コロナ禍のリモートで実感した若者も多いらしい。ただ、コミュ障気味の人間も少なくはないだろうこの業界、深刻なのだろう。Z世代はネットで自分の知りたいことしか知ろうとしない子が多いが、それでは一流のクリエイターにはなれないということか。

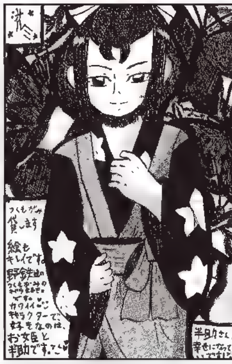
指示待ち人間はNG。加齢と共に気力も体力も衰えるから、凡人は若い頃の努力が必須。何事も成功するには、才能と努力と運(主に人脈)だよ!　**兵庫県／凡人のまま還暦迎えたまーし(60)**

求められる絵のレベルも年々上がっているし、アニメーターさんは大変だ。

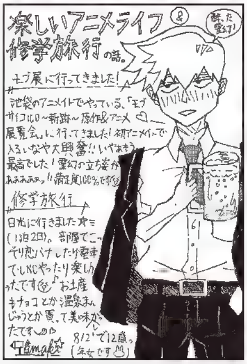
デジタル化で作業が効率化されても、やっぱり基礎的な能力は必要ってことですよね。

運は人とのつながりで開けるというのは、どんな業界にも言えることかもね。

▶秋田県／カタバミ
累にきりたんぽ鍋をご馳走したら、美味しく食べてくれるかな?

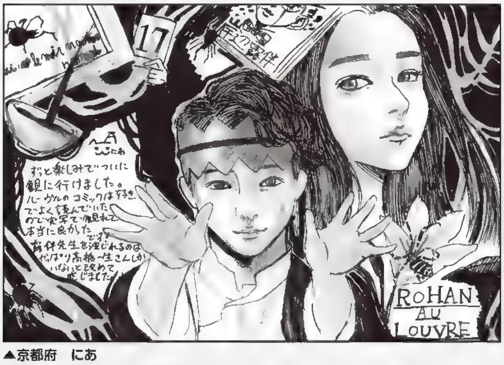


▲福島県　篠原成美(30)
ぜひとも続編を作ってほしい作品だよね☆

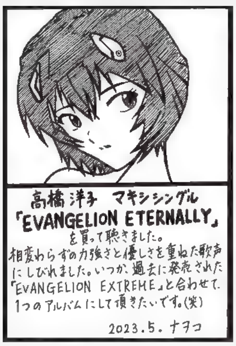


▲神奈川県　たまちゃん(8月21日で12歳)
モブ展も修学旅行も楽しめたようで◎

▶鹿児島県／城弥
誰もがみんな、幸せになれる未来が見えたようでよかったよね◎



▲京都府　にあ
原作コミックの雰囲気をそのままドラマ化したようで、完成度の高さにびっくり!



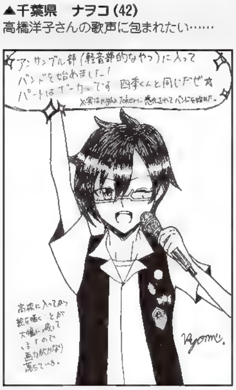
▲千葉県　ナヲコ(42)
高橋洋子さんの歌声に包まれたい……

▲埼玉県／苺シロップ(37)
ジャックは　蝶ネクタイも似合うね☆

▲神奈川県
織人(51)
25周年を記念した展示会に　関連グッズも続々発売。ファンにとっては嬉しい悲鳴だね◎

▲福島県／栖章
新作で改めて、山南さんの魅力にどっぷり浸りたい♥

▲栃木県／キャンベール(43)
やっぱりキッシュの魅力はこの笑顔♪



▲愛知県／Ryonn(･･)。
四季くんを参考にボーカル練習だ♪

何でもおしゃべり箱

➡「アニメージュとジブリ展」名古屋会場に行ってきました。日本初の本格的商業アニメ誌であるアニメージュの歩みだけでなく、そもそもは子供向け特撮ドラマを紹介していた「テレビランド」の増刊であったことや、スタジオジブリが設立された経緯なども分かって、目を見張る展示ばかりでした。5年後にはアニメージュも50周年を迎えますが、50周年展はどんなものになるのでしょうか? 岐阜県/はいちゅう(50)

◀神奈川県／るん
自由度が高い作品だから、いつまでも旅を続けたくなってしまうよね☆

◀千葉県　伯ミシェル（18）
キラキラと輝くような久保さんの笑顔。その視線の先にあるものは……

▶兵庫県　胃空かがり
ヘタリアコラボカフェ、楽しめたようで何より。強運なお友達には大感謝だね◎

アニメ川柳

サザエ　チコ
続いてはなかっぱも じゃんけんを
福島県◎ねんころりん

じゃんけんをする番組がしれっと増えてる！
「サザエさん」は30年以上じゃんけんを続けているので歴史を感じますね。

名は「エルダ」 『江戸前エルフ』か？ 『トロプリ』か？
群馬県◎セフィランサス

珍しい名前ながら、「ちょびっつ」や「呼KIBA」にもいましたね。
いっそチームにしたらエルダ戦隊が作れそう！

ヤンキーな 釈迦の髪型 蓮の花？
埼玉県◎PG

「終末のワルキューレ」の釈迦についての投稿です。
髪型だけじゃなく随所に蓮がモチーフに使われていて、さすがお釈迦様！

マイアニ御殿

今月のテーマ

リアタイ？ 録画？ サブスク派？

この夏も、観たいアニメが目白押し！
大好きなアニメを観るなら、
リアルタイムで観る？　録画して観る？
それとも、配信やサブスクで観る？

リアタイ派

★3年くらい前までは録画派でしたが、『トロピカル〜ジュ！プリキュア』がきっかけでリアタイ派になりました。第17話のキュアフメール誕生や、足の生えたローラをネットの感想で知ってしまい、歴史的瞬間を見逃した気分になってしまったので。以降はリアルタイムで視聴し、追加戦士誕生や大事な瞬間を見逃すまいと追いかけるようになりました。

福島県／三浦大亮

★それはもう、リアタイですね。VTRを持っていなかった頃、毎週水曜日の午後7時30分の『うる星やつら』がどれほど待ち遠しかったことか。現在は深夜放送が多く、録画して観るものもありますが、朝になるとすぐ観ています。サブスクはお金もかかるので、スミマセン。

広島県／永美石

★アニメは全部リアタイで観たいです。けれど、放映が重なった時は録画したり、地元で放映されない時はサブスクで観たりしています。絶対にリアタイで観たいのは『天才てれびくん』です。録画だと番組内のゲームができないんです。

滋賀県／属性勇者カズト

★基本は録画です。本当はリアタイで観たいのですが、深夜アニメが増えたので、どう考えても無理なのです。でも『鬼滅の刃』は根性でリアタイしました(笑)。

兵庫県／月

★少し前まで、深夜もリアタイ派で頑張っていたのですが、翌日の仕事がスッキリした頭で行えていない気がして、録画にしました。リアタイは時間によりけりですね。

福島県／栖章

★忙しい私は録画中心です！　録画機器のない時代を知っている私には、今はものすごくいい時代に感じます！『ドラえもん』のドラガオじゃんけんができないのは残念ですが……。

東京都／さかえはるお（55）

★録画派です！　私が未成年だったころは、録画機器が全く普及していませんでした。ビデオデッキを初めて買えた時の感激は忘れられません。昔の不便さを思い出すたび、喜びがこみ上げてきます！

大阪府／小谷彰（62）

★アニメは必ずしもソフト化されるとは限らないから、なんにせよ録画で手元に残すことになります。それに録画は当時のCM付きというのが時代を感じて楽しいし、編集してダビングすればDVDを買うお金が浮くのでウィンウィンです。

大分県／のんのん（17）

サブスク（配信）派

★中高生時代、1クール4〜5本ずつ追いかけていたころは録画派でした。今は90〜00年代の懐かしのアニメをたくさん観るようになり、サブスク配信のありがたみを享受する日々……。HDDのデータ容量を気にしなくていいのも利点！

愛知県／月辺流琉（22）

★配信を待ちきれないので、基本的に放送翌日の朝に観ている録画派です。ただ、みんなでツッコミながら観たいときや、話の解説や考察を知りたいときに、コメント付きの配信で観ています。特に、方言の解説やローカルネタ、見落としてしまうような伏線シーンで解説を書き込んでくださる有志の方々には、いつも助かっています。

神奈川県／やゐと

▲大阪府／おーかゆかり

▲愛知県／いとうあつし

▶東京都　くま&ピーコ（41）
シリーズ初の大人キュア。登場回からカッコいい♪

▶大阪府　ミンミン（46）
アニメ史に残る作品なので、多くの人に観てほしい！

リアルタイム視聴だと、キャラクターと一緒に歴史的瞬間を味える気分になるというのは、よくわかります。

昨今はサブスクでの「シーズン遅れ視聴」が平気な人も増えているけど、やはりアニメジュ読者は待ちきれない勢が多い模様。

やっぱり話題に乗り遅れたくないというのはありますよね。では11月号のお題はまさにシーズン到来、ハロウィンにちなんで、「目指せ！コスプレチャンピオン」です。この1年で活躍したキャラがコスプレコンテストに出るとしたら、どんな衣装がいいか考えてね。コスは懐かしのアニメ作品でもOKですよ。たとえば「ぼさにまる」のさくらたちに「とっとこハム太郎」のコスプレをしてもらうとか！締切は8月31日消印有効でお願いします☆

そこまで言っちゃって いい!?

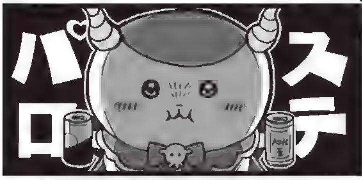
➡今更ながら春アニメ「ぼくの心のヤバいやつ」。なるほどそうか、視聴者が「砂糖を吐く思い」をするとは、こういうことだったか。素晴らしい納得感だったよ。惜しむらくは、今シリーズ終盤でずいぶん距離が縮まってしまったこと。もう少し日常回で七転八倒してほしかったのう、市川……。　群馬県／ミネバ機記念♡（55）

Paro Sute

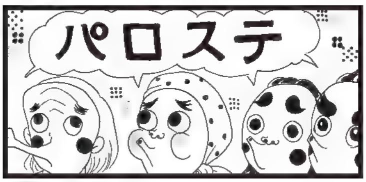
パロステ

今月のタイトル看板

▲福島県／篠原成美 (30)
『銭天堂』から「カモメアメ」の田口さん。
招き猫たちも魚のお面でわっしょい



▲神奈川県　やゐと
おっと　くりまんじゅう先輩がずずいと。
ハーッとお酒の呼気を発する５秒前!?



▲兵庫県／㊊
里の復興作業、お疲れさまです。
刀鍛冶の皆さんが仲良くご唱和～!

♥カット♥ただのかずみ

中島敦は漢文調の
硬い文章が美しいのです。
（ただの）

いろいろコラボ

▲宮城県　りあん (15)
中の人たちが YOASOBI の「アイドル」
を歌ってみた☆　天才的なアイドル様っ!

▲愛知県／いとうあつし
名古屋名物のみそかつの名店。
ロゴマークのキャラともそっくりだ!?

4コマ、ダジャレ、擬人化、
ちびキャラ、カン違い……
笑えてハッピーになれる
パロディハガキはこちらに集合!

8月のハッピーバースデー

Happy Birthday!

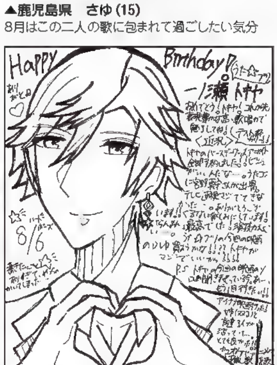
▶広島県　上田美和 (35)
蜂楽の誕生日は、潔くんたちがお祝いしてくれるかな?

▶北海道／米紅来杏 改め 橘マコト (47)
まさに夏の申し子!　輝く太陽も祝福しているよう◎

▶愛媛県／木助
あいのこの笑顔で、どんなツッコミも許せてしまう♥

▶神奈川県／miマカロン (27)
誕生日を迎え、また一歩成長したプレーを見せてほしい☆

▲鹿児島県　さゆ (15)
8月はこの二人の歌に包まれて過ごしたい気分



▲鹿児島県／さあや (15)
誕生日限定でハヤト時代のようなファンサも!?

アニメな日常

▶長野県／山塚ユリ
「くん」を付けると、愉快痛快なほうを思い出すね。大野くんたち、みんな似合ってたなぁ～

★「ハッピーアニメライフ!」というタイトルで「アニメ業界ってブラック?」というテーマをやるのが面白い。いつか私も「スマイルプリキュア!」のキャンディや、「電脳コイル」のデンスケみたいな、かわいい生き物が描ける仕事に就きたいと思っています!　東京都　A (15)

★アニメイト店員雑記、『【推しの子】』の勢いは本当にすごいですよね。現実の存命アイドルよりもアイちゃん好きな人たちの一体感が半端ない!　存在しないアイドルこそ本当の〝偶像（アイドル）〟?　茨城県／A (18)

★設定資料FILEは、観ているアニメも観ていないアニメも、設定の細かさ、丁寧さが見ていて飽きないです。マイ・アニメージュは、私より年上の方も年下の方もいて、いろいろな投稿を読めるのがとても好きです。どの方もアニメが好きだからの意見だと思います。これからも、死ぬまでアニメを好きでいいのだと思わせてくれるアニメージュでいてください。　滋賀県　Y (40)

★「美しい彼」再特集、後からハマったので大変感謝です!　美しすぎるお二人にクラクラしました♥　これからも俳優さんにも登場してほしいです。推しの「佐々木と宮野」もまた見たいです。　大分県　H (18)

何でもおしゃべり箱

➡6月某日、「トップをねらえ!」35周年記念上映を鑑賞してきました。前・後編ともにノリコとカズミお姉様の勇姿を見届け、大音響で聴く「トップをねらえ!～FLY HIGH～」には、映像とともに大興奮。ラストの「オカエリナサイ」には涙が出ました。タカヤ・ノリコに会うことができて、本当によかった……。今後も全国の映画館で、過去の名作が楽しめる機会が増えてほしいです。　新潟県／小林真夢

まとめて募集告知

月替わりテーマ投稿

10月号のテーマ

★アニメ歳時記★
「ハロウィンパーティ」
10月31日はハロウィン。推しキャラたちのトリック・オア・トリートなイラストをよろしく☆

★ハッピーバースデー★
「10月生まれのあなたへ」
アニメキャラや声優、俳優、クリエイターのお誕生日祝いに、イラストやお手紙をお願いします！

★マイアニ御殿★
「目指せ！コスプレチャンピオン」
この1年に活躍したアニメキャラに着てほしいアニメコス衣装を教えて下さい。イラスト付きも歓迎！

★締切：8月31日（木）消印有効

フリースペースのテーマ

11月号『**わたしの幸せな結婚**』
選者：伊藤智之さん（総作画監督）
★締切：8月31日（木）消印有効

12月号『**実は俺、最強でした？**』
選者：制作スタッフ
★締切：10月2日（月）消印有効
※選者に向けたイラストの説明もあると嬉しいです。

レギュラー投稿

★アートギャラリー★ あなたの好きなアニメの絵をカラーで。アニメ作品の新旧は問いません。マンガ・小説・特撮・ゲームなどの絵でもOK。
★レタールーム★ 文章投稿では、アニメの感想や身近な出来事について語ってね。イラスト投稿では アートギャラリー同様 オールジャンルOK。白黒でヨロシク。
★合作にトライ☆★ 投稿仲間や友達、家族と 縛に枚のイラストを完成させてね。住所・氏名（ペンネーム）・年齢は全員分お忘れなく。なるべく白黒でお願いします。
★私、困ってるんです～★ 人には言えないお悩みやギモンをお寄せください。読者のみんなが答えてくれます。
★そこまで言っちゃっていい!?★ そんな、まさかと思ったことへのツッコミはこちらへ。
★アニ川柳★ 五・七・五のリズムに乗せて 感じたことを表現しよう。
★なんでも おしゃべり箱★ アニメについて何でも叫んでください。
★パロステ★ あなたの笑いのネタ、待ってます。
★ファンコールプリーズ★ マイアニ投稿者の交流の場。熱いメッセージをお願いします。

投稿のパクりはダメ絶対！

投稿する作品は、自分が制作した著作物および二次的著作物に限ります。トレスやネタのパクり、他の著作物をもとに自動生成されたものなど、他人の作品を無断で投稿する行為はNGです。マイ・アニメージュは読者の善意で支えられているページです。好きなアニメを応援したいという気持ちを大切にして、あなた自身のセンスをそのまま投稿作品にぶつけてください。他のファンの方に不快な思いをさせないよう、どうぞご協力よろしくお願いします！

応募の宛先ときまり

★ウェブ投稿はこちらへ★
https://animageplus.jp/ から赤いバナーをクリックして進んでください。イラスト画像も投稿できます。

★郵送はこちらへ★
〒141-8202 東京都品川区上大崎 3-1-1 目黒 CS
㈱徳間書店 アニメージュ編集部
マイ・アニメージュ「○○○（コーナー名）」係

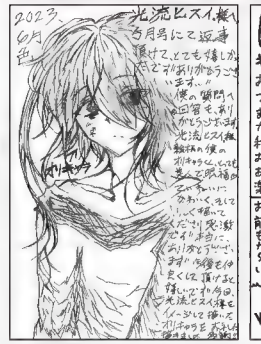
★応募のきまり★
①イラストは必ずハガキサイズで。イラストの裏面には、あなたの住所 氏名（本名）・ペンネーム（必要な場合）・年齢・送りたいコーナー名 アニメ作品名とキャラ名をはっきり書いてね。イラストの簡単な説明もあると嬉しいです。②文章投稿は、1枚の紙には1コーナーごとのネタをお願いします。同じ紙にまとめて書くと、他のコーナーにまぎれてしまいます。③投稿物を複数作成されたら、まとめて封筒に入れて送っても大丈夫です。封筒には裏面に住所・氏名（本名）、表面には送りたいコーナー名をはっきり書いてお送りください。その際、中のハガキ1枚1枚にも、住所・氏名（本名）・ペンネーム（必要な場合）・年齢・送りたいコーナー名を忘れずにご記入ください。
※皆様の個人情報は運営上、誌面に掲載されます。ご了承の上お送ください。※ご記入頂いた個人情報は、上記の目的以外での利用はいたしません。※文章投稿は誌面のスペースの都合で全文掲載できない場合がありますのでご了承ください。

「レギュラー投稿」は「月替わりテーマ投稿」の締切に準じて送ってね！

まだまだ面！ 映画や本やイベントや、コミケ様(8/13・西1地区ひ-10a「永野のりこハウス」)やいろいろで、素敵な出会いをね♪
➡http://naganoare.wordpress.com/
（ナガノ）

／読者交流の広場／ファンコールプリーズ

F.C Thanks 静岡県　鈴


2023年 6月号
光流ヒスイ様へ
6月号にて返事頂けて、とても嬉しかったです！ありがとうございます。
僕の質問への回答を、ありがとうございます。
光流ヒスイ様の絵柄の僕の。
ホントにいつもいつも、素晴らしくて、
ずっと、ずっと、
ずっと、ずっと、
ずっと、ずっと

ANIMATION WORLD 8.11→9.10

●新型コロナウイルス対策の影響により、放送日程、内容が急遽変更になる場合があります。
●このコーナーの放映日時は、原則、全国で最速のものを採用しています。
●掲載スペースの都合により、一部あらすじ、スタッフの情報を記載していない作品があります。ご了承ください。
●各番組についての詳細は、各番組公式サイトをご確認ください。

第18話 「真実」 8.27

脚本・絵コンテ・演出・作画監督／非公開

秋音はみんなで青野を訪ねた夜、佐伯が一人で彼のもとへ戻っていたことを知る。青野が部活に来ない理由を知らないか問われた佐伯は、「青野くんはもう来ないかもしれない」と答える。その言葉の通り、青野は退部するかどうか思い悩んでいた。

第19話 「君として」 9.3

脚本・絵コンテ・演出・作画監督／非公開

第20話 「夏の居場所」 9.10

脚本・絵コンテ・演出・作画監督／非公開

ゾン100 ～ゾンビになるまでにしたい100のこと～

日 夕方5時
MBS／TBS系ほか

『NARUTO-ナルト-』放送20周年記念完全新作アニメ

新

日 夕方5時30分 ※9月3日より放送開始
テレビ東京系

ちびまる子ちゃん

日 夜6時
フジテレビ系

パズドラ

日 夜6時 ※放送内容が変更になる場合があります
テレビ東京系6局ネットほか

「地球発！ 太陽系弾丸ツアー」 8.13

脚本／高木聖子 絵コンテ／成田歳法 演出／川西泰二 作画監督／竹内 昭、高原修司、長橋研太

諭吉は徳沢コンツェルンが新開発した宇宙船で、誰もが気軽に宇宙観光を楽しめるツアーの企画を立て、その事前モニターとしてタイガたちを招待する。まだ行ったことのない星々を楽しもうと、新型宇宙船に乗り込むタイガたちだが、それはたった一日で太陽系を一周する弾丸ツアーだった！

「美しき友情!? タコ助とみなみ」 8.20

脚本／福嶋幸典 絵コンテ／内藤明吾 演出／川西泰二 作画監督／橋本淳稔、江森真理子、有泉洋子、楠 尚美

獅子だこの副社長である御堂みなみは、事業拡大のために宇宙へ商談に出かけ、その先で偶然、タコ宇宙人のタコ助と出会う。地球人が嫌いなタコ助はみなみを警戒するが、その優しさに触れて少しずつ心を開いていく。はたして、みなみとタコ助の友情はどうなる？

「花草学園の怪談」 8.27

脚本／青木由香 絵コンテ／福島宏之 演出／ハラダソルギ 作画監督／Lee Jong Man、Lee Sang Jin、Ho Sung Jin

タイガたちの通う花草学園でお化けが出たという噂が広まり、とうとう諭吉までもが本当にお化けを目撃したと言い出す。興味津々なタイガはお化けを一目見ようと、ユキコ先生やマエケンとともに放課後、学園内の見回りをする。すると、誰もいないはずの校舎で次々と心霊現象が発生し……!?

「ほのか密着24時！」 9.3

脚本／佐藤寿昭 絵コンテ／内藤明吾 演出／生田幸那 作画監督／Lee Jong Man、Lee Sang Jin、Ho Sung Jin

「スマホが壊れただけニャのに」 9.10

脚本／園田雅裕 絵コンテ／高本宣弘 演出／栗山美秀 作画監督／未定

サザエさん

日 夜6時30分
フジテレビ系

第2713話 「泣き虫ワカメ」 8.13

脚本／良江裕史 演出／森田浩光、近藤一英 作画担当／江沢聖二

昼ごはんを食べている最中、友達が来たため席を立ったワカメ。カツオがその間に、ワカメが残していた天ぷらを食べてしまうと、戻ってきた彼女は「一番好きだから取っといたのに」と泣き出す。「ワカメは泣き虫だ」とカツオに指摘されたワカメは、抗議しつつもまた泣いてしまう。

第19話 「霧のミステリー！ジャック・ザ・リッパー」 8.20

脚本・絵コンテ・演出・総作画監督／非公開

颯也たちが現れたのは、19世紀末のロンドン。颯也とルナは散策中、恐ろしい殺人事件に出くわしてしまう。事件現場で出会ったロンドン警視庁の警部の話から、犯人は切り裂きジャックと呼ばれる人物らしいと知る颯也。その時、切り裂きジャックによる次の事件の阻止という、新たなミッションが発動した。

第20話 「炎のチェイス！ロンドン大追跡」 8.27

脚本・絵コンテ・演出・総作画監督／非公開

切り裂きジャックによる犯行現場に残された・謎の文章を解読しようとする逃走者たち。しかし、ハンターたちの追跡もあって、思うように捜査を進めることができない。だんだん迫り来るミッションの制限時間。颯也たちは、切り裂きジャックの犯行を食い止めることができるのか!?

第21話 「狙われた美女！オペラハウスの謎」 9.3

脚本・絵コンテ・演出・総作画監督／非公開

第22話 「霧の歌声！テムズ川のセイレーン」 9.10

脚本・絵コンテ・演出・総作画監督／非公開

冒険大陸 アニアキングダム／ゴー！ゴー！びーくるずー

日 朝9時
テレビ東京ほか

ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー アゲイン

日 朝9時15分
テレビ東京系6局ネット

ONE PIECE

日 朝9時30分
フジテレビほか

第1072話 「ふざけた能力！躍動するギア5」 8.13

脚本／井上亜樹子 絵コンテ／嶋谷 将、石谷 恵、Bahi JD、前並武志 演出／嶋谷 将 作画監督／岩井伸之、森 佳祐 新垣重文、伊藤公崇

ルフィはついに、ギア5の境地へとたどり着いた。隙だらけに見えるルフィを飲み込むカイドウ。だが、ルフィは滑り台のように急降下したり、駆け回ったり、ゴムゴムの風船で巨大化したりと、カイドウの体内で好き放題に大暴れ！ やがてカイドウの体から飛び出したルフィは、トリッキーな戦いぶりで彼を翻弄する。

第1073話 「逃げ場なし！地獄絵図の鬼ヶ島」 8.20

脚本／藤田伸二 絵コンテ・演出／所 勝美 作画監督／横田 守

ギア5となったルフィは、カイドウの猛攻を跳ね返し続ける。一方、ドクロドームの火事によって炎上する鬼ヶ島では、麦わらの一味が消火や炎から逃れるために、それぞれ行動を起こしていた。ヤマトはモモの助に鬼ヶ島落下を食い止めるため、島を支える焔雲を作れと命じる。

「8月27日は総集編」

第1074話 「モモを信じろ ルフィ最後の大技!!」 9.3

脚本／田中 仁 絵コンテ／細田雅弘、ホネほね 演出／道端菜名実 作画監督／久田和也、ホネほね

第1075話 「二十年の祈り！ワノ国を取り戻せ」 9.10

脚本／中山智博 絵コンテ・演出／小出保徳 作画監督／北崎正浩、涂 泳策

青のオーケストラ

日 夕方5時
Eテレ

「8月13・20日は放送休止」

第30話 「ひろがる海！ビーチパラダイス」 8.27

脚本／村山 功 絵コンテ／非公開 演出／佐々木憲世 作画監督／非公開

あげはの提案で、夏休みの締めくくりとして海水浴にやってきたソラたち。海に来るのが初めてで泳ぎ方も知らないソラは、溺れそうになってしまう。ツバサ、あげは、ましろからそれぞれ泳ぎ方を教えてもらうソラ。なかなかコツを掴めずに焦るが、まずは海を楽しもうと考え直す。一方、近くの砂浜には、ミノトンが修行にやってきていた。

第31話 「新たな脅威！エルちゃんを取り戻せ!!」 9.3

脚本・絵コンテ・演出・作画監督／非公開

第32話 「サブタイトル非公開」 9.10

脚本・絵コンテ・演出・作画監督／非公開

デュエル・マスターズ WIN 決闘学園編

日 朝8時30分
テレビ東京ほか

第19話 「異端！リッパー教授」 8.13

脚本／永野たかひろ 絵コンテ／大原 実 演出／奥野浩行

マイハマ学園に新しい先生、リッパー教授がやってきた。怪しい研究をする科学者なのか、最強のデュエリストなのか、超能力を駆使する超能力者なのか？ デュエマさいこークラブ、D4も翻弄するリッパー教授に興味津々のウィンは、謎多き彼の正体を解き明かすためにデュエマを挑む。

第20話 「追憶！心の闇」 8.20

脚本／井上亜樹子 絵コンテ／大宙征基 演出／飯村正之

「マナを使いこなせば邪神くんの真の力を引き出せる」と聞いたウィンは、リッパー教授の提案で“お特別授業”を受けることに。その授業内容は、ウィンを生死の境に追い込み、心の闇を見つけさせることだった。突然の事態に混乱するウィンは、無事に生還することができるのか？

第21話 「登場！シモカワチャンネル」 8.27

脚本／永野たかひろ 絵コンテ／鈴木裕輔 演出／秦 義人

休日にシラハマへ帰ってきたウィン。彼は人気ディーチューバー・シモカワチャンネルの動画撮影に参加することになり、動画配信の厳しさを実感する。シモカワチャンネルの二人は、ウィンたちを逃さないようにブラックな契約を用意していた。ウィンはみんなを助けるために、デュエマで勝負する。

第22話 「暴走！邪神の覚醒」 9.3

脚本／鴻野貴光 絵コンテ／東 亮佑 演出／池田重隆

第23話 「極寒！全マイハマ学園」 9.10

脚本／小林雄次 絵コンテ／大原 実 演出／ふじいたかふみ

逃走中 グレートミッション

日 朝9時
フジテレビほか

第18話 「謎の逃走者ジョン ドゥー」 8.13

脚本／中山智博 絵コンテ／渡部穏寛 演出／谷 東 総作画監督／大西陽一

次回「逃走中」の出場辞退を発表した、絶対王者のモーリス シューメーカー。大本命が不在の中、逃走成功に想いを馳せるルナとシグマ。その頃、三度目の出場が決まった颯也は、見たことのない動きを見せるガスティンという謎の男と出会い、「逃走中の真髄」という聞き慣れない言葉を耳にする。

日曜日 | SUNDAY

チャギントン

日 朝6時15分
フジテレビほか

遊☆戯☆王 ゴーラッシュ!!

日 朝7時30分
テレビ東京系列

第71話 「家具にかけた夢」 8.13

脚本／樋口達人 絵コンテ・演出・作画監督／未定

何代も続いてきた宇宙家具屋のセツリ。だが、ザイオンが店長になって以来、度重なる宇宙不況や外宇宙家具店の襲来によって、常に火の車だった。全宇宙888億店舗の夢を叶えるため、ザイオンはユウディアスとのデュエルに臨む。はたして、その先に待つものとは？

第72話 「復讐するはワレにあり」 8.20

脚本／うえのきみこ 絵コンテ・演出・作画監督／未定

みつ子VSズウィージョウから幕を開けた、ギャラクシーカップ決勝ステージ！ ズウィージョウに冷たくされたことで、怒りに燃えるみつ子。しかし、彼女はズウィージョウの猛攻に苦戦を強いられる。反撃に打って出たみつ子がドローしたのは、見知らぬ妖しいカードだった！

第73話 「侵食」 8.27

脚本／山田健一 絵コンテ・演出・作画監督／未定

アサカVS合羽井、ロヴィアンVSユウナ、遊歩VSニャンデスターと、熱いデュエルが続く決勝ステージ。三組がそれぞれに誇りと想いをかけて激突している中、不可思議な現象が発生する。デュエリストたちの運命を狂わせる、存在しないはずのカードの正体とは!?

第74話 「アタクシのロード」 9.3

脚本／山口 宏 絵コンテ・演出・作画監督／未定

第75話 「カルディオス計画」 9.10

脚本／竹内利光 絵コンテ・演出・作画監督／未定

ひろがるスカイ！プリキュア

日 朝8時30分
ABC、テレビ朝日系

第28話 「あげはのアゲアゲファッションショー」 8.13

脚本／成田良美 絵コンテ／佐藤照雄 演出／ひろしまひでき 作画監督／非公開

エルの新しい洋服を探すソラたちは、街の広場で撮影をしていた人気モデルの早乙女まりあ・かぐや姉妹に声をかけられる。彼女たちは子どもの頃から離れて暮らしていた、あげはの姉だったのだ。二人のマネージャーである加古は、翌日開催されるファッションショーに出られなくなった子役の代理として、エルを出演させられないかと話を持ち掛ける。

第29話 「ソラと、忘れられたぬいぐるみ」 8.20

脚本／守護このみ 絵コンテ／非公開 演出／野呂彩芳 作画監督／非公開

雨宿りしようと訪れた街はずれにある洋館で、ぬいぐるみに話しかけられたソラは、驚きのあまり慌てて家へと帰る。しかし、ぬいぐるみもまた家までついてきていた。あげはから洋館には以前から人が住んでいなかったと知り、ぬいぐるみの正体はお化けかもしれないと怖がるソラ。彼女はぬいぐるみを洋館へ返しに行こうとするが……。

夢見る男子は現実主義者

月 深夜2時
テレビ東京ほか

火曜日 | TUESDAY

好きな子がめがねを忘れた

火 夜11時
TOKYO MXほか

第7話「好きな子のめがねを持って帰った」 8.15
脚本／八薙玉造 絵コンテ／鈴木信吾 横峯克昌 演出／安達翔平 作画監督／内田孝行、上條円己、坂元愛里、鈴木信吾、谷圭司、中野那保、古田誠、吉村真鈴

帰宅しようとした小村くんは、三重さんの机にめがねがあることに気づく。どうやら三重さんは、めがねを持ち帰ることを忘れてしまったようだ。三重さんに連絡し、めがねを預かることになった小村くんだが、自分の部屋に好きな人のめがねがあることで変に意識し、悶絶してしまう。

第8話「好きな子と告白を見てしまった」 8.22
脚本／八薙玉造 絵コンテ／鈴木信吾、横峯克昌 演出／横峯克昌 作画監督／上條円己、谷圭司、築山夢生、中林紀、古田誠

ある日の放課後、小村くんは校庭をさまよう猫についていき、告白されている東くんを目撃してしまう。告白の邪魔をしてはいけないと身をひそめるが、猫を探す三重さんもその場に来てしまいそうになり、大パニック！ 小村くんはなんとかバレないように奮闘するが…。

第9話「好きな子と校外学習に行った」 8.29
脚本／八薙玉造 絵コンテ／鈴木信吾 横峯克昌 演出／横峯克昌 作画監督／上條円己、谷圭司、築山夢生、中林紀、古田誠

第10話「好きな子にお願いされた」 9.5
脚本／八薙玉造 絵コンテ／鈴木信吾、横峯克昌 演出／山岸徹一 作画監督／内田孝行 上條円己 坂元愛里、新城晴菜、谷圭司、築谷佳乃 中野那保、中林紀 福永向日葵、古田誠、室井大地

フェ～レンザイ -神さまの日常-

火 深夜0時
テレビ東京系列6局ネット

Helck

火 深夜1時29分
日本テレビほか

水曜日 | WEDNESDAY

スマーフ

水 夜7時
Eテレ

湖池屋SDGs劇場 サスとテナ

水 夜8時54分
BS朝日

まめきちまめこニートの日常

月・水 昼11時45分
フジテレビ系「ぽかぽか」内

忍たま乱太郎

月～金 夜6時50分
Eテレ

Lv1魔王とワンルーム勇者

月 夜10時30分
TOKYO MXほか

政宗くんのリベンジR

月 夜11時
TOKYO MXほか

SYNDUALITY Noir

月 深夜0時
テレビ東京系

第6話「Dice is cast」 8.14
脚本／横谷昌宏 絵コンテ／藤川太 演出／村上勉

AO結晶探索の途中で雨に降られたカナタは、トキオの提案でギャンブルの街・バカラネストで雨宿りをすることに。そのラウンジには、歌を歌う一人のメイガスの姿が。彼女はノワールがランゲに連れ去られそうになった時に知り合った、シエルだった。

第7話「My dear…」 8.21
脚本／あおしまたかし 絵コンテ／寺東克己 演出／中山敦史

第8話「Pure dream」 8.28
脚本／赤尾でこ 絵コンテ／誌村宏明 演出／登坂晋

第9話「Legendary hero」 9.4
脚本／波多野大 絵コンテ／寺東克己 演出／鈴木真彦

もののがたり

月 深夜0時
TOKYO MXほか

第19話「波濤(はとう)」 8.14
脚本／成田良美 絵コンテ／寺田和男 演出／鈴木孝聡 総作画監督／藤澤志織

門守家での生活に馴染みつつあるぼたんは、八衢家へと向かった『婚礼調度』から、一向に連絡が来ないことを気にしていた。しぶとく向かってくる付喪神たちの様子を不審に感じた松太。代表である大樹は、松太の報告から敵の狙いを察知し、事態の深刻さを鑑みて「辛の三番」を発令する。

第20話「サブタイトル非公開」 8.21
脚本・絵コンテ・演出・総作画監督／非公開

第21話「サブタイトル非公開」 8.28
脚本・絵コンテ・演出・総作画監督／非公開

第22話「サブタイトル非公開」 9.4
脚本・絵コンテ・演出・総作画監督／非公開

あやかしトライアングル

月 深夜1時5分
TOKYO MXほか

おかしな転生

月 深夜1時30分
テレビ東京ほか

英雄教室

日 夜11時
TOKYO MXほか

無職転生 Ⅱ ～異世界行ったら本気だす～

日 深夜0時
TOKYO MXほか

夫婦交歓 ～戻れない夜～

日 深夜1時
TOKYO MXほか

第6話「咎あれど」 8.13
脚本／黒崎エーコ 絵コンテ／巴里 演出／則座誠 作画監督／森悦史 大籔佳奈子、Big Owl

旅行の最終日、礼司は夫婦交換の精算を決意するが、明日歌はそれを乱そうと、彼に最後の秘め事を求めてくる。口づけを迫り、礼司の肉体を求める明日歌。しかし、明日歌が礼司の浴衣を乱したとき、部屋の扉の前には奏が訪れていて……。

「8月20日は特番」

第7話「我がつまひとり」 8.27
脚本／黒崎エーコ 絵コンテ／巴里 演出／則座誠 作画監督／増宮美和子、森悦史、大飛龍狂一

礼司はようやく奏と二人きりで、夫婦本来の旅程を楽しんでいた。紆余曲折を経て、自分にとって本当に大事な人は誰なのかを確かめあった二人は、改めて夫婦の営みのため体を重ねる。快楽に誘うため、礼司は妻の肉体を甘く責めるのだが……。

第8話「愛しくて」 9.3
脚本／黒崎エーコ 絵コンテ／巴里 演出／則座誠 作画監督／森悦史、山口弘明、龍青一

ダークギャザリング

日 深夜1時5分
TOKYO MXほか

闇芝居 十一期

日 深夜2時35分
テレビ東京ほか

月曜日 | MONDAY

おじゃる丸

月～木 朝6時40分
Eテレ

オトッペ

月～金 朝6時50分
Eテレ

チキップダンサーズ

月 朝8時45分
Eテレ

ぼさにまる

月～木 朝9時50分
フジテレビ系「ノンストップ！」内

「駅員さんとボク」
脚本／城山昇 演出／たなべしんじ、神原雄二 作画担当／小池達也

ロープを使った電車ごっこがお気に入りのタラは、家族を乗車させながら家中を歩く。乗客になっていたサザエたちが「用事があるから」と途中下車し、最後に残った波平はロープの電車から降りられなくなってしまう。その時、マスオが外出から戻り、波平はすぐさま乗客役を交代してもらう。

「暑さに打ち勝とう!」
脚本／スギタクミ 演出／牛草健 作画担当／滝川康太

猛暑の中で買い物に出かけて、夕飯のメニューに悩むサザエ。八百屋の店主に勧められ、夏野菜がメインの献立となるが、子どもたちは肉がないメニューに不満な様子。だが、フネから「夏野菜は体を冷やしてくれるから、暑い日にピッタリ」と聞き、「ほかにも暑さに打ち勝つ方法を見つける！」と張り切りはじめる。

第2714話「美味しい悩みごと」 8.20
脚本／浪江裕史 演出／望月敬一郎 作画担当／宍倉敏

「カツオお兄さまへ」
脚本／雪室俊一 演出／神原雄二 作画担当／石丸哲也

「マスオはキャンパー」
脚本／中園勇也 演出／前園文夫、佐藤豊 作画担当／吉崎誠

第2715話「残暑見舞いを出そう」 8.27
脚本／雪室俊一 演出／加藤晋 作画担当／関本涙

「カツオ、[illegible]の3日間」
脚本／諸橋隼人 演出／鬘久保朱眞、吉本毅 作画担当／七海明憲

「お土産は、なぁに?」
脚本／浪江裕史 演出／山崎茂 作画担当／鈴木佐智子

第2716話「ワカメとマスオさん」 9.3
脚本／浪江裕史 演出／望月敬一郎 作画担当／中島豊秋

「悩ましき計算」
脚本／城山昇 演出／青木康直 矢島竜 作画担当／江沢聖

「行列の先」
脚本／中園勇也 演出／岡田宇啓、佐藤豊 作画担当／吉崎誠

第2717話「失言にはご用心」 9.10
脚本／スギタクミ 演出／高田ひろし 作画担当／見陰智史

「怪しいネクタイたち」
脚本／雪室俊一 演出／岡田宇啓、牛草健 作画担当／小池達也

「間に合わせの達人」
脚本／諸橋隼人 演出／古谷渓一郎、前園文夫 作画担当／[illegible]口準之祐

死神坊ちゃんと黒メイド

日 夜10時
TOKYO MXほか

第18話「坊ちゃんとみんなの毎日」 8.13
脚本／白根秀樹 絵コンテ／佐山聖子 演出／山川吉樹

第19話「坊ちゃんとアリスと異界の出逢い」 8.20
脚本／白根秀樹 絵コンテ／佐山聖子 演出／山川吉樹

第20話「坊ちゃんとアリスと口づけの恋」 8.27
脚本／白根秀樹 絵コンテ・演出／山川吉樹

第21話「坊ちゃんとアリスの二度目の記念日」 9.3
脚本／白根秀樹 絵コンテ／佐山聖子 演出／山川吉樹

第22話「坊ちゃんとアリスと空飛ぶほうき」 9.10
脚本／伊藤睦美 絵コンテ／佐山聖子 演出／山川吉樹

幻日のヨハネ -SUNSHINE in the MIRROR-

日 夜10時30分
TOKYO MXほか

スプリガン

金 深夜1時5分
TOKYO MXほか

第6話 「帰らずの森(後編)」 8.11
脚本／瀬古浩司　絵コンテ／加藤敏幸　演出／加藤敏幸、田辺慎吾　総作画監督／半田修平

森の中でさ迷い続け、疲弊していく優たち。そんな中、芳乃は妖気の薄い場所を感じ取り、そこで即身仏を発見。“口寄せ”を使って、“帰らずの森”が生まれた理由を語る。森の中枢にある“呪神樹”の思念を解き放てば森の外に出られると、優たちを焚きつける芳乃。だが、それは神酒の製法を独り占めするための策略だった。

第7話 「狂戦士(前編)」 8.18
脚本／瀬古浩司　絵コンテ／小林 寛　演出／長井惟杜子　総作画監督／半田修平

発掘された古代遺物を巡って、激しい銃撃戦を交わすSASとアーカム。優たちの奮戦も虚しく、古代遺物は英国本土に輸送されてしまう。古代遺物の正体、それは人間だけを殺し殲滅する、究極の殺戮機械“狂戦士（バーサーカー）”だった。英国に飛んで軍事基地に潜入した優は、起動した“狂戦士”と死闘を繰り広げる。

第8話 「狂戦士(後編)」 8.25
脚本／瀬古浩司　絵コンテ／小林 寛　演出／長井惟杜子　総作画監督／半田修平

第9話 「水晶髑髏(前編)」 9.1
脚本／瀬古浩司　絵コンテ／長田伸二　演出／長田伸二、三宅将平、菅原 尚、粟井重紀　総作画監督／内藤 直

第10話 「水晶髑髏(後編)」 9.8
脚本／瀬古浩司　絵コンテ／長田伸二　演出／長田伸二、三宅将平、菅原 尚、粟井重紀　総作画監督／内藤 直

彼女、お借りします

金 深夜1時23分
MBS／TBS系「スーパーアニメイズム」枠

女体化した僕を騎士様達がねらってます 2nd

金 深夜1時35分
TOKYO MX

いきものさん

金 深夜1時50分
MBS／TBS系「スーパーアニメイズム」枠おしり

AIの遺電子

金 深夜1時53分
MBS／TBS「アニメイズム」枠ほか

デキる猫は今日も憂鬱

金 深夜2時23分
MBS／TBS「アニメイズム」枠ほか

土曜日 | SATURDAY

ぼのぼの

土 朝5時22分
フジテレビ

パウ・パトロール

金 夕方5時55分
テレビ東京系6局ネット

ふしぎ駄菓子屋 銭天堂

金 夜6時40分
Eテレ

ポケットモンスター

金 夜6時55分 ※放送日時・内容は地域によって異なります
テレビ東京系

第17話 「カイデンとホゲータ [illegible]」 8.11
脚本／土屋理敬　絵コンテ／清水 聡　演出／又野弘道　作画監督／新城 真、升谷有希

ロイはケンカをしてばかりで、なかなか打ち解けないカイデンとホゲータに頭を悩ませていた。キャプテンピカチュウを相手に、協力してバトルをすることで絆を深めようと思いつくロイ。しかし、バトルでも2匹の息は合わず、またまたケンカになる始末。そんな時、空を往く飛行船・ブレイブアサギ号の前方に乱気流が発生して……!?

第18話 「サブタイトル非公開」 8.18
脚本／松澤くれは　絵コンテ／冨安大貴　演出／中田 誠　作画監督／大西雅也、忍田雄介、大野恭江

第19話 「マホイップのホント」 8.25
脚本／赤尾でこ　絵コンテ／尼野浩正　演出／ウエノ史博　作画監督／篠原 隆

第20話 「カブさんのバトル修行」 9.1
脚本／土屋理敬　絵コンテ／齋藤徳明　演出／森山愛弓　作画監督／倉員千晶、服部奈津美、数原慶汰

第21話 「ひとりぼっちのミブリム」 9.8
脚本／永井成基　絵コンテ／齋藤徳明　演出／月野正志　作画監督／羽野広範、高添 響

百姓貴族

金 夜9時54分
TOKYO MXほか

シュガーアップル・フェアリーテイル

金 夜10時30分
TOKYO MXほか

七つの魔剣が支配する

金 深夜0時30分
TOKYO MXほか

第6話 「[illegible]」 8.11
脚本／大西信介　絵コンテ／増田敏彦　演出／海宝興蔵　総作画監督／谷口亮介

第7話 「両極往来者(リバーシ)」 8.18
脚本／ヤスカワショウゴ　絵コンテ／高田耕一　演出／則座 誠　総作画監督／小野和美

第8話 「挑戦者(ライバルズ)」 8.25
脚本／大西信介　絵コンテ／福島利規　演出／高田恭輔　総作画監督／谷口亮介

第9話 「迷宮探索(エクスプロア)」 9.1
脚本／大西信介　絵コンテ／吉川博昭　演出／海宝興蔵　総作画監督／小野和美

第10話 「主従(マスターアンドナイト)」 9.8
脚本／ヤスカワショウゴ　絵コンテ／藤本ジ朗　演出／石山タカ明　総作画監督／谷口亮介、藤井昌宏

はたらく魔王さま!!

木 夜11時30分
TOKYO MXほか

第18話 「魔王、[illegible]」 8.17
脚本／大西雄仁　絵コンテ／まつもとよしひさ　演出／神谷マキ　作画監督／飯飼一幸、重松晋一、服部益美、山崎 愛

恵美と連絡が取れなくなってから数日。千穂が通う笹幡北高校に突如悪魔が出現し、彼女は覚えたての聖法気を使って悪魔の気を引き寄せて、対話で相互理解を試みる。一方、真奥は運転免許センターで、アラス・ラムスの妹と称するアシエス・アーラと、恵美の父であるノルド・ユスティーナと知り合っていた。

第19話 「勇者、泣く」 8.24
脚本／待田堂子　絵コンテ／西田正義　演出／國本一穂　作画監督／鑑谷憲正、松井京介、森 悦史、柳瀬譲二、栗原基樹

千穂の窮地に駆けつけた鈴乃と漆原。二人の留守を突いて、ガブリエルの魔の手が魔王城にいる芦屋のもとへと押し寄せる。必死の抵抗もむなしく、芦屋とノルドはガブリエルに捕縛されてしまい、恵美の身を案じてアパートを訪れていた梨香にも、命の危機が迫る。だが、そこへ天祢が乱入し……。

第20話 「勇者、故郷に惑う」 8.31
脚本／早川スミカ　絵コンテ／敷島博英　演出／藤井邦雄　作画監督／Choi Eun-yeong、Kim Ran-young、Jung Ji moon、Lee Beam jin、Yoon Seung hyeon

第21話 「魔王、[illegible]」 9.7
脚本／大西雄仁　絵コンテ／江副仁美　演出／二瓶智美　作画監督／Hui Ming、Ming Guang、Long Guang

呪術廻戦 懐玉・玉折／渋谷事変

木 夜11時56分
MBS／TBS系ほか

悲劇の元凶となる最強外道ラスボス女王は民の為に尽くします。

木 深夜0時
TOKYO MXほか

スパイ教室

木 深夜0時30分
TOKYO MXほか

るろうに剣心 ー明治剣客浪漫譚ー

木 深夜0時55分
フジテレビ「ノイタミナ」枠ほか

ミニ豆ちゃん

木 深夜1時25分
フジテレビ「EXITV！～FODの新作・名作をPon！Pon！見せまくり!!～」内

聖者無双 ～サラリーマン、異世界で生き残るために歩む道～

木 深夜1時28分
TBSほか

金曜日 | FRIDAY

それいけ！ アンパンマン

金 朝10時55分
日本テレビ系

自動販売機に生まれ変わった俺は迷宮を彷徨う

水 夜10時
TOKYO MXほか

文豪ストレイドッグス

水 夜11時
TOKYO MXほか

わたしの幸せな結婚

水 夜11時30分
TOKYO MXほか

蒼穹のファフナー THE BEYOND(TV Edition)

水 夜11時30分
BS日テレほか

贄姫と獣の王

水 深夜0時
TOKYO MXほか

白聖女と黒牧師

水 深夜0時30分
TOKYO MXほか

アンデッドガール・マーダーファルス

水 深夜0時55分
フジテレビ「＋Ultra」枠ほか

木曜日 | THURSDAY

BabyBus -ベビーバス-

木 夜6時30分
TOKYO MX

宇宙なんちゃら こてつくん

木 夜6時40分
Eテレ

シルバニアファミリー フレアのゴー・フォー・ドリーム！

木 夜7時22分
TOKYO MX

BanG Dream! It's MyGO!!!!!

木 夜11時
TOKYO MXほか

うちの会社の小さい先輩の話

土 深夜1時30分
テレビ朝日系全国ネット
「NUMAnimation」枠ほか

てんぷる

土 深夜1時30分
TOKYO MXほか

実は俺、最強でした？

土 深夜2時
ABCテレビ・テレビ朝日系列
「ANiMAZiNG!!!」枠ほか

WEB

『範馬刃牙』 新
地上最強の親子喧嘩編

8月24日よりNetflixにて配信開始

GAMERA -Rebirth- 新

9月7日よりNetflixにて配信開始

スポンジ・ボブ

土 夕方5時55分
Eテレ

名探偵コナン

土 夜6時
読売テレビ・日本テレビ系

レベル1だけどユニークスキルで最強です

土 夜10時
TOKYO MXほか

ライアー・ライアー

土 夜10時30分
TOKYO MXほか

BLEACH
千年血戦篇-訣別譚-

土 夜11時
テレビ東京ほか

ホリミヤ -piece-

土 夜11時30分
TOKYO MXほか

TIGER & BUNNY 2

土 深夜0時
NHK総合

ライザのアトリエ ～常闇の女王と秘密の隠れ家～

土 深夜0時
TOKYO MXほか

魔王学院の不適合者 Ⅱ
～史上最強の魔王の始祖、転生して子孫たちの学校へ通う～

土 深夜0時30分
TOKYO MXほか

EDENS ZERO

土 深夜0時55分
日本テレビほか

AYAKA -あやか-

土 深夜1時
TOKYO MXほか

第584話 「はなちゃんと ふしぎな タマゴ ～ぜんぺん～」 8.19
脚本／三浦浩見 絵コンテ／大原 実 演出／ヒロ高島

ガオガオさんが落としてしまった発明品を、ドキドキもりへ捜しに行くしまじろうたち。ドキドキもりでは、バケラッチたちとびょんぐりたちが大きなタマゴを見つけて、取り合いになっていました。いったい何のタマゴだろうと思っていたら、突然タマゴが動きだして……。

第585話 「はなちゃんと ふしぎな タマゴ ～ころぺん～」 8.26
脚本／三浦浩見 絵コンテ／大原 実 演出／ヒロ高島

第586話 「アートで わくわく！」 9.2
脚本／谷登志雄 絵コンテ・演出／杉山正樹

第587話 「あわせて ピッタリ？」 9.9
脚本／青木由香 絵コンテ／奥村吉昭 演出／ヒロ高島

おさるのジョージ

土 朝8時35分
Eテレ

おしりたんてい

土 朝9時
Eテレ

シャドウバースF

土 朝9時30分
テレビ東京系6局ネット

ニンジャラ

土 朝10時
テレビ東京系6局ネット

クレヨンしんちゃん

土 夕方4時30分
テレビ朝日系

ドラえもん

土 夕方5時
テレビ朝日系

きかんしゃトーマス

土 夕方5時25分
Eテレ

MIX MEISEI STORY ～二度目の夏、空の向こうへ～

土 夕方5時30分
読売テレビ・日本テレビ系※一部地域除く

第19話 「いい直してますね」 8.12
脚本／三田健 絵コンテ・演出／松永昌弘

第20話 「ベストゲームだよ」 8.19
脚本／森地夏美 絵コンテ／吉川博明 演出／伊藤史夫

「8月26日は放送休止」

第21話 「あとひとつ！」 9.2
脚本／北条千夏 絵コンテ／西森 章 演出／江島泰男

第22話 「空わりなく」 9.9
脚本／福嶋空典 絵コンテ／大原 実 演出／森田尚希

第371話 「道をまちがえた」 8.12
脚本／中園勇也 絵コンテ／山口秀憲 演出／山口秀憲、條義加 作画監督／根岸貴知子、平田かほる

退屈してダレているぽのぽのたちは、面白いことがないなら探しに行けばいいと～名発起。その途中で分かれ道に差しかかり、行き先を決めようとする。ぽのぽのもシマリスくんも上手くいかず、アライグマくんが二人を蹴り飛ばして落ちた右の道へ行くことに。だが、その先には崖がそびえ立っていて……。

第372話 「海とセレナちゃん」 8.19
脚本／中園勇也 絵コンテ／青木康直 演出／岩崎 翔 作画監督／二本めぐみ

ぽのぽのが魚を捕まえるために海に潜っていると、鳥の鳴き声が聞こえてきた。海に鳥がいるはずがないと鳴き声のほうを見ると、見たこともない動物が近づいてきた。ぽのぽのがシマリスくんとアライグマくんに紹介すると、シマリスくんがその大きな体と印象から、セレナちゃんと名前を付けた。

第373話 「おとうさんのイボ勝負」 8.26
脚本／金杉弘子 絵コンテ／青木康直 演出／牛草 健 作画監督／佐藤田佳、今野淑子

ぽのぽのは手に変なものができたと、おとうさんに見せに行く。痛くもかゆくもなく、ギュッと押し込んで戻るのを観察した結果、おとうさんはそれをイボと断定する。自分にもあると見せたおとうさんは、イボとイボを押し合うイボ勝負をしないかと、ぽのぽのに提案するのだが……。

第374話 「おとうさんとイボ勝負」 9.2
脚本／金杉弘子 絵コンテ／青木康直 演出／牛草 健 作画監督／根岸貴知子

第375話 「海はあったかく遊ぶところ」 9.9
脚本／広田光毅 絵コンテ／山口秀憲 演出／山口秀憲、條義加 作画監督／根岸貴知子

しゅつどう！パジャマスク／バービードリームハウスアドベンチャー／カラーレオン

土 朝7時
テレビ東京ほか

キャッチ！ティニピン

土 朝7時
TOKYO MXほか

ミラキュラス レディバグ&シャノワール

土 朝7時30分
テレビ東京系列

カードファイト!! ヴァンガード will+Dress Season3

土 朝8時
テレビ東京ほか

ギガントサウルス

土 朝8時10分
Eテレ

しまじろうのわお！

土 朝8時30分
TSC、テレビ東京系6局ネットほか

第583話 「みみりんと トマリん」 8.12
脚本／青木由香 絵コンテ／矢野博之 演出／杉山正樹

家でトマトを育てているみみりんは、一番お気に入りのトマトに「トマリん」と名前をつけてかわいがります。しかし、トマリんを友達だと思っているみみりんは、トマリんを獲らせてくれません。このままでは腐って食べられなくなってしまうと困ったみみりんの両親は、しまじろうたちに相談します。

バリウタの愛を知りたい!!

荒木哲郎 平尾隆之

『映画大好きポンポさん』の上映でアメリカのアニメ・エキスポに遠征した平尾さんの思い出話。そして話題の“あれ”を観た荒木さんの感想や二人が考える“巨匠が巨匠たる理由”についても語ります！

#93 どう生きるかを知りたい!!

平尾隆之LA紀行 アニメ・エキスポの思い出

荒木　平尾くん、7月はアメリカに行ったんだよね？

平尾　そうなんです。7月1日から4日まで、ロサンゼルスのアニメ・エキスポに参加しました。

荒木　まずはお土産話を聞かせてくださいよ。

平尾　すごく楽しかったですよ。アニメ・エキスポで『映画大好きポンポさん』を上映してもらったのですが、初日にまず舞台挨拶があって。上映中は舞台袖から客席を見ていましたが、アメリカの観客は映画をショーとして捉えて、声をあげて笑ったりしながら楽しむって、よく言うじゃないですか。

荒木　ああ、そう聞くね。

平尾　あれは本当のことなんだなと思いました。『ポンポさん』の後半でジーンとナタリーがポンポさんに土下座をするシーンで、みんな声を出して笑って。ナタリーの表情がコロコロ変わる場面もゲラゲラ笑ってもらえて。何だかすごく勇気をもらえました。あと、舞台に出た瞬間に歓迎の口笛を吹かれたり（笑）。

荒木　アメリカっぽい（笑）。

平尾　それが1日目ですね。2日目にはサイン会がありましたが、結構たくさんの人に並んでもらえて、ありがたかったです。

荒木　海外だとプロデューサーまでサインするんだよね。今回もなぜか松尾（亮一郎）くんがサインしていたのを、ツイッターで見た（笑）。

平尾　今回は千葉さんも同行していたので、彼女もサインしていました（平尾さんの奥さんの千葉絵美さんは、平尾監督作品で色彩設計を担当）。というのも、集まったお客さんの半分くらいは千葉さんが色彩設計を手掛けた『空の境界』のファンだったんですよ。『空の境界』（平尾さんは『劇場版 空の境界 第五章「矛盾螺旋」』を監督）はもう10年以上前ですけど、海外では僕の代表作はまだこっちか……って気持ちになったりしました（笑）。

荒木　（笑）。まあ、そういうものだよね。オレも『甲鉄城のカバネリ』で呼ばれた海外のイベントのサイン会で『進撃の巨人』の絵を描くとか、あったし。あと意外なところで、『ソードアート・オンライン』の各話演出としてのオレに注目してサインを求めてきた人もいた。

平尾　それで言うと今回、『SPY×FAMILY』のクリアファイルを持ってきた人もいましたよ。で、サイン会が終わった後はインタビューを何件か受けましたが、その中にひとり新作のことを熱心に聞いてくれるインタビュアーがいて。ありがたいなと思っていたら、途中でいきなり「オレに質問ある？」と言われてびっくりしました（笑）。

荒木　何だ、それ？（笑）

平尾　通訳さんが「『自分に質問はあるか？』と聞いています」と。どうやら「アメリカ人であるオレに何か言いたいことは？」みたいなことらしくて。

荒木　ああ……「アメリカのファンに向けて何かひとこと」みたいな？

平尾　というより、どうやら社会派のインタビュアーだったようで、「日本人の視点からアメリカの自分たちに何か言いたいことはあるか」みたいな意図だったようです。いろんなことを聞く人がいるなぁと思って印象に残りましたね。その他、アメリカやイギリスでアニメ映画を配給している社長さんたちと話をさせてもらったり、ディズニー作品の評論などで活躍しているチャールズ・ソロモンさんと会食したり。ハードスケジュールでしたけどいろいろなアイデアももらったし、新作を海外展開するための種を撒くこともできたしで、実りのある旅だったなと思います。そして、滞在の最終日が7月4日で、ちょうどアメリカの独立記念日だったんですよ。

荒木　それはいいタイミング。

平尾　花火がばんばんあがったりして、すごく賑やかでしたよ。で、そんな中、ホテルの前に『鬼滅の刃』の痛車が停まっていたんです。

荒木　ははは、アメリカで『鬼滅』の痛車を目撃（笑）。

平尾　その車の前の歩道に、独立記念日で賑わっているメキシコ系の人たちがいて、中のひとりが痛車を指して「お前のか？」って聞いてきたから「ノーノーノー」って答えて。「この車、3日くらい前からここにあるよ」と伝えたら、普段はアニメを観ていなさそうな雰囲気のメキシカンが「ネズコ？」と訪ねてきたんです。

荒木　禰豆子の痛車だったんだ。

平尾　アメリカ風に少しセクシーに描かれた禰豆子でしたけど「多分そうだと思う」って答えたら「OH！ネズコ！　知ってるぜ！」とか言い出して、最後は感嘆の声で「……ビューティフル！」って。

荒木　ははは（笑）。

平尾　それが、アメリカ最後の思い出です（笑）。日本のアニメは世界に広がっているんだなと実感しましたよ。

荒木　貴重な思い出だ（笑）。

話題の“あの”映画 荒木哲郎はどう観たのか

荒木　さて、今月はもうひとつ大事な話題がありますよ。まあ、キミはまだ観てないだろうなと思いつつ聞くけど、宮崎駿監督の『君たちはどう生きるか』が公開されたじゃん。観た？

平尾　ああ、すいません。ご想像の通り、まだ観ていないです。

荒木　ですよね。平尾隆之という人間を語る上では「最新の話題作は観ていない」というのが基本だと、僕はもうわかっています（笑）。

平尾　（笑）。もちろん観に行きたいと思っているけれど、忙しくて。

荒木　でも、観に行った人の感想くらいは、ちらほら聞いている？

平尾　それが、なぜかみんなネタバレをしてくれないんですよ。打ち合わせの席などで「観た？」という話題にはなりますけれど。

荒木　そう、まずは「観た？」と確認してきますよね。

平尾　それで「観てないです」って答えると「ああ……じゃあやめときますか」ってなるんです。「いや、僕はネタバレがまったく大丈夫なタイプだから、お話してもらってもいいですよ」と言うと、その場にいた他のスタッフが「いや、僕も観てないので、やめてください」と。

荒木　ははは（笑）。

平尾　中には、『君たちはどう生きるか』のネタバレを知るのが嫌だからSNSのアプリをスマホからアンインストールしたという人もいて（笑）。

荒木　（笑）。オレも観たのは日曜日で公開は金曜日だったから、金・土はSNS断ちをしましたけど。アンインストールまではしてない。

平尾　で、荒木くんの感想としてはどうでした？

荒木　そうだなぁ……オレはかなり面白かったけど。公開後の反応を見ていると、あまりにも賛否両論だったから、ちょっと戸惑っているね。でも実際、「本当に素晴らしいな」と感じながら観ていたんだよね。とにかく表現が豊かで。「すごいなぁ、こんなこと思い付かないなぁ」とか、「今のセリフ、おもしろい言い方をしますね」とか、いろいろ楽しんだ。

ひらお・たかゆき／1979年生まれ、フリーの演出家、監督。『劇場版 空の境界 第五章「矛盾螺旋」』、『魔女っこ姉妹のヨヨとネネ』、『映画大好きポンポさん』などで監督を務める。

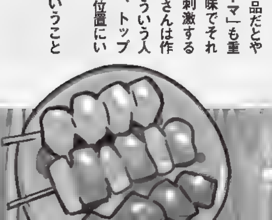
平尾　まだ観ていないので申し訳ないですが、SNSの反応などを観ていると、素直な「エンタテインメント映画」ではないのかな、という印象がありますけれど……。
荒木　そうだね、王道の娯楽映画ではないとは思う。でも、ちょっと別の話かもしれないけど……80歳を越える作り手から、かつてと同じような娯楽・エンタメ作品が出てくると期待するほうがおかしくない？　とオレは思うんだよね。他の巨匠、黒澤明とか、富野（由悠季）さんだってそうだよね。何というか……順当にアーティスティックな作品になっていくじゃん。今回の『君たちはどう生きるか』も、そういう作品だと思ってオレは観に行ったから。
平尾　でも、多くの観客はやはり宮崎さんの作品に「エンタテインメント」を求めているのでは？
荒木　まあ確かにね、金曜ロードショーで『（風の谷の）ナウシカ』だ『（天空の城）ラピュタ』だ『もののけ姫』だと放送されたら、そういうものを期待して映画館に行くのは自然かもしれない。とはいえ、まさか今の宮崎さんから『ラピュタ』が出てくるとは、オレは思わないですよ。というか今回は『夢』を見ているような映画ですよ。
平尾　ああ、つまり宮崎さんが断片として思い浮かべたイメージやアイデアをつないでいった映画、みたいな感じですか？
荒木　そうなのかも……まあ、本当のところは宮崎さんご本人じゃないとわからないけれど。でも、提示されるイメージのそれぞれはものすごく印象的で、心に強く残る。黒澤明監督にも『夢』という作品があるけれど、まさに晩年の黒澤映画のような雰囲気も感じたし、間違いなくおもしろい映画でしたよ。

宮崎&ジブリ作品 それぞれの記憶

平尾　宮崎映画といえば、小学生くらいの頃の記憶なんですけれど、うちの両親は共働きだったので、日曜日は遅くまで寝ていたんです。お休みだから。でも僕は子供だったから、日曜日でも朝6時くらいには起きていたんですよ。
荒木　すげえ、早起きだね。
平尾　で、やることがないからTVをつけると、ローカル局が延々と映画情報を流していた。香川県の映画館で公開されている映画の予告編が放送されていたんですが、ある年に長い期間、『魔女の宅急便』の予告が流れていたんです。
荒木　『魔女の宅急便』は1989年の公開だけど……。
平尾　僕は1979年生まれなので、ちょうど10歳ですね。休みの日の朝にTVをつけたら必ず『魔女の宅急便』の映像と松任谷由実の主題歌「やさしさに包まれたなら」が、まだ薄暗い部屋に流れてくる――そんな風景が自分の中の幼少期の記憶として残っているんですよ。
荒木　ある意味、思い出の作品ってことだ。
平尾　実は『魔女の宅急便』という作品自体、全編通して観たのは数回だけで。回数で言うなら『（ルパン三世）カリオストロの城』や『ラピュタ』のほうが何度も観ています。でも、子供の頃の記憶は『魔女の宅急便』とセットになっていて、不思議な感じです。
荒木　なるほどね、いい話じゃない……と、話を聞いていてオレも『カリオストロの城』を初めて観た時のことを今、急に思い出した。
平尾　ぜひ聞かせてください（笑）。
荒木　まず、公開時（1979年）はもちろん知らなくて。『ラピュタ』や『となりのトトロ』はすでに観ていたけれど『カリオストロの城』は観たことがないという状況で、中学の修学旅行のバスの中で観た。1990年くらいですね。
平尾　へえ。
荒木　バスが高速道路を走っている時に、「ここはもうビデオでも観ていてください」って感じで、誰が決めたか知らんけど金曜ロードショーを録画した『カリオストロの城』が上映されたのよ。で、オレはまだ観たことなかったけど「ああ、ルパンですか。知ってますよ」くらいの感じでぼんやり見始めたんだけど、わりと序盤から「……これ、とんでもなく面白い！」と（笑）。
平尾　ははは（笑）。
荒木　途中、トイレ休憩でバスが停まった時も、トイレの中で「うわぁ……すげえな、おい」みたいな気持ちだったのを覚えてる。で、「頼むから映画が終わる前に（目的地に）着かないでくれ」と願っていたら、ちょうどいい感じのタイミングで到着したんだよね。「あなたの心です」までちゃんと観てから目的地に着いた（笑）。
平尾　（笑）。『カリオストロの城』は何というか、やっていると思わず最後まで観ちゃいますよね。僕は宮崎さんの作品でいうと、『カリオストロの城』と『ラピュタ』はずっと好きでした。
荒木　オレもそういう娯楽色の強い映画は何度もリピートした。あとは『トトロ』かな。そういう意味では宮崎作品／ジブリ作品は人並みに好きというか、人並み以上に好きと言ってもいい……いや、やっぱり「人並み」かな。アニメ業界にはゴリゴリに宮崎さんやジブリが好きな人たちが多いし、「目指して入門した人たち」もたくさんいるわけだから。そういう人たちに比べると僕なんか人並みです、というニュアンスで。
平尾　僕も同じような感覚です。作品を観て育ったのは確かだけれど、「宮崎さんを目指して業界に入りました」というわけではない。
荒木　まあ、そうだよね。われわれの世代だと、多感な時期に『もののけ姫』とかガツンときた人は結構いるんじゃないかなという気がするけれど、オレは同じ年（1997年）の『エヴァンゲリオン』（『新世紀エヴァンゲリオン劇場版 シト新生』『新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に』）のほうが刺さっちゃったから。
平尾　個人的に宮崎さんやジブリ作品に対する興味って、どちらかというと業界に入ってから大きくなったような気がします。自分が作品を作るようになって、その〝偉大さ〟みたいなものにどんどん気付いていくというか。
荒木　そうだね、いかに自分が〝あそこ〟に届かないか、実際にやると身に染みてわかる。何なら学生時代とか、自分がトガっていたい時期は「ジブリなんか観てられっか！」みたいな感覚さえあった気がするけど……いやいや、ジブリこそ観るべきだろ！（笑）

記憶に刻まれる表現 その〝秘密〟とは？

荒木　今でも、いろいろなスタッフと打ち合わせをする時とか、自分が出す例が全部ジブリということに気付いたりするよね。「ここは、飛行石からほとばしる、水みたいな光のエフェクトのイメージです」とか、「ここのポーズは『魔女の宅急便』でキキです」とか。ジブリのフィルムのイメージが自分の中に強烈に貼り付いていることを、あらためて思い知らされる。
平尾　宮崎さんやジブリのアニメーションって、無意識に刻まれていますよね。
荒木　刻まれるね、本当に。
平尾　その原因って何でしょうね？　いままであまり深く考えたことはなかったけれど……。
荒木　浅く分析するならば、やっぱり「観たことのないフレッシュな表現」を連発していたってことじゃないかな。それはもう昔から今にいたるまで宮崎作品、ジブリ作品以外で観たことのない表現みたいなものがたくさんあるんだと思う。もしくは、ジブリ作品が発祥のエフェクト表現とか。だから「これはあの感じ」と伝えたい時に、思わずジブリを参照してしまう。
平尾　たとえば『カリオストロの城』で、ルパンが城の屋根をピョーンと跳び越えていくシーンがあるじゃないですか。
荒木　あるね。「うぃーん」ってなる有名なシーン。
平尾　リアルに考えれば絶対にあんなことはありえない、落ちて死ぬだけだけれど……「そういうことがあってもいい」という気にさせるのがすごいと思うんですよ。
荒木　そうだね。それこそ自分の作品でシナリオにあのシーンが書いてあったら「それでお客が納得するかなぁ？」ってなる（笑）。
平尾　（笑）。でも、あのシーンを観ると、子供が「もしかしたら跳べるのかな」とか「雲に乗ってみたいな」とか思うのと同じような感覚で「できるんじゃないかな」と思える。つまりあの動きにワクワク感があるから納得させられる、ということだと思うんですよ。
荒木　わかる。変な話、笑えちゃったらたいがいのことは許すよね。
平尾　アニメーションで（物語やドラマではなくアニメーションの「動き」そのもので）感情を動かされることってなかなかないから、記憶に残るのかなと思います。『魔女の宅急便』でも、映画の後半で「高さ」を表現する印象的なシーンがありました。俯瞰のレイアウトで、手前が屋根で奥が地上、密着でブックをスライドさせるだけでものすごい高低差を表現していて、観ていて思わず「ゾワッ」とする。そういう風に五感を直接刺激してくるような演出やアニメーションが、宮崎さんの作品の大きな魅力だと思います。
荒木　そうだよね、五感を刺激してくるアニメーション。ストーリーの理屈じゃなくてね。
平尾　感情が動いてしまったからこそ、観ている側もそれで納得せざるを得ない。論理的に考えたら不自然な描写でも自然に、違和感なく受け入れてしまう。それってアニメーターだからできることですよね。だから、絵を描けない演出家がよく言われるのは「宮崎さんの真似はしちゃいけない」ということで。
荒木　ああ、そうだ。
平尾　あれで物語が成立するのは宮崎さんだからであって、他の人が同じことをしようとしても、違和感が生まれてしまう。
荒木　「動き」という点では宮崎さんだけれど、さらに広く「絵」と捉えるなら、オレは『銀河鉄道999』とかにも同じような感覚がある。このタイミングでハーロックが助けにきてくれるとか、あまりにもご都合主義だと思っているはずなのに……ハーロックの顔がいい。
平尾　（笑）。
荒木　小松原一男さんの作監の力なのか、とにかく「ここぞ」のところで本当にいい顔をして、それでもう全部許すという気持ちにさせる。そういう理屈を超えた力ってあるよなぁと思うね。
平尾　絵力で押されちゃった、みたいなことですね。僕自身はアニメーターではないから、自分の作品にそういう絵力は「あったらラッキー」で。なくても成立するように物語を作らなくちゃいけないと思っていますが。
荒木　そうだね、それはオレもそう考えている。
平尾　でも宮崎さんは多分、そこに確かな自信をお持ちなのだろうなと感じます。
荒木　少なくとも、絵コンテで描いてみて「これでいける」って思ったから出していると思うしね。
平尾　アニメーションという〝嘘〟で五感を直接刺激するって、生半可なことじゃないです。たとえば〝恐怖〟〝怖さ〟をアニメーションで表現するのは難しいから、アニメでホラー映画を作るのは難しい。でも宮崎さんがホラー映画を作ったら、きっとすごく怖いんだろうなって気がするんですよ。
荒木　怖いだろうね。実際、直接的にホラーではないにしろ宮崎作品で〝怖い〟と感じることはある気がする。今回の『君たちはどう生きるか』でも、怖いと言っていい場面があった。包丁を隠し持った凶暴なインコとか……いや、あれは〝怖い〟というより明らかにコメディ狙いだったかな（笑）。
平尾　シュールですね（笑）。
荒木　オレはあいつらが出てくるだけで笑っちゃって、「あのインコ、めちゃめちゃ面白かったじゃん」ってみんなにも言うんだけど。そういうことで言うと、今回の『君たちはどう生きるか』からオレが受け取ったのも、まさに「五感を喜ばせるサービス」だったのかもしれない。
平尾　僕自身は、自分の作品だとやはり「ストーリー」や「テーマ」も重視しますけれど、ある意味でそれ以上に根源的な「五感を刺激するアニメーション」を、宮崎さんは作り続けている。そして、そういう人が今なおカリスマとして、トップクリエイターとして確たる位置にいる、ということですね。
荒木　そう、まさにそういうことなんだと思います！



あらき・てつろう／1976年生まれ、フリーの演出家、監督。『DEATH NOTE』、『ギルティクラウン』、『進撃の巨人』、『甲鉄城のカバネリ』、『バブル』などで監督を務める。

アニメージュ
Animage

新房昭之の本棚の奥から

第46回「干物妹！うまるちゃん」

ゲスト 田中潤一朗

「干物妹！うまるちゃん」作者はサンカクヘッド。2013年から2018年まで「週刊ヤングジャンプ」（集英社）にて連載（続編「干物妹！うまるちゃんG」も含む）。単行本は全13巻（＋「G」全1巻）が集英社〈ヤングジャンプ・コミックス〉にて発売中。

外では才色兼備、成績優秀、スポーツ万能、誰もが憧れる完璧女子高生の土間うまる。しかしその正体は、家では漫画やアニメ、ゲーム、ネット、ポテチ、コーラなどなど好きなモノに囲まれてグータラな時間を過ごす〈干物妹〉。彼女の“真の姿”を知るのは一緒に暮らすお兄ちゃんのタイヘイのみ……。そんなうまるちゃんとタイヘイ、さらにはクラスメイトの海老名、きりえ、シルフィンたちが繰り広げる、賑やかで楽しげな日常を描いたコメディ漫画。

Kindle版

卓越したデザインと完成度の高さが魅力

今回のゲストはTBSで多くのアニメに関わっている、プロデューサーの田中潤一朗さんです。

田中　よろしくお願いします。新房監督とは、『ひだまりスケッチ』や『それでも町は廻っている』『電波女と青春男』『ささみさん＠がんばらない』などで一緒にお仕事をしました。特に『ひだまり』は第4期まで続いたので、お付き合いが長かったですよね（※1）。

――今回のテーマに選んでいただいたのは『干物妹！うまるちゃん』。4コマ漫画ではありませんが、『ひだまりスケッチ』と近い雰囲気の作品ですね。

新房　そういえば田中さん、ずいぶん前に『うまるちゃん』もアニメにしたいと言っていましたよね？

田中　はい、言っていました。言っていたんですけど……僕がアニメ化したいと思い立った時には、もう東宝さんと動画工房さんでアニメ化のお話が動いていたんです（※2）。集英社さんに問い合わせをしたら「もう（アニメ化が）決まっています」と言われ、その時は3週間くらい立ち直れなかった記憶があります（笑）。

新房　結構なショックだったんですね（笑）。

田中　せめて放送はTBSでさせてもらえないかなとも思いましたが……ダメでした（笑）。でも、本当にすばらしいアニメで、第2期まで作っていただけたので、一ファンとしては動画工房さんと東宝さんに大感謝です！

新房　そのくらい原作が好きだったわけですね。この作品のどんなところに、そこまで惹かれたんですか？

田中　一番は、やはり作者のサンカクヘッドさんの絵が好きなのかもしれないです。『ひだまりスケッチ』もそうでしたが、僕はもともと絵がかわいい漫画が好きなので。特に惹かれるのは干物妹状態のうまるちゃんですね。デフォルメっぽいデザインが本当に秀逸だと思います。

新房　干物女的なタイプの人に惹かれる部分も？

田中　いえ、そういうわけではないですが（笑）。純粋にSDキャラとしてのかわいさ、デザインのよさに惹かれますね。美妹状態の才色兼備なうまるちゃんじゃなくて、干物妹状態のうまるちゃんが、表情も豊かで好きです。それに、周囲に配置されているアイテムも、うまるちゃんの魅力を引き立てているという点では重要ですね。クリスマスの時に、いつも被っているフードにトナカイの角がついていたりとか。それに、ハムスターのハム二郎、ハム三郎と遊んでいる姿も本当にかわいい（笑）。

新房　（笑）。確かに、このフードみたいな被り物を着た姿は印象的ですよね。

田中　僕は時々、海外のアニメ・コミック系のイベントなどにも行くのですが、うまるちゃんのフードをかぶっている外国のファンの方って、結構います。かくいう僕自身、通販でうまるちゃんのパーカーを買って着ていましたし。

――作品グッズとして発売されていたパーカーを。

田中　そうそう、ポンチョみたいなやつ。寒い時に着るとちょうどいい感じでした。着すぎてもう、ボロボロになっちゃいましたけど。あとは、デザインだけでなく、キャラの「動かし方」がかわいいというのもあります。漫画なので「動き」というのもおかしな言い方ですが……。

新房　ニュアンスはわかります。ポーズや画面の流れから、こんな風に動いていそうだなと想像させる描き方ですね。

田中　そういう感じです。しかも、よくある「パンツが見えちゃった、キャー♡」みたいな雰囲気でもなくて、全体に上品さを感じる。そこも惹かれるポイントですね。

――つまり、デザインや作中での描写も含めた絵の魅力ですか？

田中　読み始める入り口はそうでしたね。当初は「かわいい」だけで読んでいました。でも、そこから徐々に設定やストーリーのよさにも気づいていったんです。基本1話が8ページのショート漫画ですが、実は起承転結もしっかりしているし、週刊誌連載だから季節のネタも盛り込まれていて、「夏休みだな」とか「お正月だな」とか歳時記みたいな感覚でも楽しめます。

――キャラクターもにぎやかで楽しい印象でした。

田中　そうですね。キャラクター同士の人間関係の設定も好きなんです。うまるのクラスメイトのきりえちゃん（本場切絵）の兄貴のぼんば（本場猛）が、うまるの兄のタイヘイと職場の同僚かつ学生時代からの友人同士だったり。同じくクラスメイトの海老名ちゃん（海老名菜々）が、密かにタイヘイに恋をしていたり。それと、タイヘイの会社に叶課長という上司がいるですが、これもまたタイヘイやぼんばと学生時代から日知の仲で、しかも実はタイヘイを学生時代から想っているという「ラブコメ線」みたいな関係もあるんです。そんな感じでキャラクターがみんなつながっていて、しかもその関係性がそれほど激しく変化することがないので読みやすい。

新房　複雑な関係があるけれど、それが進展したり解決したりするのではなくて。「そういうシチュエーション」の中でいろいろあるのが面白いわけですね。

田中　そんな描かれ方が心地良いのかもしれないです。その一方で、さりげなく設定を回収していくようなところもあります。人間関係の話も、さりげなく会話の中に匂わせたりするのが巧いなと思います。たとえば、うまるちゃんとお兄ちゃんは兄妹で二人暮らしですが、「親はどうしたんだ？」みたいな話も一瞬、フリとしては出てくるけれど、深掘りはしていかない。だけど、気になることは気になるなあ……みたいに思っていると、ちょうどいいタイミングで急にまたそのエピソードが出てきたりするんです。

新房　設定や情報の出し入れの仕方が絶妙なんですね。

田中　そうなんです。細かいところだと、部屋になにげなく置いてある小物が「あ、この間の回のジャンケン大会で勝った賞品だ」とか。そういうところに気づいたりするのも楽しいんですよね。意外と多彩な情報が、それこそ1話8ページの中に収まっているんです。単行本にまとまった時もコンパクトで読みやすいし。

新房　昨今は音楽も、イントロや間奏が長いと聴かれなかったりするらしいですからね。この作品のようにコンパクトにまとまっていて、すぐに世界観に入っていけて、という作り方は時代に合っているのかもしれない。

田中　そうかもしれないですね。本当に気軽に読めるし、嫌なことがあった時に読み直すと幸せな気持ちにもなれます。繰り返しになりますが、デザインも含めて絵が素晴らしいし、漫画としての完成度も高くて読みやすい。まだ読んだことがない人がいればぜひ、読んでみてほしいですね。僕も、会社のデスクに何冊か単行本が置いてあって、仕事で辛いことがあるたびに読んで癒やされています（笑）。

※1 『ひだまりスケッチ』 作者は蒼樹うめ。04年から「まんがタイムきららキャラット」（芳文社）にて連載。アニメ版は新房昭之監督（第1期のみクレジットは総監督）、アニメーション制作＝シャフトで07～12年にかけて第4期まで制作。

※2 アニメ版『干物妹！うまるちゃん』 太田雅彦監督、アニメーション制作＝動画工房で15～17年にかけて第1期、第2期『干物妹！うまるちゃんR』が制作された。

田中潤一朗のオススメ5選

『HELLSING』
平野耕太
「ヤングキングアワーズ」（少年画報社）
1997年～2008年

『ラブひな』
赤松 健
「週刊少年マガジン」（講談社）
1998年～2001年

『アフロ田中』シリーズ
のりつけ雅春
「ビッグコミックスピリッツ」（小学館）
2001年～連載中

『異世界おじさん』
殆ど死んでいる
「ComicWalker」→「WebComicアパンダ」（KADOKAWA）
2018年～連載中

『チ。-地球の運動について-』
魚豊
「ビッグコミックスピリッツ」（小学館）
2020年～2022年

Akiyuki Shinbo
アニメーション演出家／代表的な監督作品に『化物語』『魔法少女まどか☆マギカ』『3月のライオン』ほか

Junichiro Tanaka
プロデューサー　TBSスパークル・アニメ部所属。『魔女と野獣』『五等分の花嫁』『まちカドまぞく』等を担当

STAFF

Editor-in-Chief
川井久恵

Contributing Editors
久保田志乃
佐久間翔大
近藤　瞳

Advertising
岩水洋子
小出健太郎
谷川浩史

Marketing Analyzer
片山伸之
柳楽公三

Public Relations
斎藤信恵
松本留衣子

Writers
徳木吉春
原口正宏
渡辺麻紀
渡辺由美子
石井　大
中野克己
浜田肇生
ぽろり春草
新庄　圭
ぬのまる
川畑　剛
スタイル
福西輝明
許士明香
鈴木雅康
高円寺工房
後藤悠里奈
みちかみ

EDITORS VOICE

5年ぶりのザ・夏休みで、沖縄3泊4日の旅にGO！　首里城、美ら海水族館などベタな見どころを満喫でしたが、個人的には宜野座を通った時に気分がダダ上がり♪　「ギノー！」と心の中で静かに叫ぶ私。宿では「宜野座のしずく」という泡盛をいただき、（これはギノの涙　　？）と一人静かに浸ってました。ちなみに帰りの飛行機は、筑治郎が副操縦士でした♪　（久）

7月号（45周年記念号）のアンケートはがきに、多くの読者さんが「45周年おめでとうございます」と書き添えてくれていたのがすごく嬉しくて。『ガラスの仮面』で「はい」「いいえ」「ごめんなさい」「ありがとう」だけで即興芝居をするシーンがありますが、やっぱり挨拶の言葉ってシンプルだけど強いなぁと。中でも「おめでとう」ってスペシャルな響きがします。　（志）

『ウルトラマンSTORY 0』の真船一雄先生の作品ということで、無料キャンペーン中に全話読んだ『K2』。医療ものの漫画なのですが、出てくる医療関係者が真摯な人間ばかりで、みんなカッコいいんですよね。最近悩まされている頭痛もK先生に診てもらいたい……でも現実にスーパードクターはいないんで、ひと段落したらちゃんと病院に行きます、はい。　（サ）

舞台『異聞・狂人日記』【受容】と【拒絶】を観劇してきました。何を言ってもネタバレになってしまうので多くは語れませんが、これだけは言わせてください。舞台化、最高でした。舞台上で見せた狂気の世界と、凄い奇ってくる違和感がたまりません。全身でこんなにもコズミックホラーを体感でき、改めてクトゥルフが面白いと思えました！　（近）

NEXT Animage アニメージュ 2023年10月号

2023年9月8日発売

※内容に変更があったらごめんなさい

✦表紙&巻頭特集✦

映画プリキュアオールスターズF

ふろく AMオリジナルグッズ

呪術廻戦 渋谷事変／文豪ストレイドッグス／ゾン100～ゾンビになるまでにしたい100のこと～／葬送のフリーレン／アンデッドアンラック／鴨乃橋ロンの禁断推理／暴食のベルゼルク／SAND LAND／劇場版シティーハンター 天使の涙／カミエラビ／王様戦隊キングオージャー etc.

アニメージュ9月号アンケート用作品リスト

下記の作品リストから該当するものの番号を、ハガキ裏面「見名面」の解答欄に記入してください。

①100秒でわかる名作劇場　②AIの遺電子　③AYAKA　④BanG Dream! It's MyGO!!!!!　⑤BASTARD!!　⑥BLEACH　⑦EDENS ZERO　⑧Helck　⑨Lv1魔王とワンルーム勇者　⑩MIX　⑪NieR:Automata　⑫ONE PIECE　⑬SYNDUALITY Noir　⑭ULTRAMAN　⑮青のオーケストラ　⑯アニアキングダム　⑰あやかしトライアングル　⑱アンパンマン　⑲アンデッドガール・マーダーファルス　⑳いきものさん　㉑ヴァンガード will+Dress　㉒うちの会社の小さい先輩の話　㉓ウマ娘RTTT　㉔うんたろう　㉕英雄教室　㉖大奥　㉗おかしな転生　㉘おさるのジョージ　㉙おじゃる丸　㉚おしりたんてい　㉛おでかけ子ザメ　㉜オトッペ　㉝俺自販機　㉞彼女、お借りします　㉟カラーレオン　㊱クレヨンしんちゃん　㊲幻日のヨハネ　㊳こてつくん　㊴サザエさん　㊵サスとテナ　㊶実は俺、最強でした？　㊷死神坊ちゃんと黒メイド　㊸しまじろう　㊹シャドウバースF　㊺終末のワルキューレⅡ　㊻シュガーアップル・フェアリーテイル　㊼呪術廻戦　㊽シルバニアファミリー　㊾白聖女と黒牧師　㊿好きな子がめがねを忘れた　(51)スパイ教室　(52)スプリガン　(53)聖者無双　(54)銭天堂　(55)善弩のファフナー THE BEYOND　(56)ゾン100　(57)ダークギャザリング　(58)タイバニ2　(59)ちいかわ　(60)ちびまる子ちゃん　(61)デキる猫は今日も憂鬱　(62)デュエル・マスターズ WIN　(63)てんぷる　(64)逃走中　(65)トニカクカワイイ　(66)トミカヒーローズ ジョブレイバー　(67)ドラえもん　(68)ななし怪談　(69)七つの大罪 忍睦のエジンバラ　(70)七つの魔剣が支配する　(71)贄姫と獣の王　(72)女体化した僕を騎士様連がねらってます　(73)ニンジャラ　(74)忍たま乱太郎　(75)ハートカクテル カラフル　(76)バービードリームハウスアドベンチャー　(77)パウ・パトロール　(78)パジャマスク　(79)パズドラ　(80)はたらく魔王さまⅡ　(81)範馬刃牙　(82)ぴーくるずー　(83)ピーストゥォーズ　(84)秘密戯舎 馬の蹄　(85)百姓貴族　(86)ひろがるスカイ！プリキュア　(87)夫婦交歓　(88)フェ～レンザイ　(89)藤丸立香はわからない　(90)文豪ストレイドッグス　(91)ポケットモンスター　(92)ぽさにまる　(93)ぽのぽの　(94)ホリミヤ -piece-　(95)魔王学院の不適合者Ⅱ　(96)政宗くんのリベンジR　(97)まめきちまめこ　(98)ミニ豆ちゃん　(99)ミラキュラス　(100)無職転生Ⅱ　(101)名探偵コナン　(102)メックカデット　(103)もののがたり　(104)ヤキトリ　(105)闇芝居　(106)遊☆戯☆王ゴーラッシュ!!　(107)ユーチューニャー　(108)夢見る男子は現実主義者　(109)幼女社長R　(110)ライアー・ライアー　(111)ライザのアトリエ　(112)ラス為　(113)ろろうに剣心　(114)レベル1だけどユニークスキルで最強です　(115)わたしの幸せな結婚

新番組＆新作映画・OVA情報

TV　MOVIE　OVA　WEB　ANIME　ETC　NEWS

ANIMAGE NEXT RECOMMEND

ANIMAGE NEXT RECOMMEND

夏休みは時間があるので、普段なじみのないジャンルに接することで新たな扉が開けたりするかも。食わず嫌いをせずに、積極的にいろいろな作品を観てみましょ〜〜〜☆

DC悪党のハーレイやジョーカーが異世界でも大「暴」険！

ANIME 未定

ジョーカーやハーレイ・クインなどDCコミックスでおなじみの悪党（ヴィラン）が大暴れする最新作アニメ。どう考えても危なっかしい異世界ファンタジーが、制作決定！

シリーズ構成・脚本は長月達平と梅原英司の『リゼロ』タッグ。キャラクター原案は天野明が担当している。公開されたPVではハーレイが大きく扱われているが、まさか彼女が物語の中心!?　最狂の「暴」険ファンタジーの続報が気になる。

異世界スーサイド・スクワッド

▶制作決定

STAFF　制作／WIT STUDIO　プロデュース／Warner Bros.Japan　CAST　未定

©Suicide Squad and all related characters and elements ©& TM DC ©2023 Warner Bros. Japan LLC

金塊を巡る生存競争サバイバル　鶴見中尉が巡らせる謀略とは……

今月のPICK UP

TV 未定

岩息との出会い、キロランケの死。さまざまな試練を乗り越え、樺太を脱出した杉元一行は、北海道にたどり着いたものの、いまだ悪戦苦闘している。しかし、着実に金塊には近づいているようで……。

アイヌから奪われた金塊を巡る生存競争サバイバル。その最終章が製作決定ッ!!

到着したビジュアルには、鶴見中尉が登場。誰よりも謀略に長けたこの男が、金塊争奪戦で画策することとは!?　静かにたたずむ姿が印象的だが、その心中にあるものが気になる！

また、7月からBS朝日で第四期が放送中のほか、Prime Videoなどでこれまでのエピソードが配信中ッ!!

ゴールデンカムイ

白石晴香　ほか

©野田サトル／集英社・ゴールデンカムイ製作委員会

動き出すシエルとセバスチャン　英国貴族が請け負う裏の仕事

ANIME 2024年

19世紀英国。貴族・ファントムハイヴ家の当主で、13歳の少年・シエルは、執事セバスチャンとともに「女王の番犬」として裏の汚れ仕事を請け負っていた。枢やな原作の新シリーズが制作決定。来年放送されることも発表された。シエルとセバスチャンの声優は前作から続投。制作はCloverWorksが担当する。

二人の新たな物語が待ち遠しい！

『黒執事』新シリーズ

▶2024年放送決定

STAFF　原作／枢やな（「月刊Gファンタジー」スクウェア・エニックス刊）　監督／岡田堅二朗　シリーズ構成／吉野弘幸　キャラクターデザイン／清水祐実　制作／CloverWorks　CAST　セバスチャン・ミカエリス／小野大輔　シエル・ファントムハイヴ／坂本真綾　ほか

©Yana Toboso/SQUARE ENIX,Project Black Butler

この手で「好き」って伝えたい……　胸がときめくピュアラブストーリー

TV 1月

ある日、困っているところを同じ大学の先輩・逸臣に助けてもらった雪。聴覚障がいのせいで耳が聴こえないのだが、そんな姿に動じることなく、彼は自然に接してくれた。自分に新しい世界を感じさせてくれる逸臣のことが気になり、意識するようになったものの……。

少女漫画誌『デザート』の人気ピュアラブストーリーがアニメ化決定。ティザービジュアルとともに、原作者・森下suuからコメントも到着。「アニメチームの方々の熱意がとてもすごく、心に伝わってくるアニメになるのではないかと思っています」と、大きく期待☆

ゆびさきと恋々

宮崎遊　ほか

©森下suu・講談社　ゆびさきと恋々製作委員会

「なんで誰も、本当の世界を覚えていないんだ――！」。地上の覇権を争う五種族の大戦も、人類の勝利に終わった世界も、少年カイの目の前で突如として「上書き」された。歴史は改ざんされたのだ――。ここでは竜や悪魔が地上を支配し、さらにカイはすべての人間から忘れられた存在になっていた。だが、神秘の少女リンネと出会い、カイは英雄なき世界で、英雄の剣を継承し、君臨する強大な敵種族に戦いを挑む。世界から忘れられた少年が「真の世界を取り戻す」王道ファンタジーバトルがアニメ化決定！

MORE INFO

ただの幼なじみじゃいられない！ ゆっくりと動き出す恋の歯車

TV 未定

家が隣同士の少年・白崎純と、神宮寺家の双子姉妹。活発でスポーツが大好きな姉・琉実と、理屈屋でひねくれものの妹・那織。幼なじみの親友として過ごしてきた3人だったが、琉実のある一言によってその関係は変化していく。高村資本のラブコメ小説がアニメ化決定。到着したティザービジュアルには、背中合わせにたたずむ姉妹が描かれている。二人は、純に対して何を想っているのだろうか……。

いつからか芽生えていた恋心が動き出す。3人はもう、ただの幼なじみじゃいられない！

恋は双子で割り切れない

▶

STAFF

CAST 未定

©2023 高村資本/KADOKAWA/ふたきれ製作委員会

最強の腕を持つ殺し屋に下された指令 「1年間誰も殺してはならない」

TV 未定

どんな敵も6秒以内で葬る最強の殺し屋・ファブル。そんな彼が「1年間誰も殺してはならない」という指令を受け、一般人・佐藤明として生活をすることに。

実写映画化もされた南勝久の人気作がTVアニメ化決定。ティザービジュアルでは、明が銃を手にしているが……。

指揮をとる高橋良輔監督から「作品の中の強さも優しさも侠気も狂気も、切れば噴き出す熱い血を持ったキャラクター達によって語られなければならない」と力強いコメントが到着！

静かに暮らそうとする明だが、なぜか不穏な空気がまとわりつく。風変わりな殺し屋の休業生活が始まる！

ザ・ファブル

▶

STAFF

監督

千綱プロダクション CAST 未定

©南勝久・講談社 アニメ「ザ・ファブル」製作委員会

魔法少女vs悪の組織の女幹部 正義と悪による激しいSMプレイ!?

TV 2024年

柊うてなは、魔法少女が大好きな普通の女子。ある日、変身する力を与えてくれそうな「マスコット的なやつ」と出会ったことで、「これでわたしも魔法少女に（なれる！）」と思ったのだが、なぜか悪の組織の女幹部に変身しちゃった!?

小野中彰大の人気コメディがアニメ化決定。来年放送されることも発表された。到着したティザービジュアルで、不気味にほほ笑む悪の組織の女幹部（Ⅱうてな）は最初こそやむを得ず嫌々戦っていたのだが、魔法少女たちの傷つく姿を見ていたら、ドSな本性が目覚めてしまった♡

正義と悪のSMプレイが始まる☆

魔法少女にあこがれて

▶

STAFF

CAST 未定

©小野中彰大・竹書房／魔法少女にあこがれて製作委員会

大人気シリーズ第七期制作決定 神谷浩史&井上和彦が発表

ANIME 未定

7月でアニメ放送15周年を迎えた人気作。その記念対談で夏目貴志役を務める神谷浩史と、ニャンコ先生／斑役を務める井上和彦から、アニメ第七期の制作が発表された！

夏目友人帳 漆

▶第7期制作決定

STAFF 原作／緑川ゆき

CAST 夏目貴志／神谷浩史 ニャンコ先生・斑／井上和彦 ほか

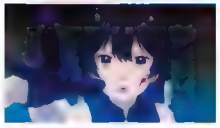
©緑川ゆき・白泉社／「夏目友人帳」製作委員会

運命を変える二人の物語

TV 2024年

子孫を残せない呪いをかけられた王太子・オスカーと、青き月の魔女・ティナーシャ。二人の出会いが、運命を書き換えていく。

すでにアニメ化が発表されている古宮九時のファンタジー小説。そのティザーPVが公開された。描かれているのは、二人の静やかなやりとり。ティナーシャ役の種崎敦美は「アフレコ中も頭と心、フル回転で演じております」と奮闘中。



Unnamed Memory

▶2024年放送予定

STAFF

知恵／ENCE CAST オスカー／中島ヨシキ ティーシャ／種崎敦美 ほか

©2022 古宮九時/KADOKAWA/Project Unnamed Memory

©TRIGGER・今石洋之

再び暴れまわるパンスト姉妹

ANIME 未定

ダテンシティでゴーストを退治しながら、ヘブンコインを集めるパンティとストッキング。欲望に忠実で、目的のためには手段を選ばない型破りの堕天使姉妹が、再び暴れだす!?

LAで行われた北米最大級のアニメコンベンション「Anime Expo 2023」のTRIGGERメインステージパネルで、大人気『パンスト』の新プロジェクト始動が発表された!

NEW PANTY AND STOCKING

▶制作決定

STAFF 未定 CAST 未定

開き直った清楚VTuberが覇権を目指して駆け上がる!

TV 未定

清楚VTuberの心音淡雪が、不注意から配信を切り忘れた。そして「やっぱロング缶の鳴る音は最高だぜ!」「は? どちゃしこなんだが?」と、素の性格がバレてしまった。もちろん大炎上するかと思ったら、ギャップがウケて大バズ! 開き直った彼女は、大人気VTuberへ駆け上がる!

すでにアニメ化が決定しているセ斗七の人気小説。そのティザービジュアルが到着した。画面を飛び出した淡雪は、どこへ行くのだろうか。

原作イラストを担当している塩かずのこから「今から楽しみです!」と喜びのコメントも到着♪

VTuberなんだが配信切り忘れたら伝説になってた

▶アニメ放送

STAFF 原作/セ斗七 キャラクターデザイン/塩かずのこ CAST 未定

©七斗七・塩かずのこ／KADOKAWA／「ぶいでん」製作委員会

百千家で繰り広げられる人間とあやかしのにぎやかな日常譚

TV 未定

©2023 硝音あや/KADOKAWA/百千さん家のあやかし王子製作委員会

ひまりが相続することになった百千家。それは、現世(うつしよ)と幽世(かくりよ)の狭間に建っており、先住人たちの姿も……。

硝音あやのあやかし系和風ファンタジーがアニメ化決定。到着したティザービジュアルには、百千家の守り主「御守様」が描かれており、とっても艶やか。

ひまりたちの妖しくもにぎやかな日常が、とっても楽しみだ♪

百千さん家のあやかし王子

▶[illegible]

STAFF 原作/硝音あや キャラクターデザイン/[illegible] CAST 田村睦心 大塚剛央 ほか

クソゲーハンター・陽務楽郎が挑む最高のゲーム冒険ストーリー

TV 10月

クソゲーハンター・陽務楽郎が挑むのは、総プレイヤー数3000万人の神ゲーだ。集う仲間、広がる世界。そして宿敵との出会いが、彼の、すべてのプレイヤーの運命を変えていく!

『週刊少年マガジン』読者アンケートで史上初となる四冠を達成した人気作が、アニメ化され10月から放送開始!

シャングリラ・フロンティア

▶[illegible]

STAFF [illegible] CAST [illegible]

©梗概薬・不二涼介・講談社 「シャングリラ・フロンティア」製作委員会・MBS

レイルロオドの奮闘に注目!

TV 10月

©レエルロマネスク2製作委員会

鉄道車両の運転制御用人型モジュール「レイルロオド」が、それぞれのマスターとともに全国から集結。再び「レイルロオドサミット」が開催される。

鉄道を擬人化したストーリーで話題となった『レエル・ロマネスク』。その第2期が10月から放送開始! どんな物語が描かれるのか気になるシュポポ~。

レエル・ロマネスク2

▶[illegible]

STAFF 原作/昭 制作/横浜アニメーションラボ CAST 未定

至高のファンタジー頭脳戦が開幕！ ゲーム好きが挑む悲願の初完全攻略

TV 2024年

神々が作った頭脳ゲーム「神々の遊び」は、理不尽かつ理解不能。そんな無理ゲーに、「近年最高のルーキー」と期待されているフェイが挑戦！

すでにアニメ化が発表されている細音啓の人気ファンタジー。その放送が来年に決定。ティザービジュアルには、フェイと元・神様であるレーシェの姿が描かれている。

フェイ役の梅原裕一郎は「言動のひとつひとつにしっかり狙いや意味がある彼からたくさんの刺激を受けています」と、意気込み十分！

神は遊戯に飢えている。

©2024 細音啓,智瀬といろ/KADOKAWA/神飢え製作委員会

新米ハンターに舞い込む極秘依頼 遺跡をめぐるSFガンアクション

TV 未定

旧文明が滅びた世界。古代の遺物から知識の断片を再発見するハンターが遺跡にひしめき合っていた。そんな中、孤児のアキラも、スラム街での過酷な生活から逃れるため新米ハンターとして、旧文明の遺産を発掘しようとするのだが……。

ナフセの人気SFアクションが、アニメ化決定。到着したティザービジュアルには、銃を手にしたアキラの横顔が描かれているが、彼の胸中にある想いとは……。遺跡で出会った謎の美女・アルファから極秘依頼を受けたところから、物語が大きく動きだす。彼女の正体は？ アキラの運命は？ 今から放送が待ち遠しい！

リビルドワールド

CAST アキラ／田下大輝 アルファ／久保ユリカ シェリル／井上ほの花 ほか

©2023 ナフセ/KADOKAWA/リビルドワールド製作委員会

eスポーツを題材にした青春群像劇 少年少女たちが手にするモノとは？

TV 10月

事故で父が死に、妹がケガを負った。高校2年生の時野谷瞬は、熱中していたゲームを辞めて、家計を助けるためeスポーツカフェ「FOX ONE」でバイトをすることに。しかし、その「FOX ONE」に膨大な借金があることが判明。その返済のためオンラインゲーム大会「ザクセリオン・チャンピオンシップ」で優勝して賞金獲得すべく、さまざまな試練を乗り越えていく！

『阿波連さんははかれない』の総監督・山本靖貴や、『推しの子』のキャラクターデザイン・平山寛菜らが集結したオリジナルアニメ。その放送が10月に決定！ 雨とゲーム世界が入り交じる幻想的な様子が描かれた最新PVが公開された。ゲームを通じて描かれる家族や仲間たちとの絆の物語。瞬が手に入れることができるのは、ハッピーエンドなのだろうか!?

僕らの雨いろプロトコル

©Team KITSUNE／「ぼくあめ」製作委員会

異文化恋愛スタート！ 好きだから理解したい「うちなーぐち」

TV 未定

沖縄の高校に転校してきた中村照秋は、喜屋武飛夏に想いを寄せている状態。ちょっとでもいっぱい話したいのだが、彼女の言葉は方言「うちなーぐち」が多く、コミュニケーションが難しい。そこで、同級生・比嘉夏菜が〝通訳〟をしてくれている。

『くらげバンチ』で好評連載中の人気ラブコメが、アニメ化決定。原作者・空えぐみからアニメ化お祝いイラストが到着した。その中には、飛夏と夏菜のほかに、照秋たちの同級生などのキャラクターがお祝いに駆けつけており、とってもにぎやかさ〜！

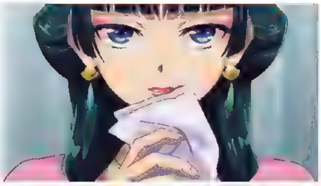
沖縄で好きになった子が方言すぎてツラすぎる

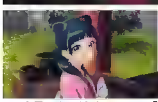
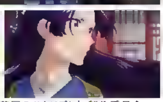
CAST 未定

©空えぐみ/新潮社

陰謀渦巻く後宮を毒見役が奔走する謎解きエンタテインメント

TV 10月



宦官・壬氏(じんし)によって、帝の寵妃の毒見役に任命された猫猫(マオマオ)。もとは、花街で薬師をしていたのだが、現在は後宮で下働き中の身だ。そんな彼女は、人間には興味がないものの、毒と薬に対する執着はとてつもなく強い。後宮内での噂や陰謀に毒はつきもの。稀代の毒好き娘が、事件を追いかけ後宮内を駆けまわる！

すでにアニメ化が発表されていた日向夏の後宮謎解きエンタテインメント。その放送が10月に決まった。色鮮やかなティザービジュアルとともに、PVも公開。猫猫(マオマオ)の「これ、毒です。」というセリフがとっても印象的だ。鮮やかに事件を解決していく姿が、早く見たい。また、壬氏役を大塚剛央が演じることも発表された！

薬屋のひとりごと
▶[illegible]
STAFF [illegible]
CAST [illegible] 悠木碧　壬氏／大塚剛央　ほか

©日向夏・イマジカインフォス　「薬屋のひとりごと」製作委員会

バーチャルグリッドアワード本戦に向けPathTLiveが再始動する!!

TV 10月

ミラク、クオン、ノエル、クリス、リズをメンバーに結成されたPathTLive。彼女たちが、最高のパフォーマンスを届けるべく、新たなステージへ。

人気バーチャルタレント・キズナアイをモチーフとしたアニメプロジェクト。その続編が10月から放送開始！　到着した新規ビジュアルには、ステージに立つPathTLiveの後ろ姿が描かれている。ペンライトを手に応援するファンに向けて、彼女たちはどんな想いで歌やパフォーマンスを届けるのだろうか。

また、第2期からはBRT5やVICONIC、3DM8も作中に登場。PathTLiveとどう交わっていくのかも気になるところ。

絆のアリル
▶[illegible]
STAFF [illegible]

©KA／絆のアリルPJ ©絆のアリル製作委員会

大室三姉妹が織りなすゆる〜い日常が劇場中編アニメーションに！

MOVIE 2024年

クールな撫子、お調子者の櫻子、しっかり者の花子。個性豊かな大室三姉妹による、ゆる〜くて、おかしな日常が劇場の大スクリーンで堪能できる。

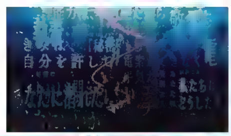
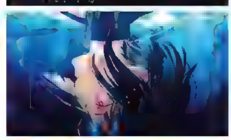
『コミック百合姫』（一迅社）で好評連載中の人気癒し系ハートフル・ホームコメディが、アニメ化決定。来年、中編作品として2本のストーリーがそれぞれ劇場公開されることが発表された。また、3人がソファでゆるゆるとくつろいでいるティザービジュアルとともに、櫻子役を演じる加藤英美里からコメントが到着。「表情豊かな櫻子にまた会えることが本当に楽しみです。こうしたアニメ化の実現も、ファンの方々の声が届いたのだと実感しています。ありがとうございます！」と、喜びいっぱい♪

『大室家 dear sisters』『大室家 dear friends』
▶劇場中編アニメ化決定
STAFF [illegible]
CAST 大室櫻子／加藤英美里　大室撫子／斎藤千和　大室花子／日高里菜　ほか

©なもり・一迅社　「大室家」製作委員会

事件を解くカギは〈機憶〉の中に……

TV 未定

人の記憶をすべて記録する脳の縫い糸〈ユア・フォルマ〉が開発された。見たもの、聞いたこと、そして感情までもが記録される世界で、重大犯罪事件の捜査は、記録の集合体〈機憶〉にダイブできる特別捜査官「電索官」の仕事になっていた。

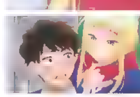
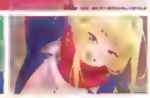
菊石まれほのSFクライムサスペンスがアニメ化決定。主人公・エチカが〈機憶〉にダイブするPVが絶賛公開中！

ユア・フォルマ
▶[illegible]
STAFF 原作／菊石まれほ『ユア・フォルマ』(KADOKAWA「電撃文庫」刊)　キャラクター原案／野崎つばた　CAST 未定

©Mareho Kikuishi 2023

めんこいPV公開中♪

TV 1月

北海道へ転校した四季翼。真冬の氷点下でも生足&ミニスカのギャル・冬木美波に助けられたことがきっかけで、ちょっとずつ距離が近くなり……♡

すでにアニメ化が発表されているハイテンション道産子ラブコメ。その放送が来年1月に決まり、PVも公開中！

道産子ギャルはなまらめんこい
▶2024年[illegible]
STAFF [illegible]
CAST 四季翼／島崎信長　冬木美波／佐倉綾音　秋野沙友理／花守ゆみり　夏川怜奈／上田麗奈　ほか

©伊科田海　集英社・道産子ギャルはなまらめんこい製作委員会

宇宙の未開拓地で暮らすロミ はるか遠い星から願う地球への想い

MOVIE 11月

手塚治虫の代表作にしてライフワークともなった不朽の名作『火の鳥』シリーズ。その中から、地球と宇宙の未来を描いた「望郷編」が初めてアニメ化され、劇場公開される。

製作期間7年をかけた入魂のスペクタクル巨編は、制作をSTUDIO4℃が担当。公開されたティザービジュアルには、はるか遠い星で飛ぶ火の鳥が描かれている。特報映像では、地球から逃亡し辺境惑星「エデン17」で暮らすロミや恋人・ジョージ、宇宙のよろず屋・ズダーバンなど、個性的なキャラクターたちが登場。彼女たちの織りなす壮大な物語に期待が膨らむ。さらに公式サイトでは、キャスト情報も解禁！

火の鳥 エデンの花

CAST 宮沢りえ 窪塚洋介 吉田帆乃華 イッセー尾形 ほか

©Beyond C

キラの中で振り返るラクス 二人に待ち受ける未来とは――

MOVIE 1月

遺伝子を調整し、生まれながらにして優れた能力を持つ人類（コーディネイター）と自然のままに生まれた人類（ナチュラル）。双方が、戦いを繰り返す世界で、キラ・ヤマトたちに大きな試練が立ちはだかる。

『ガンダムSEED』シリーズの最新作が、来年1月に公開決定。キラの中にラクスの姿が描かれたティザービジュアルが到着した。第1弾PVも絶賛公開中！

機動戦士ガンダムSEED FREEDOM

▶2024年1月26日

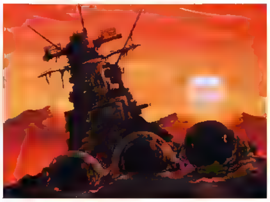
STAFF 制作／サンライズ

フィルムワークス CAST 未定

©創通・サンライズ

最新鋭のリマスタリング技術で 冒険の旅へ

MOVIE 12月／1月



西暦2199年、謎の星間国家「ガミラス」の遊星爆弾による襲撃を受けた地球。この危機を脱するべく、ヤマトは14万8000光年かなたのイスカンダルへ旅立つ！

名作『宇宙戦艦ヤマト 劇場版』と『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』が2ヵ月連続劇場再上映決定！

『宇宙戦艦ヤマト 劇場版』4Kリマスター／『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』4Kリマスター

CAST 沖田十三／納谷悟朗 古代 進／富山 敬 森 雪／麻上洋子 ほか

©東北新社 著作総監修 西崎彰司

ギャルと地味子の 放課後青春ストーリー

TV 2024年

若手声優・歌種やすみ（本名・佐藤由美子）がパーソナリティに抜擢されたラジオ番組。第1回目の収録に向かったのだが、そこにいた声優・夕暮夕陽（本名・渡辺千佳）は、昼間ケンカしたクラスメイトだった!?

二月公の青春声優エンタテインメントがアニメ化決定♪ 到着したティザービジュアルでも、由美子が千佳にちょっかい出しているが、二人の切磋琢磨する姿が今から楽しみ♪

声優ラジオのウラオモテ

CAST 歌種やすみ（佐藤由美子）／伊藤美来 夕暮夕陽（渡辺千佳）／豊田萌絵 ほか

©2023 二月 公/KADOKAWA/声優ラジオのウラオモテ製作委員会

ハッタリとかわいさが武器 吸血姫による快進撃♪

TV 10月

魔法が使えない、運動ができない、背が伸びない三重苦の引きこもり吸血鬼テラコマリ・ガンデスブラッド。彼女に父親が見つけてきた就職先は『七紅天大将軍』だった！

すでにアニメ化が発表されている小林湖底の人気コメディ。そのキービジュアルが到着し、第2弾PVが公開された！

立ちはだかる試練にコマリはどう立ち向かっていくのか。今から血が騒ぐ♪

ひきこまり吸血姫の悶々

©小林湖底・SBクリエイティブ ひきこまり製作委員会

ルフィ、ウタ、シャンクス 3人が紡ぐ感動の物語

MOVIE 10月

「歌でみんなを幸せにする」。そんな言葉の裏で、大人気歌手・ウタが実現しようとしていたのは、世界を揺るがすとんでもない"革命"だった。

昨年公開され、観客動員1427万人を記録した大人気作品。そのアンコール上映が1ヵ月限定で決定。映像はリテイクが加わった特別版で、4K対応劇場では4Kアップコンバート版にて上映。

感動の物語を、大スクリーンでチェック！

ONE PIECE FILM RED

▶10月20日（金）より1ヵ月限定のアンコール上映決定

STAFF 原作・総合プロデューサー 尾田栄一郎 監督 谷口悟朗 脚本 黒岩 勉 配給 東映 CAST 田中真弓 名塚佳織 中井和哉 岡村明美 山口勝平 平田広明 矢尾一樹 宝亀克寿 池田秀一 ほか

©尾田栄一郎 2022「ワンピース」製作委員会

BD's LABO

NEW RELEASE BD INFORMATION

PICK UP! ① MOVIE 機動警察パトレイバー the Movie 1+2 SET Blu-ray(2024/08/09までの期間限定生産)

8/10 発売

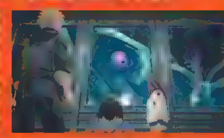
劇場アニメ『機動警察パトレイバー the Movie』が、1と2セット+新装ジャケットで限定生産！

…く設立された警察のレイバー部隊「特車二課」。その第2小隊の活躍を描く劇場アニメが、…で期間限定生産。89年公開の『the Movie』は東京湾埋立事業「バビロンプロジェクト」に隠されたレイバーOS犯罪を、93年公開の『2 the Movie』は首都圏を舞台に繰り広げられる「戦争」を描いている。

DATA …上 瑤 シバシゲオ／千葉 繁 榊 清太郎／阪 脩 他■バンダイナムコフィルムワークス・東北新社、バンダイナムコフィルムワークス／8,910円(税込)

PICK UP! ② TV 天国大魔境Blu-ray BOX 上巻＜初回限定生産＞

8/30 発売



TV TVアニメ「マイホームヒーロー」
Blu-ray

しがない会社員・鳥栖哲雄は、一人暮らしをはじめた娘・零花が"半グレ"彼氏・麻取延人に暴力を振るわれていると知る。愛する家族を守るため、哲雄が取る行動とは……。全12話収録のBlu-rayは、特典にオーディオコメンタリー等収録。

8/23 発売 ■原作／山川直輝・朝基まさし（講談社「ヤングマガジン」連載） 監督／亀井 隆 シリーズ構成・脚本 喜安浩平 キャラクターデザイン／野口征恒 他■鳥栖哲雄 諏訪部順一 鳥栖歌仙 大原さやか 鳥栖零花 白田千尋 間島恭一／伊東健人 麻取義辰／三木眞一郎 麻取延人 多田啓太 他■日本コロムビア／33,000円(税込)

TV 勇者が死んだ！
Blu-ray BOX

落とし穴で勇者シオンを殺してしまった農夫の少年トウカ。彼はシオンの遺体に精神を移され、再び開いた地獄の門を封印すべく旅立つ。全12話収録のBlu-ray BOXは、特典に原画等を収録した「アニメ『勇者が死んだ！』完全攻略ブック」他を同梱する。

8/23 発売 ■原作／「勇者が死んだ!」スバルイチ（小学館「マンガワン」連載） 監督／久城りおん シリーズ構成／佐藤 裕 キャラクターデザイン 薮本陽輔 他■トウカ・スコット／加藤 渉／土岐隼一 シオン・ブレイダン／土岐隼一 アンリ・ヘイズワース 竹達彩奈 ユナ・ユニス／山村 響 他■ポニーキャニオン／29,700円（税込）

TV ふたりはプリキュア Splash☆Star
~20th LEGENDARY BOX ~ Blu-ray

20周年を迎える『プリキュア』シリーズ。『ふたりはプリキュア』3シリーズから、『Splash☆Star』が登場する。HDリマスター化された全49話収録の~20th LEGENDARY BOX~ Blu-rayは、購入者特典イベントチケット先行抽選応募券他の特典が同梱されている。

8/30 発売 ■原作／東堂いづみ シリーズディレクター／小村敏明 シリーズ構成／長津晴子 キャラクターデザイン／稲上 晃 他■日向 咲/キュアブルーム／樹元オリエ 美翔 舞/キュアイーグレット／榎本温子 フラッピ／山口勝平 チョッピ／松来未祐 他■マーベラス、ハピネット・メディアマーケティング／66,000円（税込）

TV ホリミヤ -piece- 1
完全生産限定版 Blu-ray

お互いに"秘密"を共有する、堀京子と宮村伊澄。修学旅行をはじめとする行事を楽しむ同級生の中、宮村はどこか憂鬱そうで――。page.1収録の完全生産限定版1巻には、11月開催のイベントチケット優先販売申込券（昼の部）他の特典を同梱。

8/30 発売 ■原作／HERO・萩原ダイスケ 監督／石浜真史 シリーズ構成・脚本 吉岡たかを キャラクターデザイン 飯塚晴子 他■堀 京子／戸松 遥 宮村伊澄 内山昂輝 他■アニプレックス／4,400円（税込）（完全生産限定版 DVDは3,300円（税込）で同時発売）

TV 「魔法少女マジカルデストロイヤーズ」
Blu-ray BOX 豪華版

謎の組織「SSC」の手でオタク文化が排除された日本。若き革命者オタクヒーローは、3人の魔法少女と共にSSCへ反旗を翻す！ 全12話収録のBlu-ray BOX 豪華版は、原案・JUN INAGAWA描き下ろしイラスト使用キャンバスアート他が付属。

8/30 発売 ■原作 MAD ミルクポット markets 原案／JUN INAGAWA 監督／博史池畠 副監督／川瀬まさお 脚本・シリーズ構成／谷村大四郎 キャラクターデザイン／沢 友貴 他■オタクヒーロー／古川 慎 アナーキー／ファイルーズあい ブルー／優美 ピンク／黒沢ともよ 狂太郎／楠木ともり SHOBON／斉藤壮馬 スレイヤー／芹澤 優 他■キングレコード／44,000円（税込）(Blu-ray BOX 期間限定版は36,300円(税込)で同時発売)

TV 魔法使いの嫁 SEASON2
第1巻【数量限定生産】

異形の魔法使い・エリアスの嫁として引き取られたチセ。カルタフィルスとの出来事に一段落ついたチセのもとに、ある日魔術師たちの「学院」への招待状が届く。第1~6話収録の第1巻は、特典に原作者・ヤマザキコレ描き下ろし漫画や複製絵コンテ等が付属する。

8/23 発売 ■原作／ヤマザキコレ「魔法使いの嫁」(ブレイドコミックス/マッグガーデン刊) 監督 寺澤和晃 脚本 高羽 彩、米内山陽子、西中千晶 キャラクターデザイン 加藤寛崇 総作画監督／徳岡紘平 他■羽鳥チセ 種﨑敦美 エリアス・エインズワース 竹内良太 ルツ／内山昂輝 シルキー 遠藤 綾 他■松竹 19,800円（税込）

TV 甲虫王者ムシキング~森の民の伝説~
Memorial Blu-ray Box

母が植物のような姿に変わってしまった「森の民」の少年ポポ。彼は母を救うため、行方知れずの父を探しに旅立つ。05年放送の名作TVアニメ全52話をHDアップコンバート映像で収録したBlu-ray BOXには、ブックレット他の特典が付属する。

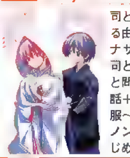
9/6 発売 ■原案／セガ『甲虫王者ムシキング』 監督／山内重保 シリーズ構成 吉田玲子 脚本／山口亮太、上代 務、高橋ナツコ、田村 竜、松井亜弥 キャラクターデザイン／馬越嘉彦 他■ポポ 宮原永海 チビキング／TARAKO パム／宍戸留美 他■ハピネットファントム・スタジオ、ハピネット・メディアマーケティング／52,800円（税込）

TV 王様ランキング 勇気の宝箱
Blu-ray Disc BOX 下巻【完全生産限定盤】

ボッス王国の玉座に就いた、非力な王子・ボッジ。だが彼は、人知れず国を去ったカゲを探すため、ダイダに王位を継がせ旅立つことに。第六～十話収録のBlu-ray Disc BOX 下巻【完全生産限定盤】は、特典に万年日めくりカレンダー他を同梱。

9/6 発売 ■原作 十日草輔『王様ランキング』(ビームコミックス/KADOKAWA刊) 監督／八田洋介 シリーズ構成／岸本 卓 キャラクターデザイン・総作画監督／野崎あつこ 他■ボッジ／日向未南 カゲ／村瀬 歩 ダイダ／梶 裕貴 他■アニプレックス／15,400円（税込）(DVD BOX 下巻【完全生産限定盤】は13,200円（税込）で同時発売)

TV トニカクカワイイ(シーズン2)
Blu-ray BOX



司と結婚し、幸せな日々を送る由崎星空（ナサ）。ある日、ナサは後輩の有栖川要から、司との結婚式をやらないのかと問われるのだが……。全12話＋『トニカクカワイイ ～制服～』収録のBlu-ray BOXは、ノンクレジットOP・EDをはじめとする各種特典が付属。

9/1 発売 ■原作 畑 健二郎(小学館「週刊少年サンデー」連載中) 監督／博史池畠 シリーズ構成／兵頭一歩 キャラクターデザイン／佐々木政勝 他■由崎 司／鬼頭明里 由崎星空／榎木淳弥 有栖川 要 芹澤 優 有栖川 綾／上坂すみれ 鍵ノ寺千歳 小原好美 他■クロックワークス、ハピネット・メディアマーケティング／36,300円（税込）

TV TVアニメ「異世界召喚は二度目です」
Blu-ray BOX

かつて異世界エクレールに召喚され、勇者となったセツ。その後、元の世界に転生するも、彼は再びエクレールに召喚されてしまう。全12話収録のBlu-ray BOXは、キャラクターデザイン・國井実可子による描き下ろし三方背ケース他の特典が付属している。

9/1 発売 ■原作／岸本和葉・嵐山（双葉社 モンスターコミックス） キャラクター原案／40原 監督／中西基樹 シリーズ構成／雪仁 キャラクターデザイン／國井実可子 他■セツ／土岐隼一 エルカ／前田佳織里 夕陽／天野聡美 リヴァイア／ファイルーズあい デザストル／大西沙織 他■ABCアニメーション、ABCフロンティア、TCエンタテインメント／32,780円（税込）

Blu-ray はみ出し情報！

先月から猛暑日が続いたり、彼岸を過ぎて秋になっても暑さが残ると予報が出たりと、例年以上に厳しい暑さとなりそうな今年。こんなときは血湧き肉躍るようなアニメを見て、"暑さ"を"熱さ"で吹き飛ばすのも手かも？ 8月30日発売の**『ハイスクールD×D HERO Blu-ray BOX』**や**『ゴールデンカムイ 第十一巻（初回限定版）』**、少し先の9月27日に発売される**『劇場総集編「SSSS.GRIDMAN」Blu-ray』『劇場総集編「SSSS.DYNAZENON」Blu-ray』**は、熱い展開と異能or肉体orヒーロー&ロボットバトル満載で、体温上昇待ったなしだ。8月23日発売の**『映画ドラえもん のび太と空の理想郷 ブルーレイ デラックス版』**や、9月20日に発売される**『「すずめの戸締まり」Blu-rayコレクターズ・エディション 4K Ultra HD Blu-ray同梱5枚組（初回生産限定）』**で、空の彼方や山中の廃墟に想いを馳せて涼しさを感じるのも良さそう。

©1989 HEADGEAR／BANDAI VISUAL／TOHOKUSHINSHA ©1993 HEADGEAR BANDAI VISUAL／TOHOKUSHINSHA Production I.G ©石黒正数・講談社／天国大魔境製作委員会
©スバルイチ・小学館 勇者が死んだ！製作委員会 ©山川直輝・朝基まさし・講談社／「マイホームヒーロー」製作委員会 ©2022 ヤマザキコレ/マッグガーデン・魔法使いの嫁製作委員会 ©Magical Destroyers Committee
©HERO・萩原ダイスケ／SQUARE ENIX・「ホリミヤ -piece-」製作委員会 ©ABC-A・東映アニメーション ©東映アニメーション © 岸本和葉・嵐山 双葉社・「異世界召喚は二度目です」製作委員会
©畑健二郎・小学館 トニカクカワイイ製作委員会 © 十日草輔・KADOKAWA刊／アニメ「王様ランキング 勇気の宝箱」製作委員会 ©ムシキングプロジェクト

Blu-ray
Blu-rayクロスレビュー
CROSS REVIEW

イラスト 古川ふみ

Fate/Grand Order -First Order- & -MOONLIGHT/LOSTROOM-

●アニプレックス　●発売中

【-First Order-】
人理継続保障機関・カルデアに、マスター適正を見込まれた藤丸立香。魔術の素養がなく、最初の任務から外されたが、その任務中に多くのスタッフが大事故に巻き込まれてしまう。藤丸はカルデアで出会った少女・マシュの身を案じ現場に向かうが……。

【-MOONLIGHT/LOSTROOM-】
新所長を迎え、新たな体制を構築しようとしているカルデアの片隅に、ロストルームと呼ばれる部屋があった。過去、現在、未来の時間が交錯するその場所では――。

DATA メーカー／アニプレックス　発売日／7月26日(水)　価格／[Blu-ray Disc BOX［通常版］] 8,800円(税込)　商品番号／[Blu-ray Disc BOX［通常版］]ANSX-15041～15042　その他／16年12月31日の「Fate Project 大晦日TVスペシャル First & Next Order」内で放送された「Fate/Grand Order -First Order-」と、17年12月31日の「Fate Project 大晦日TVスペシャル2017」内で放送された「Fate/Grand Order -MOONLIGHT/LOSTROOM-」の2本に加え、映像特典他を収録。【公式HP】https://anime.fate-go.jp/bdbox-cst/】

STAFF [-First Order-]原作／TYPE-MOON　ストーリー原案／奈須きのこ　キャラクター原案／武内崇　監督／難波日登志　脚本／関根アユミ　キャラクターデザイン／後藤圭佑　アニメーション制作／Lay-duce　製作／アニプレックス、ノーツ、ディライトワークス　他[-MOONLIGHT/LOSTROOM-]原作／TYPE-MOON　ストーリー原案・脚本／奈須きのこ　キャラクター原案／武内崇　総監督／難波日登志　監督／塚田拓郎　キャラクターデザイン／後藤圭佑、永作友克　アニメーション制作／Lay-duce　製作／アニプレックス、ノーツ、ディライトワークス　他

CAST 藤丸立香／島崎信長　マシュ・キリエライト／高橋李依　オルガマリー・アニムスフィア／米澤円　ロマニ・アーキマン／鈴村健一　レフ・ライノール／杉田智和　クー・フーリン／神奈延年　エミヤ／諏訪部順一　メドゥーサ／浅川悠　アルトリア・ペンドラゴン〔オルタ〕、フォウ／川澄綾子　盾の騎士／堀江瞬　他

大仏三郎

スマホゲーム第2部がはじまる直前の出来事を描く［-MOONLIGHT/LOSTROOM-］だが、原作ゲームのストーリーが進んだ今だからこそわかる伏線の数々に感心。完全にファン向けのタイトルだが、ファンなら絶対に観てほしい1本。

★★★★

あさりよしとお

壮大な設定が作品の背景にある以上、ある程度説明セリフが多くなるのは仕方がない。説明、見せ場、説明、見せ場の繰り返しが続く本作だが、もたつきがちな前提の処理次第で、評価が変わるだけの画面の潜在力はあったと感じる。

★★★

むっちりむうにい

世界観が複雑なうえキャラが多いので、ゲーム未プレイでアニメ版しか知らないと、説明があっても置いてかれます。前髪をおろしたかわいいエミヤと、脱皮したような上半身裸の色気あるクー・フーリンのバトルと会話が最高でした。

★★★★

ぶるマほげろー

アプリゲームの1章冒頭と2章開始前の話とのことですが、作画的な見所もさほどないですし、ゲームを1章途中で挫折してる身としては厳しい。完全にファン向け。キャラも多数登場するので、いい意味で予告編的楽しさのある作品。

★★★★

タカハシヒョウリ

1本目はゲーム本編の導入部分にあたり、シリーズの知識がほとんどなくても概ね入っていける。作品世界は広大だが、根底にあるのはバディものとバトルものの王道な魅力。ただ巻き込まれ型の主人公で、今のところ愛せない。

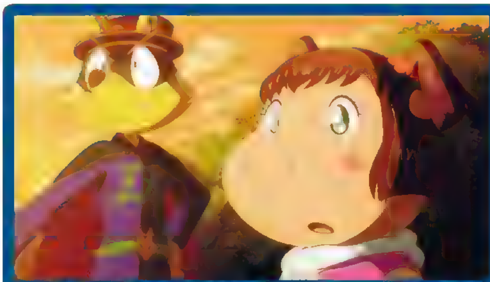
★★★

映画かいけつゾロリ ラララ♪スターたんじょう

●ポニーキャニオン　●発売中

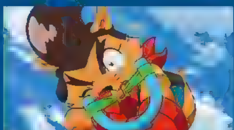
いたずらの天才・ゾロリは、歌手を目指す女の子・ヒポポと出会う。ヒポポをプロデュースして大儲けしようと企むゾロリだが、彼女は大きく開けた口を笑われたせいで、人前で大きな声で歌えなくなっていた。

妖怪学校の先生や妖怪たちの協力を得て、ヒポポに特訓を課すゾロリ。目標は1ヵ月後の〈次世代！スターオーディション〉に合格し、デビューすること。ヒポポはトラウマを乗り越え、歌声をオーディションのステージに響かせることができるのだろうか。



▲妖怪たちの力を借り[illegible]えるように特訓するゾロリ[illegible]れど、その日々の中でヒポポはいろいろなことを身につけ、成長していく

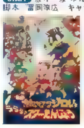
▲ゾロリを「せんせ（先生）」と呼び、一緒に旅するイノシシの双子、イシシとノシシ



▲なんでも屋のビートは、正義感にあふれる熱血少年で、ゾロリをライバル視する

DATA メーカー／ポニーキャニオン　発売日／7月26日（水）　価格／[DVD] 3,520円（税込）　商品番号／[DVD] PCBP 54606（DVD）　その他／昨年12月9日公開のアニメ映画。初回限定特典として、ミニパズルキーホルダーが付属。映像特典として、「特報・本予告」、「原ゆたかをさがせ！」、「ひみつ資料コレクション」を収録。【公式HP】http://www.zorori-movie.jp/】

STAFF 原作／原ゆたか（「かいけつゾロリ」シリーズ／ポプラ社刊）　監督／緒方隆秀　脚本／冨岡淳広　キャラクターデザイン／船越英之　プロップデザイン／大橋賢史　美術設定／高橋麻穂　美術監督／海津利子　色彩設計／日野正秋　音楽／田中公平　音響監督／岩浪美和　撮影監督／山本耕平　編集／三嶋章紀　アニメーション制作／バンダイナムコピクチャーズ、亜細亜堂　製作／映画かいけつゾロリ製作委員会　配給／東京テアトル　他



CAST ゾロリ／山寺宏一　イシシ／愛河里花子　ノシシ／くまいもとこ　ビート／梶裕貴　妖怪学校の先生／吉野貴宏　ヒポポママ／ゆかな　イレーヌ／中島愛　ローラ／鈴木みのり　チュンくん／うえだゆうじ　ヒポポ／生田絵梨花（特別出演）　がしゃどくろ／霜降り明星 粗品（特別出演）　かみなりじじい／霜降り明星 せいや（特別出演）他

大仏三郎

ゾロリをはじめとするレギュラーキャラクターの説明をあえてせず、作中の表現だけで経歴や立場、人格を伝えてくれたのは気持ちよかった。新たな一歩を踏み出す時の怖さと、それでも進む勇気を見せてくれたヒポポにも拍手！

★★★★★

あさりよしとお

このシリーズは、ゾロリのキャラクターで周囲を引っ張り回してなんぼだと思うが、脇に埋もれて狂言回しに感じられてしまったのが残念。ただ、それが仕方ないと思えるくらい、ゲストキャラのヒポポの歌が物語を牽引している。

★★★★

むっちりむうにい

冒頭からめちゃくちゃ動いていて、観ていて気持ちいいです。ヒロインのヒポポが特訓でどんどん成長していく様子も王道。感動的なオーディションシーンなのに、きれいに終わらないのもお約束ですね。ラストのオチも好きです。

★★★★★

ぶるマほげろー

ゲストキャラのヒポポちゃんがかわいい！　生田絵梨花さんの声もハマってます。ヒポポちゃんのためだけに観ていいレベルですが、後半の怒涛の展開もスゴい。ミュージカル仕立てで作曲も田中公平さん。流石の盛り上がりです。

★★★★★

タカハシヒョウリ

子供の頃に読んだゾロリが35周年にも驚きだけど、ゾロリめちゃめちゃ良いヤツになったなぁ。ドタバタの末に大人も子供もヒポポの夢を応援したくなる展開は、見事にまとまっている。生田絵梨花さんの歌と演技、素晴らしい！

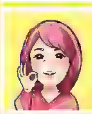
★★★★

ミュージシャン
多才を奏でる音楽人
タカハシヒョウリ

西武園ゆうえんちで開始した「ウルトラマン・ザ・ライド」早速乗ってきました！　このアトラクション、前知識不要で怪獣の巨大さやウルトラマンのカッコよさを体感できる近年でも最高の特撮コンテンツの一つだと思います。いろんなバージョンで作ってほしい！

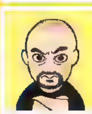
マンガ家
作画に向ける鋭い視線
ぶるマほげろー

思わぬ事故で足を骨折し、人生で初の入院生活を送ることになってしまいました。公開初日に行く気だったアニメ映画『君たちはどう生きるか』にも行けず、ネタバレ回避の毎日を送ってました……。本号が出る頃には退院しているので、映画館に行くのが楽しみ。



マンガ家
耽美と萌えにキラリ輝くその瞳
むっちりむうにい

夏放送のTVアニメが始まり、毎日DVDデッキが唸ってます。今期も異世界転生もの多数で楽しいです。特に注目してるのが『自動販売機に生まれ変わった俺は迷宮を彷徨う』。かつて主人公が剣に転生する作品がありましたが、それでもまだまだ普通だったんですね。



マンガ家
厳しい評価は愛ゆえに
あさりよしとお

劇場に行けなかったアニメ映画はソフトや配信で順次追いかけているが、やはり映画館で観るのは格別。画面が暗くなれば周囲は闇に包まれ、無音になれば周囲も静寂。家でのソフト再生とは没入感が違う。それだけに上映中のおしゃべりや、スマホの明かりは勘弁。

フリーライター
萌える心のへちライター
大仏三郎

YouTubeで人気のゆこぴさんの楽曲『強風オールバック』が、日清食品カップヌードルとコラボ！　原曲MVはAH-Softwareの『VOCALOID4 歌愛ユキ』が登場するアニメで印象深いが、コラボCMでもユキのかわいさ満載。特に手刀でイカを叩き切るシーンは必見です。

本文中にある★は、各コメンテーターのオススメ度を表しています。最高点は★★★★★。

★★★★★：レンタルとかじゃダメ！個人的には購入したい！
★★★★：文句なしにオススメ。とにかく観て！
★★★：一見の価値はあります。
★★：ヒマ潰しにどうぞ。
★：宿題の方が重要です。

以上、意見と共に参考にして下さい。

© TYPE-MOON / FGO ANIME PROJECT
©2022 原ゆたか　ポプラ社，映画かいけつゾロリ製作委員会

撮影＝江藤はんな（SHERPA+）
ヘアメイク＝古橋香奈子（LaRME）

SCHEDULE
＊8月24日～27日（大阪・メルパルクホール）
＊9月1日～10日（東京・天王洲 銀河劇場
HP＊https://www.marv.jp/special/moriarty/
©竹内良輔・二好 輝／集英社
©ミュージカル『憂国のモリアーティ』プロジェクト

Actors antiques

ウィリアム・ジェームズ・モリアーティ役
鈴木勝吾

シャーロック・ホームズ役
平野良

ミュージカル『憂国のモリアーティ』Op.5
―最後の事件―

2019年[illegible]に幕を迎える、
犯罪卿の正体に揺[illegible]大英帝国。
人々の期待を背負う[illegible]

シャーロックに対するウィリアム自身の気持ちは計算外だったと思う

シリーズ5作目は全編クライマックス

稽古はいよいよこれからというところですが（7月中旬現在）、今回の台本を読んでみて、いかがでしたか？

平野 井澤勇貴（モラン役）がめちゃめちゃテンション上がってたなぁ。「ついにウィリアムと！　シャーロックが！」って。

鈴木 （笑）。

平野 「俺らはもう、ずっと見守ってきたんですよ！」って。

鈴木 確かにOp.5は、完全に二人のターンという感じだからね。

原作の対決シーンがどう描かれるのか、とても気になります。西森英行さん（脚本・演出）は「そこは普通に見せても面白くないでしょ」とニヤリとしていましたが。

平野 10年以上前の映画だけどさ、『イルマーレ』ってのがあるんだよね。過去と未来の壁に阻まれた男女が、手紙のやりとりをする話で。

鈴木 あ、知ってるかも。

平野 もともとは韓国映画なんだけど、キアヌ・リーヴス主演のリメイク版では最後がちょっと違って。クライマックスでヒロインの前に、キアヌがカッコよく現れるの。「お待たせ」って。そういう、『!』な人が向き合った瞬間のゾワッとくる感動を今回出せたらなと。

鈴木 なるほど（笑）。

平野 「だから俺はキアヌになるぞ！」って話です。

――（笑）。鈴木さんのOp.5の印象はどうですか？

鈴木 演じる側も観る側も大変だなって印象ですね。最後だけでなく、もう全編クライマックスで。ウィリアムとシャーロックのお互いへの想いだけでなく、井澤の「ずっと見守る」側、周囲の人たちの情感もたっぷりで。あちこちに心情が散りばめられていて、序盤からドキドキしますよ。見どころ満載、お腹いっぱいな作品になりそうです。

――それぞれの想いがどのように帰結するのか、とても楽しみです。

鈴木 ウィリアムの想いで言うと……あの天才アインシュタインが娘に残した手紙の中で、「この世で最も大きな力は愛」とあったそうです。世界中のあらゆるエネルギーを見つけてきた物理学者が言うのだから、信じられる気がします。確かに愛のエネルギーって無限ですよね。『モリミュ』でもそうで、ウィリアムという一人の男の憂国の志、つまり社会や民衆への愛が、Op.5でとてつもない大きな力を発揮します。そんな彼を受け止めようとするのがシャーロックなわけですが。

――そこで出てくるツールもまた手紙ですね。

鈴木 Op.5では手紙が重要な鍵になるんですが、手紙、特にラブレターって、他の人には見せないものですよね。

平野 この場合、シャーロック以外には読まれないという前提で書くわけで。

鈴木 だからこそ、すべてをさらけ出せるし、逆説的にみんなにとってのエンタテイメントになりうるんだろうなと思いました。

手紙って、魂が宿る感じがありますよね。アインシュタインしかり、歴史上の人物の様々な書簡が、その人となりや周囲との関係性を読み解く手がかりになっています。

鈴木 もしも19世紀末のロンドンに、こんなふうに世界を救いたかった男がいたならば。そして彼が唯一の友にどうしても届けたかった手紙があって、後世ミュージカルの形でこうして読まれるのだとしたら。本人にとっては不本意かもしれないけど、不特定多数に見せるからこそ、ちゃんとエンタテイメントにしたいと思うんですよね。

クールな顔は無理だった屋敷での再会シーン

Op.5に至るまでの心情で言うと、ウィリアムはOp.3のラスト以降、とても痛々しかったです。演じていてもきつかったのでは？

鈴木 いろんな意味でつらい部分はありました。でも、原作と違って、すでに気持ちを漏らしていたんですよね。「物語のトリガーとして、もうOp.4の段階で出したい」と西森さんが言っていて。隠さなくていいという意味では、むしろしんどくなかったかもしれない。

平野 なるほどね。

鈴木 それを踏まえてのシャーロックとの関係も、どういうふうに歌で表現しようかと、良くんと結構話し合いましたね。

――シャーロックのほうは、Op.4はずっと、とれったさがあった感じがします。

平野 そもそも彼は、Op.1から犯罪卿の手のひらの上で転がされてきていたんです。イニシアチブを握りたいのに握れないという、もどかしさや焦がれる気持ちでドロドロになっていたところを、Op.4のラスト20分ちょっとで、背中の殻がバリバリバリって破けて羽化した感覚です。

ミルヴァートンの屋敷から銃声が聞こえたところでワーッと？

平野 そう、心が高揚しましたね。「ここからどう飛び出すか！」みたいな。そこからの二つ巴シーンですよ。

――三つ巴で犯罪卿の正体が明かされたシーンは、シリーズ全体としても「ついにきた！」という盛り上がりポイントでした。

平野 原作だと、ウィリアムもシャーロックも結構スンっとしているでしょ。クールな表情のままで、なんか「分かってたよ」みたいに見えるけど……実際にやってみたら、あの顔は無理だったよね。

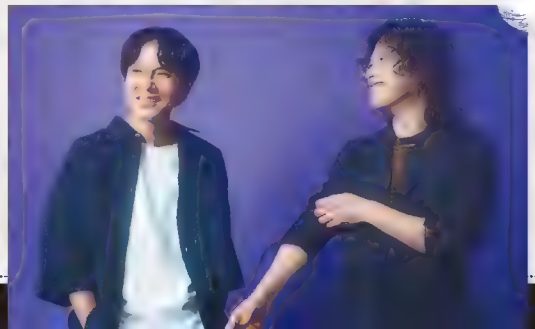
鈴木 うん、無理。僕は泣いてましたね。

――「リアム」と呼びかけられた瞬間、鈴木さんの目がぶわっと潤んで。

鈴木 え、そういうふうになってるんだ。俺まだBlu-ray観ていなくて（笑）。実は舞台上では、お互いの顔はほとんど見えていないんです。

平野 そうそう。ライトが眩しすぎてね。

鈴木 ただ、シャーロックの言葉や佇まいから、伝わってくる確かなものはあって。生身の芝居だからというのもあるけど、良くんの演じるシャーロックって、気持ちや温度感

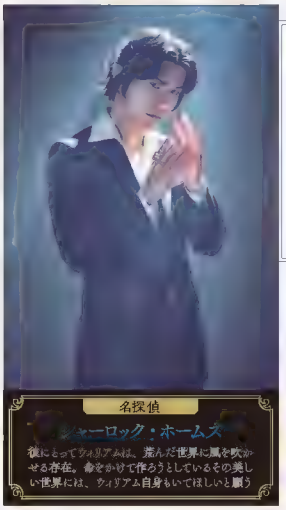


Op.5ソロビジュアル秘話

ウィリアムの手つきは、血の汚れが拭い落とせないという「マクベス」的仕草（前号P.173参照）。自らの罪を受け止めている悲愴な面持ちだ。シャーロックが推理中に両手の指先を突き合わせるポーズは、正典でも有名な「ホームズハンド」。ひらめいた時に指をずらす動きは、平野さんの考えた独自のもの。つまりこの写真は「謎が解けた、瞬間だ。頭上に差し込む一筋の光のように、彼らの行く手にも光が見えるのだろうか。

STAFF＊原作　樗成　竹内良輔　漫画　三好　輝（集英社「ジャンプSQ.」連載）　脚本・演出／西森英行　音楽　ただすけ
CAST＊鈴木勝吾・平野　良・久保田秀敏・山本一慶・井澤勇貴・長江崚行・大湖せしる・鎌苅健太・七木奏音・髙木　俊・根本正勝　ほか

二人が向き合った瞬間の ゾワッとくる感動を出せたらなと



名探偵
シャーロック・ホームズ
彼にとってウィリアムは、荒んだ世界に風を吹かせる存在。命をかけて作ろうとしているその美しい世界には、ウィリアム自身もいてほしいと願う

がダイレクトに届くんです。Op.1での出会いからここまでに至るいろいろなことが、一気にこみ上げてきた感じで……。

平野 ちょっと助かったのは、ここでミルヴァートンも、緒にいたってこと。奴は、俺からすると、まったくどうでもいい第三者なんです。でも、奴がいたことで、いいクッションになった気がして。もし、二人きりだったら、果たしてあの段階で真正面から向き合えていただろうか、というのは少しあるので。

――シャーロックの「お前であって欲しかったし お前でなきゃ駄目だった」という言葉もぐっときました。

平野 事件を通じてプロファイリングを重ねるうちに、まだ見ぬ犯罪卿にすごくシンパシーを感じていたんですよね。もはや友だろうというくらいに。そして偶然出会ったウィリアムとも分かり合えるところがあって。だから、犯罪卿が俺の思うお前だったなら、きっとあいつ（ウィリアム）こに違いないと。それが叶った喜びですよね。

――ウィリアムとしては、あの場にシャーロックが来たのは驚きもあったのですか？

鈴木 いや、ウィリアムはスーパーマンなので、ほとんどのことは予測できていたのではないかと。ただ、シャーロックが自分のことをどこまで思ってくれているのか、そして何より、シャーロックに対する自分自身の気持ちについては、計算外だったと思います。Op.5での手紙を残す行為なんてまさにそうで、自分の立ててきたプランに対する反逆ですよね。

平野 そうね。兄弟をも欺いて、ここまで徹底して一人で死へと向かって進んできたウィリアムが、ようやくこぼす弱音というか。

鈴木 恐らく、彼の人生で初めてのわがままというか、かまってちゃんかもしれない（笑）。

二人の連携が光った脅迫王との最終決戦

――三つ巴と言いつつ、実質ミルヴァートンは二人から締め出しを食らった状態でした。二人の「お互いには銃口を向けない」というスタイルは、演者側からの提案だったそうですが。

鈴木 そこはもう提案も何もというか、この二人は銃口なんて向け合わないでしょ。向けたいとも全然思わなかったし。

平野 そうだね。原作だと銃口を向けた絵のほうが分かりやすいんだろうけど、演劇としてやるのは違うというか、これまでの流れ的にも不自然だろうと思いました。

――それもあってか、二人の阿吽の呼吸のコンビプレー感が出ていました。「それは嘘だ」でアイコンタクトを交わしたり、最後は「ほらまた噛んだぜ」で二人同時にミルヴァートンに銃を向けたりと。

平野 あの一連の動き、難しかったよね？

鈴木 うん。西森さんと、振付のMAMORUさんと一緒に「どのタイミングでどの動きを」みたいなのはいろいろ試したね。

平野 最初にまず動きを作ってもらったんだけど、俺らの中ではちょっと合わなかったんです。それで、歌詞のこの部分は誰に向けたところ」という矢印を、玲ちゃん（藤田玲／ミルヴァートン役）も含めて3人で整理したんです。で、「これを、番分かりやすく見せるとしたらこういう動きですよね？」というのを西森さんとMAMORUさんに伝えて、そこにお二人の意見を融合させました。

――ミルヴァートンに発砲した瞬間はどうでしたか？ シャーロック、Op.1の緋色の研究事件の時は2発で十分みたいなことを言っていたの、結局3発撃っていましたが。

平野 シャーロックも必死だったってことですよね……。

鈴木 葛藤しつつも、迷いをなんとか振り切った感じで。

平野 あのリボルバーは、実際にはあんなに速くダダダンって3連発はできないと思うんです。でも、なんにせよ勢いで撃つ感じにしてるなら、原作みたいにオシャレにはいかないだろうと。やっぱり人を殺すのに、きれいではいられないわけで。

かたやウィリアムは、黙って悲しそうにうつむきましたね。

平野 複雑な気持ちだったんだろうね。シャーロックに人を殺させてしまったのは自分の落ち度だって。

鈴木 それでもウィリアムの道は変わらないんです。ならば、ここでシャーロックにぐだぐだと余計な言葉をかけたところで、甘い訳にしかならないですよね。

――無敵に見えた脅迫王ミルヴァートンは、二人の連携の前にもろくも敗れ去りました。結局、彼の敗因としては何だったと思いますか？

鈴木 しょせん、ただの秀才だったってことですよ。

平野 （笑）。よく警察もので、「予断を持つな」という言い方があるけど、ミルヴァートンは予断を持ちすぎていたんだろうな。ウィリアムとシャーロックは、心理テクニックで言うホットリーディングやコールドリーディングも駆使しつつ、その場その場で見て感じて、臨機応変に動くけど。

鈴木 ミルヴァートンは、そんな二人と比べて足らんかったわけです。油断しすぎていたとも言えますね。

平野 それとミルヴァートンは、人の弱さに寄り添ったことがなかったんだろうなと。つまり、物事を一つの方向からしか眺めてこなかった。「自分はこう思うけど、この人から見るとこういう景色かもしれない」といった思考を放棄してきた人だと思います。自分自身を永遠の強者だと思い込んだがゆえに、一人のことが理解できなかったのかなと。

――シャーロックも実は弱者に寄り添う人ですし。

平野 そうなんです、意外とね。物語が進むにつれ、どんどん粋な男になってきましたよ、シャーロックも。

4年間の集大成としてみんなに心からの感謝を

――これはぜひ聞いておきたいのですが、Op.4の初日から大千穐楽にかけて、お二人の演技がずいぶん変わりましたよね？

鈴木 正直、全然分かんないです。

平野 分かんないよね。というか覚えてないわ。

鈴木 Blu-ray 4枚組くらいにしてもらって、変遷を確認するしかないね（笑）。

――それだけ役に入り込んでいたってことでしょうか。動きとして分かりやすいのは、平野さんの最後のソロです。公演初期は普通にお尻をつけて座っていましたが（写真右）、日が経つにつれて打ちひしがれていったようでした。

平野 確か、最初のオーダーは「階段であおむけに寝て歌う」でした。

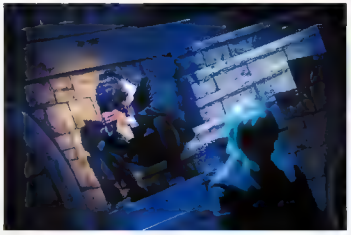
鈴木 そうだったね。

平野 でもなんか、しっくりこなくて。曲の入り方についても、ただすけさん（音楽）の「ここで、このテンポで！」ということだわりがある。方で、桃さん（ピアノの境田桃子）と周ちゃん（ヴァイオリンの林周雅）からは「いや、もっとこう！」みたいな意見もあったり。それで、やりながら定まっていったというのもあるかな。

鈴木 それにこと、良くん、役に入り込みすぎて記憶飛ばした時もあったよね。

――逆にウィリアムはどんどん強固な印象に変化しました。もはやOp.5の解釈に影響を及ぼすレベルで。

鈴木 お客さんはよく見てるなぁ（笑）。僕らは稽古の中で自分なりの解釈を見つけて、ひたすら鉛筆を削り上げる感覚なんです。で、開幕してからも千穐楽まで、「いや、いや、まだある、まだある」みたいな感じで鉛筆を削りに細かく削り続けて、



ゲネプロ時点（写真）では、座って歌い始めたOp.4のフストソロM26。大千穐楽では、罪の重さに耐えかねたかのように、がっくりと膝をついてうずくまっていた

最終的にこうなった、みたいな感じかな。

――Op.4では印象深いシーンがまだまだたくさんありました。一つ挙げるとしたら？

鈴木 いっぱいあるけど……やっぱり、一連のホワイトリー周りかな。重たいエピソードでした。

――ウィリアムはホワイトリーを救ったとも言えますが、とはいえ、あんな書類を渡さなければ……。

鈴木 どの道、ホワイトリーは消されるというのが分かっていたからの行動ではあるけれど、それでもやっぱりウィリアムって真っ黒なんですよね。そして本人もそれも自覚している。これまで罰してきた悪徳貴族たちと同じように、自分自身をも憎んでいる。それをここで、僕もはっきりと感じました。Op.5でフレッドと交わす会話の中でもそういったくだりが出てきますが、ホワイトリーの事件を経たからこそのシーンになる気がしています。

――平野さんは？

平野 そうだなぁ、二代目グレッグソンが頑張ってたな。

鈴木 そこ？(笑)

平野 あの日替わりシーン、毎回打ち合わせも何にもなくて。もし息子がいて「僕もお芝居やりたい」とか言い出したら、こんな気持ちになるのかなぁ。

鈴木 もはや父の気持ち(笑)。じゃあ一応、愛してはいるんだ？

平野 いっそ壊してやりたいと思う側面もありつつ。

鈴木 うん、それ思いきり出てたよね。

平野 え、出てない出てない！

鈴木 いや、結構強かったよ。愛のムチだなって感じがした(笑)。

――(笑)。最後にファンに向けてのメッセージを。

平野 今回は、シャーロックの兄ちゃんもボンドも出てきます。チケットがとれていない方もいると思いますけど、来られる方はぜひ劇場へ。そして配信があればぜひ配信で「おうちでモリミュ」を楽しんでください。作品を観て、話し合うところまでが『モリミュ』だと思うので、どうか『モリミュ』を通じて、誰かとつながってくれたら嬉しいです。

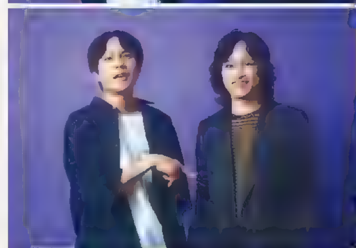
鈴木 Op.1から丸4年経ちましたが、長いようであっという間だった気がします。

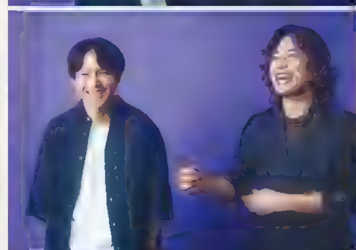
平野 そうだね。

鈴木 『憂国のモリアーティ』と向き合ったこの4年間は、これからも忘れることはないと思います。自分の歴史の中でも、一つの楔になるような、本当に本当に濃い時間でした。ここまで一緒に歩いてきてくれた仲間やお客さんには心からの感謝を伝えたいし、Op.5はそれに見合うだけの作品に仕上げたいと思います。

――それだともう完全に終わっちゃうみたいで悲しいんですけど！

鈴木 いや、『モリミュ』自体がどうなるかは分からないけど……でもどんな人だってそうでしょ。明日も生きていられる保証はないし、永遠に続くものなんて一つもなくて。だからこそ、毎公演「何分の1」じゃなくて「1分の1」でやるしかない。全何公演あったとしても、お客さんにとっては自分の観た公演が1分の1ですよね。そんな皆さんの気持ちに全力で応えなければと思います。そしていつか「あの時に『モリミュ』があってよかったね」とみんなが思えるように、未来に何かを残せたらいいなと思います。





あの時に『モリミュ』があってよかったねとみんなが思えるように

「リアム」に込められた万感の想い

脚本・演出 西森英行

主演二人の演技がどんどん変化していった

前号から引き続きOp.4の振り返りですが、公演1週目(大阪)、2週目(東京)、3週目(東京)で、主演二人の演技の変遷がかなり大きかったです。劇場内にいたリピーター客も「全然違う!」とザワついていました。

西森 本当に演劇って、生ものだなと思います。大阪公演のシャーロックは、ミルヴァートンを撃った後、そこまで落ち込んでいませんでした。それが2週目、3週目とどんどん沈んでいき……。稽古の初めに「Op.4はウィリアムとシャーロックの悲劇的構造で作りたい」という話をしたんです。それぞれがラストでどん底に落ちるお話にしたいと。それを、平野良が感覚的に落とし込んで、大千穐楽であそこに着地したんだろうと思います。

――ウィリアムのほうは逆に、大阪公演のほうが気の毒で、守ってあげたい感じでした。大千穐楽近くは、もはやメインテーマからしてガチガチに強い犯罪卿モードで。

西森 公演を重ねるごとに、鈴木勝吾の中で「死にゆく覚悟」が固まってきた感じがありますよね。僕は、彼らの身体性と想像力を信じているので、二人の間で自然と出来上がったものが真実だと思います。

――第二楽章「四つの署名」で言うと、大阪公演のシャーロックは、ものすごーく面倒くさそうでしたね(笑)。

西森 「そこまでやる気ないのを見せなくても!」みたいな日もありましたよね(笑)。そもそもシャーロックは財宝事件には興味がなく、いわば彼にとっては消化試合なんです。この時のシャーロックが気になっていたのは「犯罪卿の動向」と「ジョンの婚約者のメアリーとは何者なのか」の2点だけです。

――観客の気分としても、第一楽章を引きずっていたので、シャーロックのダウナーぶりには共感できました。ただ、公演を重ねていくうちに、シャーロックもそれなりに生き生きしてきた気がします。

西森 良いわく、「メアリーが一生懸命説明してるのを見ていて、なんかいじらしく思えてきちゃった」って(笑)。だんだん感化されたらしいです。

――「四つの署名」は、高木俊さん演じるレストレード警部の歌謡ショー「刑事屋のブルース」も楽しかったです。いわゆるキャラソン的な作りでしたね。

西森 ここは完全にお客さんの息抜きシーンです。僕からの楽曲発注イメージは「内山田洋とクール・ファイブ」で、歌詞の作りは「長崎は今日も雨だった」でした。

――「♪わわわわ〜」な感じですね。

西森 ところが、ただすけさんから上がってきたのは『ジャージー・ボーイズ』でした。なんだかオシャレだなぁと思いましたが、まあこれはこれでアリかなと(笑)。マイクをどう出すかなどは、しゅんりー(高木俊)におまかせです。アンサンブルのみんなもノリノリでやってくれたので、稽古でも楽しかったです。

――この曲に限らずですが、Op.4はメロディーラインとして昭和歌謡が多い気がします。

西森 そういえば、ただすけさんと「分かりやすい旋律はより分かりやすく」みたいなことを話しました。もはやカラオケに『モリミュ』の楽曲が入ったりもしているし、高音域・低音域を激しく行き来するような難曲以外もあったほうがいいよねと。結果、昭和歌謡っぽくなったのかも。

――シャーロックとジョンの「この空の下」は、さだまさしとか？

西森 ああ、僕はさださんの影響を受けているんです。さださんって、「風に立つライオン」とか、物語調の歌詞の作り方がすごくお上手で。そういうのが自然とにじみ出ちゃったんでしょうか。

この光があってこそ、その先の闇に行ける

ミュージカル『憂国のモリアーティ』Op.4 -犯人は二人-
＊Blu-ray・DVD発売中

―歌謡ショーの後は船での攻防戦。正典にもあった、吹き矢の男・トンガの射殺シーンはなかったですね。

西森 これはミルヴァートンの射殺シーンを活かすために意図的になくしました。人を殺すというのがどれだけ重いことか、シャーロックに負わせないといけないので。それにこのシーン、コナン・ドイルは無意識で書いたのでしょうが、当時の時代性が如実に反映されていますから。

―大英帝国の差別構造は、何も国内に限った話ではないわけで。

西森 そういうことです。19世紀末、インドの人たちがどういう扱いを受けていたのかがうかがえますね。

第三楽章「犯人は二人」では、ミルヴァートンが221Bを訪れます。このくだりも、尺の都合でカットされるかと思いました。

西森 ミルヴァートンはこれまでずっと裏のフィクサーでしたが、直接関与するシーンも見せておきたかったんです。あとは、ハドソンさんに楽しい歌以外の曲も歌ってほしくて。藤田玲のミルヴァートンって、スケールがものすごく大きいというか、もはやいたずら好きの悪魔とかいったレベルじゃないでしょ？（笑）

―悪の帝王ですね（笑）。

西森 かたやハドソン役の七木奏音は、とても心がきれいな子で。悪の帝王・藤田ミルヴァートンと、清く正しい七木ハドソンのバトルが観てみたかったんです。

ミルヴァートンがハドソンさんのパンを踏むシーンは、アニメでも有名なアンデルセンの童話『パンを踏んだ娘』を彷彿とさせます。

西森 キリスト教だと、パンとぶどう酒は神への感謝を表すものですからね。ミルヴァートンの言動は、いわば神への冒涜行為なんです。

―また、部下のラスキンを使ってヴァイオリンに放尿までしていました。まさかの原作通りに！

西森 もちろん舞台上ではただの水ですが、「『モリミュ』はここもちゃんとやるぜ！」というのを見せたかったんです。毎回、小道具を水浸しにしていました。

客席のお嬢さん方、固まっていましたよ（笑）。

西森 あの吉高志音になんてことさせるんだと（笑）。去年僕は、新作歌舞伎『荒川十太夫』の演出をやりましたが、その時も、赤穂四十七士のお墓には全員の名前を入れてもらいました。たとえ客席から見えなくても、やれることは全部やる。神は細部に宿るんです！ ちなみに、ヴァイオリンで「ツィゴイネルワイゼン」を弾くのは、稽古の途中で決めました。ワンフレーズで分かりやすい曲だし。

―正典のシャーロックはサラサーテが好きらしいですからね。そういった当時の文化や街の様子は、ジョンとの屋根の上のシーンでも伝わりました。

西森 ガタンガタンという地下鉄の効果音は音響さんのアイディアです。ベーカー街のあたりを通っていたらしいので、聞こえてもおかしくないんですよね。

―ちょうど今年でロンドン地下鉄150周年だそうですね。街の賑わいと二人の友情とで、本当に温かいシーンでした。

西森 とにかく希望に満ちあふれたシーンとして作りました。この光があってこそ、その先の闇に行けるので。

地獄の底に光が差した泣き笑いの表情

打って変わってモリアーティサイドは、ウィリアムの沈痛な面持ちから始まります。Op.4では「僕たち」や「我々」ではなく「僕こそが犯罪卿」と言っており、全体的に観ていてしんどかったです。

西森 仲間たちが「ウィリアムは一人で死ぬ気なのか!?」となるタイミングを、原作よりも早めたかったんです。彼らの心の奥が見えてこないと、やはり一つの演目として成立させづらくて。「僕こそが犯罪卿」といった言葉で、ルイスたちのリアクションを引き出しました。

それぞれがウィリアムを想う歌もとても切ないです。アルバートはM22「罪深き我は…」で、自分を「深き煉獄に落としたまえ」とまで言っていましたが。

西森 「煉獄」は、罪と向き合う空間なんですよね。これまで「地獄」というワードは何度も出てきましたが、"アルバートの罪"にフォーカスを当てるため、懺悔や悔恨を象徴するワードをあえて持ってきました。

―歌の最後の「どうか呪ってくれ」にもドキッとしました。

西森 「どうか許してくれ」ではないんですよね。そう簡単には許されない。それだけ罪の意識が深いということ。このあたりの歌詞は、僕も夢中で一気に書き上げました。

―今回のアルバートは、ミルヴァートンの屋敷でのバトルにも参戦して活躍を見せました。

西森 これは原作コミックス2巻の麻薬組織の話ができなかったためです。アルバートはジャック先生に仕込まれているし、白兵戦も強いだろうと。彼の動的な部分も見せておきたいと思いました。

一方で、ウィリアムとシャーロックはミルヴァートンの面前で、突然の再会を果たします。

西森 ここまでなかなかエンジンがかからなかったシャーロックですが、屋敷の前で銃声を聞いて、ようやく目の色が変わりました。ずっと会いたかった犯罪卿がここにいるのだと。

高笑いするミルヴァートンを遮ったのちの、「リアム」という呼びかけ。もうなんて優しい声だろうと。

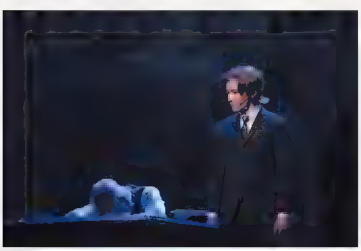
西森 シャーロックの万感の想いが込められていましたよね！ このシーンは僕もこだわったところです。

―茨の道を進むウィリアムの、ただ一人の風の人だとあらためて感じました。

西森 Op.4ってシャーロックの"待機時間"が非常に長かったんです。演じる良としても、その積もり積もった気持ちがあふれ出たんだと思います。

呼びかけられたウィリアムの目も、ぶわっと潤みました。まるで星が宿ったかのように。

西森 あんなふうに来てくれて、想ってくれて、ウィリアムは泣きたいほど嬉しかったはずです。勝吾、本当にいい顔をしますよね……。



―シャーロックの最後のソロ「I Will Catch You」でも、「俺がお前を捕らえてやる」を受けたウィリアムが、それはそれはきれいな泣き笑いの顔を見せました。

西森 勝吾はいつも、表情一つで場の空気を動かしてくれますよね。このソロ、もともとウィリアムはいなくて、シャーロックだけの予定だったんです。でも、稽古でウィリアムが居残るバージョンをやってみたら、地獄の底に光が差したみたいな、とってもいい顔をしてくれたんです。もう「これだー!!」という感じでした。

そこから一気にラストソングへ。壮大なto be continuedでしたね。

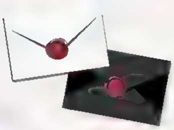
西森 「運命の車輪は止まらない」というこの曲は、原作でウィリアムとルイスが馬車に乗って去っていくところから着想しました。舞台上では実物は見せられなかったのですが、馬車って、運命や人生を象徴するアイテムなんですよね。

―「♪The wheel of fate～」というコーラスも耳に残ります。

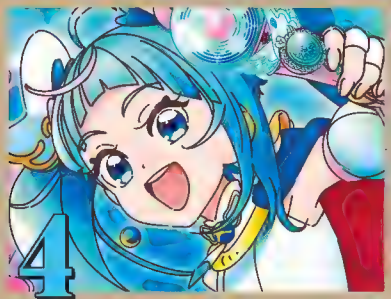
西森 タロットカードの「運命の輪」だと「Wheel of Fortune」ですが、fortuneよりもfateのほうがしっくりくるだろうと。『モリミュ』には英語監修の人もいるので、「避けられない運命」といった深刻なニュアンスの言葉を選んでもらいました。

いよいよ決戦のOp.5。開幕を楽しみにしているファンへのメッセージをお願いします。

西森 お客さんが細かいところまで読み取って、想いを感じてくれているというのは、僕たちにとって最高の幸せです。皆さんに負けないくらい、僕たち作り手も原作を愛しています。Op.5でも、どうか『憂国のモリアーティ』の世界を一緒に愛する時間を過ごせたらと思います。



にしもり・ひでゆき
1977年生まれ。脚本家、演出家、構成作家。舞台「HELI-X」シリーズ（脚色・演出）、『「僕のヒーローアカデミア」The "Ultra" Stage』シリーズ（脚本）ほか



4

97票
前回7位

ひろがるスカイ！プリキュア
キュアスカイ(ソラ・ハレワタール)

5

90票
前回19位

ひろがるスカイ！プリキュア
キュアプリズム(虹ヶ丘ましろ)

6

81票
前回2位

呪術廻戦 懐玉・玉折
夏油 傑

7

74票
前回11位

名探偵コナン
江戸川コナン

1

249票
前回1位

呪術廻戦 懐玉・玉折
五条 悟

2023.September

Character Best10

カリスマ五条、君臨する！

今月も『呪術廻戦 懐玉・玉折』五条 悟が支持を集めナンバーワンに！
2位のスレッタ、3位グエルら『水星の魔女』はチームで強し。
『ひろプリ』も上位復活、夏の祭りはまだまだ終わらない！

3

114票
前回3位

機動戦士ガンダム 水星の魔女
グエル・ジェターク

2

156票
前回6位

機動戦士ガンダム 水星の魔女
スレッタ・マーキュリー

18

43票 ↓前回14位

【推しの子】
アクア

14

50票 ↓前回9位

鬼滅の刃
甘露寺蜜璃

11

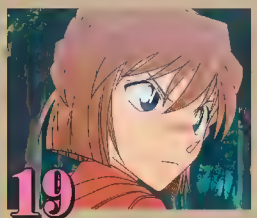
60票 ↑前回圏外

機動戦士ガンダム 水星の魔女
ラウダ・ニール

8

73票 ↑前回12位

SPY×FAMILY
アーニャ・フォージャー



19

42票 ↑前回20位

名探偵コナン
灰原 哀

16

49票 ↑前回23位

夏目友人帳 石起こしと怪しき来訪者
ニャンコ先生・斑

12

57票 ↑前回圏外

吸血鬼すぐ死ぬ2
ロナルド

9

66票 ↓前回5位

ひろがるスカイ！プリキュア
キュアバタフライ(聖あげは)

20

41票 ↑前回圏外

呪術廻戦 懐玉・玉折
天内理子

17

47票 ↑前回圏外

るろうに剣心 ―明治剣客浪漫譚―
緋村剣心

13

51票 ↓前回4位

鬼滅の刃
時透無一郎

10

65票 ↑前回圏外

機動戦士ガンダム 水星の魔女
シャディク・ゼネリ

top 21―30

21	真打津軽	アンデッドガール・マーダーファルス	40票
22	ミオリネ・レンブラン	機動戦士ガンダム 水星の魔女	38票
23	アイ	【推しの子】	36票
24	キュアウィング(夕凪ツバサ)	ひろがるスカイ！プリキュア	35票
25	坂田銀時	銀魂	34票
26	赤井秀一	名探偵コナン	32票
27	エラン・ケレス	機動戦士ガンダム 水星の魔女	30票
27	黒川あかね	【推しの子】	30票
29	黒井美里	呪術廻戦 懐玉・玉折	28票
30	神谷 薫	るろうに剣心 ―明治剣客浪漫譚―	27票

14

50票 ↓前回9位

【推しの子】
有馬かな

投票方法

本誌アンケートはがきQ2欄に、好きなキャラクターを作品名とともにフルネームで【2名】書き、切手を貼って投票してください。8月23日必着。ご記入の個人情報は集計目的以外での利用はいたしません。※2名とも同じ名前の場合は1票とします。

LOOK UP! 今月の注目キャラ

「アンデッドガール・マーダーファルス」
真打津軽

半人半鬼の津軽は、首だけの不死の美少女・輪堂鴉夜(あや)に命を救われる。身体を探すためヨーロッパに渡った鴉夜は怪物専門探偵に、津軽は助手になった。頭脳明晰な鴉夜のツッコミを皮肉と軽口で返す津軽。落語が好きでべらんめぇ口調、飄々とした中にちょっと陰が見えるところも魅力です！

©茅野ドク　集英社・呪術廻戦製作委員会　©創価・サンライズ・MBS　©ABC-A・東映アニメーション　©青山剛昌　小学館・読売テレビ・TMS 1996　©遠藤達哉　集英社・SPY×FAMILY製作委員会　©盆ノ木至（秋田書店）　製作委員会2すぐ死ぬ
©吾峠呼世晴　集英社・アニプレックス・ufotable　©赤坂アカ・横槍メンゴ　集英社・【推しの子】製作委員会　©綾「ゆき・白泉社／「夏目友人帳」製作委員会　©和月伸宏／集英社・「るろうに剣心 ―明治剣客浪漫譚―」製作委員会
©藤原有浩・講談社　鳥籠使い　行

文豪 ストレイドッグス
© 朝霧カフカ・春河35/KADOKAWA/文豪ストレイドッグス製作委員会
Illustrated by Nobuhiro Arai
Finished by Raiko Iwasawa
Special effects by Yuichi Furuichi(BOSABOSA)
2023 Animage 9月号 ふろく

夏目友人帳

©勝川ゆき・白泉社／「夏目友人帳」製作委員会
Illustrated by Akira Takaro.
Painted by Hiromi Miyawaki.
Composite by Hitoshi Tamura